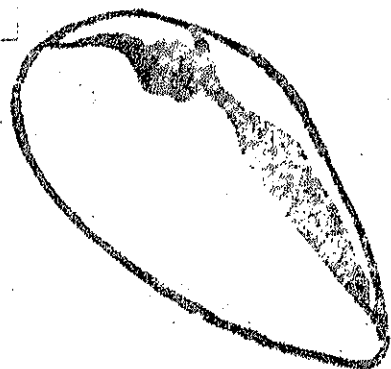


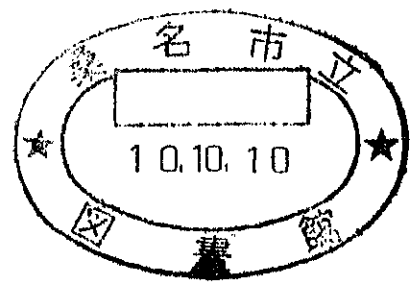
梨

名

志

一





業名志 緒言

伊勢。御土史家中漢學者。編述した知誌は津藩儒齋藤拙堂の「伊勢国司記略」十三卷(元禄十一年成)同藩儒津阪康陽の「勢陽志古録」二卷(水につぐものは業名津藩儒丸山恒斎。「業名誌」二十八卷である。業名郷誌。白眉と称せらる。卷一疆域。卷二興替。卷三城池。卷四坊卷。卷五村里(業名郡)。卷六同上(貞并郡)。卷七同上(朝明郡)柳御所。卷八戸口。卷九道路。卷十郵傳。卷十一山川。卷十二水利。卷十三古蹟。卷十四神社(城下)。卷十五(業名郡)。卷十六同上(貞并郡)。卷十七同上(朝明郡)。卷十八寺院(城下)。卷十九同上(業名郡)。卷二十同上(貞并郡)。卷二十一同上(朝明郡)卷二十二風俗。卷二十三人物。城下田家。卷二十四同上。村里田家。卷二十五同上。雜類。卷二十六產物。卷二十七天文異。卷二十八詩歌。二十八項に分ち、志事記以下一百以上、引用書目を掲げてある。きわめて博渉未説に つとめてあり、この書によつて旧業名藩領時代に於ける業名、貞并、朝明三郡の地誌並に史実を徵證することが出来たことと、重要な資料である。本書は原本として傳り未刊、内閣文庫藏本。外業名春日神社古書目録義幹代外一二が所藏するのみで、きわめて稀本に属する。このたひ

此勢史談會主幹山内五郎君がその亡佚より水い、分といと小可自
水が複製に着手されたとはい誠に學界のため喜ぶべきことである。
業名志の編者、友山恒奇先生は（嘉永三年没）といふ名は成書、字は
君壽、通称、理助、号は恒奇、同藩儒、廣瀬漢斎、門人、昌平學、字は
身で業名藩、教授となり、學問文章に造詣深く北勢の地誌にも精通
した。先生、事蹟、口日本教育資料、四、業名前修遺書、及東淺先生遺
稿、温知録筆（東京圖書館藏寫本）卷六、學談附録等に散見、著書
に「業名志」外、「体認編」四冊（東京圖書館藏寫本）、「恒奇先生遺稿」一冊
「養病漫録」一冊、「陸奥九家世紀」一冊（以上三種、業名前修遺書、及）等が
あり。

昭和二十八年三月上浣

元神宮皇學館教授 近藤 空識

業名志序

天武 持統 二皇駐蹕之地其為名郡也尚矣然年代曠遠事無得而詳
焉迄慶長中書本多以上。以北勢三郡作受封于此於是大修築
城市市卷但時距偃武未遠。大體雖拳。百度草略繼以令杜山
侯又以我

鎮国神公。而後行治之制。政俗之懿儼然。為海道之重鎮矣。

國鏡 二公龍而撫之。五十有九年。移封越之高田。又八十有餘年。

今公奉 大昔自白川末而再治于此。中間曠其教化凡一百一十有八年。記載經
水火。百不存一。雖有略志等之撰臆。談進亂。事失其安。實者不蓋不唯
公家治教之蹟不存耳。緝其所自。未者而先之。於是自有編修之命。尋有
大喪。加以都下西邸罹災。因循至今。各歲

公而甲介之。遂使成之。三書。業按宜存圖籍。唯錄。當今條例。以供
一時納貢。收稅。較。之需。其於古也。邈然莫及。若夫家乘私記。則
間難。或考于古。念徒出好。事之為。多為穿鑿。附會。無用之談。
於政俗利病之實。無所相聞。夫古者。古之今。而今者。侂日之古也。為
政者。通古今。考源委。而後治。草從。隨時制宜者。可得而也。
今也。求之於古。如是其闕。若。後于今。而不謀。一切。則。後之

視今猶今之視古也。故夫其歸。寧一以答於古。勿遺於今。而後為可。我公之盛意。蓋在此耶。且因按官籍私記。在分前。則古考以遺編之所載。據古以證今。雖以耳目之所及。自郡御城市之大。乃從異。則歌之細。彙分類。從以為廿八卷。然封疆有限。管轄各異。故屬于代。有雖溢于三郡之外。陸亦許之。其隳于他者。雖色三郡之內。舉而略之。亦勢之所不免也。有志之士。或能推廣之。以及其所不及。則亦一方之典也。好之為政者。或其有取焉。

天保六年歲次乙未冬十一月
 辨 其 教 授 五 片 小 墨 謹 撰

業名志引用書目

古事記	倭姬世記	大安寺事書
古語拾遺	續日本記	康正三年造內裏段錢 美因役引付
日本書記	文德實錄	東 鑑
續日本後記	類聚國史	神鳳抄
三代實錄	延喜式	南朝記傳
日本紀畧	拾芥抄	長享元年在津著到
和名抄	伊勢國風土記殘編	宗長手記
姓氏錄	權 記	伊勢物語
文明本伊勢國風土記	神明帳考證	信長記又總見記
親長御記	神社啓蒙	豐 鑑
左經記	大神宮諸雜事記	內宮臨時殿遷宮記
春番事記	神官雜例集	五十鈴宮鎮座本記

業名即上卷業名

建文軍諸新田注逸文

水野家記

神風抄

親基日記

天正記

北勢古志

大平記

列封畧傳

古谷双命

人國記

徵古錄

業名雜記

南海道紀

勢桑見聞畧志

業名名勝志

東國紀行

業名雜記拾遺

東海道名所回會

身延紀行

業名名所回會

定綱公記

北島軍記

業名明細記

山本七大夫覺書

豐臣家譜

大業廣記

御伽寢覺中一決水雜記

武家高名記

勢州四家記

諏訪業齊見聞記

勢陽雜記

增補勢陽雜記

春日勸請縁起

北勢戰伐記

伊勢軍記

郷司家縁起

勢陽俚諺

伊勢諸雜記

延享錄

享保九年春日記

本願寺日記

宝永四年村々差出張

富田六郷氏神記

堅重記

村々差出張

繩生天神奉加帳

慈恩小記

宝永四年分限帳

室興山日記

如法山覺書

淨土寺歴代記

雄寛記

神小見聞記

袖野地考

慶長自記

淨土寺記

丹羽氏記

公私川録

龍宝小記

市岡記録

大田吉崑記

袖野八景詩序

水谷家記又水谷氏旧記

懷日秘録

家規要録

堀田記録

春日記

下里雜要記

味園旧記

郷司秀明記

上村雜記

茂福家由緒書

寛延記

工藤家記

寺社縁起田籍書

多度本縁畧記

佐藤九郎兵衛記

郷村家内帳

長島記
 節用集附錄
 長島細布
 庭訓往來
 諸國癸城考
 閑田耕筆
 和漢名數
 多識論
 丙辰記行
 名所拾遺
 光明寺神面寄附狀
 夫木集
 伊勢名所拾遺集
 名所和歌集
 雲上明鑑
 和漢三才圖會
 不傳妙集
 和訓疑系
 政餘彫玉
 萬葉和歌集
 名寄
 神祇百首
 新千載集
 小家集
 湘奉記行
 再遊記行
 國家萬葉
 旧家系圖
 小津系圖
 大田系圖
 下里系圖
 荒木系圖
 屏風古圖
 笠取地圖
 御旧領地圖
 淨土寺過去帳
 增田村淨流寺
 免許狀
 經巴乃見記
 大園寺箱裏書

種村系圖

伊藤系圖
 圓通寺系圖
 南部系圖
 元錄十三年御改伊勢國圖
 小越元錄地圖
 光明寺過去帳
 壽量寺過去帳

業名志 目次

卷第一 疆域 郡御在村圖附
 卷第二 興替 古代領主 四十八家
業本城主 長島附
 卷第三 城池 解舍 一本圖附
 卷第四 坊卷 圖附
 卷第五 村里 桑名郡
 卷第六 村里 負辨郡
 卷第七 村里 朝明郡 稱知附
 卷第八 戶口 田畝附
 卷第九 道路
 卷第十 郵傳
 卷第十一 山川
 卷第十二 水利水道 堤堰

卷第三 古蹟

卷第十四 神社

卷第十五 神社

卷第十六 神社

卷第十七 神社

卷第十八 寺院

卷第十九 寺院

卷第二十 寺院

卷第二十一 寺院

卷第二十二 風俗

卷第二十三 人物

卷第二十四 人物

城下

業名郡

負辨郡

朝明郡 楠野所

城下

業名郡

負辨郡

朝明郡 楠野所

卷第二十五 人物 雜類

卷第二十六 產物

卷第二十七 災異

卷第二十八 詩歌

北

勢

四

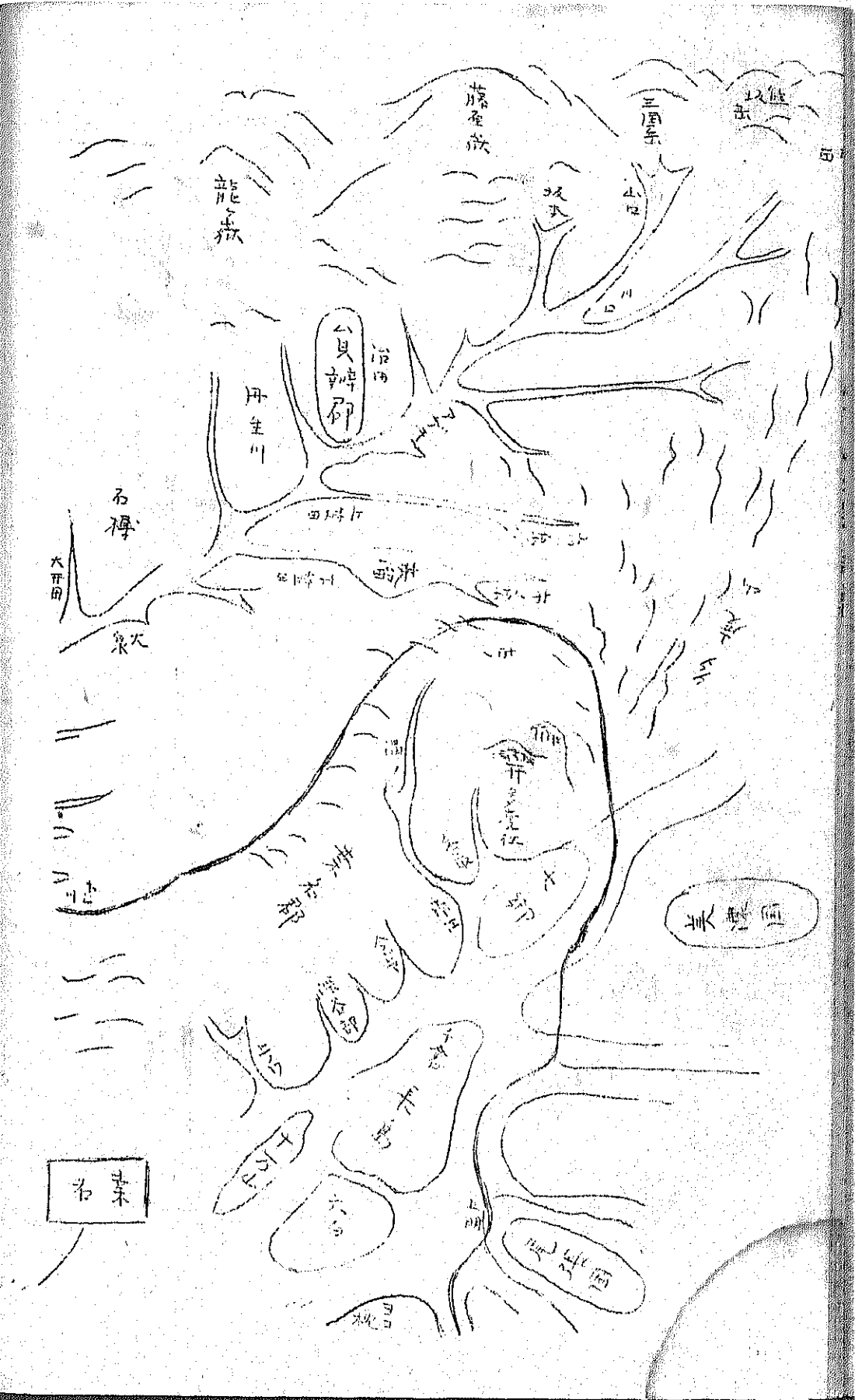
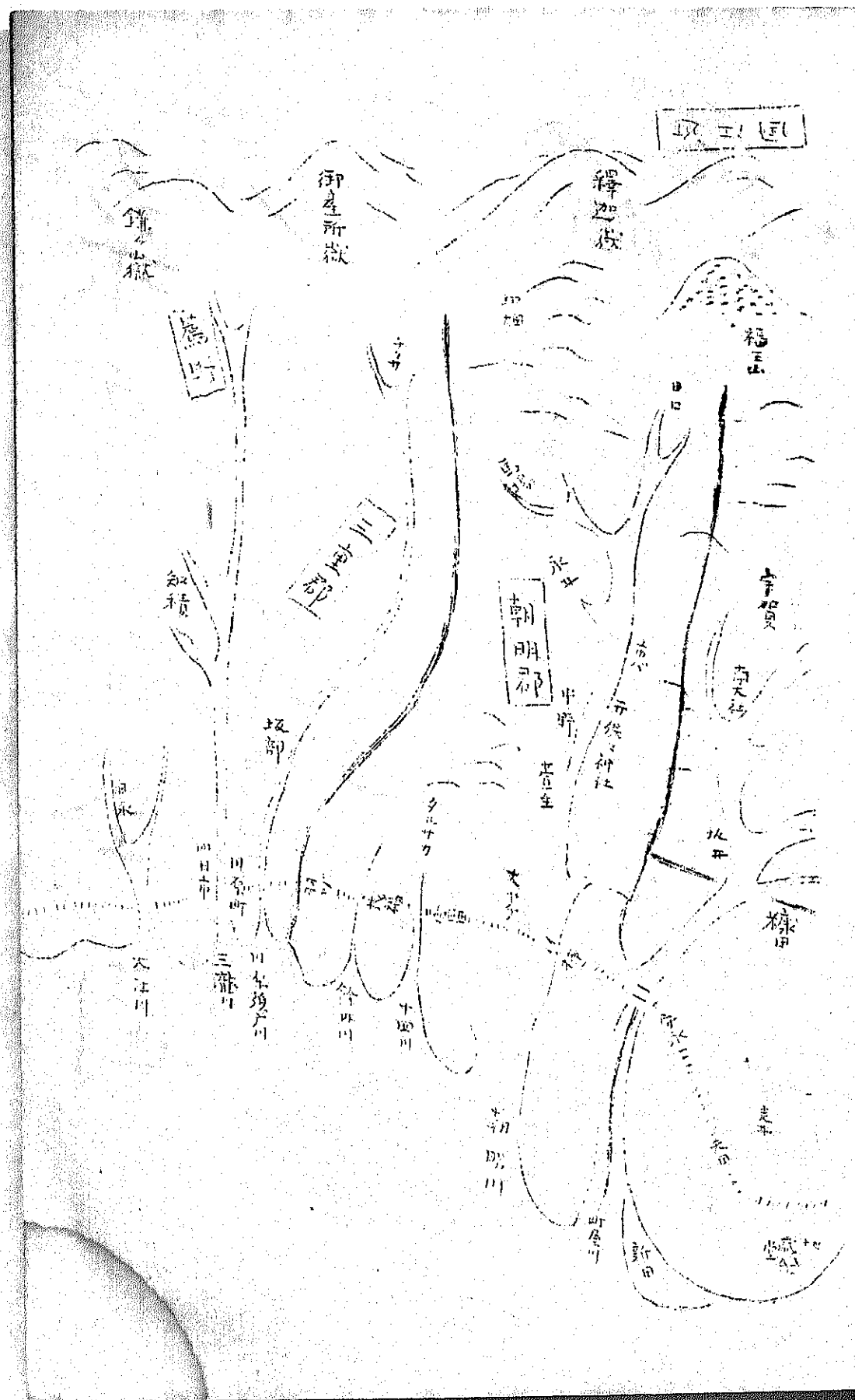
郡

疆

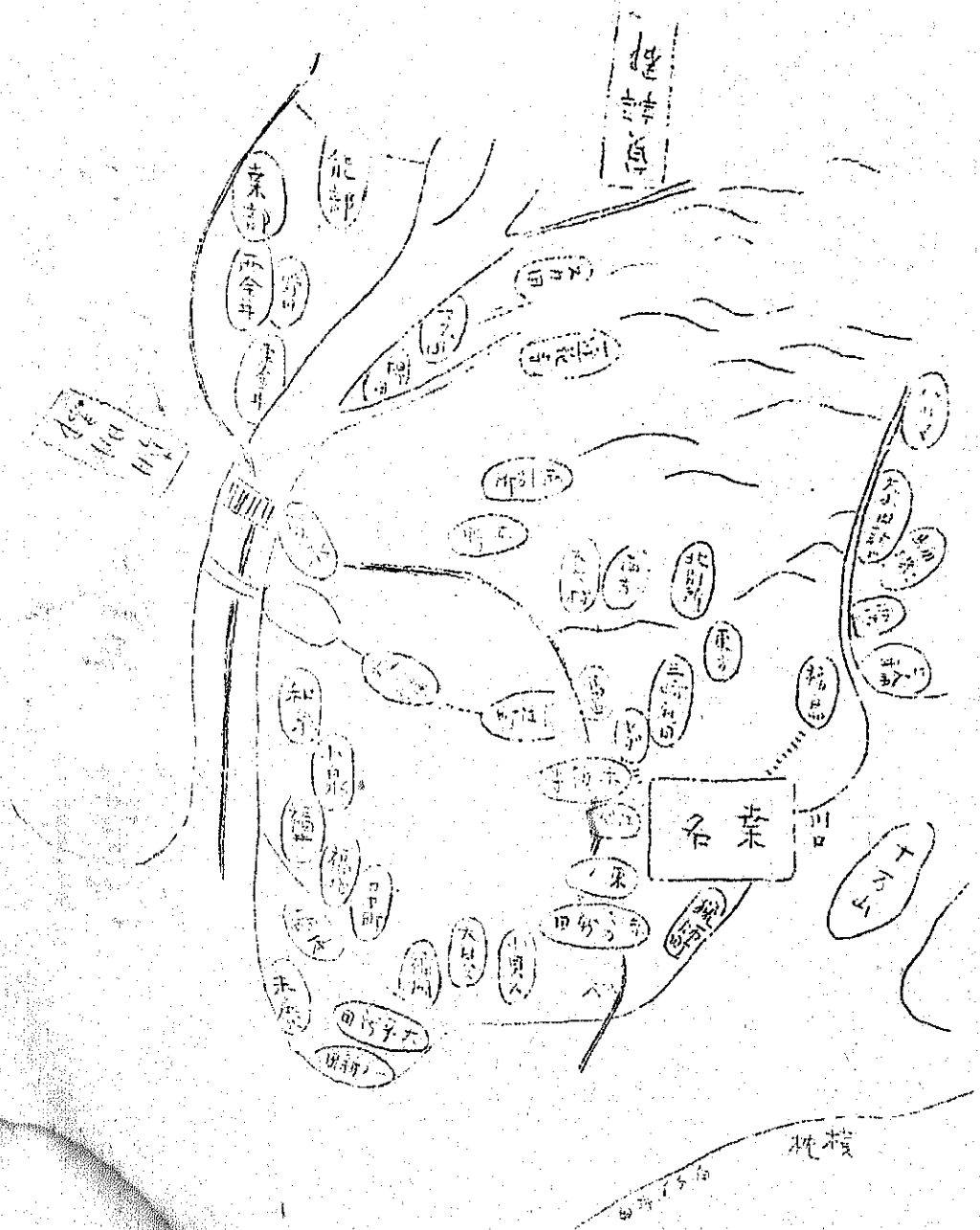
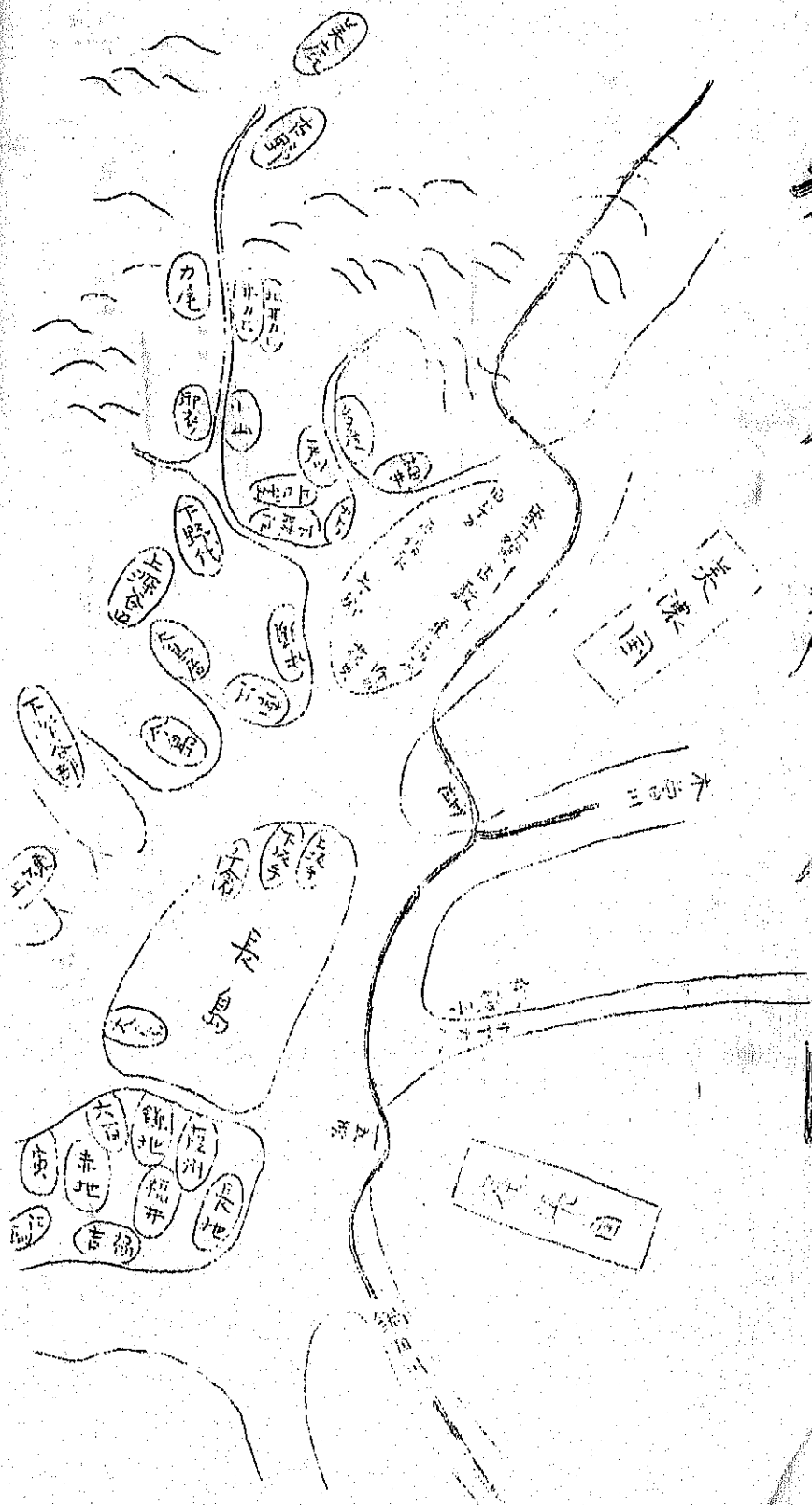
界

畧

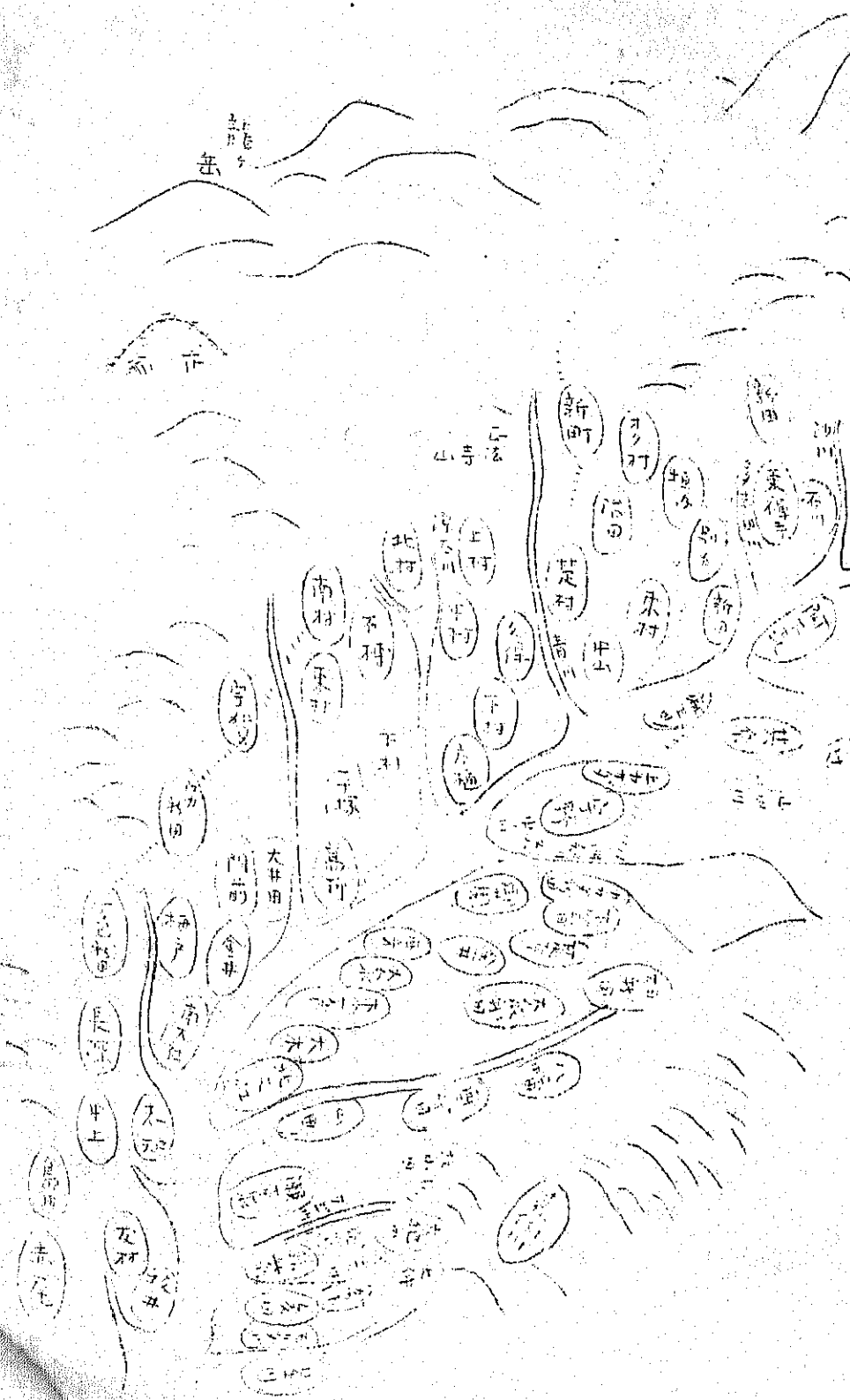
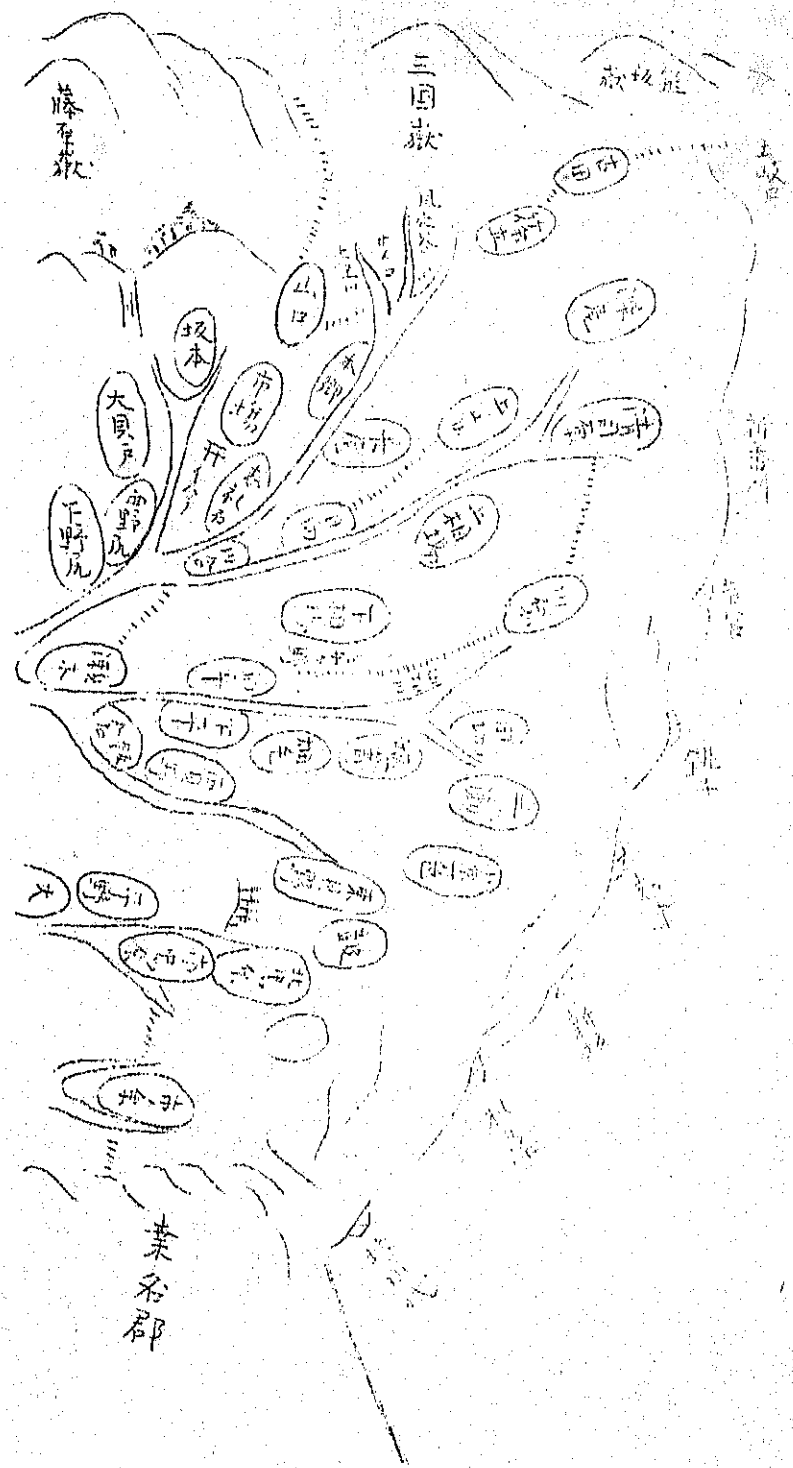
圖



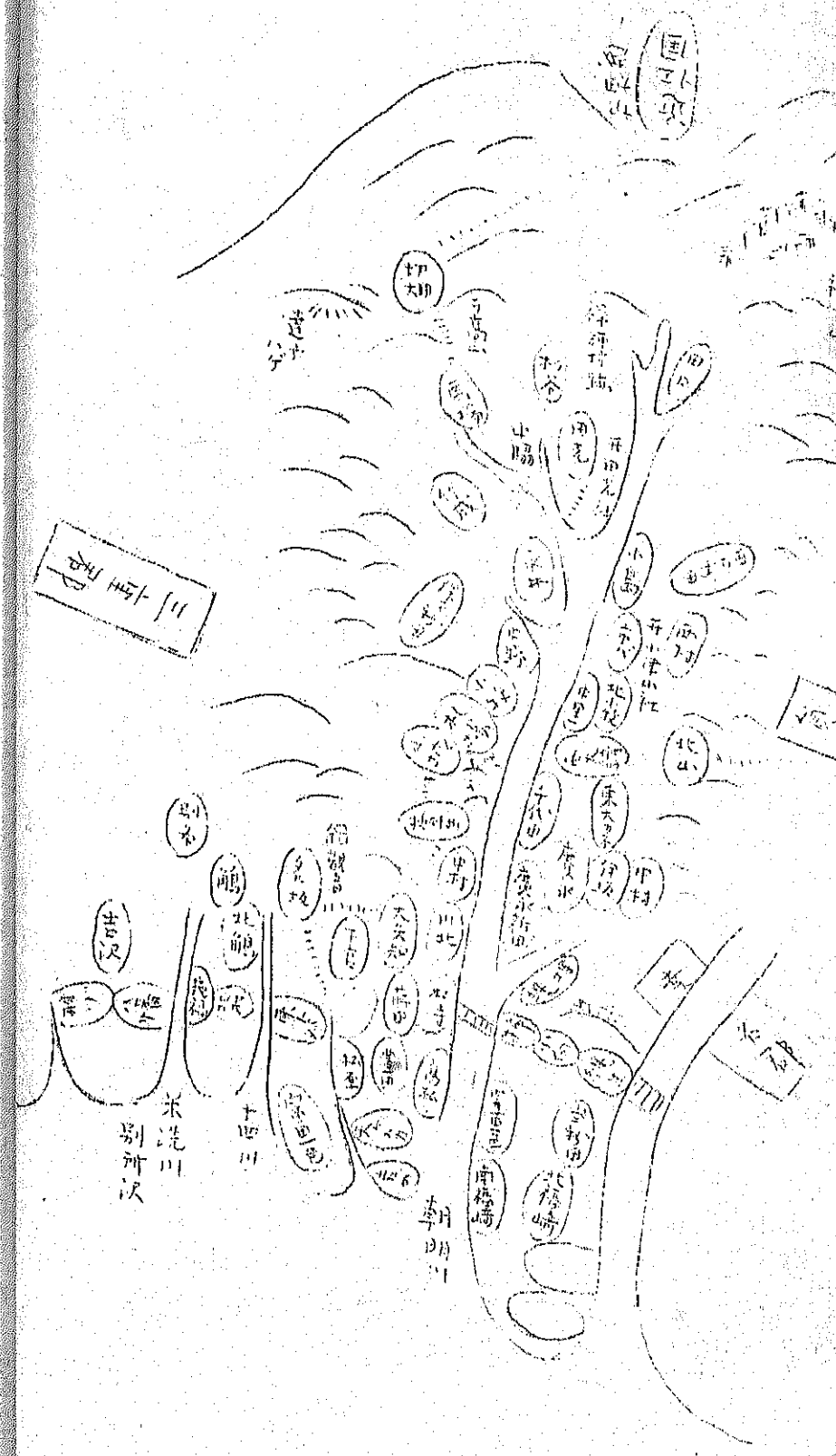
桑名郡全圖



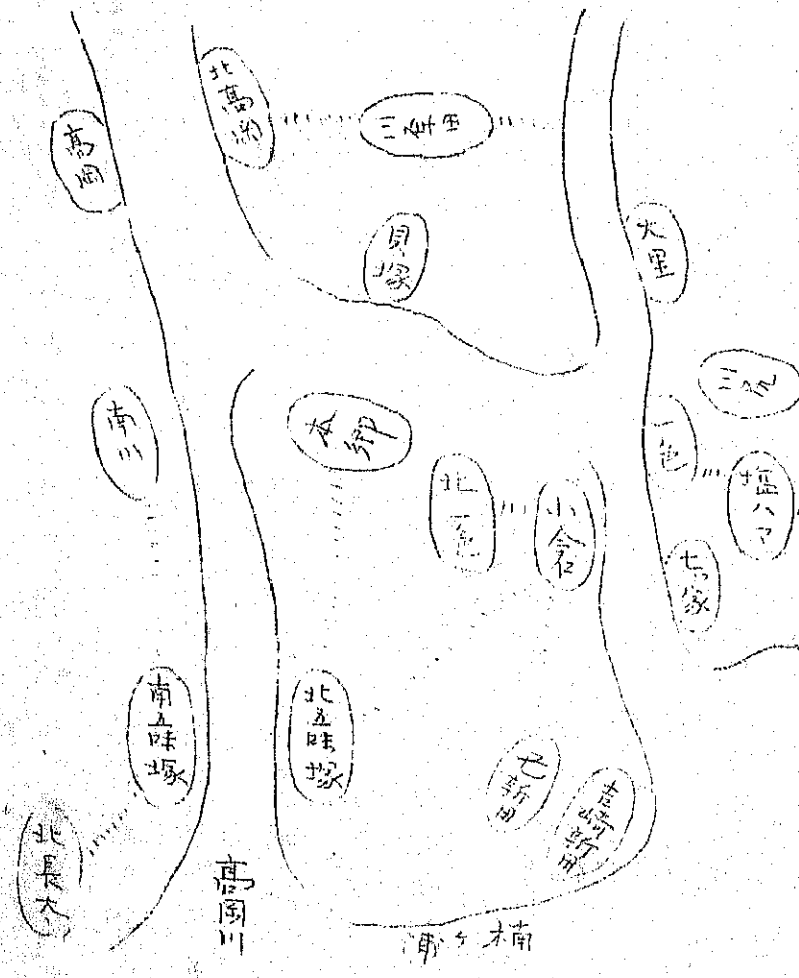
員辨郡全圖



朝明郡全圖



三重郡楠之郷圖



葉名史料稿卷之一

疆域 郡御在村附

葉名郡

上古国郡ヲ分チ定ラレシ時ヨリ、郡名ナリ日本書記天武帝大友皇子

ノ難ヲ避ケ東方ニ赴マ給フ所ノ条ニ丙戌宿于葉名郡家即停ニ不進丁亥

高市皇子奏言遠所ヲ行政不便臣御近所即日天皇留^{一本、皇}右入不破一七月大

友兵敗自澄九月丙申車駕遷^{宿、葉名}是郡名、古書見エタル初ナリ又續

日本紀ニ

聖武帝天平十一年十月壬午行幸伊勢国一戊申至^ニ葉名郡石上頓舎ナリ延喜

式和名抄拾芥抄和漢三才圖会節用集附録等諸書ニ当国ノ郡名ヲ枚舉

スル皆當郡ヨリ始ル是北ヲ首トシ南ヲ尾トスルナリ和名抄ニ葉名^{久波}奈^{コレ}

郡名ノ唱ハ古今同シ古昔郡ノ疆界ハ伊勢国凡土記致關本ニ葉名郡東

西十二里南北九里海河多而山林少五穀多而民戶富盛トアリ(一葉ニ今

入花葉奈ト書スルモ訓ニ異ナリトナシ)今ノ郡界西ハ員兵郡南ハ朝明郡ニ接シ

此ハ美濃國東北ハ尾張國ニ隣リ東南ハ海濱ニテ伊尾川木曾川其東北ヲ繞ル東西ニ百里
南北モ亦三四里ニ過キス而近來新墾ノ田地其三分一ニシテ以上記所稱里數
或ハ唐ノ制度ニテ六丁一里ナトノ類ニ下且其郡郷分合沿革モ代々アルヘシト
其詳考ハカラス又中古横郡ノ名アリ長島記ニ寛文四年

御朱印被下ノ時長島ノ城主松平佐渡守殿ヨリ伊勢國横郡長島トノ
書出シテアリ其時奉行ハ小笠原山城守長永井伊勢守廉ナリシカ不審アリカ
地勢ハ長島ノ東北ノ川ハ大ニ西南ノ川ハ小ナリ伊勢ニ屬スヘシト議ニテ伊勢國

桑名郡長島ト被定御朱印下サル此ヨリ横郡ノ自ハ上祭ス

一由輪 千倉村一由輪ナリト云和元年一由輪ニ成其祭堂ニ所ヨ今ニ由外面村祭堂云
又下坂子村 杉江 松木 新所 西川 諸村ヲ當陣三ノ石ト云テ一由輪ナリシカ今ハ此由輪ト云

按ルニ横郡ハ定リタル名目ニテハアルマシ下ニ見エタル道前道後ノ郡ナト云教
當國ノ諸郡皆東西ニ堅ニ列ス独當郡其東北ニ横ニ列スルヲ以テ横郡ト稱
稱セシナルベシ今桑名城下三崎通ヲ元禄頃迄ハ横郡町ト稱セシモ長島
計リテ横郡ト稱セシニ非ルコト明ナリ又此町ノ名ノ廢セシモ寛文ノ頃ノ御朱印

ニテ横郡ノ自廢セシヨリノ事ナルベシ此ヨリ信長記ナトニハ尾州海西郡ナリトテ尾州
西方ニ稱セシナリ又土人ノ説ニ今ノ城下ヨリ北方ハ尾張海西郡ノ地ナリ故ニ村々皆ハ
宮ヲ産土神トス是尾州熱田ニハ劔宮アルヲ以テナリ南方ハ伊勢國ノ地ナリ故ニ皆
神明宮ヲ産土神トス是其證ナリトイヘリサレモ此地ハ河中ノ洲渚ノ地ニテ上古郡
ヲ分テシ頃ヨリアリシニモアルヘカカラス亂世ニナリ土人尾州ニ屬スルハ尾州ト云勢州ニ
附スレハ勢州ト稱セシナルベシ産土神ナト堤防ヲ築キ村々落ラナシ頃ノカマニ
祀リシモノナレハソレヲ以テ國郡ノ分界トモナシカクカルハシ今ハ木曾川ノ北ニ
五明村アリ此ヨリ以南ヲ當郡ニ屬ス

壬代ノ制郡ノ下ニ郷係アリ當今其利廢シ古名ノ存スルモアリ又私ニ稱スルモアリ
和名抄ニハ郡郷名五ヲ載セテリ而後來稱スル所異同ナリ下文ニ詳ニス

野代 乃之 和名抄ニノスル所ノ一ナリ今野代村ト云アリ是其所ナルベシ倭姫世紀
ニ大神官御鎮座アリ野代ノ官ノ旧地モテリ今ハ大官トテ小社アリ

桑名 桑名 和名抄ニハスル所ノ一ナリ今城下中ノ辺ヲ云ニシナルヘシ中古ハ三ヶ村坂子村

ナト統セシ由出入ノ記ニアレハ素名ト統セシコトハ古書ニ見エヌ素名トアル多クハ
郡名ノミナリ春日縁起ニ素野トアリ是ノ外ニ據ル所ナシ 此縁起疑フベキ事ナシ
春日社ノ下ニ載ス

額田

尾津

多 和名抄ニノスル所ノ一ナリ今当郡ノ西端ニ據田村ト云アリ古名ノ遺也
尾津神社アレトモ是亦古今ハイツレノ神ナルヲ詳ナラス日本記ニ 皇行 日本武尊
伊弉伊勢而到尾津昔日本武尊向東之上載停尾津濱而進食是時解一

到置有妃下遂忘而去今因於此劍狛有故歌曰鳥波利頭多陀頭霧伽幣流比
甚甘免麻菟河波例比等也麻菟比皆理阿利勢宿岐農岐製麻等之場多知波聞摩
之場トアリ当郡ノ内ニ御衣野村アリ尊ノ遺趾ヲ傳ヘ太刀懸ノ妃ナト云アリ其所ニ祀ル

ハ叙官ヲ尾津ノ神社ナリト云ニ津村ノ者ハ其村ノハ幡官ヲ尾津神社セト云又小山村
ニ尾津社ト云地名アリ今年顯元正ヲ祀ル或人ハ尾津ハ尾津ノ訛ナルヘシトイフ古ヨリ尾津

ノ津島ヘワケリシ津ニテオチカニ比リ多摩山ノ下ナリ古ハタタ度山ヲ尾ノ山トイハル此
タリヲ尾津ト云シニテ此數廻ハ比日尾津ノ地ナレハ其神社ハイツレナルカ知ヘカラ

ス又尾津ハ尾津ニテ字ノ訛也ト云ナリト云サモアルヘシ然ニ東鑑ニ富津三郎ト云人当
郡ニ住セシコト見エタリ又神鳳抄ニ富津御厨東富津御厨トアリトゾト唱ヘシコトモ近キ

世ノコトニハアラス （尾津トカアルヲトホツトヨミアマツクルナルヘシ今尾津トカキナ）
（尾津トカキナ）
（尾津トカキナ）

熊口 久末 此亦和名抄ニノスル所ノ一ニテ今其地未ル所ナレ以上ノ五郷其疆域分界
未フヘカラス當今統スル所郷名五アリ

舟渡郷 素名東方上ノ 福島ノ西村ヲモ野代徳蓮寺縁起ニ倭姫舟ニノリ至フ
処ナレバトテ舟渡官トナン云トアリ

神戶郷 別所蓮花寺神田上野太夫西方末野本願寺江場赤須賀大田大貝須
小貝須大福安永和泉福江ノ十七村ヲ云安末内ニ播磨村西東以上蛸塚上下深

谷部或ハ舟渡郷ノ四村ヲモト郷ノ内ナリト云

按スルニ殘故土記ニ神戶園ト云アリ是郷名ノ概ル所ナルヘシ今江場村ノ南田間ノ小川ヲ神戶川
ト云ヒドト唱フサレモ郷名トナセシハ何ノ頃ヨリニヤ詳ナラス

香取郷 美鹿古野御衣野小山上下肱江香取ノ七村ヲイフ

在善郷 糠田増田、二村ヲ云増田津流寺寛文十年本願寺免許狀ニ執方州ニ本郷
増田庄在善郷糠田村津流寺トアリ

多度郷 旧記ニ見エタシト今ハ林セス

申世以來庄ト林スルモノアリ廣狹一テラス或ハ二郡ニ且ルモアリ又一村ニトマルモ
ナリ今今其制ハ廢スルモ古名ハ存セラルモ郡ニ林スル庄名凡三

益田庄 東鑑ニ嘉禎四年二月十六日從五位下行藤崎守藤原朝臣行村卒于時
在伊勢国益田庄トアリ又親基日記寛正六年奉書事書ノ内ニ益田庄事
堅可申付、由見エタリ又城下段屋町大園寺付物十五竹相集書ニ應永十
五戊子卯月八日至廿八日供養伊勢国桑名益田庄ニテ村高自田鏡智山ト
アリ丹波代記ニ益田庄ハ八郷ハ三崎、三郷ニ大田金井桑部別所増田ナリト
云増田村ハ庄名ノ拠ル所ナルケレト其他、六郷一書ナリ地勢連續トス尤モ戦国村重
モ稀ナリ頃ノコトナルヘケレト他ニ所見ナレ何、拠ル所ナリラズ今今林スル所
ハ北ハ美濃ノ国界ヲ限リ東ハ伊尾川通り海ヲ際リ西南ハ古野ノ美濃貞并郡
ノ嘉例川及田穴太筑紫長深中上赤尾桑部金井当郡ノ安永和泉福江

町ノアタリ迄シ云

梅スルニ庄ハ郡郷ナト、ナリ 王朝一定ノ制度ニマシテ諸郡封邑、林ミテ今ノ私領ナト、類ナレ
大小モ一定セズ管轄スル所モ時ニヨリ異ナルコトエアレハレ

香取庄 東鑑ニ文治元年十一月十二日伊勢国香取五ヶ庄ヲ大井兵三次郎安貞奉ニ
給ル又伊勢軍記ニ頼朝命加藤判官景康比因、守護トシ地伊勢五郡ヲ恩補シ香
取庄深谷ニ任スト見エタリ深谷ハ今ノ深谷郡ナルヘレ五ヶ庄ト云モ五ヶ村ノコトナルヘレ
其疆域ノ詳ナルニルハカラスト屬モ其大畧ハ見ルヘレ權記長保二年七月廿七日左
右轉・内右右有即奉被命云伊勢国左代々相傳ニ處公驗明白也本作田非
幾而國司終申於公家云左目ハ請作公田百六十町不并所當官物仍軍遣國使不
能弁申爲宗道遊給檢非違使令備并件官物云云仍明曉使官人ノ蒙宣旨上可
四縣下之、後世此庄名ヲ廢シスヘテ益田庄トスル何時ニ始ルラミラス

間木庄 伊勢諸雜記ニ間木庄ハ御衣野村ニアリ今横山下林ス殘故以土記ニ横山是
ナリト下然レ此庄名亦他ニ所見ナレ

梅スルニ長島及諸新田郡名サハ近古定リシ程、コトナシハ郷庄ノ名目ナトアルハキニテラス但土人
 長島ヲ總林シテ川内ト云鎮護寺ヲ川内御座庄トシ川ノ中閘ニ立テテアリ本願寺ノ寺院ノ
 休像ノ重書ニ伴勢國横御川内某村某寺ト書キタリテ皆土人ノ私記ニ現レルモノナラズ長島
 ノ一名トイフヘレ因テ此ニ附ス 本全郡 村里ノ教勢陽雜記ニ素名郡ハ十三ヶ村外小村三トアリ元禄丁ニ
 御改繪圖ニ百四ヶ村トアリケレモ其後迄々新田精テ村教モ増益ス今今

- 東寺町 東寺村 北別所村 西方村 端村坂下 福六村 福小島 端村中江 大山田新田
 上輪新田 東込上村 西込上村 蛸塚新田 上深谷部村 端村一 下深谷部村 工組
 今島村 下野代村 大島店村 南郷村 戸津村 中須村 香取村
 柳井村 端村一 正橋寺 多度村 上臈江村 下臈江村 小山村 端村三北小山 東条 大久保 柳衣野 端村一 馬道 観音下
 力尾村 猪飼村 北猪飼村 古野村 美茂村 本願寺村 大貝須村
 江場村 端村武掛施 八幡殿古 東野村 猿師町 赤須賀新田 小貝須村 大貝須村
 福本新田 太平新田 本廣新田 福園新田 福地新田 萱町新田
 福江新田 小泉新田 和泉村 安永村 大福村 矢田村 大夫村

- 上野村 野田村 東金井村 西金井村 素部村 籠部村 神田村
 西別所村 蓮花寺村 増田村 糠田村 横枕新田 近年改田 白鷺新田 野田村
 名江村 石垣村 上郷村 福永村 東福永村 西平賀村
 東平賀村 古敷村 油島新田 金廻村 江内村 以上諸村御田領ノ 長島御田領云地ハ本 又木村ノ内ニテ町ヲ押付村トヨリ 新田ノ分ナリ 大嶋村
 駿江 本大島新 田ト云 松ヶ島村 上野村 又木村 殿名村 出口村 三家村
 細布云 三家八押付村高ノ村ニテ字ナリ定勝公兼領ノ時長嶋縦横ノ流ヲ築キ
 第一曲輪ニササレ三時此処ニ小屋ヲ三ツ作り堤普請ナサレヨリ三ツ家ト呼来リシト
 北島村 元東川 村ト云 壇 壇 高座村 中川村 西川村 杉江村 松木村
 上坂手村 下坂手村 千倉石村 泥脇村 平方村
 遠浅村 今西靴 村ト云 城池家中ノアル所ナリ 遠浅築戸北島三ヶ村ヲスヘテ西外
 面村ト云

新庄村 櫃村

笠松繪圖ニノスルモノ 本 皆長島以東ノ新田ナリ

葭ヶ洲 長地 赤地 六百 鎌ヶ地村 豊松 福井 五明

篠橋 元長島一揆ノ城モアリキカ
川久ミテ今名ノミナリ 加路戸

元ハ民家八百余モアリトシテ庭訓往來ニ尾張八丈自加路戸織出トテ是也天正
十三年酉年大地震ニ地陥リ沼トナリトゾ

大新田 外平地 近江島 西對海地 東對海地 田代 雁ヶ地

福寄 見入 和泉新田 昔ハ社屋
新田ト云 小林新田 小和泉 中和泉

子新田 加箱 三好 富島 稻荷寄

長嶋記ニノスル所ハ

姫御前新田 細布ニ 新田築立ノ時定政吾腹ノ女子生レタマウ仍テ此新田

ヲ校進仍テ

十日新田 押付村 是ハ長島町
細布昔ハ民家アリレカ淡水ニト夫ノ殘民今ノ所
屋トナル地ハ又木村ニシテ屋障ハ押付村ノ郷村ナリ

細布ニ長島昔ハ紀ノ島 西外面 一曲輪 千倉村 一曲輪ナリシヲ元和七年一曲輪ニ成其鼓木原ニ
傳今ノ外傳村鼓木原ト云々正長島村江紀ノ木 新左衛門詠ヲ傳津三右ト云々曲輪ト云々今ハ皆一曲輪ト云

按ニ細布云福至北野河原久五明ハ元尾州ノ地ナリ然レ沼家ニテ石ノ時長嶋計テハ

不足ニ故尾州海西郡ノ内水ヘ長島領ニテトナサレシカニ知ノ頃尾州一國ヲ忠告

郷ニ給ヒシ時其地ハ召上ラレ代地ヲ濃州安八郡ニテ被下シトキ川並ノ所ハ其マノ長島

領存勢ノ因ニ属セラレシトゾ

負辨郡上古國郡ヲ分クシシ仲ノ郡名ナリ民部省式ニ存勢國負弁郡名

抄云伊勢國負弁郡 倍為奈 ト見エタリ古郡ノ疆域ハ存勢國凡上記殘缺本ニ負弁

郡東西一里 一本ニ 南北八里海河多而山林出樹木土地豊饒也但不出大竹魚鳥禽

獸キ不ナトアリ 文明元年中原師行
ノ本存勢凡上記 負辨郡東限 箕田川 西母貫木山南限 取田

郷 未善書入取田郷今ニ繩生カ
黄全繩氏此処ヲ渡海ナリ 北限 浮木川 又松杉竹梅 刺木 栗 及 河海鮮魚

野鳥等亦織 昆綿衣 一本ニノ内藏室其在馬寮觀
一ト云 時ノ郡界ハ海濱ニ及ハス海多ノ語通シカクシ上古

ノ郡界ハ海濱迄モ及ヒシニヤ又ハ此風去記殘缺ニシテ錯簡モアリレヤハカリカクシ

當今ノ疆域ハ西北高山連亘ニテ近江國ト隣ル東北ハ多度山ニテ少率通

以テ美濃國ト界ク分ツ東ハ桑名郡ニテ南ハ朝明郡ニ接ス東南海ヲサレ

二ト一里餘ナリ

一 郷名和名抄ニ出ルモノ凡五ツアリ

野麻

郷残缺凡土記ニ野間池アリ此是郷中ノ地ナルケレモ其地詳ナラス

北勢古志ニ野間池ハ今ノ笠田ノ大淵ニトナルヘシトイヘリ古谷双紙ニ鼓村中津至
一市ノ草宇野笠田御園楚系麻生田子野諸村ノ辺ヲ以テ此郷ニアツ此辺ハ多
度山ノ南麓ニテ高岡ノ地ナレハ山ノ郷ト云意ナルヘシ

笠間

加佐 今笠間村アリ郷名ノヨル所ナルヘシ今笠間村辺ヲ梅戸郷トヨフ

神風抄ニ笠間御司職田六丁笠間御所
官神田一丁トアリ其所菅ノ村落未ハカラス

石加

以之 今ノ石川村其名ノ残り訛レルナルヘシ

美耶

此郷何ノ地ニアルカ詳ナラス神風抄ニ官郷内官神田官郷司職田

官神田官村御園ナト見エタリ北勢古志ニ八當郷ハ郡ノ西北ノ隅ナルヘシトイ何
地ル所ナルヲミラス

久米

久米 神風抄久米郷外官神田ニ及同郷用永丁久米郷司職田ト見エタリ

当今ハ志知島田友坂井赤尾金井野田栗部能部ノ村々ヲ久米郷トヨフ 栗部ニ

全井栗部能部五村今 栗部ニ

右五郷當今用ユルモアレバ古ノ分界ハシルヘカラス後兼用ヒ称スル所ハ郷アリ

按ルニ文明元年中平師行東風土記当郡ノ内ニ香禰郷公穀ニ百六十東三毛五字田後栗部百七十九トリ
百六十三日貢黍稷粟稗等香禰郷公穀ニ百八十六東三毛五字田後栗部百七十九トリ

然任凡土記錯簡甚多ク在爲定信

笠田郷

神風抄ニ見エタリ今ノ笠田村ノコトナルヘシ

阿下善郷

阿下善瀬木飯倉ノ三村ヲ云

田切郷

下平貝野畑毛塩崎田辺ニ瀬小糸一色ノ八村ヲ云

丹生川郷

今中村久保村上村下村等ノ諸村ヲ云

北郷

上山田河合日内長尾ノ四村ヲ云

相場郷

相場清司奈ノ西村ヲ云

治田郷

治田角大村東村中山別名垣内林麓村新町等ノ諸村ヲ云

梅戸郷

梅戸 大社 金井 笠間、諸村ヲ云

大泉郷

大泉 東一色 西方、諸村ヲ云

此當郡庄ヲ称スルモノ一ナリ

志礼石庄

今當郡ニ志礼石新田アリコレ其親村ニラ左名ノ惣ニ所ナリ其疆域東

ハ葉名郡増田ヲ限リ南ハ朝明郡ニイタリ阿下吉瀬木飯倉下平貝野畑毛塩寄
田辺ニ瀬小原一色上山田河合日内長尾相場清司系篠立吉田深尾
ノ諸村ヲ志礼石左ト云東鑑ニ文治四年地頭職目録ノ内ニ伊勢国志礼石ノ御厨字
ハ輪田右馬允不当地之事トアリ同書百二同六年造大神宮事書ノ内ニ志礼石ノ
白瀬トアリ宗紋東国紀行ニ十月晦日頃伊勢白瀬ト云里マテ下リシ日ニ大泉
迄ト見エタルハ此志礼石ノ事ナリ
一全郡村里ノ数勢陽雜記ニ負弁郡百村トアリ元禄十三年御改圖ニ百八ヶ村其後
進々新田モ闢ケタリ

星川村 嘉例川村 森林忠村 芳賀崎村 大仲新田 五又田村 筑紫系村

穴太村 瀬古泉村 山田村 六把野新田 北山田村 西新田 八幡新田

東一色村 端村ニ下田前同 暮明 西方村 端村ニ上軒屋 金井村 大泉新田 畑新田 柳園村

楚系村 笠田新田 下笠田村 宇野村 上笠田村 上林生田村 片植村

石樽下村 同東村 同南村 同北村 丹生川 久保村ト云 北村 丹生川下村

同中村 同上村 東禪寺村 石川村 下野尻村 庄野尻村 大貝戸村

坂本村 山口村 本郷村 市場村 志礼石新田 川合村 下相場村

日内村 長尾村 上相場村 端村 東野 上山田村 篠立村 吉田村

深尾村 清司系村 上組 下組 川系村 千司久連新田 田辺村 二瀬村

小原一色村 塩崎村 畑毛村 上原野新田 向平村 下平村 瀬木村

阿下茂村 飯倉村 西貝野村 東貝野村 鼓村 大辻新田 平野新田

北中津系村 南中津系村 其系村 市系村

他領ニ属スル村里凡世一村
一本ニ小島 神大井田御厨 久保村 大井田村 一作 大炊田 門前村 一色新田 坂井村 友村

赤尾村 鳥田村 神ノ御厨 中上村 志知村 長深村 神ノ御厨 南大社村
 北大社村 大木村 大泉村 金井村 山城 梅戸村 高柳村 平塚村
 宇加良村 神ノ御厨 同新田 中山村 治田村 神ノ御厨 東村 林下村 新田
 別名村 神保ハ別名 垣内村 ラク村 新町 松名村

朝明郡 古ヨリノ郡名ナリ民部省式ニ伊勢国朝明郡和名鈔ニ伊勢国朝
 明 阿佐 拾芥抄ニ朝氣郡トアリ日本書紀ニ天武帝大友ノ難ヲ避ケ東国赴
 牛給フ時於朝明郡迹太川辺望拜 天照大神又

聖武帝記ニ從未坂發到朝明郡トアリ神宮新例集ニ信實仁三年九月十一日行宮
 三重朝明謂之道前三郡也

按スルニ伊豫ニ道前道後ノ稱アリ今道後ノ湯ナトミニナリ南海道記ニ道ノ右ノ前ト
 道ノ左ヲ後トストアリ雜例集ニ度會 飯高一志ヲ道後ノ郡ト云フモ見エタリ於度郡
 ノ国行ヨリ上京ヘノ道ノ左右ヲ今テカク稱セラルヘシ東鑑ニ久三斗ニ伊勢国道前
 郡政所職トアル此ニ郡ノコトナルヲニスノコトナリト假テ付テ三重郡トコトトナシタルハ
 本ニ神風物志スル所モ詳ナラス或ハ海郡ノ籍ナシトモ云フ

右ノ郡場疆域ノ大小ハ風土記残缺ニテ詳ナラス當今ノ疆域ハ西ハ切畑山ノ谷道近江国
 トサカヒ南ハ三重郡北ハ負弁素布ノ二郡ニ建リ東ハ海濱ニ至リ東西六七里南北二
 里ニ過キス

按スルニ神名帳ニノスル當郡神社甚多ク又下文ニアケタル郷名モ亦多シ此ヲ以テ
 ミルニ古今疆域ニ廣狹アリトシルヘシ

一 郡名和名抄ニノスル所ノモノ六ツ

田光 多加 今田光村アリ切畑田口小島ニ是セテ田光郷ト稱ス
杖部 鉢世郡 多加 今其アル所ヲ詳ニセハ
額田 多加 今ハ茂福北村羽津白須賀八幡吉津別名下宮重坂十
 村ノ十村ヲイフ

大金 於保 加祿 今東大鐘西大鐘也 西村アリ此其郷名ノヨル所ニテ其邑至平津
 中村ノ三村ヲ是セ大金ノ郷ト稱ス

豊田 此誤 今豊田 豊田一邑ト云アリ此其地ナルヘケレトモ其疆域ハ詳ナラス

訓西朝

倍

其地詳ナク古谷双紙ニ神鳳ノ實辨郡米御厨トナル即チ久保

米ノ訛リニテ此郷ノコトナリ其地ハ近喜式ニ足金細敷ノコトニテ今ノ繩生村

ナルハレ其地ハ昔郡ニ隸セシカ後ニ八貝弁郡ニ入りシナルヘント云未詳是否

丸岡郷

竹成 中脇 馬場 杉谷ノ四村ヲ云

保々郷

保々 小牧 中野 市場 西村ノ五村ヲ云神鳳抄ニ實辨郡ニテ保々

井出郷

永井一村ニテ稱ス

弘永郷

弘永山村ノ二村ニテ稱ス

園田郷

埋繩ノ一村ヲ云

高松郷

土人所傳 高松豊田 南福山奇ヲ稱ス

今村郷

柿 松寺 廿時田ノ三村ヲ云

富田郷

富田富田一邑 天ヶ須賀 松平ノ四村ヲ云

土郷

小向村ヲ云

按ニ此村ノ西山垣土ヲ産ス昔モ此ニテ陶器ヲ製セシ由今多ク和國産ノ一

又小向郷

氏林ノ親元日記ニ朝明郡小向郷ハ山本兄弟跡敷ト見エラリ

柿郷

康正三年遠内裏改錢 是國没引付ニ伊勢國朝明郡柿郷改錢トアリ

金細郷

北福寄繩生 常新田 龜須 龜崎ノ五村ヲ云金細ノ名神鳳抄近

喜式

康鑑等ノ書ニ見エタリ今ノ繩生村ノコトナル由前ニ出ス

一當郡

庄ト稱スルモノ凡セツ

平石庄

竹成 中脇 馬場 杉谷ノ四村ヲ云

下野庄

西大鐘 北山 山城 中里ノ四村ヲ云

繩積庄

伊坂 千代田ノ兩村ヲ云

引田庄

埋繩ノ一村ヲ云

曲豆田庄

豊田 福寄 高松 川北 大矢知 富田 富田一邑 天ヶ須賀

松原

松寺 時田 柿ノ十二村ヲ云 土人ハ西ハ西大鐘村ト稱シ北ハ龍部ヲ限南ハ

羽根庄

北福寄繩生 小向 常新田 龜須 龜崎ノ六村ヲ云繩生天神元神

奉加帳ニ南左北羽根羽根や一越ナド統スル所ナリ庄名ノ屋所ナレハレ

富田庄

東鑑文治三年路次雜用目錄ノ内ニ富田庄院ノ御領ト見エタリ今ノ富田村ノ下ナルハレ然レ庄名今ハ世田ノ庄ト稱シ古名ハ用ヒス

庄長庄

康正三年境内裏段錢并園役引付ニ伴勢國朝明郡庄長庄段錢トテ其地詳ナラス

一當郡管スル所ノ村里ハ勢陽雜記ニスル所凡五十六村内ニテ所ハ一折ニ西村宛アリト云元禄十三年改圖六十二村トナリ上今ノ一折ノ内ニ九村ナリ

- 當新田 北福寄村 龜尾新田 西尾崎新田 鹿崎新田
- 南福崎村 曲豆田村 曲豆田一色 高松村 葭野新田 天々須賀村
- 大郡左衛門新田 善平新田 富田一色 松原村 東富田村 御厨
- 北村 茂福村 八幡村 豊廣新田 羽津村 土呂沢村
- 北鶴村 西富田村 蒔田村 松寺村 柿村 小向村 御厨
- 龜生村 金綱御厨 北村 下宮村 鶴村 別名村 埋堀村

三重郡柳郷

(此所補郷地名ニ見エタリイナラ考ヘシ)

- 皇取村 大夫知村 大知御厨 平津村 中村 萱生村 山城村 札場村
 - 小牧村 切畑村 中野村 保々新田 永井村 神一御厨 竹成村 中脇村
 - 馬場村 田光村 杉谷村 田口村 御厨 田口新田 小島村 神一御厨
 - 西村 市場村 北小牧村 中里村 北山村 西大鐘村 東大鐘村
 - 千代田村 廣永村 廣永新田 伊坂 山村
- 當郡管スル所元禄十三年改九十一ヶ村御旧領ノ時スヘテ廿三村
- 東日野 西日野 八王寺 空山 小古當 大治田 糸木女 六名 川尻
 - 小倉 北五味塚 南五味塚 南川 本郷 北一色 瓜生 石草
 - 新田 知積 千種 音羽 岡村 福松
 - 當今所管 小倉 吉崎新田 北五味塚 南五味塚 南川
 - 本郷 北一色 川尻 八村ナリ

(柳郷古一ハ小ハ一湊ヲ在名草浦トイテ姓古長太。江日野ハ江大江ト又三ツノ江日一及三ノ江トイフ)

業名史料稿 卷之二

興替部 古代領主次第

四十八家之事

一本 長島一揆ノ

古代領主次第

業名郡上古ニ業名首天比之久比命ト云人姓氏録ニ見ヘタリ是当郡先祖ナルヘシ 北勢古志ニ業名神社ヲ此人ヲ 又神鳳抄ニ新大神宮御領注文ニ業名郡福光高若永西林若木富津奥村八太末長橋東津梅田若江奈子名越多度トアリ又神宮雜例集云延暦廿二年四月十四日格ニ業名神戸五戸又一神田事伊勢国世二町一級業名鈴鹿西郡各一町下 其多ク神領タルニルヘシ 平治ノ前後久ク当國ヲ領シ伊勢平氏氏称ス其地当郡ニ業名三部行政富津三部綱維ト云人アリ行政ハ今ノ東方村ニ住シ綱維ハ尾津ニ住ストイヘリ 拾ニ業名富津系ナリ郷名ヲ称スルニハマルヘカラス然ラハ東ナニ住テ業名ノ名ノルハキニモアラス 且東鑑ニモ見ヘタルノニテ其頃富津トノ稱シ尾津ノ名廢セシニ尾津ニ住ストモ疑ヒキ説アリ 此二人ノ姓名東鑑ニ見ヘタル事實ハサカナラヌ平家滅亡ノ後当國ハ鎌倉領國ニテ加藤判官景康守護トテ北伊勢五郡ヲ恩補セシニ香取左深谷ニ住ス

当郡ハ神宮領ナレハ國主ハ替ルトイヘ氏武家ヨリ更ニチヲ入サル由伊勢軍記ニ見エタリ (一本ニ横山記 弘治三年江州象) 又東鑑ニ文治元年十一月伊勢国香取庄ヲ

郷ヲ大井兵三次郎実春ニ給ル川越本郎重頼所領ノ内ナリトアリ景康恩補ノ前後詳ナラス又同書日ニ嘉禎四年二月十六日從五位下行院岐守藤原朝臣行村卒

于時伊勢国益田庄ト見ヘタリ此郡ニ住セシ人ナルヘシ 一本ニ彼大系團ニ行村ハ白尾三部紀伊守行久伊勢国深谷部御地頭トアリ 公貞辨郡ハ上古ニ猪名部連ト云人アリ

当郡ヲ領セシ人ナルヘシ 一本ニナレ 其後頼聚国史由地部天長五年十一月丙申伊勢国實弁郡空閑地一白町爲勅旨田トアリ又三代實録元慶八年三月廿二日

定大嘗会因修紀伊勢国實弁郡主基德前因和氣郡並ト令十一月廿三日大嘗会記其知修紀伊勢国實弁郡主基德修紀伊勢国实春因俗歌舞日尊以修紀国所献衣被賜親王以下五位上ノリ

一日本記皇行帝十八年造物部寛代宿祢依行勢朝日部子寛代宿祢不取連擊天皇贈之 怒奪守寛代宿祢所有猪名部賜抄部目連トアリサレハ是迄ハ莫代領セシモノナリ

当郡ノ方領ニ猪名部財麻呂ト云人アリ貞觀ノ頃其孫春澄善言領地ニ生レ後京師ニ移女員セシ由三代女員録ニ出タリ 此地ニ生レシ人ナレハ其父モ三郡ノ人ナルヘシ雜例集實弁郡廿一町五段一百八拾ノ以ニ段爲供田一段 代田 四十一町一及 此内三町天曆七年正月廿八日大嘗会大内院中理任奉加云又大神官諸雜事記云天慶四年三月廿八日

賀井郡被奉寄大神宮

今号新

依將門追討之御祈禱也又日本紀畧天慶三年

八月奉幣於伊勢以下諸社奉封戸廿五於清水八幡宮依其亂也

武本云奉新例集

二大政官符民部省應奉加寄伊勢大神宮壹郡共封戸事

三十八年從三位守大納言兼右近衛大將行陸奥出羽按察使藤原朝臣實賴

宣奉勅件一郡共封戸宣奉加寄彼大神宮者有宣承知依宣行之仍須件賀井

郡官舍之親進弘仁八年十二月廿五日格行之符到奉行在少辨正五位下兼行以

藏頭津朝臣天慶三年八月廿七日在大史正五位上大穴窪宿禰

又神鳳抄ニモ大神宮御領事郡ヨハ大谷大泉ノカ和泉南米治田丹生川大井田

高日鶴次梅津志社石野食場今上相場宇野野林全麻生田大泉虎太大基

皆原不禰佐々田小島深瀬片火仁大笠田鼻戸松尾岡本中河長深

志定尾川島守賀阿下喜功田高田官村小田中倉石垣富津島富松尾

保々新菜大止臣小山田ナトモ見ハタリ又寛仁二年大安寺ヲ造ラレシ当國ノ内宮郡信

野牟位隔町四至東鴨社南坂川西出北丹生川按鴨社今在丹生川上村アリ坂川未詳今在神北村ノ

志理斯野百町

四至東山并河南百姓定岡本北川並山按ニ今志社在ニテ八十キヤ松官氏云

阿乃野百町

今有瀬野志是乃神鳳抄之岡本御園ト見ヘタリ此岡本ノコトナレ

西至東百姓銀子田御井南出賀川

西高山北河村登山道

附セラレシコト大少事書書ニ見エタリ平家ノ頃ハ其領

國トテ其士兵衛景清目代トテ當郡ノ志知村ニ住セシ由伊勢軍記ニ見ヘタリ鎌倉

時當郡ノ内田御厨ハ白田山次郎重忠地頭職タリ目代トテ別當ハ正上云者ヲ置

シカ當郡ノ大領家綱ノ郎從ノ家財ヲ奪ヒコトアリ家綱社人ヲ遣シ関東ニ訴訟セシヨ

リ重忠ノ所領治田ヲ没收シ吉見ノ次郎頼綱ニ充行シ家綱カ所領家財ヲ返サレタル

コト東鑑ニ見エタリ又同書造大神官事書ノ条ニ志知石御厨没收領タリトイハレ

院ヨリ本領主ニ給ハル由文治六年ノ下ニ見ヘタリ本領主ハ誰ナルヤ詳テラス又同書三

建仁三年ノ頃進士行綱ト云者當郡ノ郡司タリ

國守渡館ノ夜計入タリシカ行綱カ所為ナリト生ヒス人アリテ囚人トメサレ置ル所伊勢

平氏若菜ノ五部ヲ所行タル由從頼ノ白杖アリテ行綱御免ヲ蒙リ本所ニ安堵ストナリ

朝明郡ハ其古ノ領主シ人詳テラス多クハ大神官ノ神領ナリ神官雜例集ニ伊勢

大神官神田ノ朝明郡西町以ニ段為御田一段又内宮神田ニ朝明額田神田同郡若

某神田トアリ又神鳳抄云大神宮御領ノ保部郡ノ小島長井山村衣平保保
鶴次守頭尾鶴野一昨島田額田田口山田一昨次渡徳志若菜光任小向池
長根石田福永御塩柿山田弘永今度坂部金綱今度大矢智今度清宗寺長橋
富田鶴本能登茂福吉次末永徳勢川永千富開田高野坂木トアリ又建久
四年詔神田注進文ニ朝明郡二町五段寫御塩境神田本官神事勅之六段龍
奈奇神田二町本官分附神田号柿神田一町六段号子良神田トアリ東鑑ニ文治三年路
次雜用トト付京都ヨリ下サル日録ノ内ニ富田左院ノ御領工左藤左衛門祐經カ
知行所豊田庄地頭ハカ藤太光貞穂積庄領所式部大輔維度ト見ヘタリ又同書ニ
元久元年伊勢ノ子良田國ニ蜂起セリトアリ也郡富田ニ進士三郎基度ト云者アリ此歳會
朝政討手トテ美濃國ヨリ攻入先基度カ富田ノ鎧ヲ襲戰ヒ基度并舎弟松本三郎
盛光日四郎同九郎トテ討ス兼元元年十一月基度カ押領セリ八十幡村没收ノ地トテ新地
頭ヲ補セラル處領家ノ女房憂甲ニ付大天孫入道善信ニ仰テ本ノ如ク領家ノ道
止タルヘキ由被仰下建曆三年和國基盛ニ興セリ富田三郎輝力人ニヌラシタル以

御所ニメサレ鹿角ニツ一度ニ是ヲ折ル御感ノ餘リ囚人ヲ免サル一トナト見ヘタリ

按スルニ基度ハ已ニ誅セラリナリ此三郎八何人ニ十一基度ニ富田三郎基盛鎧倉ノ被召村三重郡小幡庄居
サレ浪人ス信田庄六ヶ村工藤左衛門祐經ニ給ケル後自河院御領アリテ後ノ人壽田相摸守被居今
西尾田村三光寺ニ基盛アリト見ヘタリ小幡村没收ノコトハ工文兼元年ノ所ニ
見ヘタリニカラハ基盛ニ基度ノ誅ニテ誅セラレニハアラス 又同書ニ元久三年

登主能隆卿カ藤左衛門阿光負ヲ訴ハラレシ時光自陳ニテ云存勢國道前都政所
職ハ祭主ノ恩顧タルノ間其成敗ニ從フ所也神領ノ知行ノコトハ元ヨリ開闢ノ地ニテ神領ニ

寄附スル所ナリ押領トハ稱レ難ントアリ鎌倉ノ頃也郡ノ領主守茂等ノ知ルヘキ元是等

ニスキハ南北ノ所朝ノ頃ニ至リテハ基國ハ南方ニ属スレバ近江佐々木美濃ノ土岐ト北朝
カトテニハニハ基國ノ攻入リコトナトアレシト事大詳カナルコトハ傳ハラス延元四年南

方ヨリ愛洲宇美ニ基郡ノ地頭職ヲ賜ラ由南朝紀傳ニ見ヘタリ又同書ニ文中元年南方官
軍國司發向仁木ト合戰國司打勝南朝郡ヲ取ル此後世一年ニ南朝亡ニ基郡ハ

足利家ノ侍今ノ領ス其代名ノ古事ニ見ヘタルノ康正三年建内兼段錢美園役引付ニ

戴首又神戶西郎殿存勢國朝明郡戴首又島田藏人殿同國同郡六百五拾文佐脇

三河守殿同國同郡其先祖五ヶ村西八家ノ内ニ沢木宗長ト云人アリ村ヲ領ス沢木佐脇同訓ニ延文ノ三郎

ノ裔ニテ代々村ヲ一母實貳百伍拾之瀬次郎左衛門殿 同國同郡在長左殿 按スルニ長左其地不詳 是レノ子也
領セシモノナレバ
郡ノ内ヲ領セシ人々ナリ (一本ニ建久四年頃吉郡山向全網一郡地頭本間四郎左衛門尉有實
又長官子元年常徳殿江州御勤坐ノ時 足利義 在陣並有到ニ勢州足田又三郎
富永五郎海老名子七 志保弘永ノ海 片山一千三 足利義 在陣並有到ニ勢州足田又三郎
朝倉右京直梅 右京亮トアリ又宗牧記行ニ天文三年十月伊勢白瀬ト云里
遠下リレ由能村兵部少輔一宿ノコト申付ラレトテ飛那井陣正ナヨリ坂口
追迎ニ来ルトアリ此等ノ人々吉郡又自負并郡ナトノゆリ領セシ或ハ其地ヲ名乗又ハ本
姓ヲ稱セシモノニテ其詳ナレハ知レハカラス

四十八家之事

足利家ノ末迄至リ一村一郷又ハ数村ニ割拠ルモノ數十家アリ此ヲ北勢ノ四十八家ト
稱ス然ルニ請書ニ琴ル所大同十異アリ且其数モ四十八ニトマラス 故ク伊勢ノ軍記
ニ收ル者ヲ琴々附スルニ請書所收ヲ以テ且其事實ノ知ルヘキモノヲ其下附載
業名郡ニハ

業名 二伊藤武左衛門實倫

實倫ハ累七兵衛是清ノ孫同ニテ父ヲ実方ト云ハ大永二年没ス慶長ノ頃ハ民間
ニ落タリト見ヘ氏家行廣開城ノ時侯ヲ勤メレ由今ニ子孫地土ト稱レテ帯刀シテ城主ト認メ
猶又人物旧家部ニ詳載ス 按スルニ別封畧伝ニ安永津三郎貞清ノ次子貞清清綱始メテ業名ニ
稱ス代々此住ス其子孫此住ス從フ其分流 業名ト云ハ衛國司其教ノ時吉村ニ居ルト見エタリ 綱綱上
業名ニ見エタル富津ノ三郎ノコト又且其教ノ頃業名ト云ハ外ニテ別封畧伝ハ何トモノニヤ土人
ハ絶テ位フルコトナレ又按ルニ是レノ記録又ハ口傳ニ依フルモノ業名ト云ハ城トテ城ハ種口内藏今三寺可ハ
六部在馬丸 東城ニ在伊藤武左衛門トアリ然ルニ四十八家ト云テテ載ルルハ伊藤モ四十八家ノ
外トナレタルナレ

東方 二渡部掃部頭

此人コトヲ云フ所ナレ旧記ニ田部掃部頭丸中島右衛門トアリ是又何頃ノコトニ
ヤ事實所見ナレ南朝記中島カ被丸ニニ

矢田 二矢田半右衛門

矢田半右衛門後元本姓山内ニテ毛利家ノ侍也父ヲ山内勘解由俊行ト云毛利
揮元ニ仕ヘ之ニ從ヒテ今ノ後元毛利家ヲ止退志同ニ来リ北島家ニ從ヒ後此
矢田ニ住シ近郷ニ雄タリ此時ヨリ矢田ヲ名乗大正五年境川一益ニ攻ラレ走井山ノ城ニテ自殺ス
此支族御家ニノコリ

走井山北辺 二矢田市郎右衛門

今ノ愛宕山ノ墟コトナリ此人矢田ノ系圖ニミエス其走井山ノ城ト連接スレハ司波
タルコト疑ヒナレ

別所 二後藤弥五郎基成

見聞志畧ニ云東別所(今北別所ト云)ニテ今虚空藏小堂
アル所其館迹ナリ

一本二浦記ニ

蓮花寺ニ内山平後藤左衛門紋三屋品如此又舞鶴之里素部ノ別家ナリトゾ

糠田ニ後藤太平左衛門基則

別所ノ後藤上同家ナリトゾ一浦記ニ此輩主計助後藤別家ニテ紋丸ニニツリ

江場ニ佐藤木工助秀道 紋打遠事

江場村ノ西田ノ中ニ十五アリ百千榎木アル所城山トヨノ是其館迹ナリ園通寺系因ニ羽州人

佐藤庄右工門公清ノ裔六右工門秀勝ト云者弘治永祿ノ頃此地ニ来リ住ス元龜元年織田信長ノタメ没收セラル

濃州ニ奔ル後出家ニテ此ニ帰住シ一寺ヲ營建ス園通寺コトナリ

金井 松岡考之進

今御家ニ此子孫アリ考之進家勝元越前丹生郡松岡之城主本御左工門家改之ニ男也天文ノ頃去城ヲ築キ天正九年九月九日龍川ノタメ没落村ノ西天白山ト云所ニテ自害ス入城進ノ内ニ墓所ト云信ノルアリ今村中考ノ安衛トノ孫スル者其城山ニテ西金井ノ里ニモト云モ其孫アリヨシ旧記ニ羽柴下野守此ニアリト云ハ織田豊臣戰年頃斬首時此ニ忠セト云

繩生ノ羽根ニ栗田監物

今ノ大神山北ニアリ此人ノ子ハ池田輝政ニ奉仕スニ男ハ同郡泉ニ漂泊ス今朝明郡鶴村ノ淨恩寺ノ祖ナリトゾ 按ニ永祿六年天神奉加帳ニ栗田監物同久英工同次郎太夫同津立郎同掾部同三次郎ナト見ヘタリ皆同姓ナルヘシ其他事矣詳ナラス

栗部ニ毛利次郎左衛門

此人ノト考ル所ナレ見聞志畧ニ北ニ毛利南ニ其須若狭トアリ 一浦記ニ後藤刑部之丞忠重後五郎左衛門ト云

松ヶ島ニ伊藤四郎重晴

長島ノ内ニアリ長島細布云伊藤ハ鈴鹿郡工藤ノ一族ナリ此人ノト下長島一揆ノ所ニ見エタリ

中江ニ森小市郎

古園ニ今上ノ輪新田ノ辺ニ中江村アリ又福島村ノ端郷ニ中江凡是ナリ諸雜記ニ中江ノ城主小十郎ハ信長ニ降参シ後南勢ニテ武功ヲハケマシケリトアリ見聞志畧志ニハ福島ニ中江清十郎トアリ 中江ヲ枯木ト書シルアリ 龍川長島ニ住セシ時城門ノ扉ニスヘキ木ヲ求メシニ清十郎多度ノ楠ヲ教ヘ切ラシメ色々怪異アリシカ終ニ伐テ扉トス其夜大風雨ニテ扉ノ一方ハ棄テテ飛来リシトシ今ニ長島城門編ヲアラテ、ニ亦トナシ 諸雜記ニモ清十郎多度ノ神木ヲ礼日ノ間伐レハ夜ニ本ノ如クナルヲ六日熱湯ノ雨ナル因茲益夜伐レテハ終ニキリ倒ヌ 扱其木ニテ門扉ヲシケルハ織度シテ、モ夜ノ内ニ取捨ケル故後ニハ扉ナレニケル 先ノ伝ヲ考テ曰

松ヶ島ニ伊藤四郎重晴

長島ノ内ニアリ長島細布云伊藤ハ鈴鹿郡工藤ノ一族ナリ此人ノト下長島一揆ノ所ニ見エタリ

中江ニ森小市郎

古園ニ今上ノ輪新田ノ辺ニ中江村アリ又福島村ノ端郷ニ中江凡是ナリ諸雜記ニ中江ノ城主小十郎ハ信長ニ降参シ後南勢ニテ武功ヲハケマシケリトアリ見聞志畧志ニハ福島ニ中江清十郎トアリ 中江ヲ枯木ト書シルアリ 龍川長島ニ住セシ時城門ノ扉ニスヘキ木ヲ求メシニ清十郎多度ノ楠ヲ教ヘ切ラシメ色々怪異アリシカ終ニ伐テ扉トス其夜大風雨ニテ扉ノ一方ハ棄テテ飛来リシトシ今ニ長島城門編ヲアラテ、ニ亦トナシ 諸雜記ニモ清十郎多度ノ神木ヲ礼日ノ間伐レハ夜ニ本ノ如クナルヲ六日熱湯ノ雨ナル因茲益夜伐レテハ終ニキリ倒ヌ 扱其木ニテ門扉ヲシケルハ織度シテ、モ夜ノ内ニ取捨ケル故後ニハ扉ナレニケル 先ノ伝ヲ考テ曰

松平佐渡守殿城主ノ時今ハコトナルコトアラシトニ扉ヲ製セラレシカ風雨打ワキ洪水ス工民歎頼

比門ノ村金ヲトリシカ風雨即時ニヤミシトソ初ノ大風雨ノ時洪水ニ清十郎家内米心溺死ス其

宅地川トナル 諸雜記ニ清十郎城屋敷ハ寛永十五年九月九日洪水ニテ池トナリ其ヨリ漸々埋テ田トス

テ勸請ス其時ノ桶ノ皮ハ江村ノ小溝ノ橋ニシテ今ニアリ ○扱スルニ倉見永頃城ヤ敷ト云モイフカミ清十郎ハ今ノ庄官ナトノ頼ニテアリシナルヘシ龍川ノ頃神木ヲ伐リシタリ、ノ倉見永天和ノコロムクヒト云モイ

アカシ長島記ニ此ノコトヲ弁ス附念ノ説ナリ一揆ノ時此ニ此者ヲ構レシコトアリ清十郎先祖ナ

ノ籠リシニヤ森小市郎ハ其人ノ一カ

深谷部ノ柳ヶ嶋ニ安藤左京進 松田右馬之丞

一浦雜記ニ致 藤丸ニ安ノ字

古園ニ八百ヶ島村トアルハ是ナルヘシ此輩長嶋一揆ノ者出張ノ処ナリ安藤松田ハ其時コソ置

人ナルハニ 按ニ素直雜記ニ安藤ノ紋ハ藤丸ニ安字ナリ云ニ人ノ名一揆ノ系ニ見ヘタリ

北迫ニ 近藤右京佐 深谷部村ノ内ニアリ此ノ人ノコト長島一揆ノ條ニ見ヘタリ諸雜

記ニ此人ノ末葉今ニアリ鹿角藤丸ヲ紋トス

御砂ニ 玉井四郎左衛門 御砂亦深谷部村ノ地内ニアリ此玉井ハ北迫ノ近

藤ノ家臣高野惣右衛門ト婚姻ノコトニテ諸士會合ニ坐アレクナリ尾州ニ立退ノ後南勢

ニ威ヲ振ヒコトナリ一甫雜記ニ紋非折玉井四郎康房ノ系トス

堺ニ 片岡掃部頭 堺ハ今ノ上深谷部ノコトナリ此人ノコト亦長島一揆ノ條ニ

片岡ノ紋ハ丸ノ内ニ葛葉末世末今ニアリ 一甫雜記ニ 紋丸ニ三柏

大鳥居ニ 水谷咲惣兵衛五右衛門 旧記ニ考ノ左衛門トアリ紋水止ニ沢深此ハ長

島一揆出張ニテ今ノ島口ノ押ト見ヘタリ事ハ一揆ノ條ニノス 高名記慶長五年關原

三百七十人引ケレ長島ヨリ川舟ニノリ己カ領大鳥居ニサレカハル処長束ノ夜行ニ

首百餘計取トアルハ山岡ノ領セシコトモアリニヤ

御衣野ニ 淡川出雲守 淡川諸書ニ首ヲ雜ニ作ル生國信州ノ人トソ見聞志畧

此家代ノ劔ト雲トラ丸ノ内ニ分分家紋トス 按スルニ御衣野ニ日本武傳ノ遺傳ヲ伝今ニ太刀懸

信州トアル不審ナリ若淡川氏ノ人信州ヨリ

来リ草薙氏ヲ繼ニニヤ

瀧川萱生ヲ攻メ時城中ニ草薙出雲守ト云人アリ此人ノコトナルヘシ

猪飼ニ 小串次郎右衛門尉詮通

詮通ハ萱生ヲ討レシ人ナルヘシ六代ノ祖ヲ詮行ト云足利家ヨリ勢州官軍ノ目付ノタメ

ニ此所ニ給ハリ住ス紋ハニツ雁今多度社家十串氏其族ト云本村ニ淨教寺ト云寺アリ小

串氏ニ澤満子廿五代十串五郎兵衛重望ト云本村ヲ領ス其弟五郎左衛門出家トテ順光ト

稱シ吉村住ス重望ノ長子ヲ次郎左衛門重上虎ト稱ス未詳

小山ニ 高井氏部太夫 淡川 小串 高井三左ハ足利家ノ侍ナリトシ

袖井ニ 西松要人 諸雜記ニ永禄十一年二月氏家

ト全ニ吉城ヲ賣 落サレ

西方ニ 加藤甚助 一甫記ニ勘助ニ

安永ニ 木林圖書 紋鶴丸 六田系因ニヨシハ

南郷ニ 阿部氏部 一甫記ニ 見南志畧ニ大膳トアリ此子孫花貞村

遠近希鳥羽 庄屋トナリ安永ノ頃迄 在リ

蓮花寺

一本 後藤在左工門

貝辨郡

梅戸 二 小坂 彦九郎 政吉

長亨子着到ニ梅戸在京亮ト云人アリ此地ニ住セ

人九ハレ見聞志畧ニ梅津右衛門トアルハ在京亮ノ家ノコトニヤ江津武鑑ニ梅戸左衛
門高定ハ佐々木義賢五男春日部家ノ長子トナル政吉ノコト外ニ所見ナシ

家臣ノ末葉ニ渡也 左工門ト云者
御家ノ末葉ニ任ヘシカ今ハ若野ニ任ラトゾ

志家ニ
梅津ノ

治田 二 治田五兵衛 嫡子 山城守

家規 要録 江州甲賀城主 美濃部一子ノ

末孫九郎在工門尉爲治田郷城主十代孫九郎左工門 薙髮号ヲ法月其子九郎左工門
法名法善其子孫山城守其子九郎左工門 天正中 屬木下秀吉 南無合戦討死ス
アリ雜記所記ト十男アリ末詳孰是 此人ノ末葉備前岡山ニアルト此人ノコト下ニ載ス

白瀬 二 近藤輝正 左衛門 吉綱

白瀬ハ本社石ノコト也
左名ノ下ニ詳テリ

諸雜記ニ吉綱ハ治田五兵衛ト感ラ守シカ永祿四年五兵衛嫡子山城守潛ニ襲来
城中大ニ圍立テ家臣羽場惣在工門 近藤清左工門切テ出コシヲ防クモ吉綱モ拒戦ケル

大坂ニ切立テ討死ス治田勢ハ城ニ火ヲカケ引取ケル吉綱カ子勘解由左衛門後ニ深谷郡
ノ阿弥院寺ヲ頼メ奥条ト云トコロニ住シ民家トナル

按今牧野行ニ白瀬迄下リニ平那
井澤ノヨリ坂口迄迎來リト見ヘク

此飛那井ト云ハ今日汝村ノト也此ニ住セシモノト見ユシ也 未ラルトコロナシ

上木 二 片山主計 頭

由緒

村 云一ハ野原山ニ住居ス子家ノ頃ハ大宮ノ領ニテ和田右馬允地頭トシテ川合村ニ住ス

南北朝頃 片山大和守信保ト云人田中七郷川島等ヲ領ス今世末ノ末ニテ半月ニ七曜ノ紋ヲ
用テ其子牛若ノ時龍川ニ滅サル信保子子藏ト称ス三男病身ニテ朝明辺ニ住シ死ストナリ上木
顯姓手ト云寺アリ片山家代々菩提所ナリ今ノ阿下善ナリ長亨子着到ニシハ片山主計
ノ末ナリ永祿十一年頃龍川一益ニ服セシカ何時没落セシニヤ詳ナラス今子孫福山寺ニアリ書
ニテ六トモアリ代々ノ以ナルヘシ

笠田 二 多湖大藏 大夫

建武ノ頃 南方ニ忠アリ此所ヲ給リ子孫居住スト云

大泉金井 二 種村彈正左衛門 嫡子子代次

系圖多摩源氏佐々木一統六角近江守政頼三男高成江州種村に住る是種村氏祖也高成ノ孫種村大藏大夫高盛天文中自命都大泉に住る

大泉村ニ忍ビ夫ヨリ尾州ノキキ 小田家ヲ廢シ玉ヒトツ

紋所丸ニ葉分牡丹其ノ子秀政相繼居之并島大左内

其子千代次長島ヲ被村高盛四田信盛種村平七郎ト稱シ大社村に住ス

大木ニ大木倉人助一作安 駿河守 勢陽雜記ニ大木安敷守大泉種村

千代次ニ織田家ニ降リシカ永祿二年 心算リシカアリ瀧川一益ニ人ヲ長島、招キリ種村ハ九城

中ニ入りテ熱守ハ入手ニテ事ノ由ヲキ、馬ヲ引廻シ走ル一益追テラ遣シテハ最早今島ノ渡リテ

シケルハ引廻ス種村ハ遂ニ取筆ヲレ討レタルトナリ

島田ニ島田兵庫頭

春日川ニ春日部若狹守 菅生ノ一家ナリ

一本ニ此外日記ニオタル人々、 四板(聖朝北朝)ニ中野藤九郎

朝明郡ニハ

菅生ニ春日部大膳大夫 先祖ハ伊勢平氏富田三郎進士家次子ナリ元弘中官ナ

ニテ功アリ恩補此地に住ス近村ナ村ヲ押領ス伊勢六人衆ノナリ見聞志略ニ或家一本記ヲ引云

家次員鎌倉名ニ召捕レシカ赦免アリテ後富田ノ地ハ南郡冷部ニ給ヒ家次員ハ此菅生ヲ給フ此

時春日部氏ニ政公按スルニ世代領主オノ下ニ 康鑑ヨリタル所富田三郎基度ト云人アリ此家次員、

コトナルベシ然ルニ其名ノコトナル不詳ナリ大徳土人ハ家次ノ佐ナル人ノ名乗、

多クハ田更リ唯此人ノコトナラス 勢陽雜記ニ天正大平菅生ノ春日大膳近江ノ佐々木教賢一味、

ノ由ヲ用 一甫雜記ニ伊豫守俊家江州佐々木暮下ナリ永祿ノ頃大膳ト云元龜三年落志ス

瀧川一益大膳ニ長島ハ招ケテ病ト稱シテ末ラス一益コレヲ攻ントス大膳コレヲキ、高井民部

小串次郎右衛門土井堀藤五郎菅生兼上原守 大天知遠江守海老名藤七郎太田幸左

衛門水越傳右衛門寺ヲ 集メ五百余人集リテ此城圍リテ丁討リ西南ハ谷深ク北ハ朝明

川ニソヒ東ハ平地ナレ民深田ナリ 今モ窪見存ス此城塙 永祿ノ頃菅生狹沢備前守

カ叶ハテ引レテ理ナリ 此事諸書ニ見エス 一益ハ兵雜攻ニスヘントテ平津河原大夫知山ノ邊ニ向城シトリ

日ヲ送ル城内ハ小串菅生等夜討シテ一テヲ打破リ洛行ヘント密談シ大膳ハ深クカケル八月

廿日宵闇ヲ三百七令ニテ一益ヲ千代田河原ノ本陣ヘ生可リタリニ一益ハ兼テ管人培ニ群集リ

カハツテ居リケル左ニ備ヘタル令部左平明松ヲ去レ平津ニ漏ヘタル山縣自五等四隊中ニ

取ケタリ小串等ノ本ニ相違ニ散ルニテ 出タリケル次郎右衛門ニ疾ヲ得リ遂ニ死セテ

少前年討し終先名正頼公... 羽津... 赤坂塔草太史因渡... 神戶友盛

田草又卷郎忠廣ノ末三重郡赤坂肥前守且早治城ヲ掃部介且早宗始テ此地ニ往ス國主茂
ハ皇弟宗正代ノ孫ナリ （按ニ右太夫國主茂石正ノ子トシテ然レ正法寺所伝ニ右正法寺遊云リアリ
女代、神戶右太夫正法寺ノ宗室トシテ掃部介且早宗正ノ子トシテ其妻友盛自リ又許）

頼州國志家記云羽津ノ先祖土赤坂本衛門大夫ト云ニ代日ヲ大膳分ト云ニ代日ノ上總介也代日
肥前守也代日因幡守也代日赤坂右京右衛門尉元康三十六日晦日坂福山ノ次郎四郎被謀

毒殺セラルル存勢早記ニ其時家臣山石田縫殿右衛門尉、斬入討殺ス信長ヨリ淺川ヲ利左
衛門ヲ暫ク羽津ニ置給フ見聞志忠ニハ詮新五衛門尉茂三代此ニ住ス城山ノ林正正法寺住持

アリ其妻提所ト云 （按スニ此法寺赤坂也代、住持アリ同家記ト合マ界志ノ説疑ハレ淺川新五門
詮新五門ノ内ノ内人ニテ此ノ合マ界志ノ説疑ハレ淺川新五門ノ内人ニテ此ノ合マ界志ノ説疑ハレ淺川新五門

茂福ニ朝令下總守盛登 下總守先祖ハ金吾時軍権茂ノ同族太郎助永カ後麻ナリ
元弘建武ノ亂ニカアリ是利家ヨリ此ノ給リ居住スノ四家散ニ友福城主山ノ次郎四郎ノ羽津、

縁者ナリレカ羽津ノ赤坂ヲ新理振舞トシテ掃部司毒殺セラルル是ハ朝令右家滅亡ノ後織田
家ヨリ入置羽津ヲモテモレシナルヘレ勢陽難記云永祿二年、頃ハ友福、朝令ハ、神戶友盛

ニ属シ居タリレカ関ノ関入道方鉄北勢ヲ赫ケンテ白子鹿伏鬼ノ執ヲ奪テ三重郡赤坂ニ集
羽津ノ赤坂國虎家臣ヲ集メ申ケルハ我関家ノ公カ此ニ居ナカラ一城ヲモテ攻レテハ、万鉄ノ云カレ

ナク思ハレ近巴アレハ今夜茂福ヲ乗トラントテ終夜人数ヲ集メノ押寄ケル其間僅十丁計
ナレハ羽津ニテ聞付富田ノ南部ニ標ニ合マ共生柙ヨリモ加勢ヲ乞發ノ色ナク待懸

ナリ金守子安ニ相違ニ徒ニ時ヲ移ス白子鹿伏鬼是ヲキ、柙赤坂中川堀木ノ勢
ヲ備シ千五百金ニテ加勢ス城兵十川甚右衛門林ト云證日中正清日置八郎多々木太郎

左工門人見是平門ヲ開キ拒戦ノ富田ノ南四ハ三百金野ヲ引北村ヨリ天王林ノ後ヲ通り鶴
前ヨリ白子勢ノ後ヘ討テカル空リチコレニ勢キ先廣クハモヨト云程ニ跋ヨリ山崩レ立處ニ

敵甲野迄引退クカル処ニ神戶友盛之ヲキ、舟ハ十余ニテ奈古、若松等ヨリ討テ上ル城甲
ヨリモ切テ出レハ國虎ハ羽津ノ城ヘ引入白子鹿伏鬼ハ赤坂ヘ引ケル友盛ハ茂福ヲ入救ヲ殘シ

置キ神戶ヘ帰陣ス 永祿ノ末頃織田家ヲ淺川一益ヲ長島ニヲキ北勢ヲ鎮セト一益茂福
盛豊カ途江ノ六角ニ從フ南ヲキ、潛ニ持福エ侯ヲ遣シ名寄大寺ノ門ヲ入時大勢取筆討取

ケル其臣小川勘右工門宗春妻右ニ所用アリオソク舟ヨリ上リレカ是ヲキ、大寺ヘカケ入大勢ニ

渡合主人イ昔ヲ奪ヒ毎ニノリ自ラ捕ヲコキ山岸ニテ朝明御保々村ノ大樹ヲ頼ミコトヲ控ルル人ニ
傳アリ國宥満豊喜園大居士トアリ扱一巻ハニ今ニテ茂福ヲ園ム城ニハ盛豊ノ伯父下野入道
宗貞三百八人今人ヲ守ニ防戦シ不残討死ス

柿 = 沢木三河入道宗貞 沢木一作佐賜太子記ニ見ハナル 佐賜三河守ノ子孫ナルハシ 其系不詳因云宗貞近文五

年尾仁木右馬大夫義長攻江州佐々木六角大判官出守永城流矢ニ中リ討死ス 太子記ニ據ニ
諸國廢城ヲ云弘治三年六角義賢神戶下總守ニ命シ柿城ヲ攻ム下總守十人騎ヲ送テテ

攻ムトアリ 一本ニ北條記ニ弘治三年青近江勢攻三重郡柿城此柿方ト神戶家一時世依之神戶下總守年
一十餘軍兵同廿八日カ柿城ノ後巻トアリ廢城キノ説ト及宿ス

(四家記ニ弘治中六角勢小倉三河守年々更ニ添 按スルニ元文ヨリ弘治迄三百年ナリ然ラハ四十八家ト行スル
尤十種ヲ攻メ後次ニ更野ヲ攻メ更ニ從神戶ヲ攻メ城ヲ攻ム) 頃ハ入道八宗喜ニテマルハ或ハ伊勢雜記ノ説ニ
弘康ヨリ三年引行ニモ佐脇代々
ニ河守ト稱セリナリト見ヘシ

大天知 = 大天地遠江守 遠江守ハ越前此木田ノ統ナリ當主龍城セシト堂主ノ下ニ見ヘシ

富田 = 南部治部大夫頼武 頼武ハ新田後三郎ノ後ナリ先是仲原肥前守伝者此

所ノ地頭タリシカ妻城姫ノ怨念ニテ一家滅亡ス 此ノコト外 其是ヲナゲメントシテ邑中ニ踊念佛ヲ
始メ觀成寺ニテ樂器ヲ用ヒ松明ヲトホシ毎年七月十四日ニ吊ルル肥前守滅亡ノ後頼武祖父頼村信州

ヨリ来リ城主トナル北條幕下ニ属ス南部市兵衛軍因ニ頼武駿河守ト稱シ明徳元年五月十八日卒信

州ヨリ来ルハ其祖父修理大夫頼村トアリ文安三年信州松本ヨリ来北條ニ属ス宝徳三年卒其次

頼宗其次頼武ナリ其次頼連其次兼綱治部大輔永禄二年五月十二日於木造討死ス今官

駄本陣南部新五左衛門伍者其裔ニテ市兵衛ハ其別家ナリ村田結妻日ハ治部大輔甲斐守

駿河守三人兄弟ニテ新五左衛門ハ甲斐守ノ系トス 按スルニ見聞畧ハスニ或家記ニ引富田三郎家次
鎌倉名ニカト補レシハ建曆ノ頃ニテ永禄ニイタル

是三百五十年代合ハス詳ニセス

伊坂 = 春日部太郎左衛門 其系今分家ナリ

廣永 = 海老名藤七郎系子宗 建武ノ頃足利家ニ属シ此地ヲ給リ佐佐入長直ヲ奉

到ニシテハタル海老名賢セトアルハ此家ノコトナルハシ

長深 = 富永筑後守 長直ノ著到ニシテタル富永五郎トアルハ此人ノ家ナルハレ

見聞畧ニ永禄ノ頃北勢美ク信長ニ属ス筑後守独リ不從故ニ夜討ニスト云土人云信田永殿

紙帳ニ行ニ承テ以テ釣手トシ夜ヲレシカ其行ノ跡ニ本ヲ切落テテ討レ故今ニ村紙帳ヲルニ

竹ヲ用ヒス 按スルニ本村瑞庵寺ニ古碑アリ筑後守ノ墓ト云位牌ヲ安置ス法在富永春院殿ト
アリ此人ノ子孫今松田ト稱シ尾州家奉仕スト

保々 = 朝倉備前守詮真 足利家侍手茂徳朝倉上同家ト云傳フ大樹寺長

慶院殿前備州大守 允稟父大居士又龍雲院殿前兵部一書全个翁各公禪定門前兵部久

隨長公大禪定門位位牌アリ朝倉歷代内ルハケレ氏年号モナレ其前後不詳——詮真長

禄元年丁丑二月一日卒ス法号大樹寺殿ト号ス其大禪定塔婆銘大樹寺現存ス紋所三權

木似又形内ニ劔カスハアリ今ニ大樹寺ノ定紋トス長育ヲ看到内ニ朝倉右京亮トアリ

此ニ家ノ内執ニカ詳アラス館址村ノ西ニアリ埋壙猶存ス

宇野 = 後藤右馬丞実重

中野 = 赤塚藤七郎 一甫記作中野藤九郎紋

今村ノ野中ニ大石水鉢存ス此赤塚ノ宅地アリトソ今ニ地頭屋敷ト称ス

石榑北村 = 中野藤九郎 石榑 = 一甫記ニ岡傳内紋九ニ根莖

中上 = 坂天右衛門

志知 = 島田兵衛

友 = 横橋左京

門前 = 春日部左衛門

別名 = 長松共惣右衛門

下笠田 = 多湖大内藏

上笠田 = 伊井田左衛門

田辺 = 木造左衛門

本郷 = 近藤駿河 一甫記ニ作澤正左門 紋キツコウニセ唯

山口 = 藤田藤馬之尉 按藤馬九ナルレ

西野尻 = 塩谷兵部 按スルニ伊勢雜記ニ白瀬ノ近藤トシテ後野尻ニ西野左馬

石川 = 齋藤介六 今伝者アリトアル此人ト前右未ヘカラス

丹生川 = 田能大膳 按スルニ宗紋紀行ニ見ヘタル田能村兵部ヲ辨トアルハ此人ノ

置大膳アリ北島ノサナリトアリ日置大膳ハ南勢ニテ武勇カ名アル人アリ丹生川ヲ領セ

当村ニ正法院ト云ムアリ見聞書志ニ城跡ナリ古井ナト存ス山奥ハ人入ルコトナレ折々

大鼓筋ナト音聞ニトナリ此人ナト餘ノ跡ナルレ 是亦前ニアケタル種村ト孰カ前後アルヤ詳ナラス

天泉 = 三浦右衛門大夫実 是亦前ニアケタル種村ト孰カ前後アルヤ詳ナラス

片植ニ木村右近助頼清

三ノ頼ニ本多八郎

大炊田ニ印ノ道信入道

一甫記ニ栗田左衛門佐 紋丸ノ
同ニ打遠 カツカイトアリ

見聞志畧ニ此入道代々此ニ住ス大炊田ハ今大井田ニ作ル印ノ子孫出ロト稱シ御家ニアリ
土人ノ説ニ梅戸ノ梅戸左衛門此道信ト遺根アリ入道ヲ欺キ搦キ城門ノ隙ヲ計之其頭トシ
テ石垣ニワキ屏ヲノラントス人驚馬ヲ抱キ落シ山降ニ奔ルニ何ノ頃ヨリカ仇アルモノ祈ル
ニ志ヲ不得ト云コトナレトテ所々ヨリ尋東ル土人コレヲ厭テ墓ヲコロチステタリ
此外旧記ニホソル人ニハ

一朝明郡ニハ

杉谷ニ秋奈善住房

元龜元年織田信長赴キ草越時佐々木兼被使杉谷善住

房狙信長放銃砲其面玉誤中信長暑衣兩袖從者大不驚馬尋求山甲信長止之又杉谷

左衛門尉ト云者領セシ由 信長ヲ銃砲ニテ打シ人ナリ後江州ニテ捕シ殺サルヨリ

一 本ニ纏生 物根此ニ入ル一本ニシテ
纏生ニ栗田 監物

紋丸ノ内カフカイ

土田

ニ今坂丹後守 又右衛門 此

小向

ニ飯田庄之助 一作 本

一甫記 紋丸ニシテ

此子孫今南蒲崎村ニアリ山本左太夫

ト稱ス家ニ具足鎗刀ナト存ス統今抱ノ厚ヲ用ユ

埋繩

ニ足田左京

長可ノ善到ニ足田又三郎トミ人アリ疑ハ此ノ家ナルヘレ

廣永

ニ横瀬左京

按ニ奥守郡友村ニ横瀬左京ト云人アリ疑ラシハ岡人ナルヘシ吉村ニ海丸
名代々居住ストニハナリ

伊坂

ニ伊藤太左衛門

山城

ニ海老名左衛門

切火田

ニ畑興九郎

田丸

ニ梅戸左衛門高実

按ニ雜記ニ梅戸ニハ坂興九郎トアリ見聞志田丸ニ梅戸ニ梅戸左衛門
トアリ此ニモ岡名ノ人アリ不レ番ナリ近村ニ并セ 領セシニヤ

田口

ニ鈴木三郎

按村田籍ニ織田(本ニ田丸)志太夫又ハ志不不雜記鈴木筑前守致稱穂ノ由ニ
敬申帛トアリ此ニ即コトアルヘレ (一本ニ致 坂種丸)

サ時田

ニ春日部藤次家春

見聞志奥ニミエタリノ家春並生ノ春日部藤次家春ノ金トナリ

數代此ニ住ス永祿ノ頃澁川ノタメニ没ス金永ノ頃大泉ノ左衛門全右衛門ト云者其末葉ナ

リトソ吉村ノ長妙寺藤田長善堤所ナリ 按ニ家資ノ籍金名頃ノ人ナリ其年澁川ノタメニ没ストアルヘレ

右ノ諸家イソレモ田八家ト云ニヤ此外三重郡ニモ中種赤坂柳ノト皆此三郡ノ諸戸ト本ノ
源弱相似タリモノナリ永祿十一年ノ頃織田信長伊勢ノ田ヲ打取ニテテ流川一益ヲ北勢サレ公ニ足張
男長島桑名足美濃界リ多度辺ノ打ラキ北方諸侍工木木僕茂福ノト漸々降服ス是
歳八月信長始テ桑名表へ發向ス北方守野部吉正以下從之ト信長執神風抄ニシテ
元祿二年北島記ニ元年北伊勢長島邊ニ長島一揆ノコト起リ天正二年ニイメリ一揆之ヲ
此向四人衆叛伏止常ナラス此ニ至テ人々降参ウ減亡シ龍川一益北勢ヲ一團ニ領セシナリ

正覺寺由緒書補正ハ柳正成討死ノ時妾懷胎多シカ信州上諏訪ニ移行用カ子ヲ生ム諏訪十
郎正信伝延文三年足利家ニ属シ義詮公ヨリ三重郡ノ四郷ヲ玉中島村ニ授ル柳正成ノ孫永
三年二月卒入正覺寺ニ葬ル其嫡子ヲ十郎ト云忍永廿三年卒次男ヲ中島入郎左エノ公則
ト云五代自子ナレ北島家ヨリ養子ヲナシ十郎ト稱ス勢州北島井諸家軍記曰神ノ西即其盛稱
ノ家ヲ以テ聲トス依之國司村親郷長野神戶柳赤坂ト一味ヤ又云永祿七年八月織田信長
發向勢州南邊加用海津富田以下屬段幕下其後柳寄柳城攻之柳正成難防取利大軍
不相叶終降参ク爲魁ノ業内者也。信長以一益爲勢州奉行地北ヲ諸侍ノ草野野田柳

赤坂 稻生南邊加用梅津富田上木白願濱田高松木股持福等子カトス其子ヲ貞孝トシ
織田家ト北島トナ稱ノ時織田家ニ属ス後信雅ニ從ヒ尾州戸田ニ於龍レ天正十一年豊臣家ニ被之

長島一揆之事

永祿ノ頃長島松ノ島ニ伊藤四郎重晴伝者アリ 押付ニ今長島城下町 伊藤藏人殿本
伊藤修理 竹橋ニ伊藤兵左エノヲ遣キ長島ヲ押領ス 長島記ニ竹橋ニ伊藤自徳 其頃杉江村
ニ願證寺伝一向派ノ寺アリノ京師本願寺ノ見ヲ請テ住持トスコレヲ 證惠上人トス 長島記ニ
蓮加子爲兼養 蓮淳其子爲兼幸 時ニ子加貞宗ニ伝テ檀トスノ諸氏ノ下知レ重晴ハ八年貢ラ
實惠其子爲兼幸 證惠也

正證惠成盛ニテモノノ教トセテ統制ノ子加貞安田 香取 長崎寺野 飯田ト云者 長島六坊ト
人々ノ末葉ナリ伊勢諸雜記云俗系長島ノ一河新藏正盛所内善明寺定ナリ山内ニ助安頼郡兼田村安泰ノ子
是ナリ南村本在助長島平ノ和淨盛寺是ナリ種村長次郎深州石津郡中島村中島寺是ナリ古ノハ養正寺
ト云平野知恩長島殿名村淨行寺是也 申合セ松ノ島ハ押寄權ヲ門ノ板ヲ打破リ込メリケリ重晴本
飯田九藏 飯田外仲村老英寺是也

叶ニテ等子ヲ殺シ自殺ス 郷民共能キ長島口引提證惠ノ軍ヲ給出合口ニ々呼集米三ノ所ハ
出張ノ者ヲ討殺ス此ヨリ證惠長島殿ト稱シ尾州海東郡迄押領ス

案ルニ長島記引神戶良政記云今長島城其始推大橋に二十許ナラス初滝川ノ古国ニ入ルヤ
其從兵ヲシテ長島城ヲ守ラシム然ラハ一揆亂ル前ヨリハ其後證憑ノ徒
斷クコレニヨリ一揆、本城トセシナラント云押付ノ其前ケルカサシレ今ノ町ヲ押付ナリ云
ヒ又城北七八丁ニ墟迹ノミナリ又今城下、江川ヲ押付川ト云コレニヨリ證憑ノ徒押付ノ伊藤藏人
ヲ打取ツテ後今ノ城ヲ取立本城トセシナルベシ 此時尾州解江城代滝川左近將監一益
今城北ハ賴澄寺ヨリ始ルカ

飛脚ヲ以テ此由ラ生ク織田信長聞召兼テ執州ヲ打隨ニト企テ故長島城可追落ト
ノ上立見ナリサレト證憑ノ成勢盛ナレハ稍ク免尾尾之平一益ニ命テ長島東北ニ
十軒トテ城ヲ築ク地也庭川往來ニ所謂尾尾八石ト云モ此地ヨクおせしモノ也天正四年四月大津
三ノ地陥没ニ尾尾八石トナ瀬州收兵ノ職從セシヨリ東徴ス今ノ地ハ尾尾中津築下トナリ一揆亂ル時城址
トテ今城ノ襟凡 ノ伊藤總一益ノ介カ城ノ押寄大立目上ケ此度織田上總介ノ上立見ニテ
云々ナリ

滝川左近將監向ヨリ急テ降参セマサナリハ一益ヲ討テ其時平賀進出城ヲ渡サ
ニハ取安ク候ニ長島殿ヨリ牧々ラ一騎當千ト被賴城ヲ瀕リ候ハ得コリ渡シ申マシト答
ケリサアハトテ一益一攻セメケレバ難シ落シエケレハ城ノ原上ヨリ火ヲ懸テ燒ケレバ總一益介モシテ
兼後ヨリ舟ニ乘リ長島ニ落行ケリ扱一益ハ長島ヲ責ニトスレバ本堂目川大河内
島ニテ所々ニ出張ヲ構ヘ堤ニ橋ヲツキ矢先ヲソロヘ待懸ケレハ合見カ攻難シ右次オラ討
ケレハ濃州勢ヲサレソヘラレ御合一万三千餘ニテ三ノオヨリ押寄ナリ長島ニテハ之ヲ勝ニトテ後橋

長島城ノ去子ノ方半里計ニ 二大田修理亮ヲ置キ三層ノ渡ヲ建テ今島ノ津ハ大島居ニ 兼名領
アリ川欠ミテ今ハ陥没ス 島城ノ西ニアリ 水谷峯總右衛門伊藤渡前後様ヲ如ハ込置南表ハ大島ニ 長島城ノ西ノ
伊尾川ノ南ナリ 大島新左衛門ヲ置タリ河ナシハ八方ノ橋ヲ開キ水ヲ入レタリケレハ湖水ノ如シ右ニ二貫
物八匁ニ納ラネ尾山方 兼名領ノ諸侍一味ニハ女田共美濃領ノ責ヲ押領シハコナレハ矢楯
ニ事欠サリトソ 其時兼名郡ノ諸侍寺院社々、諸ノミダシ模現ノ堂殿ニ壇ヲカサリ儀長ヲ調伏

ス其時ノ寺院ハ別所村ノ耶麻寺深谷部ノ阿弥陀寺尾ノ兼名寺堀ノ兼名寺玉杯寺野ハノ徳蓮寺
御木野ノ中邊寺多度ノ住嚴寺等ナリ兼名ノ末堂寺ノ住僧養園坊主書之觀書ハ諸新説ニ載ト
夫以多度三所大権現者三世利生慈神也仰奉尋本地之乘入之真日者御十不億上西天
跡重知先座分段同居開花明々時我飛等口出爲意下凡思心幸今持統氏遺跡具以故
出三界道之刻也然此上使佛神心敵ナリ縣平氏末裔邊鄙信長逆臣等不顧未來惡報
飛麻鬼火燒諸方堂社佛閣故經道滅尽風暴吹天災禪律法燈中欲滅時也因西復國願

示觀船澤河准流碎三糸車橫天爲道路開顯證昔提念無由了捨加之假清流巫玉垣
郡類名今欲發還講 願南島塔命禮三所大権現八十末社不背子非礼是宿云真
願以哀憐利生慈風晴送惡禍是之平明月光也社佛閣實加國土安穩丹精答

一本詳 一本論 一本直
願南島塔命禮三所大権現八十末社不背子非礼是宿云真
願以哀憐利生慈風晴送惡禍是之平明月光也社佛閣實加國土安穩丹精答

有誠敢莫談

元龜二上十年五月

大社中
社家中

カクテ修橋ノ寄手舟ヲ攻寄リ城ヲ相圍ノコトナレハ大敵ヲ討見ラ吹ノ間ノ敵ヨリ合セヨリ其時伊藤
 子賀山由子野飯田長崎等ヲ加勢カニ遣ヒテ之ヲ軍兵舟ヨリ上ラトスル所ヲ矢種ヲ不塔射
 カケケレハ宋ニ相直トシ尾州ノオヘリ引テリ所外圍ノ一手ハ川舟ヲ舟頭子ヨリ乘取ル是ヲ見テ
 大鳥居ノ水谷見ラ以キテ園兄弟淡川近藤安藤松田野村森驅集ル木宮川西ノ流ノ一手ハ津田主
 令助ヲ大将トシテ五ヶ全ニテ長島ノ所外圍ハ押寄ル味方ハ下間三位ニ軍兵余多添テ川降堤内ニ
 ト相ツリ角トハ不知舟ヨリ上ル処ヲ一同ニ堤ノ上ニ陣上リ矢先ヲソロヘテ射カケケリ敵ハ舟ニテ
 衝レス味方ハ土手ノ並木ノ小橋ニテ射ル程ニ寄リテ數人討レケリ
 川向ノ申江城主森清十郎兼城ハ素名郡ノ後藤佐藤毛利渡辺道長藤安藤伊藤等一味同
 心ノ事ナレハ驅集リ川舟ノ後ヨリ射カケケリ東ノ堤ヨリハ長島勢勝ニリ射カケレハ軍兵アマリ
 ウタセ引去リケリ益モコレヲ聞キ加路平ノ陣ヲ引トリケリ〇蓋ハ先山方ノ諸士ヲ退治シ後長島
 ヲ攻落サントテテ執セる余ニテ深谷部柳島安世隆右左進カ城ヲセメント人ハ安世隆家臣水谷味方

ハ小勢敵ハ多執アリ謀ヲ以テ防トテ東西ノ木曾川堤ニウラ人形ヲ敷百作り旗ヲサセテリ滝川ハ
 尾州ニツ屋ヨリ舟ニノリテ人君川迄漕空寄リテ南ヲ見上ル柳ヶ島ノ城ニ多クノ軍兵待テケル様子
 ニ見ヘケレハ加茂次郎左衛門津藤敵ハ陸珠ニ土手高ニ味方ハ舟ニテ不自田ナリ別テ長島ノ大軍ヲ
 抱ヘタル人モ指サスレ益ナリ是ヨリ陸ニ上リ山方ノ城ヲ責落サント云滝川カト同シ舟漕空寄
 テ御沙ノホヘソ上リケル御沙山ノ東金寺ニ陣ヲトリ北迫ノ城ニ押寄リテ此城ハ城ヲ以テ西ノ方屏風立ナリ
 未中ニ山續ノ道アリ一騎打ノ細道ナリ中壇ト上トニ里ニ揮ヲカケシハ攻ムヘキ様ハナカリテ東禁六
 家臣古高野総右衛門屋敷ヲ備ヘ東北ハ馬足不足深田ナリ南ハ近藤共太又同十郎安衛寺
 屋敷ヲ備ヘ一本殿大明神ノ森茂リケリ坤ノ角ノ林下ニハ毘沙門堂ニ中壇ニハ地藏ノ堂アリ西ハ大合ナリ谷
 彌テ山ノ上ニモ家中ヲ置ケリ今唐海此政ニ攻ヘケ様ナクテ其日モ申西ノ刻ニテリケレハ滝川ハ軍勢カヲ引テ
 江ノ城ヘ帰リケリ元龜二年五月十日織田信長五ヶ全騎ヲ三ヶ全ノ存勢ニ奪入申候ハ佐久間信盛一西美
 濃多勢山ノ林下ニ付此木田勝家氏家ト全等攻入信長ハ津島ニ馬立ノ所ヲ放大ス朕ハ家等西松
 要人カ柳井ノ館ヲ攻落スニ陣ノ民ハ家ヲ覆立此時北迫ノ近藤右平亮カ嫡子庄之助物見トテ小
 勢ニテ大鳥居ノ西鶴目明神ノ辺出ニ敵兵俄ニ起ケレハ庄之助田ヲ越テ深田ニ陥リ野代ノ田中

三ノ討死ス近藤公満ノ討死馬合カキサレトイニ其日クニ及ケル其日ハ公満ノ討死シテ濃州諸勢
モ多ク度阿曾三陣シ其たノ明ルヲ待屋クリ驅集クニ郡ノ誅モモ高井淡河水谷左衛門近藤公経ノ
城郭ニ勢揃チ休ミケリカラテ夜明ニナリケルハ公陣五ニ押寄ル江川ノ中ニテ矢軍ニテアル所高井カ
城ナリノ軍勢濃州勢ノ後ヨリ切テカレヒルム所ヲニ軍ノ勢我モ我モト討テカレ代家カ執カヒシク
スレニ山崩シ立チ次オニ遠カテ濃州駒野ヲ追ニケリ其間ニ此田勝家カ馬印金幣ヲ奪ヒトラヒケリ
此田近習ニ水野次郎左衛門十六歳ニ取テ送ニナシテ彼馬印ヲ取テ帰ル氏家ト金毛馬
津ニテ討死スソノ臣アリ削修理トテ十八歳九カ駒野ヨリ引カヘレ大田村ニテ討死ス天正元年
信長又北勢ハ打入給フ近江勢ハ八風峠ヲ越ヘ粟永表ニ出西別所ニ一揆母害ヲ構ヘ楯籠リシヲ
攻破リ人モ不残切捨テ岡部郡頭カ場ノ此石ヲ此田滝川攻破リ撫切ニス翌日勝家ヲ人教ヲ
引揚ル所折シモ用瓜ハケシカリシカ長嶋ヨリ射テ止ニ散々ニ射ル味方ノ鉄炮ハ雨ニアヒ用ニシス
此ノ日殿ハ林新三郎ナリシカ五六度モ敵ヲ追排シカ遂ニ討死ス是歳冬十月一益等近藤ノ
城ヲ攻近藤城ヲ開還北邊城信長東別所北別所陣セシ近郷諸士人質ヲ獻シ討
トル中島氏降ラズ佐久間信盛初此本秀吉等攻テコレヲ降ス東ノ中島石橋門ト云人アリ是レ也信長矢田ノ城ヲ

築キ一益ヲ入置ク同年七月信長長島ヲ討果サントテ一江口ハ信忠其勢ニ万香取只ハ
佐久間柴田稲葉峰屋等其數ク三分全ニテ押入北邊記ニ美濃近江伊勢尾張公等ノ軍矣ト云松木渡ニ一揆支ヘシ
シラ突小崩シ五百余人切捨又小木江ニ一揆ヲ稲葉追排テ篠橋一揆出ラレ浅井新八郎木下二郎追
排フ小田ノ岬ノ一揆ヲ丹羽追排フ是日信長ハ三分全ニテ五妙ニ陣ス翌日滝川一益等ハアケテ舟十餘艘
カサリ立テ長島ニ押寄ル其茶笈御曹子ハ八十ニテ葉名口ヨリ攻入篠橋ハ津田大隅守同市令助
大島居ハ此柴田稲葉等加路戸島ハ織田上野介林佐渡守等大島ハ神戶三七甲江ハ佐久間
父子長島ハ信長本陣ヲヨセラル八月二日夜大島居ニ籠リシ者悉出ラシラ追付田安三ノ計リ
切捨耳自昇ヲソヒテ舟ニ積ミ城中ハ返ル十二日篠橋ノ者共一命ヲ被助後ハ長島ヲシハカリ
取テ奉ルヘシトニ一カハ合ヲ助ケ長島ハ追込サシ其長島ニハ心得テ外ハ入道コカハ其ノ事相
違ス九月廿九日長島コラハ兼作言コテ同退トコロラウ鉄炮三千計伏置テ攻シカハ城突免カレ
サルニ知リ死戦ス一本ニ高井チオニ津田大隅守等證惠モ志思ニ野田ノ脇駒江北ト云処ニテ自殺ス賊徒ホ
川ニ涉リシ多藝山伊賀口ニカレ送ニ大坂ノ城ニ入寄テ上リ津田大隅才半左衛門等歴々十全
人討死ナリ高名記ニ津田大隅守同市左衛門村津田市令助信成同又六郎同強十郎等見在衛門討長島居

城に八倍長ニテ分々古ハ大島ヨリ素直ニ上リ別所種田守ヲ暫時ニ攻落ス一益十
合ヨリ深谷部ニ汚リ近郷ノ城ヲ即降ニ攻落ス北勢差ク倍長ノ子ニ入リカクテ長島ニ
北伊勢五郡ヲソヘ一益ニ給フ此ヨリ一益長島ニ在城ス北伊勢ヲ領ス大業末廣記十月十四日長
島七層武田家通シ賊舟參遠ノ海上歷ル由上聞ニ達シ寺島誠ニ五ヲ以テ撃テセル
白須賀ノ海上ニ戰ヒ寺島命ヲ殲スト云

素直 城上 次第

天正年中淺川一益北勢ヲ領ストイハ長島ニ在城シ素直ハ奉行ヲオキレノミナリ文禄年中
曲直秀次ヨリ一柳直盛ヲ当地ニ置ル此時始テ当地ヲ修築ス同四年秀次生害アリ当地
ニ代家内膳ニ行廣ヲサレオカル代家ハ二万二千石ヲ領ス上慶長五年關ヶ原ヲ落居ノ後本
多中務忠勝也城ヲ領アリ十二万石ヲ領セル其子美濃守忠政相續テ当地ヲ領ス
和四年播州姫路ノ得替アリ当地ハ松平院政守殿御拜領アリ定行公ノ御時實ニ永十三年
穰州松山ノワラズ也城四郡ノ内十二万石全ナリ
大鏡院御拜領アリ

光徳公

園鏡公御三代七十年ニ宝永七年越後高田ノ御得替其跡松平下總守忠雅拜領アリ其子下
總守忠刻其子下總守忠格其子下總守忠功其子下總守忠和其子下總守忠異其子下總守
忠堯和合七代一百十又四年文政六年我公再ヒ当地御拜領アリ

詳載
城地部

長島城ハ寛元頃光明寺道家御寓居セラルコヨリ起リ永祿ノ頃伊藤四郎重晴此
ヲ領セシカ領證寺僧徒重晴ヲ討亡シ押領ス一揆セテ後淺川一益城主ナリ天正十年豊臣
秀吉一益ヲ越シ前大野ニ移シ其後ヲ織田信雄ニ取ス是時信雄關ヶ原次ナリ当地ヲ守
ラシム後大野周防守生駒八右衛門等ミラシム同十八年秀吉口信雄ヲ出物ニ放テ北勢五郡ヲ
曲直秀次ニ與ハシル此時吉田修理亮等十餘岐守等長島城ヲ守ル
伊勢守 長島城ヲ守ル
伊勢守 長島城ヲ守ル
伊勢守 長島城ヲ守ル
上慶長三年ヨリ福島掃部頭正頼ニ在シ上慶長六年其子信雄掃部正定セシメシメテ城
主ナリ元和六年松平遠江守殿ニシテ城七ヶ石ヲ賜リ素直ノ領トナル此時家百本ノ清左衛門勤實
傳寛永三年松平美濃守定房也城ヲ領アリ同十二年松平能登守定政セシメシメテ城主ナリ慶
安二年松平佐渡守良尚上慶長十二年其子佐渡守忠元元禄十五年八月忠元ノ疾ニシテ其子伊

勢守信州佐久郡ニテ天子有玉ノ其跡久下作左衛門古川武兼御代官所下元同九月城府ニ
万石三ノ増山共部ヲ賜正彌ニ玉ヘル同河内守正任同彌正方彌正武同對馬守正藏員同河内
守正賢同河内守

業右城主次才

中吉三ノ城下村々ノ頃ハ伊藤式左衛門樋口内藏助夫却石馬允領也シカ長島一揆ニテ後信長
ヲ清川一揆ヲ長島ニオカレ北河勢ヲ復ス此地ニ杉山十左衛門野呂舜石衛門ヲ奉行トシ被
差置也公孫ハ餘ニ見ナリ清川ニテ後豊臣公家ヨリ天野周防守ヲ置ル天正十二年織田信輝豊臣
家ト軒梯ニ及ヒ時

神皇ノ織田家ノ御味方トテ酒井石川兩人ヲ入置給フ同十年豊臣秀次北勢五郡ヲ終ハリレ
時ハ版部兼女正一止ラ此ニ置テレシカ一十ニテ松坂へ移サル外内ノ衛藏ノ文士也

版部兼女正トクノノ

同本下野守トクノノ

於北勢伊從内付信雄ノ之時代置、打木有之軍川糸為兩人清須ニ相着

田中兵部大將吉田久左衛門ニ相攻猶木下半年マナリ

十月四日 太閤 御朱印

トナルハ此時ノトナルハ同十九年一柳右近行監直盛ヲ吉地ニ置ル此時三ノ五ノ石領ス

保村大樹寺ニ直盛ヲ天 此時始城郭修築スアノ文録四年秀次高野山ヲ自殺其討ヲ除テ直盛ニ坐

五十九年ノ免除ガアリ 此ノテ 神皇ニ預ル其跡ニ代家内膳ニ行廣ヲ被差置列封家臣云々 慶長五年関ケ原ノ事

起ル行廣ハ西ノニ其レ当城ニ登ルぬ々ハ関東オト思ハ内家老種田吉左衛門立木不庵松尾庄右

衛門等ノ人質ヲ水口ノ長束所へ土置ラシムナラス登置ルカ執トテ木下周防守ヲ置ル列封家臣

志摩守寺西條守守城ストアリ同防守ハ自ス又武家高名記ニ長松ノ城主武式部ハ東天城トシテ

攻落ト番城ニ番ト 關八月廿三日長松ヲ明退キ勢州ニ赴キ代家内膳ニ同テ守寺ハ備中守ト一所ニ業右城

ハ備 周防守長島ヲ攻ヘキ由ヲ勅ムトイヘ同心セス長島ハ東國トナラ 福島守部頭 九月十五日同方敗軍トトス

日夜半ニ注進アリ長島ヨリ福島守部頭山園道阿保守長束正家、関系ヨリ連シ来リシヲ

討破リ言城西ノ山子ニ陣取ル所役人伊藤武左門同女左工門一説ニ味岡助左内兵部トアリニ呼守町

屋焼拂候ニ、町人共迷惑イタスヘウ間城明渡レシ退後様ニ遺ス行廣得ハシテ初立テ七日城

明渡レ香取ハ立退リ 行廣ハ被野道善ト改メス 正頼守城ラシメ取十四日ニ居リントソ其

後大阪ノ役城中ニテ自殺ス

後松平知泉守家乘城代タリ以上太田清隆家系 同年十月本多中務大輔忠勝城地拜領アリ十二
自記ヲ節取ス 方石ヲ領セシ上慶長自記云中書殿公卿下ケテク中根平木六郎 同六年四月廿四日中務大輔教父子始テ入部
機弁ニ即兵衛而人下リ念ハル アリ自記云同十年二月十四日將軍様去城御着十五日御還御十六日御立三月十九日中書目御父子
 御上洛五月十八日 去將軍様去城御止宿中一日ヲ廿廿日ニ御立同十四年美濃守殿御家格整
 十五年八月申書殿御願ヒ十月七日逝ク夫由上高キ島ニテ大世登アリ 同十六年所拜御上洛
 美濃守殿御供同十九年大坂御陣美濃守殿馬止馬此時去城加番上テ遠小久兵衛入城十
 月四日二水谷存執守百騎ヲ入城同五日ニ松平主佐守殿加ハル上月馬和時御立五月六日
所 御前様御止宿七日御渡海トアリ元和四年美濃守殿播州姫路へ御所拜アリ去城松平慶岐守殿
 御拜領アリ去遠州掛川ヨリ御入部アリ同六年長島城七ヶ石御兼領 長臣本多清右衛門勤番寛
 永二年松平美作守殿長島七ヶ石拜領アリ同十二年定行公孫州松山へ所拜アリ我領國公濃州
 大垣ヨリ去城御拜領アリ御城附高十二ヶ石餘也上慶長四年御逝去先使公卿永叔明曆三十八
 月八日御逝國鏡公卿家督宗永七年八月十五日越後國高田へ御所拜アリ松平下總守殿備後國
 福山ヨリ去城御拜領アリ文政六年十月下總守殿武州忍へ所拜アリ宗永七年ヨリ百十八年ヲ我
 公由ヒ去城御拜領アリ



振替中
 名目
 山

桑名市立図書館



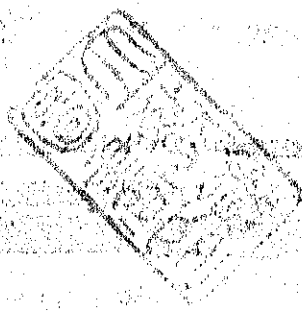
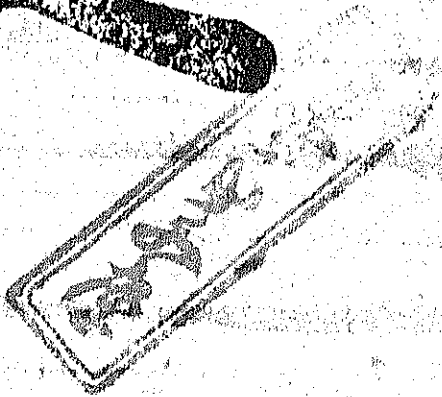
0120032925

92

Handwritten vertical text in cursive script, possibly a signature or name.

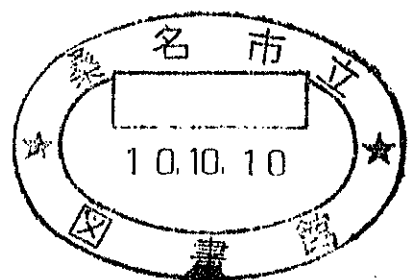


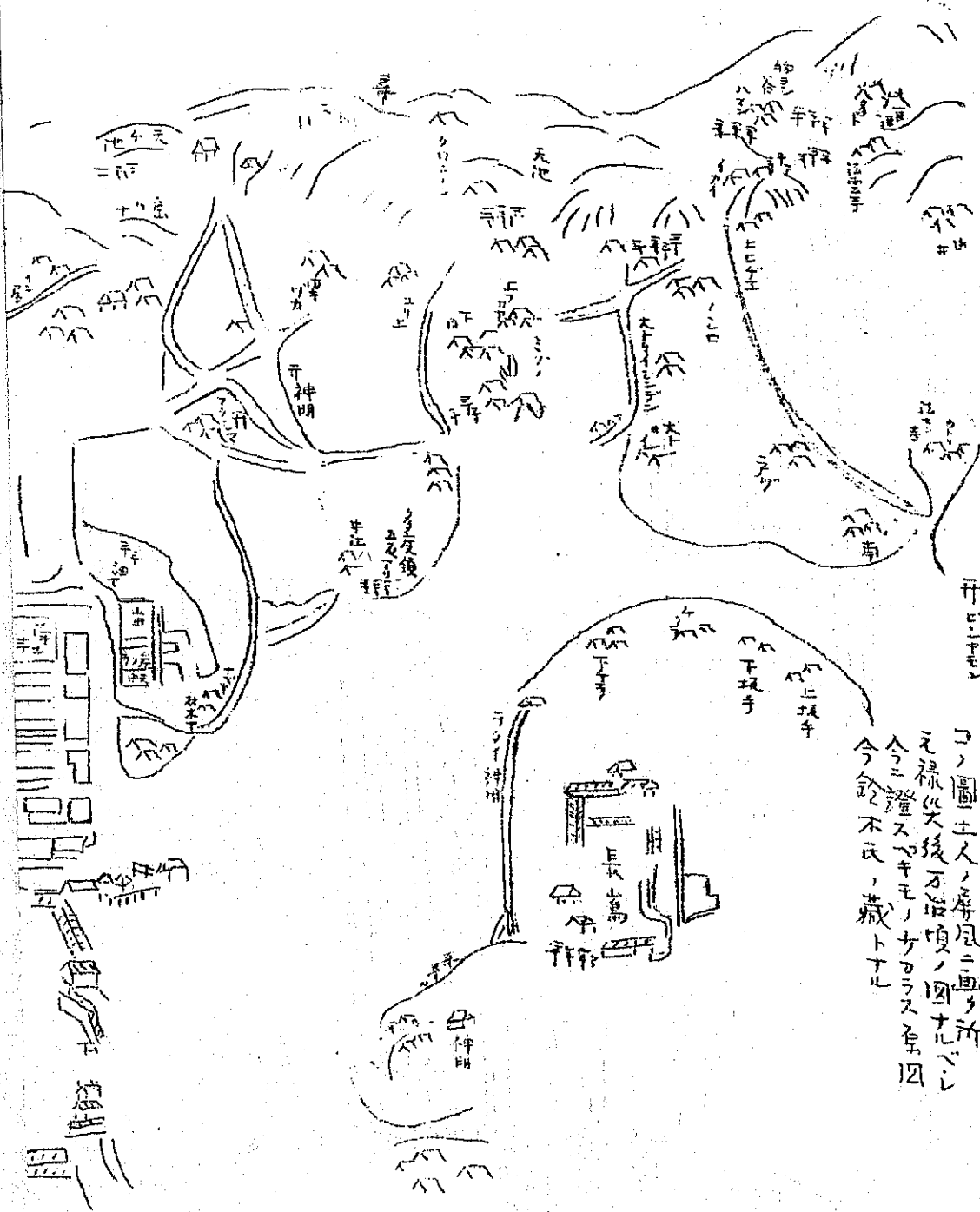
Large, bold, stylized Chinese character, possibly '走' (to walk) or '走' (to go).



Small rectangular stamp or mark with the letter 'L' visible.

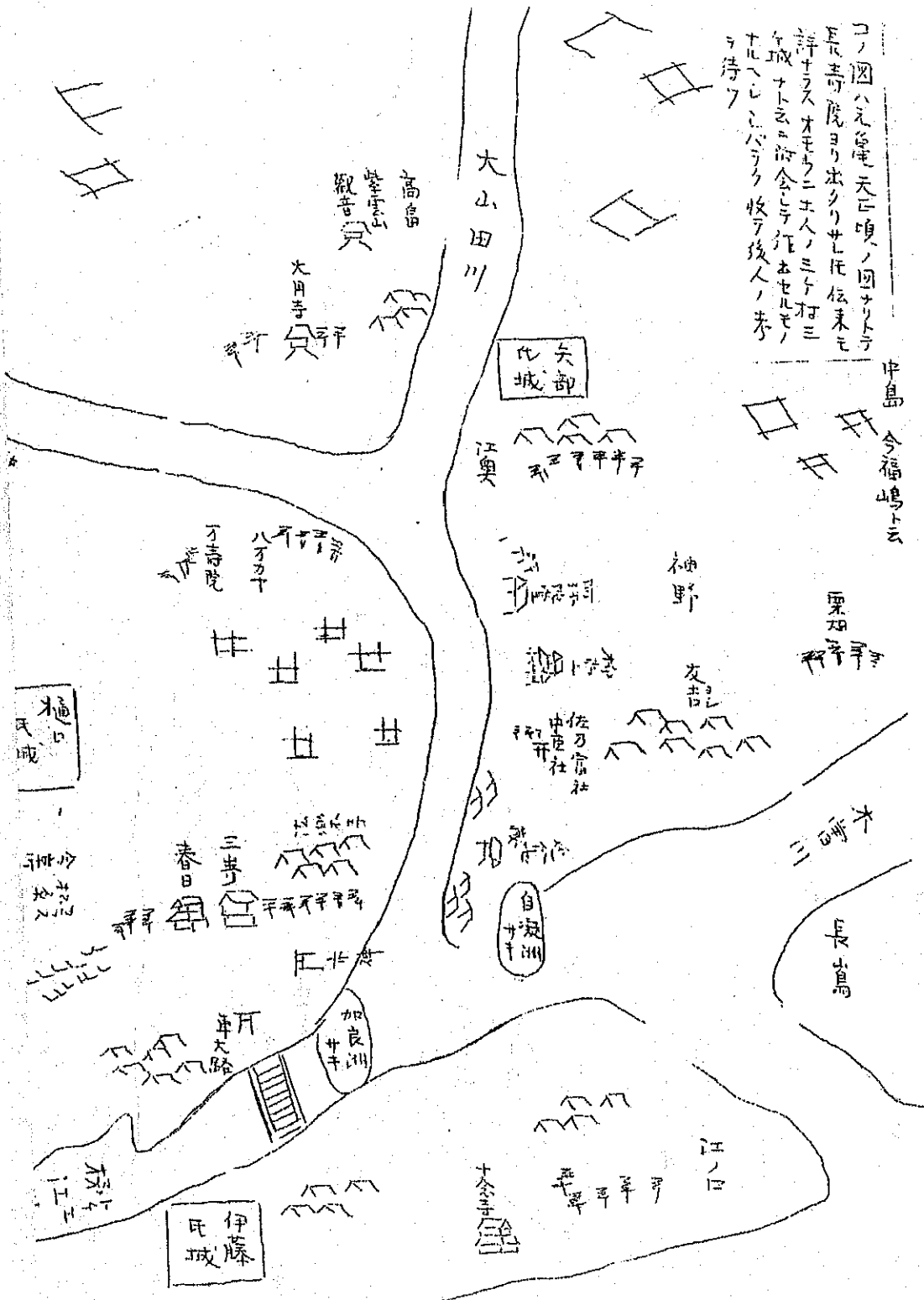
才ニ卷表紙ハ桑右藩関係ノ
藏書印 樂志文庫 桑右
出教館圖書印及ニ松平樂不
公ノ花押(寛政)ヲ入レテ見タ
シテ号モ御土關係ノモノナ
ラズヤニイト思フテイレ





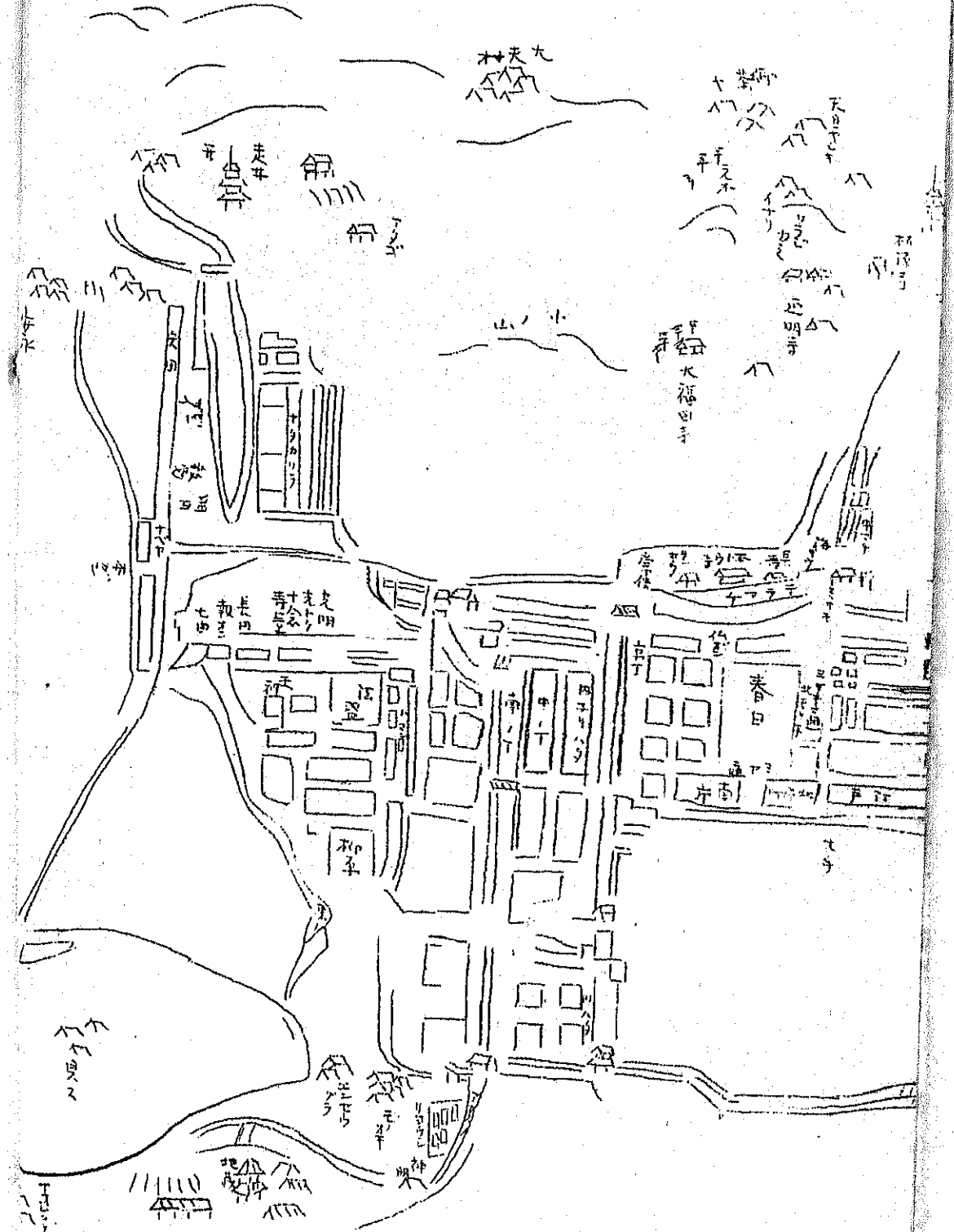
今ノ圖土人ノ傳風ニ由リ所
 元禄ノ大坂ノ戦ノ頃ノ圖ナルベシ
 今ニ證スベキモノサカラス在田
 今ノ金不氏ノ藏トナレ

下坂寺
 上坂寺



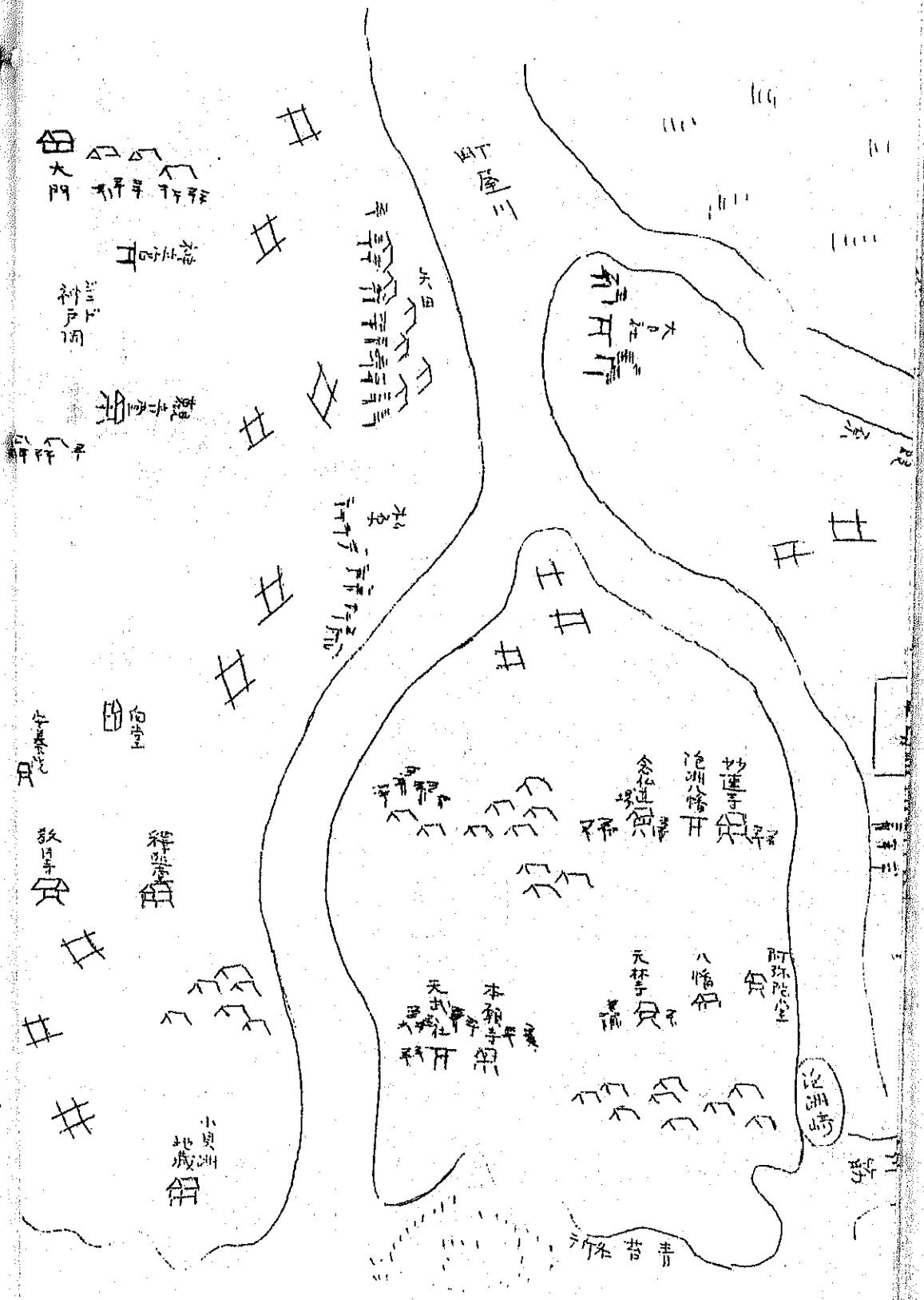
コノ國ハ元々陸天正頃ノ國ナリトテ
 其ノ時度ヨリ出タリセシモ伝来モ
 詳ナラスオモクニ土人ノミテ村三
 々城ナト云々御令ニテ江本セルモノ
 ナルハレニバラク收ア後人ノ未
 ラ待ワ

中島 今福嶋ト云



葉名志科卷之三

城池 廢金時 長島時



葉名志科

葉名志科葉名志科ノ地ナリ上代ノ事詳ナラズ中古三ノ城ト云テ今ノ城地ニ伊藤武左衛門

西ニ橋口内蔵介北ニ矢部右馬允居住ノ地執戦伐記ニ元龜二年長島一揆ノ時織

田信長ヨリ此ニ三城ヲ致木干防カシムトアル是ナリサレ長島ノ城ノナリト云程ノコト

ニラハナク打長居館ナトノ加クアリシモノナルベレ信長ノ長島ヲ伐レテ頃瀧川一益ヲ

矢田ノ城ニ込ニ通シハ葉名志科ノ廢金ノ初ハキニ是以其城郭ナト云程ニ非ルヲ見ルヘレ

文祿年中一柳右近將監直盛初テ此城ヲ修築シテ後橋ナト大方未スト云是城郭

始也 見聞未譽云天正年中一柳ノ頃ハ今ノニノ丸内ニ 慶長五年本多中務大輔殿吉城拜領ア

リ城地町割等アリ城制一新今ノ形執トナル 如流山見書云本多殿入国三年日ヨリ御城普請

城ノ設トレ忠勝公ノ時ヨリニ丸ニ住セラル其流ヲ新城ト云不傳妙集ニ大河内秀元葉名志科ノ時本多

忠勝公采ルシテ城ヲ見テラレタル秀元増ハ出来テレハ今ノ城ニシテ下ノ丸モノラ出

来レタル也トハイカト向レレハ秀元増ハ出来テレハ今ノ城ニシテ下ノ丸モノラ出

ノ御酒打ントキニ登ルモノ也ソノ上煙ノコモリ又火矢ヲイラレタル時排フヘキナレトイフ忠勝殿心ニテ

サレテカケラレタリトカニカバニ度ニハネテ落ワ中士百大ニ成ヒ有元サレテ凶ニラ空上竄ニ不戒トソルト見

タリ時ノコトナレ

元和四年松平陸攻守殿御代ニノ丸未ス 公威御入部後モ追々修繕アリ慶長ノ頃作り出サ

シレ橋門扉等ハ元祿十四年ノ災ニ焼失其後西造アリシカ氏旧女貝ニ復セザル所モアリ

其大略ヲ下ニ條列ス

本丸 將軍家御宿城ノ設ニ屋形モアリレガ後ニ取琳ニナル文政御復封後鎮国公

御宿御造官アリ本丸門柵形アリ渡櫓アリ左ニ三重櫓北通リ多門櫓東北ノ隅天守

臺アリ其日ハ天守櫓アリシカ元禄ノ災ニ燒失後再建ナシ東ノ方ニ重櫓ニテ所櫓門
ノ下ニ欽差出門アリ東南ノ階ニ重櫓南方ノ下廊下橋アリニ丸ハ出ル西南ノ階櫓甚アリ
元禄ノ頃ノ凶ニ三重櫓アリ神戶櫓也一ノ櫓也柳家欽差城ノ時神戶ノ櫓ヲ引用ヒシトソ
テ此所ニアリトソ此ニ北藏アリテ余寺地蔵ト云伝フ
今ハ基礎ノミ存セリ西ノ方ニ二重櫓アリ天守櫓ハ四重アリ見聞書志天守ノ下ニ竹院アリ
定綱公植ラリトソ此ニ巴吉神ノ五輪アリ経堂以前ハ佛眼院蹟本寺ノ旧迹也云殆スルニ
寺此所ニアリトソ此ニ北藏アリテ余寺地蔵ト云伝フ
今ハ基礎ノミ存セリ西ノ方ニ二重櫓アリ天守櫓ハ四重アリ見聞書志天守ノ下ニ竹院アリ

新城 本丸ノ北ニアリ城主ノ居館アリ玄關ノ前白洲ニ行木門アリ其西ニ唐門アリ本多家
ノ時天壽院殿御入奥アリシトソニ建ラレトソ小越ノ今ハ南向見東ニ新門アリ橋アリ
夫ヨリ北ハ多門櫓ナリ東北階ニ二重櫓ニツ並立ツ北通リ皆多門櫓ナリ西北ノ階ニ障
アリ柳ノ茶屋ニ通ス西ハ鐘ノ門ヨリ北方悉ク多門櫓アリニ重櫓凡六ヶ所知見
櫓太鼓櫓アリ其南ニ太鼓門アリ太鼓櫓ノ下ニアレハカク名ク本丸新城ハ人口
表ロアリ門内ニ物頭ノ番所アリ古図ニ此番所ノ北多門櫓ノ前通ニ上廊并茶屋アリ
御宿城ノ時御馬數カカル夕ノ設トソ今ハナシ

鐘門 外形一ノ門渡櫓アリ北太鼓門ニ入ル南ハニ丸櫓門ニ出ル西三ノ丸ニ出ル
大手ノナリ門ノ南ニ鐘櫓アリ下總守殿ノ御時ハ時半ラ大鼓鐘ニテ報セシトソ今ハ撞ク
事ナシ元禄頃迄ハ鐘櫓ノ前通ニ廊アリ物頭ノ番所モ其傍ニアリトソ惣モ云

鐘門ノ二層ハ式ニ造作ナリ此處則ニ古鐘ハ本多家ノ時鑄ラル元禄十四年ノ災ニ燒失
箱入城中ニ埋ムト云其銘文ノミ存ス

奉新鐘撞鐘一懸供養之所
諸行無常 是生滅法
生滅々已 寂滅為樂

為鎮護國家祈禱所 聖罪殺指南供鐘安置城中頭一奉三頭常住不退儀

魏皇帝宮中鐘表金輪萬民改
漢高祖城郭鐘表象人愛敬行

天ニ一響鐘響休五表之若
龍神未時鐘音免三執之患

尚丹誠
當城 堅固而武藝之厚天下
子孫敬慕昌而弓矢則先照國土

乃經天
三十世界 天ニ具並利持生勢州 業系都
藤原朝臣本多中務少輔忠勝
藤原朝臣本多美濃守家忠
慶長十三年十二月廿四日
佛眼院法印堅直

城經營以來此鐘ヲ以時ヲ告凡天壽院殿入興以來大鼓ヲ以時ヲ報ス少鐘燒燬ノ後

圖鏡公新鑄ヲ令テラル今ノ鐘是ナリ三宅正堅録ヲ撰ク

大之鼓聲生機莫疾於雷而器物流形人之涵養性情莫善於樂而中和觀聲之存乎天人太矣故笙簧以間則格神人之舞歌鳳鐘鼓樂之則閭門齊而風化行此先王之所以作樂不利畧傳于後生也記曰鐘聲鏗々以立号々以立模之以立武然則將擅不可一日無之則其今歲辛巳春二月祝融爲祟層城譙樓化爲烏有鐘隨焚燬

太守公仍屬其種督事匠石呈巧華獨改觀虽古管謝城齊莫之與京矜足新鑄守以備軍用不侈不吝其厚享應規而方守以騷擾愈然百里擊先鋒後部之烈施三令五甲之誨聲教所既且無不振奮踴躍爲出非立

換立武之謂乎嗚呼長樂苑外非元清矣豐嶺兩相後非不奇矣多添詞人之葩薄助文士之雕績耳其奈禁暴威兵何哉今乃公之秉心也爲我衣袖而有紉民於軌物廣養予之業者也奉命謹爲之銘曰

表東海者 雄視上流 日耀睥睨 雲飛棟宇
方城漢水 楚抵瓊臺 敬山迎谷 秦扼咽喉
地利人和 武備文脩 今茲修平 變生鬱攸
樓觀延燒 鐘嘶ぶ勾 再出鎔範 響徹深幽

外園中虛

孺夫鼓勇 勃敵奚憂 祖述起舞 惟嗟運壽
胡野奔夫 竊吟鳥束 治不忘亂 鷄鳴猶攸心
繼述濟美 祥慶是通 令聞令望 于戈長休
春容十杖

元祿十四龍集辛巳十月二日

從四位下松平越中守源朝臣定重
從五位下松平因幡守源朝臣定遠
從五位下松平因幡守源朝臣定遠

德臣 三宅正堅謹撰

令造

室永七年本多家ノ由緒ニヨリ大鼓ヲ以時ヲ報ス鐘門ノ内櫓掛也今大鼓櫓ナリ櫻門 南門 鐘ノ門ヨリ吉ノ丸鍛冶合名門ニ出ル門之内ヲ櫻門云門傍ノ土居

上古不ノ櫻アリ其系ノヨリ所ナリ外ヲ南門トシ

二ノ丸 本丸ノ南ノ郭也櫻門ノ内ヨリ東ニ二丸門アリ一ニ門并形アリ西南東南ノ内ニ二重櫓ニテ所アリ東ハ多門櫓 東南方ニ櫓門アリ内朝日丸ノ出ル本丸ハハ廊下櫓ヨリ入ル南通リ帶郭ヨリ帶郭門アリ夜櫓アリムカシハ松澤院林御住居アリ二丸林ト奉林クニ元祿後ニ建屋アレト見エ古因見エタリ今ナリ

朝日丸 本丸ノ東ニアリ二ノ丸ヨリ出ル東南ノ隈ニ二重櫓アリ北ノ端ニ平門アリ

朝日丸門ト云古因ニ東北ノ隈ニモ二重櫓アリ今ナリ

櫻門作門 新城朝日丸ヨリ東ニ出ル門ナリ門ノ北ノ多門櫓ナリ新城朝日丸ニ丸ハ俗

當城ノ二丸ニテ所々名ヲ殊ニス

三ノ丸 鐘ノ門ヲホテ西ノ郭ナリ

南大手門 外形一ノ門渡槽待番所是輕番所アリ渡上板橋ヲ架ス元禄災後再建アリ棟札高一尺横三尺五寸有テ八分深ノ北ナラシニ打フ

圓鏡院 御代ナリ監事、姓名ヲノス野村吉止安見通可杉山公憲山出奇之賢実、田乘延ナリ上梁文三宅堅如撰筆者富永平六黄中トシ

北大手門 制度棟札等大徑南大手ノ如ニテサ、狭ク也渡上板橋アリ而棟札全文別録三ノ丸北ノ外部ニテリ渡槽アリ

舟入門 二階門ノ外ニアリ槽門ニテ門外舟着也昔ハ先公御参勤、節此門ヨリ御乘組アリ見聞記ニ川口小門ヨリ直ニ七里ノ渡ハ御組御家中、面々土手門

堤端、毘出御見送甲上候由見エタリ北大手ノ内此門トノ間ニ昔ハ對面所ト云テリ鎮国公、御時公儀御役人吉地御通ノ時此ニ請レ

公儀御機嫌御伺アリトシ今ハ明地ニテ火除地トナル西北ノ隅ニ物見槽アリ川口角ノ槽ヨリニツ日ノ槽リ海ニ向シ棟尾幡籠ノ在トテ名曇ナリトテ其下ニ魚類集ス云云

稻荷門 平門ナリ二階門ノ東ニテ懸作門ノ外ニ出ル

原田門 懸作門外ヨリ外朝日丸ニ出ル門ナリ埋門トノ門内ハ元勘定所ト云下總守

殿ノ時ノ勘定所ナリ長屋存庫ナトアリ

外朝日丸 北ハ原田門ニテ南ハ吉ノ丸ニ出ル厩馬場ア見聞裏倉ニ東方海手ノ岸ハ

定綱公ノ時カケラル、ト云今ハナレ 近幸中土居ヲ取 又朝日丸堤ノ下ニ中屋敷アリ城主政事暇慈息ノ所トス後ノ槽ヨ 望江橋ト云セラル又ハ臨水亭トモ云セラル此

槽ノコトナレ臨水亭額ハト堀遠州、筆ナリ形玉又 契リ室マテカク筆、筆ノカケリト云云 又云、此ノ池ナリ云

公ハ不筆ノコト頼王ハ運ニ書テアナリ、林、コト浮上師道忠ニ宣置キ身マカリ玉

フ彼額ヲ道忠カ奉リシ時ヨミテ繪リケル也 今ハ松代宅

公子定弘士庶ノ詩ヲ集ラル侍政而 里田玄 察望江橋ハ景詩序ナリコレナリ

按定 公譜ニ御城内旭丸ニ學校ヲ建文學ノミナラス乃槍劔術書教曲礼音 曲ニ至迄夫々 師ヲ居テ之ヲ習ハシメ玉フ則其堂ノ額 嶺室 和尚ヲシテ

酒掃應對ノ十三ノテニ書セラル又其例ニ殿ヲ立四子ルニ鉄砲、音ヲ聞馴サセ且 暮馳驅ヲ學セラル 山本セテ元覺書ニモ 朝日丸 御馬ノ屋前諸君古昔被仰付 酒掃應對ノ四ノ子長壽院 嶺室、被仰付 額 御坐候南於是所文ヲ經官 寺相屬候林被仰付其外乃馬之 武藝氏在 所ニテ可仕由ニテ玉果乃天子被 下置候由ト見エタリ此學校ト云ハ此中屋敷ノコトナルヘレ今ハ松代宅ニナリ

馬場季門 吉ノ丸ハホル門ナリ槽門アリ

三ノ丸南郭ナリ見聞志云吉ノ丸ハ東西一區ナリ東ハ堤其外ハ海也

其英方灯ノ門西ニ行南ニ面リ西ニ面リテ門アリ鶏門ト云
今ハコト大石ノ天ヨリ石ノ入
リハ櫻門ニイタル西ニ行ハ此藏門門ト云
ナリ

燈門 吉丸ヨリ元赤須賀所へ出ル千門ナリ見聞要志ニ執田往來舟ノ目当灯火ヲ
シ爰ニ燃セシ故ノ名ナリト云此門前ヨリ南四五丁元ハ塀石垣モトク毎ラツキ綱ヲホシ
タリ慶安年中赤須賀開祭ノ後塀ヲカケラルト云此門以へ御城米倉教棟アリ
シ由古風ニ見ヘタリ今ハナシ銀治藏門吉丸ノ西ヨリ内堀へ出ル也一ニ門ノ形
渡矢倉アリ一ニ芝藏門ト云見聞要志ニ云大門ヨリ漢ノ地藏新田堤ノ出ロ前内赤
須賀侍屋敷トノ間ニ門アリ夜ハ圍テ出入ヲ制ス是迄ノ中ニ藏アリ

定綱公ノ時建ラル、役夫ノ用具鋏鋏鎌等ヨリ是ヨリ出ル役夫ニ配キス其本
ヲ鍛治藏ト云按ニ是門名ノ起リナルヘレ然ニ其藏アル処門ト隔タレリ要志ノ云
恐クハ誤リアラン

路次門 三ノ丸ヨリ南内堀へ出ル口也元禄以前ノ圖志ニ見エス下總守殿御領ノ時
開カレシナルヘレ濠上土橋ヲ架ス

以上ヲ城内トス又外郭ノ諸門ハ

京町門 京町西端ノ見附ナリ渡矢倉アリ

吉津屋門 吉津屋町ノ南ニアリ門制京町門ニ同シ又セツヤ門ト云

三崎門 三崎通西端ニアリ門制京町門ニ同シ田記ニ三崎門ヨリ南一色町裏御

堀通土手アリ上ニ塀ヲカク是町ニ割付建ツ修覆モスルナリトミエタリ今ハナシ

七曲門 傳馬町ノ南端ニアリ木戸作ナリ門外五丁間ニ板橋アリ陸上ニ架ス

内堀ノ西南ノ隅ニアリ葎屋町へ出ル早門也昔ハ門外ニ火見櫓アリ今ハナシ

獵師町門 伊賀町ヨリ獵師町へ出ル口ナリ

三股門

土橋木戸 内堀ヨリ京町へ出ル口ナリ

葎屋町木戸 外堀ヨリ葎屋町へ出ル口ナリ

天神木戸 新屋敷ヨリ葎屋町へ出ル口ナリ

法盛寺木戸 新屋敷ヨリ葎屋町へ出ル口ナリ

按ニ昔ハ柳原南ノ端ヨリ南郊ニ出ル口アリ乞食橋口也今ノ鉄炮臺古所也也
土居喰遠ニ小門番所等アリ今ハナシ廢スル耳代詳ナラス

新橋木戸 西一色町ヨリ掛樋ニ出ル口也昔ハナカリレカ下總守殿御領ノ時開カレト云

年月下詳土橋ナリ

解舎、郭ノ内外ニ散在スルモ此ニ附録ス

學校 伊賀町ニアリ下總守殿ノ時造立アリト云中門ヲ入正面立教館ト云句

讀局倉庫堂ト門ノ左在也職者ノ直廬ニ兵學舞樂膳方等ノ總管所アリ外

門ノ左右長屋アリ西ヲ劍術居合柔術ノ總管所トス東ヲ槍術ノ總管所

トス其東カレ入ヲ乃術、終古所ニテ所アリ

別會經古所 柳原ニアリ組經古所ハ大田村ニアリ

同心會所 下横目ノ者會合ノ所ナリ柳原ニ在取子等ノ終古モ此ニテ致スナリ

甚の定所 三九南大手門内南側ナリ小越図ニ懸作門ノ内ニ見エタリ

普請方 勘定所ノ南隣ナリ御田領ノ頃ハ古ノ九東南ノ隈ニアリ見聞畧志ニハ馬場末門ノ外東土居下ニ在トス古図ニハ今松平氏屋敷ノ所トス

同心會所 淨土寺門前ニアリ十手棒等、替古スルセ

町役所 普請方ノ南隣ナリ御田領ノ中ハ殿町ニ町奉行役宅アリテ町オノ事度ナリシカ今ハ此所ハ出勤ノ事ヲ兼スルナリ

寺社役所 町役所ト同所ナリ以上四役所侍屋敷ヲ依ニ用ヒタルモノテ其制度備ラヌ

御城米藏 古ノ丸西南隅ニアリ古ハ灯ノ門ノ内ニアリレ由見聞畧志ト越回等ニ見エタリ

扶持米藏 鍛冶藏門ノ内ニテ所ニアリ

比木藏 鍛冶藏門外右側ニアリ見聞畧志古図ニモアリ

郷方役所 上早町門ノ内ニアリ昔ハ御公儀屋敷ト称マレ由見聞畧志古図ニモシエラフ所淨土寺ノ東ニアリ今町同心ノ會所トス

献上物所 ニ階門ノ内ニアリ

武具藏 内朝日丸ニアリ三棟アリ小越図ニ六七棟アリ

手回長屋 稻荷門外ニアリ古図ニハ柴藏ノ南側ニアリ今ハナシ

川口番所 船馬町舟着ニアリ

秋首固屋 同所南ノ方ニアリ

舟小屋 大ニ九ニアリ城主乗船等ヲ維キオク公儀私録ニ寛文延宝ノ頃舟小屋出火ノコトアリ昔ヨリアリナルヘシ

塩硝藏 西方村ニアリニテ所ニ見聞畧志ニ楠檀堤ノ南ニ行境ニ塩硝藏アリ此所ヲ三六ト云西ノ人ヲ斬ル処ナリ故人斬場ノ三侯ト云元禄大事後西方ニ迂サシ跡藥調合所トナル古図ニモ見エタリ今ハナシ御伽寢覺草葉名ニテ鉄砲ノ藥合セントテ下人ヲナ

四五丁外ノ畑消ハタキ場へ遺シケルカ俄ニ白雨セシカハ只志人シテ土手ヲ行処ニ電ヒテ 廣落タリ甘間計先ノ梅檀ノ木ニ三入廻リ計ノ枝打割シテ倒レタリ遙十三町南

小貝洲氏所ニ女三人男一人草カリ居シカ男女二人絶入セシトテテテ極ニノセテカハツレトアルハ此所ノコトナルヘシ

府鳥部屋 新城御庭ノ内ニアリ昔ハ伊賀所橋ノ南ニアリ御復封後ノ廢セラル

六手 三崎門内北番所ノ後ニアリ昔ハ古津屋門内ニテ所舟入門内ニテ所アリト由

古図等ニモシエタリ今ハナシ

御田領ノ頃アリテ今ハナシ

見聞到所 内堀ニアリレ見聞畧志ニ柴藏門ヲ出テ堤上ヲユキ其下ニアリ日輕

辛、役夫末朋ニ集テ其役ノ長此ニ出テ改メ所世今ハ昔請方ニ并ス

左儀小屋 古図ニ着到所ノ東アリ

御大工所 古図ニ芝藏ノ南向ニアリ

山蔵 古図ニ元赤須賀中ノ北側東ノ端ニアリ

火見櫓 古図ニ葎屋門ノ外ニアリ

葎藏 見聞見志ニ濱地藏入口ヲ左ニ見テ柚櫓堤ヲ行間堤上右ノ方ニアリ在リヨリ

世業ヲ納ム 繩致足輕ノ繩モ此ニ納ム古図ニ今ノ学校ノ堤ノ上ニアリ

櫓 五十一ヶ所

多門 十二ヶ所

門 四十六ヶ所 一ヶ所弁合所

井戸 十四ヶ所

水門 三ヶ所

武具土蔵 九ヶ所

長嶋城

長嶋細布云城地家中屋敷共西外面村ノ地ニテ高八百七十七石三斗六升
五合昔ハ塘堤ノ圍モ不懌土民ノ長圍僅ノ圍ニ住居セリ所ニ寛元年申老明峯
寺道家郷此地ニ暫ク住居シ給フコトアリニ其長カ家ニ居テ修築セラシカ知
婦草ノ後鈴鹿郡ノ工藤一族拠有セシカ永祿ノ頃ハ伊藤四郎重晴ト云
シカ五ヶ所ニ出張ヲ構此地ヲ領ス其頃杉江ニ頼詔寺伝一向宗ノ寺アリ其時ノ
住持ヲ證竟トシシカ元龜二年重晴ヲ討取此地一圍ニ押領セシカ天正三年
二織田信長ニ去城ヲ攻落サレ證竟モ討クニ及レズ此時古城ヲ修築米ノ瀧川
一益ヲ置此時信長ノ文書目今深谷部村明光寺ニ藏

古多岐ぬ昔請石を引に付る此迄迄長嶋城あり此宿本も不借由

紫白中ハる古多岐あり此迄迄我てあえとせらるは世由

左程のいゝあの中は姓名も有る借くるし世懸りてなる

いてるあしいあはし人あしん中付るて地まを不借由

殊何のあはしてあはし人あしん中付るて地まを不借由

五ヶ所 信長 赤白

大久保 赤白

明新 赤白

世古 赤白

長嶋細布云と城昔ハ六合天守殿門跡多アリト云ハ偽説ニテカキ上ノ屋敷櫓

ノスレ候ハアルハレ慶長以來ノ城上レシニ修補シテ今ノ形勢ニテ成タル也按ニ此

信長ノ狀ニコレハ石垣等此頃ヨリ漸ク出来シモノナルヘシ

天正十三年十一月九日大地震ニテ本丸多門等動壊シ漸石垣ナト残レリ同十九年頃白

香次命ニテ石垣塔々大倉等修復ス慶長六年菅沼織部正定モ城主クリ

時建上門多門ヲ再修シニ丸米藏ヲ建テル松平美弥守定辰ノ大手門ノ外ニ花畑

屋敷ヲ櫓ヲ本平能登守定辰ノ時大手ノ櫓ヲ付テ大橋ヲ掛クハハル是迄ハ大

橋入ノ水門ニ移シテ元橋ノ跡ハ屏ヲ掛水門ヲ設テ大手門ニ番ヲ置守ラシム

此は送水戸ノ物ニテ亦モテノ 大手前ノ由ヲ埋立道ヲ廣シ大手ノ南ニ土手ヲ築キ郭ヲ開
金夜派入込て通行セシナリ 又其南ニ矢倉ヲ揚一郭トセラル其地尚ヒノ道ヲ杉並木ヲ植キ築キ入ノ住居トス
寛永十八年ノ定改細川越中守屋敷ノ書院ヲ之此、ヒキ本丸へ造立ス正保ノ頃花
屋敷ニモ書院ヲ設ケ池ヲ堀茶亭ヲ建其南ニ一字ヲ立隨身院ト号セシトノ明暦年
中松平佐渡守良高本丸里門ヲ修補ス同年里門前ノ辰己矢倉ヲ同造ス 此矢倉有テ
ニ山門ノ基ヲ計リテ又其門ノ西ハ幡前ニ木戸ヲ構ヘ内ニアリシ民家ヲ木戸ノ外ニ移サシム
コレ迄ハ東ノ外橋ノ処ヘ小道アリ又ニ曲輪堀ノ中程ヨリ西ヘ小道アリ 又下屋敷ニ月夜堂造テ堂ヲ
木戸ヲカマヘ後ハ此曲輪ニ小道ヲテキ裏内ノ道今ノ筋道ナリ 又下屋敷ニ月夜堂造テ堂ヲ
建ラル又今ノ屍曲輪ヲ取立ラル又三ノ曲輪ノ長屋ニ棟ヲ建大十姓中十姓独身ノモノヲサシラ
カル貞亨三年大監物忠亮下屋敷ノ勘定所ヲ今ノ二ノ丸会所ニ移サシムノ丸ノ徒士ハ
屋ヲ三ノ丸ヘ移サル元禄二年本丸ニ天神ヲ勧請ス又下屋敷ヲ修補シ射劔申御木ヲ催
サル寛永ノ頃大手ノ形南堀端ノ屏板度渡ナリシヲ増山河内守正任命ニテ瓦葺ニ
セラル

業名志料 卷之四 坊 卷

此地正代ノコト詳ナラス土人ノ説ニ古ハ三ツノ洲寄共又ハ三寄庄寄ノ洲渚ノ地ニ
分レタリ 郷司秀明記云伊執ノ國業名郡益田庄三崎 中日賀良洲崎北日磯取處
洲崎南日泡洲崎如法山覺書云一ニ鳥松原一ニ河波ノ洲一ニエノコト洲トアリ
袖野山見間記云古ハ業名ノ地洲崎ニツニ合レ北ヲ自凝洲ト云フ南ヲ泡洲崎ト云
中ヲ鳥洲崎ト見聞畧名ニ鳥松原泡洲崎江野古呂洲ト見ヘタリ今ニ崎通三崎明
神又新所老徳寺ニ泡洲八幡地藏ナトアル旧名ノ存セシルヘシ一南雜記云魚町ヨリ
北ヲ自凝洲寄トレ官通上車町古津屋町辺ヲ鳥洲寄トレ新所ヨリ南ヲ泡洲寄トス
又北執古志ニハ三崎ハ三洲ニ分レタルニハアラス海崎御崎岬ナトコトニテウミサキ
ノコトナルハレト云サレ氏三ノ村ナトノ名ニヨレハ三洲ニ合レシルト云ミアナカケニハ附合トナシ
カシレ此三洲ニ各村落ヲナレ、ヲ三ノ村ト称フ元和五年光明寺神面奉納證文
奥書ニ三ノ村毎空リ立合奉納氏アリ大團寺十王幡書書ニモ三ノ村ノ名アリ是
業書ハ寛永十五年ナレハ古キヨリノ暗ヘテリ天ヨリ後ニ業名三ノ村ト呼ビ東レ在
業名ハ元郡郷ノ名ノミニテ業名ト云地ハ見ハス 和名抄ニ業名ノ郷名ハ了レ其
地モシレカナラス不審也(一本ニオモフニ此ニテハ其地ニテ三ノ村ニ合レク故ニ業名ニテ村ト云
ナレハヨリムマラ不テシ) 且三ノ村ト云ハ地名氏干コエスオモフニ各其名アリレナルハレ
江ノ江奥又ハ堀子ナトノ称ナレ地ハ皆三ノ村ノ地ニアシレリ永禄天正頃ヨリ専業
名ト呼ヒレコト証録ニ歴然トシテ三ノ村ノ称ハ土人ノ傳ノミナリ慶長六年本郷家
領ノ年、時ニ城郭外地割アリテ形執一変ス因テ外郭坊卷ヲ條列シト下ニ詳載ス

西堀 侍町ナリ申ヨリ西ヲ三條トシ東ニ三條トシ西南隅ヨリ東屋町ニ出ツ北ハ土橋ヨリ東屋町ニ出ワ路次門ヨリ三九ニ入り銀治藏門ヨリ二九ニ入東北隅ヨリ赤須賀門ニ逢テ報恩ノシノ橋ヲ架セト云傳フ経営以前ハ堀子ト云レ由慶長自記ニ六月十八日工ミハナリコノ舟入ホラレ侵トア是ナリ古因ニ赤須賀橋ノ内ニ門番所アリ今ハナシ(一本ニ赤須賀記所ニミトナリ舟入ホラレシハ新御堂ニ在リ地柳下也)

外堀 侍町也内堀ノ南ニアリ東西三條アリ北ヲ堀端伝中ヲ申ノ丁伝南ヲ南ノ町伝西南隅町木戸ニ出南ハ幡町ニ連リ東ハ柳原若狭屋敷ヲ接ス東北ハ年賀町土橋ナリ是亦堀子ノ地ナリ経営ノ時外濠ヲホラレ郭ヲナセシヨリ内外ニ分ル

元赤須賀 西北、隅ニ橋アリ内堀ニ通ス東北灯ノ門ヨリ吉丸ニ入ル東南ハ赤須賀門内ニ出ワ東西三條ニ分ツ北ヲ堀端伝中ヲ申ノ町伝南ヲ南ノ町伝古因ニ八密相畑スレト云侍町ナリ元ハ今獵師町ノ漁人ノ住セシヲ慶安年中新田ヲ築キ漁人ヲ移サレ郭トナル

伊加貝町 侍家人屋ニキ世東ハ赤須賀門内ニ通ス西ハ橋アリ外堀ニ接ス今学校ノ所ヲ古園ニ築地屋ニキトアリ南裏ノ通リヲ昔ハ鷹ノ丘町伝レ西ノ方ニ鷹野屋ナリ今ハ寮ス此マナリ麻鳥匠ノ家ナリトシ

八幡町 侍町ナリ東ハ一條東ハ柳原ニ出西ハ外堀南ノ町へ出ル古因ニ中頃ヨリ西ノ方北側ニ八幡社ニ社並ニ立並町ノ穴ハ幡ナリト云見聞畧志ニ定綱公時士屋ニキトナレ給フ元此所ニ八幡宮アリ後部町右内今ハ萱町ニ移カル是町ノ右白ル所ナリ

新屋敷 侍屋敷又家人ヤニキモアリ八幡町以南ノ總名ニテ申ヲ廣十路伝又柳原古園ニハ南北丁伝見エ西ヲエサレ町伝西ノ町伝云廣十路ヨリ土居ニ傳テ東ニ入ル所ヲ儀家町伝又古園ニハ貝カラ塚スレバアリ

八軒町 侍町也廣十路ノ東裏ノ通ナリ屋敷ハ軒アサレハカク云也南端ノ所昔ハ江堀村へ出ロアリ橋ヲ乞食橋ト云レト總守殿

柳原 侍町也新ヤレキ、東エ居ニ傳フ南北一條ノ通リナリ橋ヲ乞食橋ト云レト總守殿其頭助次郎ニ朱鞘ノ大腰指ヲ給ハリ非常ノ時奉事御事ニ千下、若ニミツト道具持テ盜賊ヲ改ム室ハ三寺門番所ノ裏ニ玉ヲ助次郎カ珠又其正迄有之堀子本願寺相違ヨリ、御作道下傳アリ

色町 侍家人屋敷ナリ東西ニ條ヲ分ツ北ハセツ屋町ニ出東西南ニ方堀エ居ナリ西ニ新橋アリ掛橋ニモソ

殿町 田町ヨリ西ニ入り三寺門ノ内ニ出ル昔ハ町奉行舟奉行ノ役モヤレハナリ舟奉行ノ役モヤレハナリ

魚町 魚町市肆ノ西裏ニテ所ニ家人屋ニキアリ

寺町 家人屋ニキアリ赤須賀寺門前ト其南ト兩所ニアリ

大田河原 家人屋敷ナリ東西六條ニ分ツ南ヲ町端ノ町次ヲ申ノ町又其次ヲ寺ノ町西端ニ又其次ヲ御竹復町伝其北ヲ細町伝又其北ヲ矢場ノ町ト云え後堀ノ橋ナリ又川端ノ町ノ南ニトナリ其向ニ家敷所々ニアルヲ川向ノ町伝西端ニハ幡社ノ道アリ其西ヲ上原申屋ニハ承人屋敷ナリ東西三條ニ分ツ昔ハ町屋川走井山ノ下ヨリ寺町ノ方へ流レ海ニ入レ此アツクハ川奈ニテアリ故其名存セリ織田信雄初此木吉吉ト大田河原ニテ對面セシトアルモ此辺ナルハ今安田空明ノ走井山ニ伏シテ其

横ヲ討ニトセシモ地勢サモアルハレ

新天田 新天田村ノ北八幡社ノ西ニアリ是郷長屋敷棟アリ

新地 福江町ノ西ニアリ家人屋敷長屋等アリ東西四條ニ分テリ下總守殿卿
領ノ竹印ヨリ出来

慶長自記云慶長六年五月末未詳所割ヲ被仰付六月十八日普請始ル工コホ
リコノ舟入ホラレ候今ハ外堀ノ地也九月二日ツケヌテ通ノ舟入ホラレ候同日六日ヨリ

町中ノ家藏コホケ春日の内ニ小屋サレハカイトウ堤後ニ組テ川ニ浮メ下々ハ三

崎ノ鼻岸堤ノ奈サニマイノアツリ迄小屋ヲサシテ日ヨリ送ル同七年六月總捕頭堀

普請始リ三崎外通トアリ其後迄々普請アリ民屋建ツ子今ノ形勢トナリ又人

町屋坊卷茶室都ミラ三ノ名ニナリ東面大凡三町南北北ニ六町余七曲門三崎門ハ

ラ内町ト階ノ内外ヲ外側ト称ス(町方差五帳ニ所敷四丁四町内往是通十五町此ハ名ノ所也)

川口町 東海道官駅佐屋敷ノ後ニ口舟場ナレハカク名付シナルヘ南北通ニテ南

江戸町へ接ス長サ九十七間余紀場石檀番所高札場警固屋舟役所問屋場ア

リ此伊勢國ノ入口ナレハトテ天明年中両官ノ鳥居ヲ建ツ西へ入ル路ヲ

江戸町 北ハ川口町ニツキ南ハ片町ニワケ長サ七十五間余公私録永祿

年中江戸ノヲ諸町ニ引ク江戸ハ今ノ城内三ノ丸四リナリ諸町トハ今ノ江戸町ノ由ナリ

大田寺軒長春父渡迎忠ハ江戸ヨリ来リ住居セシ故江戸町ト云ナラセリトリ

片町界ニ御河邊跡ニアリ廣十路北角ニ大田道仙居本陣ト諸大名御乗船ノ路ト云々

片町 北ハ江戸町南ハ京町ニ接ス東ハ城邊ニテ片側町也故ニ名トス南片町北片町ト分稱ス

京町 片町南端ヨリ西ニ折ス長サ京町門迄一百八間北側ニ民沙門屋敷アリ北ハ城邊

屋敷アリ此町割ノ頃福王小ニ移ストナリ近年ノタタヒ田沙門堂建立ス

吉津屋町 ヨツト鴨フ上京町門ノ外ヨリ南ニ折シ吉津屋門ヲ出テ東ニ折シ新町ニ接ス長

サ百九拾八間吉津屋門ハ鍛冶屋町ト云門外ヨリ七津屋町古ハ此アツリ人居モマハラナリ時

ノ衣ニテ四ツ屋セツ屋ヲト云ニナルヘン長島アツリニ設ク家三ノ家ナト云地アリ初澄スヘレ

新町 南北ノ通ニテ南傳馬町ヲ接ス

傳馬町 北ハ新町南ハ七曲門ニイタル南方ヲ末町ト称ス新町橋降ヨリ七曲門迄長サ

貳百八拾六間此町ニ傳馬車寄丹羽藤九郎ト云者代々居住ス

御末印ヲ賜リ空地免除ナリ又此辺傳馬持ノ音多ク住ス因テ町名トナリシナルヘレ東

側ニ八部兵衛屋敷ハ処アリ草札米ト称シニ毎年本願寺村ニ納ム又左屋敷敷伝子

アリ古ハ本願寺村ノ地ナリト云末町西側南端土居下ヲ

鍋屋町 七曲門外ヨリ南ニ折レ又西ニ曲ル大田町ニワケ長一百九十五間吉町

ニ鑄物師アリ因テ名トス慶長年中本多家ノ時貞兵衛大泉村ヨリ鑄物師

ヲ召寄可定地ヲ賜フ諸役ヲ免除ス其頃ハ本願寺モナカリシカ是々町並出来セシト

ソ江場本願寺西村ノ地内也先年鑄物師火災ノ故災ノ後モアレハ他所ノ引カレ復棟ト爲

テノ糸工ハ鍋屋町鑄物師ニナク鑄物師ニハ吉町末モセル以前ヨリ住居ト且所名モ鑄物師トシヨリ

新町ナリト申合ニテ松カハサリトツ七曲門ノ外ヲ七曲門ノ外ヲ七曲門ノ外ヲ七曲門ノ外ヲ

ト云町ヲ分テ西鍋屋東鍋屋ト称ス

瓦師 掛桶瀬古庄云町北側ニアリ奥ニ瓦師ノ家アリハカク称ス

掛桶 瓦師ノ奥ニリ水道ノ掛桶アリハカク名々又西ノ内ニ新左衛門屋敷云アリ尾

洲人大島新左工門云者ノ妻ハ豊臣秀次ノ叔母ナリ故有テ此ニ塾居ス其子塚入ヲ

猶アリ松山家ノ時ノ文書ヨリ所持ス

本願寺村新左工門御屋敷ノ儀被仰越ハ水道ノ北隠岐守ノ申圃川天壽院様ノ御

奉公申仁ノ義ハ何様ノ儀成テ所馳走ナリ是式ノ儀守御用ニ儀成

則申付後新左工門ノ爲取置申仁其御心持テ今ハ御後裔ノ恐惶謹言

奥平長兵衛

政口判

小笠原ハ本多家ノ臣奥平ハ松山家ノ長臣ナリ此外小笠原ノ臣輩自久松十郎

左工門往復ノ状等五通ヲ藏ス有テ又其日ニヨレハ本多家由緒アリテ免陸地ナリ

トナルヘシ又**松岡屋敷**云アリ松岡久石工門云者ノ宅跡免陸地也

ヨリ今一色ハノ通リ也春日社頭モ此所ニアリ膏腴ノ地ニテ一町ノ田ニテ三町合收ト云

六田町 東六田西六田ト分称ス東田二百七十三間昔ハ六田村云ト云今町支配ト云

左近屋敷 八幡社門前所例ニアリ神主石垣左近屋住ノ地ナリ

御ニアリ **朝川** 吉町北裏馬道ノ通リナリ **水庫** 吉町ノ西端ヨリ北へ入ル所ニカ馬道

ヘノ通リナリ水道ノ餘水ニ水碓ヲ設ケテハカクハク存付トルヘシ **馬道** 負赤郡ハ

ノ街道ニテ夫田江場本願寺入合ノ地ナリ昔ハ人家モナカリシ道々建運ネ今ハ町

並走井山ノ西南迄ワケリサレハ猶町支配ニハアラス夫田町ニツキナレハ此ニ附録ス

可治ノ頃ノ古図ニモ **福江町** 六田町西ノ端ヨリ南へ折ス長百拾五間南福江北福

水庫迄ニ馬道ナレ **福江町** 六田町西ノ端ヨリ南へ折ス長百拾五間南福江北福

江町ト称ス其日ハ江福町ト称ス **大福村** 江場村ノ地入合ナルヲ以テカク

称スト也 六田町ノ勇助ナル者由緒書ニ勇助先祖ハ六田庄屋ナリ福江町元

ハ本家ナリト云町並ニ取立ヲ命セラレ所由ニ今所ノ地子下サレテ年々米六斗ノ受納

ストナリ川ヨリ此ニ東海道往還ナリ昔ハ在地ナリシカ今ハ町支配ニナル所ノ南ノ

端ニ木ノテ設ケ城下ノ入口トス

船馬町 川口舟場ヨリ西へ入ル川岸通リナリ長東西百七十三間北側ハ多クハ十一

藏ナリ公私私録ニ寛永七年船場ノ地ヲ開キ給フ正月廿日請始リ六月出来ス大田

主茂茂記ニ船馬永庚午ノ秋國ノ守ヨリ素名ノ北ノ方磯ヨリ廿間ノカリ住店スルコトニハヤ

モト家屋ニテナリケラレ 其家主ノ名氏ヲアケテカソフルニ或ニ代或ハ三代ニテ入替リ他家

トナリ傳ルニ父吉俊又シノ家ノミセハ八斗ノ目屋相ヲ經玉ヒ明曆三ニワレテ謀

ラウケナトセアマリ六トセラ住ナルニテ又吉堅ニ渡レハル

夕ラチ子ハ地トル背ニ思ヒキヤカハテ此子ヨリ継ントハ

ナト見ヘタリ昔此迎遊女町ナトニテアリシニヤ旧記ニ船馬町伏夫銀先年此所遊セ

町ニテ御座候処皆輪屋共御遊立被成四年以前船馬町裏ノ地ナレハカクアリテ

レノヤ郎屋町ナトニ其名ノ遺リニナルレ(伏見銀差出張夫役録アリ)

本町 南ハ三寄春日社門前ヨリ北ハ船馬町マテ長一百七十間一作二所上申下ト合線ス

天工町 下本町ヨリ官町へ出ル東西ノ道ヲ云 **鮎横町**

官通 南ハ京町ニ出テ北ハ三寄春日ノ社門前ニイタル長不取大間百六十間一作十間鏡守ノ

通リナルヲ以テ名ソナルヘレ **廣十路** 春日樓門前ヨリ江戸町鳥居迄ヲ云又鳥居

横町ニ云宝曆五年火災アリレヨリ町幅ヲ廣メラルヨリ廣十路ト稱スト也

職人町 南ハ京町北ハ三寄春日社迄長九十六間 **玄覺屋敷** 当町西側北端ニア

リ屋野玄覺ト云者ノ宅地ナリ春日勸請セシ時ノ屋野屋敷ノ子孫也玄覺見元

祿三斗ニ没セシ由丸明寺過志帳ニ見ヘタリ其子孫今ハ田代新田ニアリ下上

記ニ玄覺ヤシキハ丸明寺申ニ去祥軒ノ寺述ナリ支明寺 橋山和尙ノ時書リシヨト見ユ 未詳孰是

油町 南ハ京町ニ出北ハ三寄春日社ニイタル職人町ノ西東ナリ長九十間

南林下 三寄春日社ノ南橋外ノ通ヲ云 **北林下** 三寄春日社ノ北橋外ノ

通リヲ云此ニテ所ハ油町ニ属スル地ニアラサレ此ニ附記ス

南魚町 魚ノ棚ニ云々奥芝木ノ間屋アリ日々市ヲナス南ハ京町北ハ田町ニ接ス

北魚大町 南ハ三寄春日社ノ北東門ニテ北ハ風呂町ニ接ス長五十五間

田町 南ハ南魚町ニ連リ北ハ三寄春日社ニ出ル浄土寺記ニ慶長町割迄ハ今ノ

敷町ニ田町モナカリレカ七年ニ地形ヲ築立寺ヲ移ストアリ 浄土寺ノ此ニアリ

三寄町通 三寄町ヨリ江戸町ニ出ル東西ノ道ニテ東ハ北魚町風呂町ノ西迄迄云長

百七十間今一色ニ三寄神明社アリ見附ヨ三寄町ト云相ヨルノ名ナルヘレ元祿

頃迄ハ横郡町ト呼ヒレ由見聞志略ニ横郡町ニ宿ルト見ヘタリ今ハ稱スルニ

絶ヘテナレ 何ノ故ニ改シテ未詳又宝殿ニ三寄ノ神ヲ合祀スルニヨリ鳥洲エド

モ三崎ト云 志見各ヨシハ人ノ敷町ヲ三寄ト云 **元水寺屋敷** 浄土寺門前ニアリ元水寺ノ者ノ

宅地ナリレカ今ノ大丸ハ引レ後町方拝借地トナル **浄土寺屋敷** 浄土寺ノ西邊ノ町

屋ヲ云西ヲ **西町** 南ハ中門前通迄北ハ船馬ニ達ス東ヲ **東町** 北ハ女郎

屋町南ハ宝殿社ニイタル西片側ナリ東側ヲ教下伝新宝殿町ヲ北ノ通りセ

浄土寺記ニ寛永年中寺境内ノ竹木ヲ切排ヒ屋敷トス其時ノ名ノ残リタルナリ

寺ノ北東通リヲ女郎屋町伝比浄土寺ノ境内ナリ **宝殿町** 三崎通ノ北ニアリ宝殿社アルヲ以テ名付ク東ハ三條ニ分ソ **南宝殿町**

ハ東ハ風呂町ニイナリ西ハ社地ナリ中ヲ **北宝殿町** 伝旧記ニ承安四年四月廿五日

宝殿町新屋敷被下是今ノ新宝殿町トナリ **舟町** 東西ノ通ミテ本舟町中舟町西舟町北舟町ト分稱ス又新舟町伝ナリ

教下東町トノ間東西ノ通南側ヲ云一ノ治頃ノ間ニ志町東ハ川口西ハ船

町ノ西新宝殿町ニ接ス 教下町ノ名今ハキカス

細町 南北百十五間 北へ延馬町ニイタリ 南へ延舟町ニイタル 又此在御内金
敷區存跡武左エ門免除地ナリ 水谷田上記ニ本多之孫 御居城・節尾州
猪藏村ヨリ相領此地へ引越 小綱獵仕役 是今 小綱町ノ辺 段山堀逆
ニ築地ニ致住居 夫ヨリ 八ノ銀 一百石本多ヲ 差上 御堀獵仕役 夫ヨリ 八艘舟
ト申ナラハストアリ 小綱獵イタレ候 者住居イタレ候ヨリ 小アミ丁ト呼来リ
レモノナルヘレ

岡名町 南へ本町北へ官町ニイタル 長百間

官町 南へ風呂町北へ北舟町ニイタル
持統 天皇行宮ノ遺址ナリ 故ニ官町ト名ワク伝ワルモ詳ナラス

入江町 北へ紺屋町南へ吉津屋門東土居際ニイタル 吉津屋町へ出ル東西ノ
小路ヲ **長福寺瀬** 古ト云

紺屋町 北へ京町門外へ堀端ヨリ 南入江町ニワク 中程ヨリ 北へ堀片側ニ東
へ堀ナリ

段町 入江町ノ東へ裏ノ通りセ 片側ニテ 東南へ土居也 以上三町南北ノ長
合テ 百廿八間

荻町 北へ本荻町 南へ新荻町ト称ス 長二百三十八間 北端ヨリ西ニ折シ 新町ニ至
此間 椽尾屋敷云リ 南へ七曲門外ニホウ 双五子名勝園会ニ入江町 段町 荻町
ナト 今ハ 隴野ニテ 隔リ 別郭トナルモ 南へ一面ノ 洲渚ニテ 葎荻ナト 茂生セシ地ト
ハ カクナンシ 在付レタルヘレトアリサモアルヘレ

法盛寺門前 公私録云 貞亨三年 法盛寺西門前十二間 通諸公儀地ヲカリ

三崎町 外町ノ 總名ナリ 市圃記録ニ 今一色ナリ 長初ハ 堀子村 江下 堀ノ 繁盛ノ 觀音ト称ス

今田中ノ字トナリ 袖野ノ 南邊ニ 此等 露下 跡ス 此所ナリ 中町 片町 北町 小北町ト 分称ス 東西四條ニ 分ツ 又南へ方
堀ニ ソヒ 南北ノ 通りヲ 寺町トシ 寺院 多ク 新ナレハ ナリ 上村 雜記ニ 寛永八年
今一色ニ 初テ 家作りス 地子 今十一兩一匁 銀七匁五分五厘 元禄十一年 冬迄 延寶
一及三付一石代ナリ 翌年ヨリ 一石五斗ニナル 同十五斗 東堤 南北長百廿一間 三尺地
代金 百五十五兩 屋敷及 總高ニ 町ニ 及 四畝 廿七步

現存 今一色ヨリ 西へソキ 美濃地へ 街道ナリ 處長 自記ニ 町割時 下ノ 者ハ 三
崎ノ 堀堤ノ 存迹ト 堰サシテトアリ 今ハ 町屋連リ 立ツ 此城下町ノ 西端也 又此町ノ

南へ裏ニ **會下** 伝所アリ 旧ハ 江ノ 奥ト云テ 矢部氏ノ 館迹ト云伝フ 又 **高倉田** ト云アリ

三崎 神明社 南ニアルトシ 大月寺 十五分 相裏書ニ 徳永十五年 卯月 八日至 廿八日
供養 伊勢國 桑名 菴田 左三村 高倉田 鏡智山 大園寺 什物トアリ 伊勢寺

ノ観音モ元高島ニアリシヲ中古會下ニ移セシトシ今神明ノ南ハ寺堂ノ水田ニシテ高島ノナドシエ地ナリ

天一丸 今之邑ノ北ニアリ本多家ノ時大船ヲ作ラシ天一丸ト名シ其舟ヲ置シヨリ
ノネナリトノ下里家譜ニ天一丸ヲ領ケラルルコト見エナリ
水主町 ニテ所ニアリ一ハ今之邑ノ北町ノ北ニアリ一ハ鷗屋塚ノ北ニアリ水主ノ
者住居ノ地ナリ水谷家記ニ昔子保ハ身三月願ニヨリ水主町ヲ三崎通ニリ
天一丸ハ移ス諸役ノ代トシテ斗々金ハ向ツテ被下今ハヤム

業名志料巻五

村 里 一 業名郡

業名町

三崎新 増田左神戶郷ニテ高千四百三十五石六斗六升
別ニ城池巻ノ部アリ 小書 差出帳当町西ニ吉ル三町幾ト申川地新在町申ハ割付作リ册
相渡川(三崎新田)コトナルヘシ 所商人職人ニ儀ニ分断申上セ六年前百姓割付被下定免ニ相定

東方村

枝郷 東 増田左神戶郷ニテ高千六百七十七石三斗三升九合川口ヨリ西ニ
成ノ方十二丁半アリ 東福島ハ七町西北別所ヘ二丁南矢田村ヘ八丁北幡村ヘ十丁
程上村氏未古ハ此モ海濱ニテ方ハ濁成ノヒト云

北別所村

同左同郷ニテ高三百四十四石四斗九升一川口ヨリ西成十八丁程ニアリ
東 東方村ヘ二丁 西 西方村ヘ三丁半程 南 上野ヘ七丁半程 見聞表畧云別所ハ寺院ノ所
領ヲ云古海善寺 聖と象寺ナト云大判ノ所領ノ旧名ナルヘシ 追加云古衣ハ東別所ト云レ

西方村

同左同郷ニテ高六百廿石六斗二升六合 川口ヨリ申西ノ方廿五丁ニアリ
枝郷以下十三丁 奥新田ノ四十四丁 東 北別所ヘ三丁半 北幡村ヘ十四丁
南 大夫村ヘ一丁 上野村ヘ四丁

播磨村

同左同郷ニテ高二百九十七石五斗八合川口ヨリ西成ノ方廿三丁ニアリ
東上ノ輪ヘ十丁 西方村奥新田ヘ世下 南西方ヘ十四丁 北 西上ノ輪ヘ九丁

福島村

同左同郷ニテ高七百五十四石五斗一合川口ヨリ成美ノ方十三丁程ニアリ
枝郷中江新田 取寄 四至 北 上ノ輪ヘ三丁 東 三井新田ヘ二丁 南 矢田村ヘ十五丁 西 東方ヘ七丁程

上之輪新田

同左同郷ニテ高千四十一石四斗五升四合川口ヨリ成丈ノ方十六丁ニアリ 杖御 飯塚
四至 東大川迄八丁 西東込上ノ十三丁 播六ノ十三丁 南福嶺ノ十三丁 新田ノ十三丁 北
飯塚迄十三丁程

東込上村

同左同郷ニテ高七百廿七石五合川口ノ乾方一丁ニアリ
四至 東上ノ輪ノ十三丁 西込込上ノ八丁 南播六ノ九丁 北蛸塚ノ五丁

西込上村

同左同郷ニテ高三百四十四石七斗四升九合川口ヨリ乾方廿五丁程ニ在
四至 東込込上ノ四丁 西八山ノ五丁程 南播六ノ九丁 北蛸塚ノ十三丁程

蛸塚新田

同左同郷ニテ高三百四十一石二斗二升八合川口ヨリ成丈ノ方一里也
四至 東飯塚ノ七丁 西山越嘉仙川迄一里余北下深谷部ノ七丁 南西込上ノ十三丁

下深谷部

同左同郷ニテ上組下組ト分リ高二千三百廿一石一斗五合川口ヨリ成丈ノ方一里
羊程ニアリ 四至 東木曾川 西山南蛸塚ノ七丁 東込込上ノ廿町 北今島ノ十八丁
北勢吉志云此村ニハ深江セシラ 何頃ヨリ下深谷部ト云今フカヒト増ス

上深谷部村

同左同郷ナリ高六百八十二石四斗五升川口ヨリ成丈ノ方一里廿四丁
アリ往古ハ神田ノ林込後塚村ト改メ又上深谷部ト称ス
四至 東今島ノ七丁 西八山南下深谷部ノ九丁 北野代ノ十三丁

今島村

同左同郷ニテ高八百十八石六斗八升一合川口ヨリ成丈ノ方一里廿五丁ニアリ
四至 東大川 西上深谷部ノ七丁 下野代ノ十三丁 南下深谷部ノ八丁 北大鳥居ノ七丁

下野代村

同左ニテ高九百廿六石五斗五升川口ヨリ成丈ノ方二里ニアリ
四至 東大鳥居ノ七丁 西滿野ノ十三丁 南上深谷部ノ十三丁 今島ノ十三丁 北肱江ノ六丁 北西込上ノ十三丁
和名抄ニ載ル野代郷ハ此辺ヲ云ナルハレ傳姫世記ニアル野代官ト云此地ニテ今ハ
官ト云所其遺址ト云

大鳥居村

同左也高七百八十七石九斗八升四合川口ヨリ成丈ノ方二里ニアリナリ
多ク度權現ノ鳥居アリト所ニテ今村名トナリ又
四至 東大川 西下野代ノ七丁 南今島ノ十三丁 北南郷ノ十三丁

南郷村

同左也高六百七十一石八合川口ヨリ成丈ノ方二里十八丁ニアリ
四至 東大川 西中須村ノ十三丁 南大鳥居ノ十三丁 北八郷料所七郷ナリ

中須村

同左也高四百八十九石二斗二升川口ヨリ成丈ノ方二里十三丁ニアリ
四至 東南ノ郷ノ十三丁 南大鳥居ノ七丁 下野代ノ九丁 西肱江ノ四丁 北西香取ノ五丁

香取村

増田左香取郷ニテ高五百八十三石三斗八升八合川口ヨリ成丈ノ方二里十三丁
四至 東中津ノ五丁 西未廻西肱江ノ六丁 西戸津ノ七丁 西北柳井ノ八丁
古ハ庄名ヲ香取ト云ト行執ノ庫記ニ加藤判官早麻呂香取庄深谷ニ住ストアリ

深谷八澤谷部ノコトテ般迎道モ在ノ内ナリ成ヘレ
又東鑑 伊勢国香取庄五ヶ郷大井兵三次印実春ニ給ハルトアリ然今独
其郷名ヲ伝テ其左ノ在ヲ知ルモノナレ

袖井村

増田庄左高三百四十六石四十八升川口ノ子ノ方ニ里セ二マアリ枝郷ニ横
四至 東南香取ハ八丁 南戸津ハ四丁余 西多度ハ十三丁 北濃州下一色ハ九丁
北界ニテ美濃国ニ接ス

多度村

増田庄也旧記ニ多度郷ト見ヘタレ氏當時ハ用ヒテ神鳳村ニ葉名
郡ノ多度トアル是ナリ高百廿二石二斗五升 四至 東戸津ハ十三丁 西北野ハ二里程
南北猪飼ハ十丁 北袖井ハ十三丁

戸津村

増田庄也日本紀所稱 尾津神名帳所載尾津神社ハ此地ヲト
ニテ字ノ訛也ト云又神鳳抄ニ富津東富津トアルハ戸津ノコトニテ富津
三郎繼綱モ此ニ住セシナルヘレ高四百八十七石八十九升
四至 東香取ハ七丁 西多度ハ十三丁 南麻江ハ十丁 北袖井ハ四丁程

上麻江村

増田庄香取郷高百四十三石六斗四升二合川口ヨリ亥ノ方ニ里六丁
四至 東中津ハ四丁 西小山ハ十丁 南下路代ハ六丁 北戸津ハ十丁 東北香取ハ六丁

下麻江村

上麻江ニ同レ高二百十四石四升六合

小山村

増田庄香取郷也川口ヨリ亥ノ方ニ里半ニアリ 高九百五丁石四斗七升二合
四至 東麻江ハ八丁 東南下野代ハ十二丁 南御衣野ハ八丁 東北戸津ハ十丁 西猪飼ハ十丁
枝郷 北小山 東糸 大久保
按ニ小山ハ尾山ナルヘレ尾津モコノアケリニテ多度山ノ尾サキニアレハカク稱セシナルヘレ尾
山ト書セシモアリ

御衣野村

増田庄香取郷也日本尊此野ニ薨レ給ヒ白鳥ニ化シ飛去御衣ノミ
成リ是ヲ後ノ山ニ納陵ヲ作故村名トス今八劍社アル所是也ト云フ川口ヨリ亥
ノ方ニ里半ニアリ 四至 東野代村ハ十丁 西カ尾ハ十丁 南嘉例川ハ廿四丁 枝郷 中ノ糸
北小山ハ八丁

カ尾村

増田庄也高二百七十七石七升八合川口ヨリ亥ノ方ニ里半五丁ニアリ
四至 東御衣野ハ十丁 西南山 北猪飼ハ五丁アリ

猪飼村

増田庄也高二百五十三石三斗四升二合川口ヨリ亥ノ方ニ里半五丁ニアリ
四至 東小山ハ十丁 西古野ハ十八丁 南カ尾ハ五丁 北多度ハ十丁

北猪飼村

増田庄也高二百七十石六斗六升川口ヨリ亥ノ方ニ里半六丁ニアリ
四至 東小山ハ十丁 西古野ハ十八丁 南カ尾ハ五丁 北多度ハ十丁

十野村

増田庄香取郷也高四百廿九石四斗五升川口ヨリ亥ノ方ニ里ニアリ
四至 東北猪飼ハ十八丁 西美鹿ハ十九丁 南北皆四丁

美鹿村

増田庄香取郷也高二百四十三石二斗五升川口ヨリ亥ノ方ニ里

半ニアリ 四至 東古野へ十九丁 西負兼利市之系へ十八丁 南畑村へ廿丁 北山

本願寺 枝郷小車馬道 増田庄神戸郷也 本願寺ノアリハ村名トナリシニルヘシ首尾

百四十九石八斗八升五合川口ヨリ末方十八丁ニアリ 四至 東江場村へ續キ 西大福へ十丁

江場村 枝郷掛植 増田庄神戸郷也 高九百九十四石三斗六升六合川口ヨリ末方

十八丁ニアリ 四至 東東野村へ四丁 西本願寺へ一丁 南和泉へ十三丁

東野村 同庄同郷也 高七十九石五斗三升川口ヨリ末方十三丁 四至 東北獵師町へ一丁

西南江場へ四丁 東赤須賀新田へ二丁

昔八合ノ村ヨリ南ヨリ柳屋外堰端ノ間ニテ何頃今地ニ移セニヤ不詳古圖ニ

元東野ト云所アリ

獵師町 同庄同郷也 高四十一石三斗五升 獵師多シ川口ヨリ辰方十二丁ニアリ

四至 東大川 西東野へ二丁 北赤須賀門 南小貝須へ五丁

赤須賀新田 同庄同郷也 高六百四十四石六斗二合川口ヨリ辰方十四丁ニアリ

四至 東大川 西東野へ二丁 南小貝須へ五丁 北獵師町へ二丁

慶安年中ノ開墾ナリ

小貝洲村 同庄同郷也 高千七十九石三斗川口ヨリ末方廿丁合ニアリ

四至 東汝へ三丁 西江場へ十丁 程南 大貝須へ十丁 程北 赤須賀新田へ五丁

大貝洲新田 同庄同郷也 高三百五十二石川口ヨリ辰方廿五丁ニ在

四至 東福本六丁 西和泉へ五丁 南福江へ二丁 北小貝須新田へ十丁

福本新田 同庄同郷也 高二百三十八石一合川口ヨリ辰方廿七丁ニアリ

四至 東八汝 西大貝洲へ六丁 南福地へ二丁 北七汝也

太平新田 同庄同郷也 高九十七石一斗八升川口ヨリ辰方四十丁ニアリ

四至 東汝 西福地へ二丁 南末廣へ接シ 北福本新田へ三丁

末廣新田 同庄同郷也 高未定川口ヨリ辰方四十一丁ニ在 四至 東太平へ二丁 南末廣屋川

福地新田 同庄同郷也 高廿四石九斗五合川口ヨリ辰方廿九丁ニアリ

四至 東太平へ二丁 西福地へ一丁 南末廣屋川 北汝

福地新田 同庄同郷也 高四十五石八斗四合川口ヨリ辰方廿九丁ニアリ

四至 東福地へ一斗半 西和泉へ四丁 南末廣屋川 北福本へ二丁

萱所新田 同庄同郷也 高廿九石二斗五合川口ヨリ辰 廿八丁ニアリ

四至 東福本へ二丁 西南末廣屋川 北福江新田へ二丁

福江新田 同左同郷也 高九十九石一斗七升八合川口ヨリ未申方廿五丁ニアリ

西至 東 福本ノ二丁 西 小泉ノ五丁 南 萱町ノ二丁 北大見洲ノ二丁

小泉新田 同左同郷ニアリ 高六百廿七石六斗七升九合川口ヨリ未申方廿五丁ニアリ

和泉村 同左同郷ニテ 高五百七十七石八斗八升七合川口ヨリ未申方廿五丁ニアリ

西至 東 小泉ノ二丁半 西 安永ノ三丁半 南 町屋川 北 江場ノ十丁

安永村 同左同郷ニアリ 高六百七十八石五斗八升五合川口ヨリ未申方四丁ニアリ

西至 東 知泉ノ三丁半 西 東金井ノ十丁 南 繩生ノ三丁半 北大福ノ三丁合
雜記 追加云 天武帝 皇國 相 大社 ヲリ 宇治ノ自界 繩生天神山田 本居
ヨリ 移サレ

上時 虎之申ニ行馬ノ立目ニテ未申ノ方ヲ指テ 大友王子 伏誅ノ地ナルベシ今ヨリ
永ク 國安カラント 詔レ 給ッ 安永ノ名ハ是ヨリ 起伝

大福村 同左同郷ナリ 高三百十三石二斗四升ヨリ未申方廿六丁ニアリ

西至 東 江場村ノ十丁 西 東金井ノ十丁程 南 安永ノ三丁 北 夫田ノ四丁程

元祿以前迄ハ 大門ト云古 大福田寺 寺村ヲ 東ニテ 其大門ノ有レ 所故カ云セ

矢田村 同左同郷ニテ 高三百五十八石六斗三升三合川口ヨリ未申方廿四丁ニアリ

西至 東 夫田川ノ二丁 南 馬道ニ 家マキ 西 上野ノ二丁半 北 東方ノ八丁 三崎村ノ五丁半 福島ノ十五丁

神鳳抄ニハ 太御厨トアリ 是ナリ 今 夫田町ニ對シ 此ヲ 新田ト云

大夫村 同左同郷也 高四十六石二斗八升川口ヨリ未申ノ方廿二丁ニアリ

西至 東 夫田ノ九丁 西 西別所ノ七丁 南 上野ノ四丁 北 西方ノ二丁

満村 尾州津島ノ 社家ノ 千代ニシテ 諸國ノ 配札ヲ 業トス 又 神樂ヲ 業トスル者

十二軒アリ 元ハ 上野村ト 称シ 上野村ノ 内ナリニカ

鎮國公ノ 御時 大夫村ト 改令セラル

上野村 同左同郷也 高百九十四石一斗六合川口ヨリ未申方廿九丁ニアリ

西至 東 夫田ノ六丁半 西 別所ノ七丁 南 稗田ノ八丁 北 大夫村ノ四丁

廿八 下上野ト云 此ト云 村ニ 津島 配札ノ 者ニ 軒アリ

野田村 増田左久米郷 高百拾四石四斗一升 当村ハ 東金井村ト 一所ニアリ

東金井村 同左同郷也 高二百十二石八斗八升五合川口ヨリ未申ノ方一里

西至 東 繩生村ノ六丁 西 西金井ノ四丁 北 町屋川ノ三丁 南 八山ナリ

西金井村 同左同郷也 高二百廿二石一斗六升川口ヨリ 坤方一里ニアリ

西至 東 東金井ノ四丁 西 業部ノ八丁 北 町屋川ノ三丁 南 八山ナリ

業部村 増田左久米郷 高八百四十一石四斗四合川口ヨリ未申ノ方一里六丁ニアリ

西至 東 西金井ノ八丁 西 能部ノ十五丁 南 八山 北 稗田ノ四丁程

能部村

同庄同郷高四百四十石九斗六升川口ヨリ申西方一里廿町ニアリ
西至東葉部ノ十五丁西忍領赤尾ノ廿丁南同領坪坂ノ廿丁北同領坂井ノ廿丁余一本三丁
雜記追加云廿八南部ト云レカ今ハ能部ト云

稗田村

增田左神戶郷ト云高三百六十石七斗三升合川口ヨリ未申ノ方一里三丁
ニアリ 西至 東上野ハ八丁 西增田ハ十丁 南葉部ハ四丁 北 西別所ハ四丁

西別所村

同左同郷ト云高四百七石六斗九升九合川口ヨリ申西ノ方四十六町ニ在リ
西至 東上野村ハ七丁 大夫村ハ七丁 西蓮花寺ハ四丁程 南稗田ハ四丁程北八山ナリ

蓮花寺村

同庄同郷也川口ヨリ申西ノ方五丁高四百四十八石三斗七升四合

西至 東西別所村ハ四丁程 西稗田村ハ六丁程 南增田村ハ六丁程北八山ナリ
古蓮花寺ト云寺アリシ故村名トス 遺址猶存ス

増田村

増田庄ト云当村ハ左名ノ本ツク所ナルヘシ高三百八十五石二斗三合川口ヨリ
未申ノ方一里八丁西至 六丁 東稗田ハ十丁 南能部ハ八丁程 西稗田ハ四丁 北蓮花寺ハ

糠田村

増田左和名抄ニ当郡郷名ニ額田アリ恐此辺ヲ指ナルベシ高
四百八十四石五斗四升三合一本ニ川口ヨリ申西ノ方一里八丁ニアリ

西至

東增田ハ四丁

西負辨郡

星川ハ十丁

東北蓮花寺ハ六丁 南能部ハ

八丁程

当郡西南ノ境上也

白鷄新田

赤須賀新田ノ東本曾川ノ向ニアリ佐藤九郎兵衛記ニ云言子係ヨリ
安永迄公儀サ段運上場ニアリシヲ今ニ年此所ニ已前ヨリ今ニ色笠引ノ獵場ノ旨
申立 赤衣領ニナル 開祭ノ頃 御復討 鶏龜新田ト云 鶏龜多クアリシ故名ト
ス 其後殊ニ大ナル 白鷄ノ居シ故今ノ名ニ改メラル

業名志料 卷之六

村里ニ 負辨郡

日生川村 川口ヨリ申ノ方二里ニアリ高五百廿七石七斗四升四合 東 業名郡 糠田ノ上ニ

ハナテ 雨所屋川 延 喜式ニ星川神社神鳳抄ニ星川御厨又星川大明神 神田ニ及ナトト

アリ古キヨリノ地名也町屋川モ此也ラ一名星川ト云モ此地ニ同シ右ナルヘシ

嘉例川村 蓋田庄伝フ川口ヨリ申ノ方二里十五丁ニ在リ高五十八石八斗六升一合

西至 東星川ノ十七丁西大把野ハ十八丁南森忠サケケ崎ハ十七丁五及田ハ十八丁北御衣野尾廿分

元和四年開発初ハ播六新田ト云又書百アリ

幡摩抄田有、同、同、隣、心、少、も、遠、能、以、為、為、者、之、為、後

日状如件

元和四年 二月三日

幡六新田庄屋 甚四郎
山石 瀬上 兵部
渡部 権右 兵部
徳坂 太右 兵部
山田 善右 兵部
出善 右 兵部

末林忠村 左郷末詳川口ヨリ酒ノ方二里ニアリ高三百五十五石六斗四升四合 東 星川ノ上ニ

北 嘉例川ノ 神鳳抄ニ 守忠 右ノ丁ニ 是也

芳賀崎村 左郷末詳川口ヨリ申ノ方二里五丁ニ在リ高三百六十九石七斗四升四合

西至 東 森忠ハ五丁 西五及田ハ四丁 北 嘉例川ハ十七丁

大仲新田 左郷末詳川口ヨリ酒ノ方二里十二丁ニ在リ高八十二石六斗一升三合

西至 西大把野ハ九丁 北 嘉例川ハ十五丁 南五及田ハ四丁 筑基サハ九丁

五及田村 増田庄也云川口ヨリ酒ノ方二里九丁ニ在リ高三百十六石七斗七升五合

西至 東 芳賀崎ハ四丁 西大把野ハ十一丁 南 筑基ハ六丁 北 嘉例川ハ十六丁 大仲新田ハ四丁

竹取紫村 増田庄ト云川口ヨリ酒ノ方二里十五丁ニ在リ高三百五十二石四斗一升四合

西至 東五及田ハ六丁 西 瀬古泉ハ三丁 南 忍領 表知ハ十一丁 北 大仲ハ九丁

穴太村 公庄ト云筑紫村ト相並ヒ川口ヨリ方伍里敷比目全シ高七百三十七石七斗六升

三合 西至 東五及田ハ六丁 西 瀬古泉ハ三丁 南 忍領 表知ハ十一丁 北 大仲ハ九丁

瀬古泉村 左郷末詳川口ヨリ酒ノ方二里十二丁ニ在リ高三百六十八石八斗三升七合

西至 東 穴太ハ三丁 西 山田ハ三丁 南 忍領 中上ハ十一丁 北 大把野ハ十一丁

山田村 在郷末詳川口ヨリ酒ノ方二里十二丁ニ在リ高九百八石六斗六升四合 西至 東 瀬古泉

北 山田ハ十八丁 神鳳抄ニ 山田ノ 右見エナリ

大把野新田 左郷不詳川口ヨリ西方二里セ丁ニアリ高四百十二石九斗九升六合

四至 東五及田八丁 西北山田八丁 南山田八丁 北方尾村一里十丁
長岡元甫詩 赤ク龍抽葉大把前 松林接翠大泉也 隣郷懐惠
移家處處々 邑社荜蔕晚烟コレ新田ノナリレ頃ナルヘシ

北山田村 左郷末詳川口ヨリ成方三里ニアリ高三百六十石一斗七升五合

四至 東大把野八丁 西北山田八丁

八幡新田 左郷末詳川口ヨリ西方二里卅丁ニアリ高二百四十三石六斗一升三合

四至 東北山田八丁 西東一色八丁 南忍領北大社八丁 北古野一里セ丁

東一色村 枝郷下田 大泉郷云今モ大泉ノ内一色村ト称ス川口ヨリ西方三里ニアリ

前岡暮明 高八百四十石二斗一升四合 四至 東八幡八丁 西成方八丁 神鳳抄ニ大泉トアルハ此大泉郷ノ数村ヲ指スナルヘシ

西方村 枝郷五軒屋 大泉郷ニテ忍領大泉村ノ新田也故ニ大泉新田西方村ト称ス

四至 東東一色村へ三丁 西金井へ二丁 北大泉新田へ四丁 南忍領梅屋へ六丁 川口ヨリ西方三里半ニアリ高四百四十六石三斗八升八合

金井村 大泉郷云是亦大泉村ノ新田ニテ大泉新田金井村ト称ス

川口ヨリ西方三里サ丁ニアリ高五百九十八石 四至 東西方へ二丁 西楚原へ二丁 南忍領大井田へ五丁 北大泉新田へ三丁 畑新田へ四丁

大泉新田 大泉郷セ川口ヨリ西方三里セ丁高千三百十二石九斗一升八合

四至 東八幡八丁 西楚原八丁 南西方へ四丁 金井へ三丁 北畑新田へ二丁

畑新田 大泉ノ新田ニテ大泉郷内也 川口ヨリ申西方三里セ九丁ニアリ高三百三十九石六斗七升四合 四至 東方大泉新田へ二丁 南金井村へ四丁 申方楚原へ二丁 西笠田へ九石六斗七升四合 四至 畑へ四丁 東方一斗一升一合六分

御世園村 古谷双紙ニ此辺ハ和名抄ニアル 野麻郷ナルヘレト云神領ニ御厨御園ト云名アリ此名ノ村名ト成シナルヘシ 川口ヨリ西方四里ニアリ高四百十二石二斗五升五合 四至 東楚原へ一丁 五十間 西下笠田へ三丁 五十間 北笠田新田へ一丁 余南忍領高野(和名)村境迄八丁 九間 二本ニ楚原

林定石村 郷名御世園ニ合シ川口ヨリ西方四里ニアリ高二百八十八石四斗

四至 東金井十丁 余西御世園へ二丁 五十間 余北畑新田へ十七丁 五十間 南忍領高柳へ一丁 余

下笠田村 笠田郷ヲ神鳳抄ニ笠田ト見ヘタリ上下笠田ニテ新田ト野等ノ線

名ニテ後世教村ニ合シタルナルヘシ 川口ヨリ西方四里一六丁ニマリ高三百四十二石一斗三升六合 四至 東楚原へ二丁 四十間 西上笠田へ一丁 廿四間 北畑へ一丁 廿五間 南高柳村境へ八丁 四十間 北笠田新田へ九丁 廿四間 余

上笠田村 全郷ナリ川口ヨリ西方四里七丁ニアリ高二百八十六石七斗七升一合

四至 東笠田新田へ一丁 余西麻生田へ八丁 南下笠田へ一丁 廿四間 北其原へ三丁

笠田新田 全郷ト称ス 古谷双紙ニ此笠田ノ郷モ 川口ヨリ西方四里ニマリ高

三百廿七石二升一合一匁 永中大通ノ筑木カセラレシ時ノ開墾也
西至 東 榎屋村ノ下丁 西 笠田ノ下丁 余 南下 笠田ノ九丁三丁間 余 北 市ノ南ノ二里許

宇野村 上 笠田ノ下 民屋入込 三丁一丁 村同様セ 行程方角 總テ上 笠田ト合シ 高七
十四石九斗七升七合

上麻生田村 古谷双紙ニハ 野麻郷トス 神鳳抄ニ 麻生田 御厨十五石トアリ 内合口
領ノナリ 川口ヨリ 酒成ノ下 四里廿丁ニアリ 高 五百四十二石三斗八升七合

西至 東 上 笠田ノ十八丁 西 阿下 花ノ下 三丁 治田 堺ノ六丁 廿四 余 南 方 種ノ七丁 四丁 間 丹生川下村
十六丁 余 北 榎屋ノ十五丁

上片通村 左 郷 未 詳 神 鳳 抄 片 火 二 升 八 匁 領 八 丁 上 川 口 ヨリ 申 西 方 四
里廿四丁ニアリ 高 五百廿四石四斗一合 西至 東 下 笠田ノ十八丁 廿五丁 間 東 北 上 笠田ノ
南 石 榎 下 村ノ下丁 余 治田 堺 迄 十五丁 余 北 上 麻 生 田ノ七丁 四丁 間

石榎下村 左 郷 未 詳 川 口 ヨリ 申 西 方 四 里 八 丁 二 丁 上 高 百 七 石 四 斗 五 合 口
西至 東 他 領 高 柳ノ下丁 西 東 村ノ十九丁 南 鍋 坂 新 田ノ十八丁 北 片 通ノ十四丁 余

石榎東村 左 郷 未 詳 川 口 ヨリ 申 西 方 四 里 廿 二 丁 二 丁 上 高 七 百 七 石 七 斗 三 升 八
合 西至 北 村ノ下丁 南 村ノ廿三丁 下 村ノ十九丁 丹 生 川 上 村ノ十八丁 廿五丁 間 中 村ノ下丁 他 領 鍋 坂 新 田ノ
十九丁

石榎南村 左 郷 未 詳 川 口 ヨリ 申 西 方 五 里 二 丁 上 高 九 百 廿 三 石 一 斗 一 合 口 西至
東 他 領 平 塚ノ五丁 西 江 州 社 葉 尾ノ四里 南 他 領 宇 賀ノ八丁 北 石 榎 北 村ノ十三丁

石榎北村 左 郷 未 詳 川 口 ヨリ 申 西 方 五 里 二 丁 上 高 九 百 石 九 斗 一 升 六 合 口
西至 東 東 村 迄 十五丁 西 江 州 境 迄 二 里 南 南 村 迄 十三丁 北 丹 生 川 上 村 迄 十六丁 天 間 治 田 鏡 十 五 丁

丹生川久保村 丹 生 川 郷 ト 云 川 口 ヨリ 酒 成 方 四 里 廿 二 丁 二 丁 上 在 リ 神 鳳 抄 丹 生 川 御 厨
八十町三十三石大御 執 員 上 分 三 石 ト 上 是 也 高 二 百 石 西至 東 片 通ノ十三丁
九丁 北 治田 堺 迄 八丁 五丁 間 北 上 麻 生 田ノ十六丁 四丁 間

丹生川下村 丹 生 川 郷 云 川 口 ヨリ 酒 成 方 四 里 廿 二 丁 二 丁 上 高 七 百 石 九 斗 四 升 二 合 口
西至 東 久 保 村ノ八合

丹生川中村 丹 生 川 郷 ト 云 川 口 ヨリ 酒 成 方 五 里 四 丁 四 丁 上 高 八 百 七 石 七 斗 八 斗 四 升 合 口
西至 東 下 村ノ九丁 西 上 村ノ八丁 廿四丁 間 南 石 榎 北 治田 境 迄 六丁 四丁 間

丹生川上村 丹 生 川 郷 云 川 口 ヨリ 酒 成 方 五 里 十 五 丁 十 丁 上 高 八 百 石 四 斗 十
西至 東 中 村ノ六丁 半 西 江 州 境 迄 二 里 半 南 北 村 迄 十六丁 四十六丁 間 北 東 禪 寺 迄 三丁 四丁 間

東禪寺村 左 郷 未 詳 川 口 ヨリ 西 五 里 余 在 神 鳳 抄 東 禪 寺 御 厨 ト ア リ 古 東
禪 寺 伝 寺 ア リ 東 禪 寺 村 名ノ 秘 所 也 今 三 東 禪 寺 々 領 ノ 文 書 日 存 ス 高 六 百
八十一石九斗二合 西至 東 阿 下 花ノ下 廿四丁 間 西 片 通 村 南 丹 生 川 上 村ノ廿四丁 合 口
北 石 川ノ八丁 七丁 十七丁 間

石川村 和 名 抄 ノ 石 加 郷 八 此 邊 也 八 合 神 鳳 抄 石 川 御 厨 ト ア リ 三 斗 四 升 四 合 口
西至 東 上 笠田ノ十八丁 廿五丁 間 東 北 上 笠田ノ
南 石 榎 下 村ノ下丁 余 治田 堺 迄 十五丁 余 北 上 麻 生 田ノ七丁 四丁 間

三丁一丁 西 五 里 余 在 神 鳳 抄 東 禪 寺 御 厨 ト ア リ 古 東 禪 寺 伝 寺 ア リ 東 禪 寺 村 名ノ 秘 所 也 今 三 東 禪 寺 々 領 ノ 文 書 日 存 ス 高 六 百 八 十 一 石 九 斗 二 合 西 至 東 阿 下 花ノ下 廿四丁 間 西 片 通 村 南 丹 生 川 上 村ノ廿四丁 合 口 北 石 川ノ八丁 七丁 十七丁 間

四至 東阿下北八十五丁 西八藤原嶽 南東禪寺八十七丁 北下野尻八十七丁

下野尻村 庄郷未詳 川口ヨリ西六里余ニアリ 高四百廿二石三斗三升

四至 東瀬木八丁 西野尻八丁 南石川八丁 北川合八丁

西野尻村 庄郷未詳 川口ヨリ西六里半ニアリ 高四百廿二石三斗五升

四至 東下野尻八丁 西大貝戸八十五丁 南東禪寺八十四丁 西阿北川合八十二丁

大貝戸村 庄郷未詳 川口ヨリ西六里十五丁ニアリ 高四百四十八石六斗八升一合

四至 東野尻八丁 西坂本八十五丁 南藤原嶽 北本郷八十二丁

坂本村 庄郷未詳 村名、寺院部 川口ヨリ戌亥方六里廿八丁ニアリ 高六百七

石六斗六升三合 四至 東本郷八十五丁 西山南 大貝戸八十五丁

山口村 庄郷未詳 川口ヨリ戌亥方七里二丁ニアリ 高六百廿六石五斗

四至 東本郷八十二丁 西八山 南坂本八十六丁 北條立八十八丁 上山田八十二丁

本郷村 松宮氏説ニ志礼庄ノ本郷也 川口ヨリ乾方六里廿二丁ニアリ 高七百六

十石九斗三升 四至 東市場八十二丁 西山口八十五丁 南坂本八十六丁

上市場村 同説ニ志礼庄ノ市場也 川口ヨリ乾方六里十二丁ニアリ 高四百

五十四石六斗八升八合 四至 東南川合八十三丁 已所下北八十四丁 下野尻八十七丁

半未 運野尻八十五丁 余申大貝戸八十二丁 余成本郷八十三丁 已長尾八丁 寅日八丁 五十四

志礼石新田 志礼庄庄北ノ郷ト鉢ノ川ヨリ乾方六里六丁ニアリ 高四百八石三斗五升七合

四至 知所下北八十八丁 未下野尻八丁 申西野尻八十五丁 申市場八十六丁 寅川合八十六丁

志礼石余成が知行ニ白瀬ニ作ル

川合村 志礼庄庄北ノ郷ト鉢ノ川ヨリ戌亥方六里余ニアリ 高二百八十八石九斗六升

九合 四至 東瀬木八十二丁 西市場八十三丁 西南西野尻八十二丁 余南下野尻八

頃佐々木水ノ屋小寺ノ寺ノ末住ト和田ヲ名ノ末故ニ和ネヲ和田村

伝 延宝、頃ヨリ川合村ト呼フ 徳田寺田跡也

上相場村 志礼庄庄相場郷 川口ヨリ乾方七里半ニアリ 高四百三石三斗八升

東田四二里五丁 川合八十三丁 西上ノ山四丁 南長尾ノ神鳳抄ニ御食庭郷

三合 四至 十九丁 日内八丁 南東下相場八十四丁 北清司八丁

厨トハ是ナリ

下相場村 庄郷上同ノ川口ヨリ乾方六里余ニアリ 高二百四石七斗五升 四至 東向子

毎日内八十二丁 上相場八十四丁 南川合八十二丁 北川合八十二丁 東北田八丁 廿六丁

日内村 志礼庄北郷 川口ヨリ戌亥方六里廿二丁 在リ又飛那井在リ

高四百八石二斗五升 四至 東下相場八十二丁 乾長尾八十五丁 南川合八十二丁

上相場八丁 北相場八十二丁

長尾村

庄郷上三同し川口ヨリ戌亥ノ方六里セ一丁アリ高二百一石五斗八升五合
四至 東日内ノ五丁 西本郷ノ十二丁 南市場ノ七丁 北上相場ノ十九丁

上ノ山田村

庄郷上三同し川口ヨリ戌亥ノ方七里セ一丁アリ高一百一十七石九斗九升九合
四至 東上相場ノ四丁半 西北山ノ四十三丁 南長尾ノセ三丁 北清司奈下組ノセ七丁

篠立村

志礼石庄郷布未詳川口ヨリ乾方八里ニアリ高四百八十八石四斗九升三合
四至 東上ノ山田ノ四十六丁 西江州ノ大石ノ相ノ三里 難所ノ志礼ニ往来ナシ
南八山ノ一十八丁 北古田ノ十二丁

十日田村

志礼石庄郷布未詳川口ヨリ乾方八里十三丁ニアリ高五百一十三石八斗七合
四至 東深尾ノセ丁 西山ノ南ハ 篠立ノ十二丁 北濃州土岐 打上村ノ十九丁

深尾村

志礼石庄郷布未詳川口ヨリ乾方八里六丁ニアリ高七百七十三石七斗九合
四至 東清司奈下組ノ十八丁上組ノ十九丁 西古田ノセ丁 北濃州打上ノセ六丁

清司奈村上組

志礼石庄相場郷ト云川口ヨリ八里八丁ニアリ高百一十七石五斗五合
四至 東川原ノ廿五丁 西深尾ノ十九丁 南下組ノ八丁 北濃州土岐郷 打上村ノセ丁

清司奈村下組

庄郷上組ニ合し川口ヨリ戌亥ノ方八里合ニアリ高一百六十石三斗四升六合
四至 東川原ノ廿六丁 西北深尾ノ十八丁 南上ノ山田ノセ七丁上相場ノ廿九丁 北上組ノ八丁

川原村

庄郷未詳川口ヨリ戌亥ノ方七里十三丁ニアリ高四百三十六石三斗一升八合外
二四十一石合ノ新田アリ四至 東清司奈下組ノ十九丁 西上相場ノ廿三丁 西北清司奈
上組ノ廿五丁 南下組ノ廿八丁 南下相場ノ一里十丁

十司久連新田

庄郷未詳川口ヨリ戌亥ノ方七里ニアリ高六十石一斗三升一合
四至 東三瀬ノ十四丁 西川原ノ十六丁 南田邊ノ十六丁 北八山ナリ

田邊村

志礼石庄田ノ郷ト云川口ヨリ戌亥ノ方七里ニアリ高五百五斗
東十色ノ一色ノ十六丁 西川原ノ廿七丁 南塩崎ノ七丁 下相場ノ廿六丁 北三瀬ノ
八丁 十司久連ノ十六丁

三之瀬村

志礼石庄田ノ郷ト云川口ヨリ戌亥ノ方七里合ニアリ高三百二十八石二斗七升
四至 東小原一色ノ十五丁 西十司久連ノ九丁 南田邊ノ八丁

小原一色

同左同郷ト云川口ヨリ戌亥ノ方七里合ニアリ高百廿石五斗八升七合
西貝野ノ廿八丁 西三瀬ノ十五丁 田邊ノ十六丁 西南塩崎ノ十八丁 畑毛ノ十九丁
北山越 札落ノ一里五丁 煮畑ノ一里九丁

塩崎村

同左同郷 塩川口ヨリ戌亥ノ方六里合ニアリ高百六十石五斗
四至 東十色ノ一色ノ十八丁 南畑毛ノ七丁 北田邊ノ十一丁

畑毛村

同左同郷 塩川口ヨリ戌亥ノ方六里合ニアリ高二百六十六石七斗四升五合
東小原一色ノ十九丁 南向平ノ十四丁 北塩崎ノ七丁

京ノ野新田

同左同郷 塩川口ヨリ西戌ノ方六里ニアリ高廿八石五斗六合八家ナシ
四至 南下平ノ十一丁 南瀬木ノ七丁 北京ノ野ノ上新田ノ十九丁

向平村

同左同郷ト云川口ヨリ戌亥ノ方六里十三丁ニアリ高七十八石一斗八合
四至 東南下平ノ五丁 西下相場ノ廿丁 北畑毛ノ十四丁

下子村

同左同郷ト云川口ヨリ成亥方六里十丁ニアリ高四百廿六石一斗九升五合
四至東西貝野ハ八丁南飯倉ハナ丁申野ノ方上早野ハ三丁

瀬木村

志礼石左阿下赤郷ト云川口ヨリ西方五里合ニ高一百廿一石八斗四升
四至東飯倉ハナ丁西下野ハ八丁南阿下赤ハ五丁北川合ハ一丁

阿下赤村

同左同郷云神鳳抄云阿下赤郷厨五丁四丁トアル且是ナリ又上木尾アリ
川口ヨリ西ノ方五里十二丁ニアリ高六百廿六石一斗二合市場アリ戸口飯平昌ス
四至東貝野ハ二丁西東禪寺ハ廿五丁余南麻生田ハ廿三丁北飯倉ハ八丁

飯倉村

同左同郷云川口ヨリ乾方五里廿丁ニアリ高一百三十四石一斗六升八合
四至東北貝野ハ六丁西瀬木ハ二丁南阿下赤ハ八丁北下野ハ十一丁

西貝野村

志礼石左田切郷云川口ヨリ乾方六里程ニアリ高三百八十九石六斗九升
四至東東貝野ハ十七丁西下野ハ八丁南飯倉ハ六丁北小倉一色ハ世丁

東貝野村

同左全郷云川口ヨリ亥子方六里程ニアリ高四百五十五石四斗九升九合
四至東鼓村ハ十五丁西貝野ハ十七丁南阿下赤ハ二里北小倉一色ハ廿二丁多度田代迄セ丁

鼓村

志礼石左赤ノ郷ト云川口ヨリ乾方五里半ニアリ高二百五十八石三斗九合
四至東貝野ハ十五丁南平野ハ十三丁北中津原ハ十五丁

大辻新田

同左同郷也川口ヨリ津西方五里ニアリ高廿六石六合四至
平野ハ五丁北中津原ハ十三丁

平野新田

同左同郷也川口ヨリ西成方五里十丁ニアリ高六十一石七斗二升七合
筑国公ノ時開墾入村ニ御殿跡アリ四至東北中津原ハ七丁五間西阿下赤ハ廿五丁南

北中津原村

同左同郷ト云川口ヨリ西成方五里十五丁ニアリ高五百四十二石五斗四升
四至南南津原ハ五丁余西下野ハ七丁余北ソノハ十五丁

南中津原村

同左同郷ト云川口ヨリ西成方五里十丁ニアリ高四百六十六石五斗四升合
四至東市ノ原ハ廿丁南中津原ハ十九丁北北中津原ハ五丁余

其原村

同左同郷ト云川口ヨリ成亥方
高二百廿七石六斗五升

四至東市ノ原ハ廿丁南上笠田ハ廿三丁西南麻生田ハ十五丁西北阿下赤ハ廿五丁
北平野ハ十二丁南中津原ハ十九丁余

中之原村

同左同郷ト云川口ヨリ乾方四里廿丁ニアリ高五百十四石八斗三合
四至東桑名郡美濃ハ十八丁西貝野ハ廿丁畑新田ハ廿六丁北南中津原村ハ廿二丁

五十間

村里 三 朝明郡 三重郡附

繩生村

羽根庄金細郷ト云延喜式東鑑神鳳抄ニ見ヘタル金細郷ト云ハ此辺ヲ云尾參後海ノ所ナリト云伝 川口ヨリ未申方一里ニアリ東海道ノ官道也一里塚村ノ中程ニアリ高千四百廿石四斗四升四至 東豊新田ハ五丁西東金細ハ六丁南豊新田ハ六丁北安永ハ四丁

小向村

羽根庄土郷又小向郷ト云川口ヨリ未方一里八丁ニアリ高千六百六十四石三斗五升九合四至 丁ナ向北繩生村ハ六丁 小官通ナリ

柿村

豊田庄今村郷伝川口アリ未方一里十六丁ニアリ官道也高千六百三石一斗三升四至 東豊田一色ハ八丁西桑名郡桑名部ハセテ山越也他領埋繩ハ六丁南松寺ハ七丁西向北七向ハ一丁ナ向

吉田新田

羽根庄金細郷ナリ川口分ナ方一里四丁ニアリ高四百十六石五斗六升三合四至 東尾須ハ八丁西繩生ハ五丁辰己北福寄ハ三丁北八町屋川ナリ

北福崎村

羽根庄金細郷ナリ川口ヨリ未方一里十三丁ニアリ高二百十九石二斗七升九合四至 東尾津ハ七町屋尾崎ハ十三丁南福寄ハ十二丁成当新田ハ三丁

尾須新田

同庄同郷ナリ川口分ナ方一里ニアリ高九十一石九斗四升七合四至 桑名郡福江ハ四丁西吉新田ハ八丁北福寄ハセテ北尾出寄ハ四丁

尾尾新田

左郷未詳川口ヨリナ方一里半余ニアリ高九十七石四斗八升六合四至 東豊出寄ハ二丁西尾須ハ一丁南尾出寄ト村續キ北町屋川ヲハダテテ桑名郡福江ハ五丁

曲豆崎新田

左郷未詳川口分ナ方一里二丁ニアリ高九十九石八斗二升五合四至 東中吉ハ四丁西尾崎ハ三丁南南福崎ハセテ以上二村ノ地勢尾須尾崎ニワキキ北桑名郡未詳ハ四丁

尾崎新田

羽根庄金細郷ト称ス川口分ナ方一里四丁ニアリ高二百九石六斗七升六合四至 東豊崎ハ三丁西北福崎ハ十三丁南南福崎ハ十三丁北尾須ハ十四丁

南福崎村

豊田庄高松郷伝川口ヨリ己方一里廿丁ニアリ高四百廿石三斗六合四至 東尾崎ハ十三丁西豊田一色ハ六丁南高松ハ三丁北福寄ハ五丁

曲豆田一色

同庄同郷伝川口ヨリナ方一里半程ニアリ高三百四十九石二斗一合四至 東福寄ハ六丁南朝明川ヲタテ高松ハ三丁西豊田ハ八丁西柿ハ八丁ナ向八丁

十藏 傳左内 新田

川口ヨリナ方一里十七丁ニアリ高二千五百四十八升 四至 東中吉ハ六丁南天ノ須賀ハ九丁北尾崎ハ十三丁 福崎ハ六丁南

松

松 豊田庄今村郷川口ヨリ末方一里廿四丁街道ナリ高四百十八石一斗三升合

時田村

時田村 今庄今郷川口ヨリ末方一里廿三丁ニアリ街道ナリ高三百四十五石九斗

西富田村

西富田村 豊田庄富田郷ト云川口ヨリ末方二里二丁ニアリ高七百九十石六斗一合

東富田村

東富田村 枝郷 豊田庄富田郷ト云川口ヨリ末方二里八丁ニアリ街道ナリ

北村

北村 額田郷川口ヨリ末方二里十八丁余ニ在リ街道セ高三百四十四石六斗九升三合

茂福村

茂福村 額田郷ト云神鳳抄ニ茂福名三十三町トアル是世川口ヨリ末方二里十九丁

八幡村

八幡村 東白須賀ニ三丁廿間西北鶴ノ十七丁忍領南鶴ノ十六丁南羽津三丁二十六間北茂

羽津村

羽津村 枝郷味条白 額田郷ト云川口ヨリ末方二里廿丁ニアリ街道ナリ封内ニ

吉沢村

吉沢村 額田郷ト云川口ヨリ申方二里廿丁ニアリ高八百五十三石二斗七升九合

豊田廣新田

豊田廣新田 同郷ト云川口ヨリ申方二里廿五丁ニアリ高四百五十二石一斗七升七合

松原村

松原村 豊田庄富田郷ト云川口ヨリ申方二里二丁ニアリ高三百九十一石

四 東豊田ノ六丁西忍領川北ノ六丁南時田ノ五丁六間北朝明ツラツテ柘植セ丁四丁間

四 東松原ノ六丁廿三間西忍領川北ノ七丁六間南西富田ノ三丁ヨ北松原ノ五十六間

東松原ノ六丁四十八間 西忍領下官ノ八丁廿間 南東富田ノ五

神鳳抄ニ富田郷厨トアル是アリ高四百丁六石八斗五升一合四至 西富田ノ五丁

五丁東北富田一色ノ十丁 東枝郷汝ノ三丁廿間 南北村ノ村ツキ 西南北鶴ノ十四丁廿間西忍

領下官ノ十丁同領大夫知ノ二十丁 小書 忍領ニ鶴ノ村ト云ツアリ古村ト云一村ナリシラ寛永中今テ西村トナス

北村 額田郷川口ヨリ末方二里十八丁余ニ在リ街道セ高三百四十四石六斗九升三合

茂福村 額田郷ト云神鳳抄ニ茂福名三十三町トアル是世川口ヨリ末方二里十九丁

八幡村 東白須賀ニ三丁廿間西北鶴ノ十七丁忍領南鶴ノ十六丁南羽津三丁二十六間北茂

羽津村 枝郷味条白 額田郷ト云川口ヨリ申方二里廿丁ニアリ街道ナリ封内ニ

吉沢村 額田郷ト云川口ヨリ申方二里廿丁ニアリ高八百五十三石二斗七升九合

豊田廣新田 同郷ト云川口ヨリ申方二里廿五丁ニアリ高四百五十二石一斗七升七合

松原村 豊田庄富田郷ト云川口ヨリ申方二里二丁ニアリ高三百九十一石

神鳳抄ニ吉沢(御厨)郷トアル是ナリ

東豊田廣新田 同郷ト云川口ヨリ申方二里廿五丁ニアリ高四百五十二石一斗七升七合

東松原ノ六丁廿三間西忍領川北ノ七丁六間南西富田ノ三丁ヨ北松原ノ五十六間

五斗二升三合 四斗五 東富田一色へ五丁廿四間 西富田へ六丁四十八間 南富田へ五丁四十八間

富田一色 曲豆田在富田郷也川にヨリ已千方二里七丁ニアリ高二百八十六石四斗七合

四斗五 東海西八松系へ五丁廿四間 南東富田へ十石三斗三合 西富田へ十石三斗三合

天々須賀村 曲豆田在富田郷ナリ川にヨリ未方二里ニアリ高四百九十一石二斗一斗四合

五丁四十四間 南富田へ六丁十四間 北葭野へ五丁十四間 高松杖郷塚四丁五斗三合

葭野新田 左郷未詳 天々須賀一色ノ間ニアリ川にヨリ未方二里高四百七十八石四斗四合

六斗九合 四斗五 東海西高松へ十三丁南天々須賀へ四丁五斗四合 北福壽へ五丁

一 天々須賀村新屋敷分海西朝明川迄 葭野新田依願 仰付御年

貢之儀々新田開墾之上御政御檢分次才上納之旨右爲御礼金

五十三兩 指上受可申込候也爲後日仍而澄文申付

元禄十一年八月十四日 奥打助六判 横村代平

高松村 高輪寺 大矢知村 七六天殿

高松村 杖郷 豊田庄高松郷ト云善養寺由緒書ニ吉村一本三重郡ニアリ

後当神山村ノ東ニ遷リ又大矢知村ノ南クルハ谷ノ東ニウワリ又今ノ地ノ西ニウワ

ルハ洪水ニアヒ今ノ地ニウワルト也川にヨリ一里四丁ニアリ高五百廿五石二

斗二升四合 東 葭野へ十三丁 天々須賀へ五丁四斗 西 豊田へ七丁三斗 北 豊

田村 豊田庄高松郷ナリ川にヨリ未方一里廿丁ニアリ高千五十二石五斗

三重郡附

小人表村 楠郷ト云川にヨリ未方四里五丁ニアリ高千十三石一斗六升三合

古吉野新田 目郷ナリ川にヨリ己方五里ニアリ高一百七十五石四斗四升三合

北五味塚村 同郷ナリ川にヨリ未方五里ニアリ高九百四十三石五斗五升八合

南五味塚村 同郷ナリ川にヨリ己方五里ニアリ高六百六十二石四斗四升六石

五斗一斗八合 四斗五 東海西高松へ十三丁北北五味塚へ六丁

南川村

西至

河郷ナリ川口ヨリ南末方五里ニアリ赤鈴・鹿川ノ南ニ在高千世石六丁四
東南五味塚ハ下丁北本郷ハ四丁

本郷村

西至

桶郷ノ本郷ナリ川口ヨリ南末方五里ニアリ高千六百六丁三丁一
東北五味塚ハ十三丁南南川ハ四丁北北一色ハ六丁

北一色村

西至

桶郷ナリ川口ヨリ南末方四里廿七丁ニアリ高千四百八十七石一斗三升
東北五味塚ハ十二丁南本郷ハ六丁北小倉ハ五丁

川尻村

西至

郷名未詳當時桶郷ノ内ニ取坂コトセ川口ヨリ南末方四里八丁ニアリ
南十倉ハ十八丁東郷後所大里ハ八丁北九州郷領泊リハ十二丁西郷領所
大治田村ハ三丁

業名志料卷之八

戸口

田賦附

延宝六年七月封内戸口改アリ

戸口改ノ今ニ存スルモノ是年ヲ始トス

郷中總家数 六千八百廿九

此外

郷藏 二百六十

高直奉公人 商人 八千五百五十一
藏屋敷 縮屋 柴屋

人数 五万九千一百八十九人

男 三万四千四百六十五人
女 二万七千七百廿四人

此外 織多廿六軒 下深合部 丹生川 梅戸
江場 保々 市場 采女

一人 男 六十九人
女 五十三人

延宝七年八月改

町中家数 千八百六十四内 六ヶ所神社
人数 一万二千五百廿八人 男 六千六百六十五人 女 五千二百五十七人

町年寄廿八人 舟年寄三人 問屋二人 傳馬年寄二人 町庄屋

二人 舟年役人 百廿八人 見聞 水主 百八十八人

下町庄屋 男 二千三百六十八人

御中家数一万五千卅八

人数五万七千一百九十五人男二万九千五百人女二万六千九十五人

延宝八年十二月公儀巡見使一差出

御中家数通筋筋五百六十二軒脇町千七百五軒百軒

百足役人四百廿軒人是役十軒間屋傳馬年寄帳付肝煎大八百八

十軒寺社町年寄三役諸職人一百廿軒船役人一百一軒百姓分六

軒舟年寄肝煎熟田渡海船九十八艘

元禄 九月差出帳面

町中家数 二千六十一軒

人数一万九千九百二人内男六千一百五十三人女五千七百四十九人

御傳馬百役 船役百廿 步行役三百七

見聞志叟口云城下坊舎二十九軒内百廿軒舟役九軒間船持九十七

軒今之色獵師十軒小綱町百廿三軒赤須突但家数七千余人教一万

三千百六十人内水主百八十人

按以上戸口之教八宝永御得替之前全教也御中戸口は延宝八年

以後不可知トイヘ但町中戸口は元禄以後ニ至テ追々増益ス

書入口町中差出帳ニ總家数二千七百五十一寺教六千七百九十九寺塔頭四

十二寺寺トアリ按卯三月トアリ正徳元年寺卯止減九ヘシ

寛延三年五月改

城下人数一万八千五百七十七人内男五千五百六十五人女五千二百九十二人

按ニ此改ハ松平下總守殿時代也宝永七年ヨテ公コト四十一年人別減ス

ルコト御領地高ニ相違ア上六圍封ノ戸口ハ同シカラス城下ノ戸口ハ格別ノ相

違ナシ

文政六年癸未御復封後、改

城下町中家数二千五百拾九軒

人数八千五百廿七人 寺五十六ヶ寺

当国御領内人数五万六千七百九十二人男二万八千七百九十一人女二万八

千七百九十一人女二万八千一人附紙云去卯年差出帳男六千九百人

謹按ニ古ヨリ民教ヲ重シ取人ニ刀貝教ノ者ニ式スト合ヘリテ

口ハ国ノ本ニテ其増減ニヨリ政治ノ得失ヲモ見ルヘシ延宝

ノ頃ハ御領ニ此四郡ノ内ニ在リ其民教僅ニ六万九千七百拾

五人ナリ今ハ其半ハ越後ニ在リ此四郡散在ノ邑里一百七十九村田賦

八万八千七百七十五石余、戸口は六万五千三百余ニ及ヘリ田賦ハ古言

減テ戸口は却テ成増ナリトス

田賦

豐臣家ノ時当國檢地アリ其田賦高延宝五年申即行書見ハク
 古代ノ檢地且各郡ノ總數ニテ皆

公家封邑ニ非レバ先其初ヲ知リ大教ヲ記テ而後今時ノ盛衰ヲ考
 一貳万一千廿五石一斗五升 粟名郡
 一貳万四千位陸肆拾陸石伍斗參升 朝明郡
 一伍万陸千參百陸拾伍石肆斗壹升 三重郡
 實見永十二年已後 粟名領郷村帳

粟名郡分高四万九百十五石四斗一升八合
 二万二千八百七十二石三斗三升
 六千二百四十三石八升八合
 田 田

福島 上之輪 下之輪 東方 北別所 大山田新田

播磨新田 中江新田 汰上 跡塚 下深谷部 上深谷部
 下野代 今島 左兵衛新田 大鳥居 左九郎新田 南郷
 中須 上郷 成新田 江内 金回 油島
 古敷 東平賀 西平賀 福永 香取 多多度
 戸津 上肱江 下肱江 御衣野 西猪飼 力尾

負辨郡分高四万一千貳百十六石五斗三合

二万九千四百廿九石二千七合
 一万一千七百八十七石三斗六合

古野 美鹿 以上二村 今堂 粟名郡 市ノ原 其原 鞆原
 南中津原 北中津原 東貝野 白子 畑毛
 塩崎 小原一色 小原 瀨 田辺 小原 清司原
 上相場 上山田 古田 篠立 山口 白瀬 木郷
 市場 長尾 日内 川合 下相場 坂本

田賦

豊臣家、時志国檢地アリ其田賦高近宝年中即行、書ニ見ヘシ
 古代ノ檢地且各郡ノ總數ニテ皆
 公家封邑ニ非ラズ先其初ヲ知リ大教ヲ記テ而後今時ノ盛衰ヲ考

一、貳万一千廿五石一斗五升
 一、四万二千四百一十一石六斗三升
 一、貳万四千伍拾肆石伍斗參升
 一、伍万陸千參百陸拾伍石肆斗壹升
 寛永十二年已後、某名領郷村帳
 某名郡分高二万九百十五石四斗一升八合
 二万二千八百七十二石三斗三升
 六千二百四十三石八斗八合

田 畑

大貝洲外
 法盛寺新
 由下上ノリ
 福江新田
 名江村南柳
 東
 山
 石垣村
 新田
 新田
 中猪飼
 相井
 石垣
 北ノリ

上之輪 下之輪 東方 北別所 大山田新田
 中江新田 汰上 蛸塚 下深谷部 上深谷部
 今島 左兵衛新田 大鳥居 左九郎新田 南郷
 上郷 成新田 江内 金回 油島
 東平賀 西平賀 福永 香取 多多度
 上肱江 下肱江 御衣野 西猪飼 力尾
 郡分高四万一千貳百十六石五斗三合
 二万九千四百廿九石二千七合
 一万一千七百八十七石二斗六合

古野
 △南中津系 △北中津系 △東貝野 △向子 △畑毛
 △塩崎 △小原一色 △二瀬 △田辺 △小原 △清司系
 △上相場 △上山田 △古田 △篠立 △山口 白瀬 △本郷
 △市場 △長尾 △日内 △川合 △下相場 △坂本

△大貝戸 △西野尻 △東野尻 △石川 東前寺 △阿下喜
 △北山田 △八幡新田 △六地野 大木 △大泉 △金井
 △同新田 △大泉一色 △笠原新田 △御園
 △楚原 △笠原新田 △上笠田 △宇野 麻生田
 西山田 △山田 瀨古泉 △穴大 △竹山比年 △世加見崎
 △木林忠 △星川 藤田 此以下大村今 業名郡属
 增田 旧園寺 裨田
 「蓮花寺」西別所 「上野」大夫村 「東野」本願寺
 「江場」矢田 「大福」安永 「下貝洲」赤須賀 泉新田
 「小泉」大貝洲 産須 明郡二属今朝 當新田 北福崎 繩生
 同新田 南福崎 豊田一色

朝明郡分高二万七千七百七十七石九斗九升九合
 二万三千九百一石一斗四升九合
 三千八百七十六石八斗五升四合 畑

柿、豊田、高松、天ヶ須賀、松寺、蒔田、下官、西庄田
 松原、富田一色、川北、茂福、羽津新田、重坂、繩埋
 廣永、山村、千代田、千代村、大鐘、西大鐘、下野、中里
 山城、保々、同新田、小牧、荳生中村、平津、大矢知
 地積 以下四村今 三里郡属
 千草 同福松 同岡 馬場 中脇
 田光、切畑、竹成 同新田、永井 同新田、小島、田口、△宇賀
 以下二村 同新田 田口新田 △石持北村 以下二十村 同南村
 負弁郡属 同新田 田口新田 △同中村 同上下新庄 同上下新庄
 △同東村 △同下村 △丹生川 久保村 同園寺新庄 △同下村 △片植村
 △高柳 △大炊田 △梅戸 △金井 △門前 △長深 △中村
 △志知 △島田 △友 △坂井 △赤尾 能部 以下三村今 業名郡属
 △野田

三里郡分高壹万四千八百九十石五斗三升三合
 一内 二万二千九百廿石八斗八升
 千九百六十七石六斗三合
 畑田
 東日野 西日野 八王寺 室山 小古曾 大治田 采女

公西見野
 公北大社
 公北及田
 公西金山
 東金山
 公新田
 公下平
 公瀨水
 公北大社
 公北及田
 公西金山
 東金山

具戸
 西野尻
 八幡新田
 六把野
 大木
 大泉
 金井
 同新田
 大泉一色
 笠倉新田
 柳葉園
 瀨古泉
 穴火
 竹山
 増田
 梶田
 花寺
 西別所
 日野
 大夫村
 東野
 本願寺
 笑田
 大福
 安永
 下貝洲
 南須賀
 泉
 大貝洲
 尾須賀
 當新田
 北福崎
 羅生
 同新田
 南福崎
 豊田一色
 朝明郡分高
 二万七千七百七十七石九斗九升九合
 二万三千九百一十一斗四升九合
 三千八百七十六石八斗五升四合
 畑

新須賀
 北津
 保野
 中野
 杉谷
 西野
 南大社
 南天社
 笠倉村

豊田
 高松
 天ヶ須賀
 松寺
 時田
 下官
 西富田
 富田一色
 川北
 茂福
 羽津
 重坂
 堀埋
 山村
 千代田
 大鐘
 西大鐘
 下野
 中里
 保々
 同新田
 小牧
 萱生中村
 平津
 大矢知
 十草
 同福松
 同岡
 馬場
 中脇
 以下四村令
 三重郡三属
 竹成
 同新田
 永井
 同新田
 小島
 田口
 宇賀
 同新田
 田口
 宇賀
 同新田
 田口
 宇賀
 同新田
 田口
 宇賀

東日野
 西日野
 八王寺
 堂金山
 小古菅
 大治田
 采女

一内
 二万二千九百廿石八斗八升
 千九百六十九石六斗三合
 畑田

六名 川尻 小倉 北五味塚 南五味塚 南川 本郷

北(之)色 御用領繪圖ニハ此外ニ似生村 名草村 新田 知積村
 千種村 音羽村 岡村 福松 ステ 廿三村アリ
 按此郷村帳ト云王ノ見聞志畧ニアリ 郡界今ト大相違ス然名標ニ
 石部神社 片植ニ 大神社 志知ニ 平群神社ナト皆式内八朝明
 郡ニ入ラレハ古郡界ノ今ト異ルヲ見ルヘシ 其マ、此ニ牧録ニテ後考
 二備フ

元禄十三年改系礼郡 四万七千五百六十八石五斗一合 百四ヶ村
 貞永郡 四万七千三百八十八石九斗三升三合 百八ヶ村
 朝明郡 二万九千四百四石五斗八升八合 六十ヶ村
 三重郡 六万七千三百三石五斗一合 九十一ヶ村
 朝明郡 二万九千四百四石五斗八升八合 六十ヶ村
 三重郡 六万七千三百三石五斗一合 九十一ヶ村
 明暦元年ノ改 二ノ三重郡 六万七千三百三石五斗一合 九十一ヶ村

系名郡 高四万三千六百七十三石四斗一合
 内 三万二千七十六石九斗一升七合 田一カ
 二千五百石 葭島方
 八千七百九十五石二斗四合 畑一カ
 一万九千二百六石七斗全 新田
 系名領 高十一万三千石三合 寛文四年甲辰夏御改

系名明細記云

系名郡 三万玖千貳拾五石肆斗一升捌合 五十二ヶ村
 貞永郡 四万二千二百十六石五斗三合 六十三ヶ村
 朝明郡 二万七千七百七十七石九斗九升九合 廿四ヶ村
 三重郡 一万四千八百九十石五斗三升三合 十七ヶ村
 外ニ高 四千八百五十四石五斗二升一合 系名郡 廿三ヶ村 新田
 高 四千九百八十八石六斗八合 貞永郡 十ヶ村 新田
 高 二千七百九拾石伍斗伍升玖合 朝明郡 十九ヶ村 新田
 高 千柒拾柒石陸斗伍升二合 三重郡 八ヶ村 新田
 寛文四年御改以後 新田

寛文四年御改以後 新田
 高 四百六十九石九斗九升五合 系名郡 廿三ヶ村 新田
 高 七百三十三石五斗一升四合 貞永郡 十ヶ村 新田
 高 七百廿一石四斗九升六合 三重郡 十ヶ村 新田
 高 百七十一石二斗一升七合 朝明郡 十九ヶ村 新田
 合 二十四万五千二百二十二斗二合 村数 八十一村
 上貞享元年三月廿七日御書本七
 在本田新田高合 十二万陸千柒百参十陸石二斗二升五合
 文政七年甲申四月改 御度計ノ明命ナリ
 系名郡 高 二万九千八百六十七石四斗八合 六十二ヶ村
 内 六千五百六十七石八斗四升七合 諸引

北一色 御田領 繪圖二八此外二臥生村 石草村 新田 知精村
 千種村 吉初村 岡村 福松 スネテ 廿三村アリ
 北一色 御田領 繪圖二八此外二臥生村 石草村 新田 知精村
 千種村 吉初村 岡村 福松 スネテ 廿三村アリ

六名 川尻 小倉 北五味塚 南五味塚 南川 本郷

按此郷村帳ト云モノ見聞志畧各ニアリ 郡界今ト大相違ス然石標ニ
 石部神社 片越ニ 大神社 志知ニ 平群神社ナト皆式内ハ朝明
 郡ニ入ルハ古郡界ノ今ト異ルヲ見ルヘレ其マ、此ニ牧録ニテ後考
 二備フ

元禄十三年改業礼郡四万七千五百六十八石五斗一合 百四ヶ村
 貞享郡 四万七千三百八十八石九斗三升三合 百八ヶ村
 朝明郡 二万九千四百四石五斗八升八合 六十ヶ村
 三重郡 六万七千三百三石五斗一合 九十一ヶ村
 朝明郡 二万九千四百四石五斗八升八合 六十ヶ村
 三重郡 六万七千三百三石五斗一合 九十一ヶ村
 明暦元年ノ改 三三重郡 六万七千三百三石五斗一合 九十一ヶ村

業名郡 高四万三千六百七十二石四斗一合

内 三万二千七十六石九斗一升七合 田一カ

二千五百石 葭島方

八千七百九十五石二斗四合 畑一カ

一万九千二百六石七斗余 新田

業名明細記云
 業名領 高十一万三千石三合 寛文四年甲辰夏御改

業名郡 三万玖千陸拾五石肆斗一升捌合 五十二ヶ村

貞享郡 四万二千二百十六石五斗三合 六十三ヶ村

朝明郡 二万七千七百七十七石九斗九升九合 廿四ヶ村

三重郡 一万四千八百八十九石五斗三升三合 十七ヶ村

外三高 四万八千五百五十四石五斗二升一合 業名郡 廿三ヶ村 新田

高 四万九千八百八十八石六斗八合 貞享郡 十ヶ村 新田

高 二千七百拾柒石陸斗伍升玖合 朝明郡 十九ヶ村 新田

高 千柒拾柒石陸斗伍升玖合 三重郡 八ヶ村 新田

寛文四年御改以後新田

高 四百六十九石九斗九升五合 業名郡 廿三ヶ村 新田

高 七百三十三石五斗一升四合 貞享郡 十八ヶ村 新田

高 七百廿一石四斗九升六合 三重郡 廿ヶ村 新田

高 百廿一石二斗一升七合 朝明郡 十九ヶ村 新田

合 二十四万五千二百二十二石二斗二合 村数 八十一村

貞享元年三月廿七日御書本七
 在本田新田高合 十二万陸千七百陸拾柒石二斗二升五合

文政七年甲申四月改御領計ノ明書ナリ
 業名郡 高 二万九千八百六十七石四斗八合 六十二ヶ村

内 六千五百六十七石八斗四升七合 諸引

高千穂 高三千三百八十五石九合

七十九村

内八千七百廿八石一斗二升三合

諸引

朝明郡

高一方三千六百九十二石六斗九升九合

世村

内二千六百廿八石四十一升二合

諸引

三重郡

高五千九百三十三石一斗三升九合

八村

内一千九百六石二升二合六分

諸引 一万九千八百五十二石 六十八合

四郡 高合八万八千七百七十五石二斗五升五合

外二千七百七十八石七斗九升一合 新田分

業名 志料 卷之九

道路

東海道

川口ヨリ上リ八四日市驛へ三里八丁城下、南端郭門迄廿六丁廿間郭門ヲ出シ八福村也又三丁ニテム女永村ニ至ル村ノ南端ニ町屋アリ橋ニテ所ハ八間余一ハ六十八間也橋三丁千ニテ朝明郡繩生也又六丁ニテ小向村又一丁余ニテ柿打ニイタル村ニテ寺ヨリ時田迄五丁六間 時田ヨリ西余由田へ二丁余西余由田ヨリ東余由田へ三丁三間 北村ハ八打ワキニテ北村ヨリ茂福村へ二丁四十四間 茂福ヨリ八幡村へ七丁四十四間 八マヨリ羽津へ二丁二十六間 又十二丁ニテ四日市場ニイタル

下リ八尾州官駅へ海上七里 此渡ニラ間遠、渡ニト云勢陽雜記ニ清見奈、白王子皇右ヲ伴ヒ給ヒ大友ノ乱ヲサケ此地ニ潜行アリ三崎大藤内ト云舟人ヲ詔ラヒ白王子ヲ此地ニ強シ尾張ノ勢田へ渡リ給フ時舟路ノ遠カナルニヨリマトラノ渡リ哉ト宣ヒシヨリカクハ右付シトシ 按スルニ同諸書ニカクノセ此地ニラモ久々伝ヒ有明ノ月ニ同遠ノヨリ泊リイッカ又夜半舟人ト云證哥ニ引トモ不審ナリ一志和川口ノ奥ノ古舟ニ新後櫻集 後嗟嘆渡ノ知哥ニモクモリナリ月モレトテヤ川口ノ奥ノ荒垣マトオカラン又新續古近ニ雅有ノ哥ニ川口ノ奥ノ荒垣迄コトハマトラ成任心ヘタツナ林川ハ三間遠ト云コト古ヨリヨシ故此地ヲ本曾川茶屋ニテ川口ト呼ビヨリ附会セシモノナルヘシ又古ノ渡リハ今ノ尾津ノ辺ヨリ津島ノ渡リニコト日本紀ニサト見ヘウリ此所ノ名道トナリハイッレハト云子ト洋ナラス申古ヨリ其

又此ヨリ尾州佐屋ノ川舟三里ノ渡セ凡兩六七里ノ海上ハ往來タハ
 佐屋ノ渡ルセ宗長手記ニ大永六年三月津島ヨリ舟十餘艘カサリ立業
 名道ハ河水三里計マイウタヒ留鼓太鼓舟ハ夕ヲ扣キサスニテ流レ
 渡リシセ此津南北美津尾張ノ川一ツニサ洛テ水産ノ廣サ五六丁未
 家々教子軒キヨル西湖氏云ヘシ教子艘橋ノ下ヒロク旅泊ノ火日全カ川
 辺ノナトフル事モサナカラニツ見ヘワタルトアリ其頃己ニ敏島ノ港ニシルト見
 ルニ津島ハ佐屋ノナシ川上ニアレハイウシカ佐屋ヨリ渡ルコトニナリナルヘレ
 梅ニ近キ頃遠々川筋埋リ湯水ノ付ハ佐屋迄舟上リ兼佐屋ノ此方一里余リ下流
 燒田ヨリ上陸スルナリ後年ニハ佐屋ノ渡リニ名ノミナリトモ有リ
 (本ニ見聞畧云ニ上代ハ山城ヨリ迹江路ニカノリ君ヲ加越ヲ經テ傳々村ニホテ業ホニ至ルトアリトモ是
 的證アルニ非ス)

按ニ上古ハ今ノ戸津満野ノ辺ヨリ尾州津島ニ渡リシセ日本紀古事記等
 日本武尊ノ東國ニ下リ玉フニ戸津ヨリ尾張ニ渡リ玉フニ松ノ下ニ劍志ト玉
 上トナトシ工満野ニ太刀掛ノ遺跡ヲ存シ古歌ニ伊勢一海やみそれ、決
 の松の枝にとくーへてなつた太刀掛みそれと尊の御事と詠一又津島
 の海と古歌に詠せしニテモ古歌ノヨル所ヲ見ルヘシ伊勢物語ノ伊勢ノ尾張ノ海邊
 此七里ノ海ノ渡トナリ山上高札場アリ船会所問屋場モ皆此所ニマリ諸方八里
 程モ此所ヨリ教子セ

- 本府川ヨリ
- 岐直上十三里 大垣ノ十里 笠松ノ十里 加納ノ十里 揖斐ノ十四里
 - 竹倉野ノ八里 高田ノ十里 養老ノ九里 今尾ノ八里 高須ノ五里
 - 大田ノ四里 長良ノ十三里 清須ノ八里半 津嶋ノ三里半 大山ノ十四里
 - 立田ノ三里 河戸ノ五里 谷汲ノ五里 多度ノ三里 長島ノ一里
 - 名古屋ノ八里半 内海ノ十二里余 大野ノ七里 鳥羽ノ廿二里 新崎ノ六里余
 - 大湊ノ十九里 小田ノ十九里 今治ノ廿里 松坂ノ十五里 津ノ十一里
 - 白子ノ七里余 上早都ノ廿六里 江戸ノ九十四里
- 美濃道** 桑名郡柚井村ヨリ濃州大田ヘ出ルル貝奈郡ヨリ出ルル竹條立

古田ヨリ土岐ヘ出ル又多度山ヲ踰テ美濃ヘ出ルハ川原ヨリ濃州奥条ヘ出
 ル津屋ノモ二里廿二丁五丁八間
 小倉一色ヨリ本谷通リ札落番所迄一里五丁番所ヨリ奥条村迄一里余又
 庭田ヘ出ル北中津原ヨリ田代ヘ一里三丁田代ヨリ濃州川戸村ニ出ル一里丁丁清
 司原ヨリ打止村ニ至リ丁四丁間 北田代ヨリ奥条河須大田ヘ出ル山越ニ丁
 程有之 二瀬村ヨリ廿五坂迄一里五丁濃州庭田村ヘ至リ丁志津ノ二里以上皆多
 度山越ナリ峠ノ国界ニ番所ヲ置 裨畑南田代札落 津 銚子若宮新番所
 上云々多度山美濃ニ属スル方ハ材木ナク行セニ属スル方ハ森林多シ故ニ美濃ヨリ新ヲ益ニ依ルテ
 番所ヲ置守ラニメトナリ

近江道 公貞辨 朝明二郡一ヨリ西山 踰ラテ近州ニ出ル

名得越 貞弁郡石輝ヨリ江州政所村へ出ル又大峠越ニ林ノ麓ニ岳ノ南ナリ

龍下越 同郡山ノ村ヨリ江州大君畑へ出ルニ里セテ丁セ二向峠ヨリ一里アリ其際金糸比

治田越 同郡治田新町ヨリ龍岳ノ北ヲ経テ江州君々畑ニ出ル新町ヨリ君畑迄三里

八凡越 朝明郡田口村ノ江州政所へ越ル道也田ヨリ江州芹瀬村迄ニ里丁下又切畑ヨリ越ルヲ切畑

越伝方瀬 道ニ里セテ丁十八向 是レヨリ草押へ出ル六里アリ田先ヨリ越ルヲ田先越ニ余

手ノ手記ニ引述シハ山々峠ヨリ又更ニヨリ備俗ニレモカクニレモ 極ノヨリノ迎ノ人マツリテ

其日に八坂年モコハ此峠ハ山ありヨリ馬共トナリぬ子細あると聞ぬとも老の足一ありモテ

ます人ノ夏め水は胸ノ下ノ身ノ末ニ一谷ニモ落ノ入ルへく管へ伝水は木のけし一かヨリ三人

梅ノ下ヨリヤとい呼テ左右ノ大石ヲまゝへあつ潮津渡とす九折 度々心とヨリ一見ニモカキ

又へるこち一してヤク 峠の一屋に一宿あくるありた江州山上の会下寺一見一て林下

千種越 三重郡千種村ヨリ江州根本村へ山越ニ里セ丁アリ上津畑迄五里九

尾張道 山道ノ外大島 浜崎今島ノワタリヨリ長島ヲ経ニツ家ノワタリ

ラスキ尾州 鱒江ヲ経 清須奈古屋等へ出ル又直ニ官へモ出ル

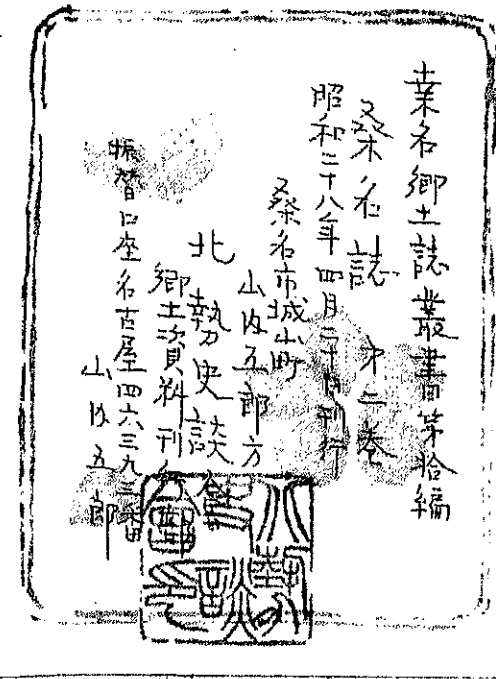
業名郷土誌 業取書 芽拾編

又未ノ名 誌 才ニ卷

昭和二十八年四月二十日刊

桑名市城山町

北 執方史 誌 刊



0120032933



桑名市立図書館

92

心身

久老體之

之

心身



心



才三卷 末紙

〇恒奇 秋山白齋堂 名公勝鳴

〇五前治 通録五前治 女教館教授

〇五十 正藤才在玉門 鶴屋山ノ人 藤溪

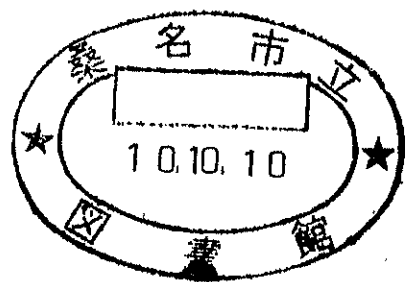
ト号シ又月花庵 和合全 仙譜

ニ五十 運譽エハシ連下林

多敷ニテ長田寺 善教道ノ著者

又彼奈木所因合ニテ挿絵ハ五十ナリ

又能之石ニテ説一卷アリ



素名志料 卷之十

郵傳

舟會所

川口町舟場、南ニアリ東海道官取佐屋取へ往還舟場ニテ舟ノ事
ヲ掌ル水谷氏旧記之此、東海道尾州官へ渡レロニテ美濃川伊尾木宮
川ノ落口也官ノ海上七里佐屋へ川舟三里ナリ増補珍陽雜記ニ此湊
大川筋ノ潮ニモ大船カイル旧記ニ湊廣ク南北七丁ノ間廻ルカイル所深
サ深クニ一丈ノ深クハニ一丈六尺但所ニヨリ深クコレアリ湊内何風ニテモ
舟カ、リヨ

川口舟役運上銀一貫八百目銀百廿貫之

元禄帳前二船役百廿艘 熱田佐屋渡海船六十八艘トアリ

船手差上帳一池所ヨリ八舟人乗船荷物積舟警固銀警固屋、取申

一江戸大坂同船運上五百石已上八艘ニ一ノ文五百石已下五百石此外大坂一船

船手差上帳ニ 六十艘取十六艘六人水主六艘五人水主廿艘 三人水主メ六十四艘 一五十三艘馬乘

一船役百廿艘 但百七十八人ニテ相勤申

一船手差上帳 一船役百廿艘 但百七十八人ニテ相勤申

一船手差上帳 一船役百廿艘 但百七十八人ニテ相勤申

一船手差上帳 一船役百廿艘 但百七十八人ニテ相勤申

延命子記... 儀ノ事見...

乗合一人 四十五文

荷物一荷 四十五文

具足一荷 四十五文

乘下一荷 六十文

駕籠一棹 四十九文

長持一棹 四十九文

増水主 三百五十一文

三人水主一艘 一舟員五百九十文

四人水主一艘 一舟員八百七十三文

五人水主一艘 二舟員二百三十三文

六人水主一艘 二舟員四百八十二文

佐屋へ、乗合一人十九文

二人水主一艘 四十七文

三人水主一艘 六十七文

四人水主一艘 七十八文

一棹 六人前 貳百七十八文

狭箱一箱 四十五文

ア付一棹 四十五文

本馬駄一駄 一舟員 一百九文

乗物一棹 四十九人前見合

通馬一足 六人前 二百七十八文

世四人乗

四十人乗

四十七人乗

五十三人乗

十八人乗

八人乗

十五人乗

廿人乗

五人水主一艘 九百廿九文

六人水主一艘 一舟員四十七文

水谷氏旧記二十日末ヨリ、延命子記増減ヨリ記セリ

一寛永二八月 二十日ヨリ

一万治三十月 一文増

一万治三十一月 四割増

一寛文五九月 一割増

一延宝三五月 三割増

一延宝九三月 二割増

一天和二十月朔日 二割増

一天和三十二月 三割増

一元禄三六月 一割半増

一宝永四七月 三割増

一安永四十月 二割増

一天明五七月朔日 四割増

一寛政七七月 四割増

一寛政十一二月 二割増

廿五人乗 世人乗

十九人乗

十七人乗

二十一人乗

二十八人乗

世一人

廿九人乗

四十七人乗

三十九人乗

卅一人乗

卅五人乗

四十五人乗

五十四人乗

六十三人乗

四十五人乗

五十四人乗

延命子記... 乗合一人...

延命子記... 乗合一人...

同書云... 延命子記...

一 船隻 家数百廿軒 一百廿人御役水主外水
此人教男女九百廿九人内 主百廿九人子役者

一 江戸大坂廻船持家数九軒
一 此人教男女一百五人

一 獵船百四十八艘 内 七十一艘 今一色
獵師町 此人教 九十七軒 人数 男女 八百五十四人

一 七艘 小綱町 家数十軒 此人教 男女 五十人

一 七十艘 赤須賀 獵師町 此人教 百廿三軒 人数 男女 七百廿一人

一 銀 一貫八百目 銭 一百廿貫文 川口舟役運上
一 銀 一貫文 今一色 獵師運上
一 銀 一百文 十綱町 綱役
一 銀 五百六十文 赤須賀 綱役

同書
一 五貫文 今一色 中ヨリ 毎年 簾引 運上

一 小綱運上 銀 一百文
本者 川口 碓古 屋前ヨリ 川口 片町 集御船 及 獵仕 候 運上 差上 申候 中

頃 獵師 御改之 節 込 金 八 申 年 從 御 勘定 所 小綱 之 中間 之 者 提 札 被
下 候 本 多 申 務 大 輔 祿 御 居 城 之 節 尾 州 猪 藏 村 申 所 尋 御 頼 申 當 地 引
越 獵 仕 候 申 今 小綱 町 迎 段 山 城 迹 築 地 致 仕 居 申 候 夫 ヨリ 八 人 上
銀 百 目 宛 毎 年 差 上 候 獵 仕 夫 ヨリ 八 艘 舟 申 上 候 也

一 關船 役 上 云 卜 味 固 田 記 云 慶 長 五 年 八 月 廿 二 日 秀 頼 公 ヲ 關 船 三 十 六
艘 業 名 相 廻 止 其 時 分 木 下 周 防 守 殿 御 代 リ 毛 利 豊 前 殿 御 越 所 石
田 ヲ 關 船 共 尾 州 知 多 郡 廻 之 百 姓 共 撫 切 二 仕 候 様 申 上 申 事 二 申
九 月 八 日 申 候 九 日 早 朝 ヲ 知 多 郡 へ 入 尼 入 道 迄 討 取 申 上 業 名 八 十 日
二 乘 戻 其 節 即 水 主 八 小綱 町 今 一 色 今 一 色 六 其 節 堤 岸 申 上 申 事 二 申
節 關 船 役 下 申 御 定 有 里 寬 永 十 酉 年 三 月 上 様 東 海 道 宿 宿 へ 御 米
被 下 節 先 規 通 關 船 役 申 上 今 一 色 水 主 八 船 代 々 御 城 主 御 乘 船 節
無 貨 二 五 十 五 人 相 勤 今 一 色 三 上 仕 束 利 ト 上 様 遠 録 二 寬 永 十 年
米 被 下 節 關 船 役 申 上 今 一 色 御 吟 味 二 軍 役 儀 二 候 八 在 不 割 取 申
矣 獵 米 二 錢 二 置 候 様 申 上 隱 岐 守 様 御 意 二 被 仰 付 申 上 由

水 谷 田 記 二 慶 長 十 年 申 上 六 艘 業 名 役 三 關 船 御 陣 前 尾 州 知 多 郡
江 大 坂 下 知 三 寺 多 僧 俗 大 勢 討 參 其 後 大 千 成 申 上 候 公
縁 大 船 西 国 二 申 候 被 成 候 八 舟 水 主 上 申 事 二 申 上 候 由 出 酒 田 江 戶

迄御役相勤メ申上

舟羽氏記ニ河内船浦水主百廿人以内十八人 兼名領十七人 長島領七人
四月廿六人半 若松十一人 江島二人半 白子七人 別保白塚九人 津
十二人 松壽

一 御継尾脚米高四十一石七斗二升八合 享子保十六年迄 百石ノ割前
一 御圓船金心徳三三三三月町年寄、及ニテ支配人被仰付其節、金高三百
廿西ニ分ト銀十二元六五西年金高五百四十六兩年賦ノ令七百三十五西ニ分
利付ノ分メ金高千二百八十二兩二分

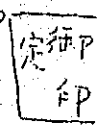
一 御圓船金取集メノ内ヨリ毎年被下置候 金ニ分宛町年寄可廿人舟年
寄二人 間屋一人 傳馬年寄二人 金兩宛 御圓船支配人四人 金三分書
役一人 杖突 兩人

今島渡 今島村ニ一艘長島下坂手村ニ一艘アリ 宝永差出帳ニ人ニ付渡賃
二文トアリ

沢前渡 大小田沢ノサキヨリ長島村へ渡ル六ヶ渡ニト云

御島渡 七御ヨリ 村ニ達ス

問屋場川口ニアリ 東海道四日市駅へ三里八丁ナリ 傳馬御朱印アリ 御代々、
分ハ界ス



此御朱印那くして傳馬も亦春也
以如牛

慶長六年

兼名

又彦坂九兵衛ノ添書目アリ
御傳馬ノ儀以來此

御紙ニ決置ニ色ニ
御朱印ニ奉リトアリ

御朱印ニ引合馬人尼有相立之曰仰虫、問其地へ御朱
御朱印志取指越ハ破、此御本と以來、合ニ合ニ相立
、此此、記作付、上為遠敷、人、御朱印
御城、三月十一日

兼名

彦坂九兵衛
定本

御差出帳ニ

一 問屋二人 一 傳馬年寄三人

一 馬念所所取四人 一 同所馬差三人

一 注行人是所取三人 給分年又ニ金
三兩ノ水引銀、
一 馬念所勤方
所並一人 馬差一人 小夫一人

權現様

御朱印紙立書尺六寸 横書尺三寸五寸

御朱印 古文書馬、給中人、給アリ
大サ 立ニ寸三分
横ニ寸ニ合五リ

御朱印

大敵院様
紙大サ 高又之ト長サ 一尺五寸六寸ト
程 御朱印 高 一寸五寸五リ

横八分 上包上下 押折表ニ

御朱印 傳馬

兼名 信寬永四丁卯初春廿三トアリ

江中川内是仁置
此金女馬
五百廿八石
餘拾七石八分

六拾五石銀十七文二下
九ノ有金銀百六十
三石所申借付金

業名録云寛永十三年道中御傳馬役申、公方銀三ノ得借業名ニ
貳百五十貫文得借
丹羽氏記云御傳馬二百足助馬ニ百五十石村中役三百五十九人助郷人は六村
高ニ新ニ割付九廿六足八俣馬町ニ慶長六年公儀ヨリ御藩支被下底屋
敷被下前至ス、能馬所寛永七年新地ニ居屋敷被下新傳馬寛永
十八年ヨリ元禄、九月猴京四郎亥衛田中一却在玉門川ニ茂在門
ヨリヨリ蒸玉ノ帳面ニ御傳馬百役一百足有馬也行役三百七十五人
延享録云業名介四日申送三里八丁本馬一足百五十一石控尻一足
九十五文人足一人七十三文
高一石六千九百九十八石 助郷代六ノ村
東方村 福島村 北別所村 東込上村 駒塚村 幡新田村
江場村 大福村 安永村 上野村 俣田村 益田村
蓮花寺村 金井村 深谷部村 籠全村 小向村 柿村
雷新田 北福崎村 南福崎村 存坂村 山村 豊田色村
東大村 志知村

中川の左衛門様
極口又石街門様

右之通業名町助郷申付候同相筋次方人馬無滞村ヨリ可示之勿論此保
業名町ニ差出助郷之村ニテハ寫シニ致置自今以後急度可相守若其
人馬無仕候助郷ヲ於不参仕出申テヤ一考也
元禄七年戌二月

諸 傳左衛門
荻 考次郎
井 三太郎
松 美濃守
高 行勢守
業名間屋 年寄
在助郷村々
名主
百姓

享保十斗助郷御證文與書村高以前ノ通リ
天明八斗増助郷御證文アリ

業名介
高一石六千
九十八石
助郷廿六村
新州業名郡

廣永村 埋繩村 千代田村 平津村 中野村 菅生村
西大鐘村 北山村 中里村 山城村 松寺村 海田村
松原村 高松村 豊田村 川北村 下之官村 熊村
重坂村 北村 本郷村 南川村 北一色村

高千九百六十石余
 助郷可敷高四千九百八十石
 一、九丁五石 堀ノ新田
 二、六百七十八石 安永村
 三、四百六十二石 益田村
 四、二百三十三石 深谷村
 五、二百三十三石 金井村
 六、二百三十三石 同國朝明郡

平下總守領分
 勢州朝明郡廣永村
 外十九ヶ村
 同州三重郡本郷村
 外貳ヶ村

二百八十五石 鎌生村
 二百七十八石 小石村
 二百六十三石 折戸村
 二百六十四石 吉野村
 二百六十六石 北福野村
 二百七十七石 西川上
 二百八十七石 井坂村
 二百一石 山村
 二百一石 豊田色
 二百五十五石 東大鐘村
 千三十二石 志知村

右東海道兼業在仕向儀 四月廿七日 經所 三浦川前等之役 只
 勢之人馬等守寄置儀 儀し、及因窮乏助郷之義 願書同人在家未紀
 之上半渡向此度去而、村々増助郷ニ申付、間問屋方々相觸次才人馬
 馬滞可差出、本村々、以未依領所、相成儀、有之節、其村
 方々相除、積置儀、向共在儀、義、以、早々相雇可申者也
 天明八年申年十一月
 東海道兼業在仕向儀

助郷村
 衣主
 租頭
 年生可
 同屋

勢州

業名 四日市 尾山 石薬所 関 左野 坂下
 右七宿公儀御用相違間屋肝煎中、一宿三宿、未七石宛當、之年々毎年被下
 向其方郷代官所々相渡手形、以、甚定、之被相立、以上

十月十五日

高 伊勢守
 妻 孝右衛門
 岡 豊前守

右之郷證文、于兵衛方、受取、匣中、以上
 佐野平兵衛代

小寛文五年
 己十一月廿五日

業名 間屋
 丹、和善九石衛門殿

山川

多度山 伊勢美濃ノ国界ニテ山脈ハ遠ク近江場ノ三国嶽辺ヨリ連綿トシテ来リ当郡柚井多度ニ至テ止ル南北七八里ニ横ヘリ山峯道ヲ国界トス北ハ美濃国ニ属シ多氣郡美濃ノ嶽南ハ当国員辨郡ニ隸ス業名郡ニ属スル所僅其南端ナリ然ニ多度神社モ当郡ニ属シ其地ヨ多度谷ト云川ヨ多度

川ト云ヒ村ヲ多度村ト云フヨモテ記ス山々三十六峯アリト云神社ノモテ朝拜山峯ト云又雄瓦山ト云又三本杉ト云所アリ老杉三株ノミテ下余ヲ見ル奇觀ナリ

臥鯨山 又六ヶ峯ト云

御嶽御嶽下ニ業名領多度郡柚井村ト云所ニ多度山ト云アリ城下ヨリ乾ニシテ三里濃勢ノ界ニテ高山セ峯ハ八葉ニテ山上ニ蛇ノ池トテ大成深キ溜アリ山ノ半ニ空名権現立セ玉ヲ大魔所セ禁ニ大碑宮立セ玉ヲ

行ス伊勢野ノ方多度山神官松共古結舎竹俱湊雲補冠山在障水泡瓶尾間春温花崗發得怪巫人穴

永山 伊勢凡ニ記業名郡ノ内ニアリ永山此山有松竹不多潮于神社五度一本座齊官尾

崎云正本ニ有神五座北勢古志ニ多度山ノコトナリトス其山形ノ長ク横ク其柵

井村ニ潮キ明神ノ鎮坐アルヲ以テカクニ云也又豊鑑云天正十一年春吉住伊勢国ニ赴キ給ヒ業名ノ内永山へ取アカリ業名ヲ見下テ軍立ストアリ此ニヨシハ今ノ西方村ノ山ヲ云ナルヘレ此頃迄モ永山ノ名ハ存セシ也檢ニ見エ記ニ和竹ノコトノコトナリハシ多度山ノ松竹ヨモテ標スハカニス又多度ノ神社ヲスラ潮于ノ神社ヲ出スヘキニアラスヌ多度山高峯ニテ軍ヲ置キテ地ニアラス西方山タルコト必セリ

榎山 伊勢凡ニ記業名郡ノ内ニ榎山此山去松柏多狐兔文武天皇二年戊

戌三月此山松教日也尔末松柏等猫ヲ馬トアリ其所在未詳伊勢諸雜記ニ御衣野村ハ間不在榎山氏云山ニ給ケ谷区アリ大雨時五尺七尺圍リ中心計ノ埋木出ルコトアリ此榎山ナリト云

野上山 伊勢凡ニ記業名ノ内ニ野上山此山徑兔多而老樹木拔空産則美在多

而疑珠玉為北勢古志ニ蒼生由音ノ説ヲ引テ深谷部桃谷奥ヨリ美石出ルコトアリ琥珀ニ似テ色黄又ハ赤シ又野尻山ノ上ニアレハ野上ト云名モ負ヘル成ルハント云

中村山 伊勢国凡ニ記業名郡ニ中村山此山竹木繁茂而為国用トアリ北勢古志

ニ員辨郡中村山成ヘレ又一本ニ朝明郡ニ入未詳其所

玉置山 伊勢凡ニ記業名郡ニ玉置山此山ナ樹木入魚禽獸トアリ其所詳ナラス

藤澤山 伊勢凡ニ記業名郡ニ藤澤山此山多諸鳥和銅三年出黄魚

大勝諸島其後時々出之トアリ古谷双紙ニ負辨郡藤原系ト入レト云レ
的證ナシ

丸山 西方村ノ北ニアリ尾濃信江越乘加參遠勢志等ヲ見渡シ無双島
地ナリ又又高塚氏云執事見聞志云丸山ノ下ニ
鎮玉公御馬場跡アリ櫻ノ馬場ト云フ其の場々用場用水ノ井ナリ櫻ノ古木
モ遺レリトアリ今ハナシ

尾野山 東方村大福田寺境内ニアリ土人ハ此辺ヲ以テ小野古江也ト云ハ
櫻木梢ヲ難クシハ跡立佳也土人ハハサシノ木ト云執事見聞志云
天正ノ頃尾野山正齋坊上人此ニ住セシトリ御山家ノ軒卒ニ尾野山安
藏ト云者其末葉也伝金永中
定重公江戸下邸ノ守護ナ堂ノ不動ヲ大福田寺ニ復テ此ニ安置セラレト

白山自昇 東方村ノ地ニアリ土人ハ山岸西ト云公私自録云播磨新田屋所ノ運性屋
訪ヒテ 一ノ山ノ如ク山ノ形ナリト云テ訪ハ知法ノ元ノ山ノ
雨段園 上野村ニアリ伊勢志ノ尾張ノ知多ノ郡等ヲ一瞬ニ見渡シ町屋ノ川邊
豫明滅邊ニ海上ニ接シ無双ノ勝地ナリ

神戸岡 伊勢風土記云郡ノ内ニ神戸岡此山多由桃花ナリ而其实大如雞卵土民食
之無病又痛之トアリ 本ニ此地ノ所詳ナシ 北伊勢カ古志ニ云 此式神鳳物ニ神戸級トアリ引此モ神
戸ノ民ノ往ルモテ地兼トナレルナリトアル名ノ因ハサモアルケレモ其所ハ定カナラス今
按神戸郷ト称スルハ城下ノ西南ノ地ナリ大福江場ノ用ノ山ナニ神戸ト呼所アリ
田間ノ山流ヲ神戸川ト云ハ此岡モ此辺ニ在リト云ハ此山モ今ハ皆細子ヲ田島或ハ人信
に成レナルハレ又伊勢諸雜記ニ神戸岡ハ神岡桃山ト云古葉本神社ノ領所也深谷部
ニ桃木谷ト云所アルハ是ナルハレト云 未詳孰是

木曾川 信州鳥居峠ノ山々ヨリ發源シ飛騨信濃美濃尾張伊勢五國ノ川ニ落合
一巨流トナル度ナ所ハ五百間ニ餘リ長島ノ西ニテ 指斐川ニ合シ治城ノ北ニ回リ
海ニ注シカ明和年申長島ノ間千五百間余ノメヤ出末シ木曾川ハ長島ノ北東
ヲ流シ加路戸ニテ合流シ北ヲ和泉川ト云 伊勢尾張ノ国界也中ヲ加路戸川ト云
南ハ注流ニテ一丈ハ長島大島ノ間ヨリ南指斐川ニ入是佐屋ノ一流ニテ(渡シ)

経流ハ又東流シ横枕ニテ又合流シ南ハ駒江横枕ノ間ナリ濱地蔵ノ前ニ指
斐川ニ合フ海ニ注ク 北流ハ横枕ノ東ヨリ稻荷山ニ至リ海ニ入ル是ハ白ノ海
路ナリ然レセ洛朝ニ横枕ノ南ヨリ海上ヲ回リ宮入渡ルナリ

指斐川 伊尾川ニアリ或ハ執事ノ指斐川ト云ト云尾州ハ木曾ノ北ニアリ此川ノ終ル所ハ此川
美濃ノ諸川ニ落合リテ一巨流トナル伊勢美濃ノ国境ナリ大知也云ニテ川幅百拾

路ナリ然レセ洛朝ニ横枕ノ南ヨリ海上ヲ回リ宮入渡ルナリ

間余 油島ニテメ仰ノ南ニテ香取川猪飼川ヲ受又ヤカニテ木曾川支流
ヲ受ク 樞ニ喰違有ク 今島ノ渡ミテ幅二百八十間又東南深谷郡上輪ノ北ニ流
沢崎ノ渡 木曾川ノ分ク 川幅二百八十間アリ十萬山ニテ南北ニ分流入南ハ川トニテ治城
ヲ圍ル北ハ大島ニテ木曾川ノ支流ヲ受ケ 井須カヌノ北ニテ南流ト合フ際セテ
余アリ 濱地蔵前ニテ木曾川ニ合レ南海ニ入ル

夕度川

水源 夕度山ノ西八壺谷ノ奥ナリ 溪流清冽水柔 甚美ナリ 夕度村
ノ南ニテ伏流ス 兩後水漲レハ地上ヲ流ル又夕度社ノ南六ヨリ清流出ワド走モト出ス
ニテ伏流入落葉川ト云 仰人芭蕉ノ発句ニ
宮人よ 我和 まちらせ 落葉川

夕度社
夕度川ノ源ニテハ
宮ノクニヤン
夕度社ノ野ニハ

人家地ヲ鑿鑿及清泉湧出ス 香取ノ西ニ到リ漸ク地上流出ツ 香取村ノ北ニテ指
岐又ノ支流ニ合シ東北内母ニ極リ 肱江川ト共ニ指岐川ニ入又香取川氏ニ

肱江川

水源 古野村ノ奥分木岩壺ヲ過猪飼力尾ノ間ヲ出テ肱江ノ東ヲ過キ南
郷妙ノ間ニ至テ指岐川ニ入ル 左木村ヲ落ヘ今引政猪飼ヨリ以下漸々水ナレ
時床至ハ 暴漲溢レ注ク 堤ヲ決ス又猪飼川氏ニ

大山田川

播磨村ノ山間ヨリ出上輪村ノ沢先ニテ指岐川ニ入ル 上輪ノ名大山田氏治
城水道ナキ以前ハ此川ヨリ水汲タル由

町屋川

水源 貞糸郡ノ奥條立ノ山間ヨリ出 相場川坂本川田川貝野川多
志田川 青川 山田川 井全川 明知川 今賀川 金井川 志知川 山田川
藤川 皇川ノ諸水ヲ受ケ 志郡ノ末廣新田ニテ海ニ入 安永ト繩生ノ間ニ板橋ヲ架ス
川幅二百廿間 余橋ニテ所一ハ八十間 余一ハ六十八間 程 園花ノ葉ニ土橋ニ百六十間トアリ
土橋トモトモアリトモ長短ハ洪水ニ異リ

水名 貞糸川氏又 皇川村 辺ニテ皇川氏云 又 織田信雄羽此不秀吉此川有
ニテ待合マテ對面アリシトテ待合川氏呼フ 古ハ 走井山ノ下ヨリ矢田川原ヲ終ラ

東北寺町ノ辺ニテ海ヘ注キシトソ 今一邑松下山本尊ニ本領寺 貞糸郡ノ東書アリ 勢州東
此ニ極ル町屋川ノ所ナリ
ニ他ノ川モヨリ所カ

定ト公記ニ古ハ橋ナカリテ往還ノ旅人難儀スハシトテ公卿入立郡以後ニ
橋出来ス又貞糸郡片植村ノ片植明神ノ前ハ神ノ社アリテ舟道路ヲサリ
シニ御入部後近近見マリヤ屋ニ相ノ民ヲ更ムコト成ニ人ノ全ラナレ給ハニ
ヤ石林ノ神社ハ被部ノハレト舟ヲ上テラレニサハルコトナレ 費ヨリ今ニ二三ニ
舟道 通路絶カレトソ

蜷川

伊勢風土記ニ蜷浦ニ水山一里餘出 舞與トアリ今東南濱末コトニ
多シト アタリノ名ニコンアリナヌ

山形川

同書ニ田鶴濱有 氏ニ海共多ク 而連綿五尺今モ氏食之 諸

仙總論云三國海上多山出之ナリ其地詳ナラサレモ海口昔世ヨクニ其時
甚佳ナリ亦此辺ノ旧名ナリハシ

市部磯 同書ナリ市部磯海上多ク女而高以賣中古以來有恙ヲ想之
事而備 鞆田之神 饗トアリ其地詳ナラス 市部ニ北市場ハ勝ナト云々ナリ或ハ正
ラ古ハ四ノ勝ト云ニ或ハ市部ノ説ナ
ハト云リモ詳敷是

粟田 同書ニ在市部磯北植五穀 觀其唯粟亦已大敷 為故亦北穀カ也

二長湊洲 崎居所アリ 粟田ノ左ノ余波ニ一トニハ只ノ一ツカレ

亥鼻野 此野多柵梅 上餘木

河内野 此野豊方ニ至

緑川野 此野隣河内野

薦生野 多更竹子園之神 鶴也以上四條 伊勢風土記ニ市部ノ内ニアリト云モ其任
トコロ不詳古谷以紙ニ此寺ハ三重ノ塔ニ郡ニウ空入セシナリト云按ニ薦
生野ハ今ニ世薦野ニテ日本氣ニ天志ニ守ノ薦生野ヨリ昔名ニ至リ給ナ由見ハ
リ其全ハ未タ考ル河ナシ

柳江川 旧記云城下鎮守春日社ノ東ニ御手洗アリ 柳江江江郷橋アリ今昔名ヨ
リ赤須賀道ノ川竹助トナベ竹助ト云名アリ古城 劍書ニアリテ形勢ニ及シ名ノ
ミ違リナルヘシ

式部泉 北別所河ナリ 伊勢諸雜記ニ移泉式部視ノ水ト云一説ニ山ノ入口ニ小尾
場ト云所ニ吟云 山本式部ト云者住ヤリ此旧述伝 龍ノ山ノ記云山本式
部ハ紀州住人ナリ佐久向ノ谷 龍ノ山ノ記云山本式部
ノ谷 此水ニテ目ヲ洗ヒ泉セシ故
カク名ツクト云江州 式部泉討 小野山辺式部泉佳名境得而歌仙淡粧深
味晴與而咽石溪声似 龍好

水無瀬山 伊勢風土記伊勢并郡ニ水無瀬山云木材 寺郡神社有破懐則用此材
又今尚敷 敷多トアリ一説ニ朝明郡ニアリレ 徴ニハ三重郡ノ首下和
ノ山也伝敷シテ的證アリナラス

杉田山 伊勢風土記負守郡ニ杉田山諸木不レト云名ニ入者ハ大泉深堀則
也美沙トアリ未詳其地 古谷政紙徴古録ニハ今杉谷山ナリ也

和田山 伊勢風土記負守郡ニアリ此山少樹木 猿多ト見ナリ其
地未詳 拾ニ川合村ヲ和田村ト云ハハ
其地ノ山ヲナキカ

諸羽山 此山樹木不敷多ト云 氏ノ合田夫ト云竹又多ト云合田

伊勢野 此野多諸鳥又有系竹以上其地不詳古合双紙三鈴鹿安隈二郡錯

阿波野 此野出產其者誰知土人者蘇川芳作產婦有驗

佐陀野 在阿波野地多生藥草以上亦見伊勢野土記貞弁郡條然其地詳又

光木 伊勢野土記貞弁郡部ニリ神護三斗秋七月林伴與動有美木白澤光

隔三日千馬遭之疾而夫命故氏戸奈之林志宮今絶而充與造此林多
鳥獸知下ト見ヘナリ殆ニ今朝明郡由志村トナレハニ郡界古道相違

ナリ或謂爾亦知ハカラス

玉手木林 伊勢野土記貞弁郡部ニリ此林出產之草又多諸鳥ナリ其地詳

内尾木林 伊勢野土記貞弁郡部ニリ此林在鞍尾村西一里其林无樹木唯有一廣

多程似鳥糞トアリ此勢言志ニ今友村トナレヘレ云

膳尾木林 伊勢野土記貞弁郡部ニ此林在鞍尾村西一里其林无樹木唯有一廣

祭大己貴神社也土民每歲落梅之時供神膳此処四時无蚊虻トアリ其勢

古志ニ今片植村トコトニテ大己貴神社ハ三輪明神ト稱ス且尺ナリト云

平群山 伊勢野土記ニ見ヘナリ今志知村ニアリ平群山ト云平群神社アル

所也封収ニテラス

野間池 伊勢野土記ニ見ヘナリ出鱈鯉鮒鱧又貢筋其々矣等トアリ此和布

抄ニ見野麻郷ノ内ニアルニ徴支録ニ今笠田大漏ナルヘレト云

熊坂 貞弁郡ノ奥美濃界ニアリ美濃ニハ鳥帽子ノ嶽ト云 賦收長鏡佐セトテナリ

三國嶽 近江美濃也國トノ境ニアリ貞弁郡條立ノ嶽此ニアリ

藤原嶽 貞弁郡ノ高山ナリ坂本村ノ上ニアリ一ノ本鈴ヶ嶽江州ニテテコナリ

釋迦嶽 四谷村ノ一ノ嶽ニアリ

龍ヶ嶽 貞弁郡治田郷ノ嶽也以上ノ嶽皆近江國界ノ山等通水格格以テテ

鼓山 葉名雜記拾遺追加歌枕ニ鼓ノ音高トアル是ナリ貞弁郡鼓打ノ奥ニリ

日生川 貞弁郡皇川ニナリ町屋川ノ流ラ此辺ニテハ皇川トミトツテ歌ニ

名所カマリ其北は橋トハナリぬ鶴ノ立る志ノ山ニ皇川ノ水 長明

天木 明也ト云ムヤナリ行リ一河上水ハ影ノヤ見ヘナリ行 行長

今朝明郡小向村西村ノ間ニ小湫アリ皇川也ト云ハ非ナリ古ハ皇川ノ源ニ

ハ此辺ヨリ朝明郡ノ行レシナレヘレ 宗極

風穴 貞弁郡條立村ノ南ニ流ル一水川ト録スル同上ニアリ水源ハ三國

能坂無き其谷ノ北にアリ見聞畷谷志云村ノ山腰谷川ヲ渡リ
 水止ニ行コト四五丁穴アリ入口一丈許松垣ヲ燃レ半丁計行ハ横ニ
 穴アリ此穴ハ向ノ谷へ止ル穴ト云直ニ又半丁許行ハ背ヲクメテ通ル程
 ナリ此所平落テ鐘乳多シ又暫行ハ穴廣クナリ立テ行ヘシ又ソレヨリ
 狭ク成テ廣ク成四五丁程行ク天ヨリ先ハ難計伝定綱公御代村民命
 セラレ見届ラレシニ其先ハ井ノ如ク下穴アリ行ヘクラス松明ヲサシ見レニ
 窟ノ如ク成遠ハ見ヘテ其カケ没セリトソ二日一夜ニテ穴ノ口へ出タリト云伝フ
 川奪滝 夏并郡川原村ニアリ高ナニ向計二段ニナリ落ル水潭多度山ヨリ登
 ス濃州長老ノ果滝ト云或題其因夏雨添漢流、
 正練引所志洪鐘投杖藤蔓空室度石砒物如昨遊処壁上懸深、
 大龍淵之良弁郡小泉一色ニテリ横四間ニ望大垣許深サ不詳旱魃ノ時諸村ヨリ
 一雨スルニ夜アリ昔大風雨セシトキ此淵中政ニ神酒壺ニ不詳ヲ口ラカシ
 沈メアリト云ヨリ旱魃ノ時ハ昔人ヲ竹登コトニナリ
 不重滝 同郡ニアリ二百八間程旱魃ニ内之ス往々發アリ

柳池

夏并郡深尾村ニアリ東西四十間南北廿間程アリ旱魃ニ水増減ナリト
 柳池 同郡代名谷池水利ノ部大滝ノ次ニアリ (柳池一名山名谷淵上之山田村ヨリテ所
 ニアテタルハ皆ナリ)

田代池

夏并郡田代野村ニアリ多度山ノ南畔田代越番所ノ前ニアリ池中埋
 木多シ然レ人足ヲ埋ル凡雨スルト云フ旱魃ニ由ラズ

山名入池

夏并郡上相場村ニアリ内之スルニ夜アリ

ハン尾山

同郡ニアリ

神吉火口

同郡ニ瀨村ヨリ濃州庭田志津ハ多度越ノ谷ニ大石アリ義経此上
 ニテムホシカニ給シトテカク名付シト云

揺石

同郡御産所山嶽ノ南ニアリ大石重リシル上ノ石風ノ時動トノ

朝明山

朝明郡ニルニケレ凡今何シラ指シタルヤ不詳

福王山

朝明三堂ニ郡ノ界ニアリ村ノ西ニアリ杉多シ梳櫛トテ入ルキニ
 ノ多シ山樹不甚ナリ此山独木松樹多ク又福山ト云ハ行山宮家重木ニ伴
 ノ西福山ト申ス所ニ侍リタルニ卷ノ梅カハハコク句ヒケルヲ

此木の卷ノ上ノ梅ノ花ハ来テヤマトキハ有住居哉
 下流ノ所ニ其卷ノ上ノ梅ノ花ハ来テヤマトキハ有住居哉

定一記三福王山鹿沙門鹿ノ近迎人通ナレ是ハ島沙門、御答天狗ノ所爲ト半候。公被聞召。

公方ヨリ、杉ノ下置地イカテカ、神ノ我意ヲ働シ候ハヤニトテ速ニ其所ノ木多クテカサル、ニ得ルハナシ。其後ハ郷人、博モ心安ク入川由見聞、日暮志

ニ元禄十三四ノ頃、多ク此山ノ杉ヲ伐リシカニ、二月六日、今一色ヨリ出火モ此杉ヲ焼シ、灰ヨリ出テ、城市、燒失スト云。此頃ハ、奉行、足輕山中ニ番所ヲ置、其トセ、實、永ノ頃。

定細公、定重公、傳此山ニ狩シ給ヒトソ、公私ハ録ニ、實、文ニ、斗、正月廿日、城主、越中守、定重公、於福王山、鹿行。

八ヶ峯峠、朝明郡杉谷村、ヨリ、江州、根、平、時、越、是、也、東、鑑、ニ、元、文、元、年、四、月、伊、勢、平、氏、蜂、起、時、八、ヶ、峯、ニ、橋、籠、ル、ト、見、ニ、又、八、風、峠、氏、アリ、伊、勢、風、土、記、ニ、其

邑、有、神、曰、伊、勢、津、彦、天、日、別、命、發、矣、欲、歎、其、神、于、時、畏、伏、終、日、言、困、悉、軟、於、天、孫、云、下、取、居、矣、天、日、別、命、令、向、云、汝、之、去、時、何、ハ、爲、

驗、答、云、之、以、今、夜、起、八、風、吹、海、水、乘、波、浪、將、東、入、此、則、吾、之、郊、中、也、此、及、中、夜、大、風、吹、起、扇、卷、葉、波、濤、走、搜、如、陸、國、海、共、潮、遂、來、波、而、東、也、此、及、語、云、神、風、存、執、國、虛、世、後、守、國、有、者、蓋、此、謂、也、ト、ル、ヨ、リ、八、風、ノ、亦、八、起、ト、リ

井戸野

伊勢國風土記、夏井、神ノ内ニ在、水、無、川、東、ト、ル、是、也、北、勢、古、志、朝、明、郡、

ニ在、ト云、水、無、瀬、川、ハ、水、無、瀬、山、ヨリ、出、テ、水、井、村、ノ、西、北、ヲ、流、シ、朝、明、川、ニ、入、リ、其、川、ト、

朝明郡

朝明郡、朝明郡ノ西、山、田、ニ、杉、谷、ノ、奥、ヨリ、發、源、シ、小、島、村、ノ、邊、ニ、テ、合、流、シ、東、津、沼、

崎、ニ、テ、海、ニ、注、ク、官、道、所、經、寺、ノ、間、ニ、土、橋、アリ、長、九、十、六、間、幅、一、丈、四、花、万、

葉、ニ、テ、土、橋、五、十、間、和、漢、名、彩、ニ、曰、本、土、橋、ノ、一、也、ト、云、

定細公、記、ニ、此、橋、モ、延、久、寺、ノ、後、ニ、出、來、ス、ト、テ、此、川、沙、川、ニ、テ、水、甚、清、濁、能、

十山奇

朝明郡、朝明郡、津、村、曰、二、志、此、時、志、此、野、ナ、ト、稱、ス、ル、ナ、リ、万、葉、集、卷、二、

丹、比、屋、主、其、人、ト、ル、是、也、又、名、奇、一、

ト、云、ナ、リ、

十四川

朝明郡、重、坂、村、ノ、山、ヨリ、出、東、富、田、北、村、ノ、間、ヲ、經、東、海、ニ、入、ル、

逆太川

朝明郡、逆、太、川、今、餘、阿、川、也、鶴、ノ、西、額、穴、大、山、ヨリ、出、茂、福、八、幡、ノ、間、ヲ、經、

海、ニ、入、ル、日本、記、ニ、天、武、天、皇、於、朝、明、郡、逆、太、川、迎、望、拜、天、照、大、神、ト、テ、

是、也、拾、芥、抄、ニ、逆、保、於、濟、天、皇、登、舟、料、ニ、米、ヲ、洗、ハ、シ、給、テ、以、テ、米、洗、川、

云、テ、詠、リ、テ、余、以、ト、云、ト、リ、額、穴、大、山、額、穴、テ、還、拜、シ、給、フ、所、也、ト、云、

古語集 北勢 松原村ノ辺十九ノ
聖武天皇ヲ祀ル所 古朝明行宮ノ迹ト云傳フ
川ト呼所ヲ新聖武川ト云

業名志料卷十二

水利 堤堰水道渡地附

對境北ハ木曾川伊屋川ノ巨流ニ傍ヒ東南ハ海ヲ帯ヒ負弁川朝明
川ノ川々其中ヲ流ル故堤坊ヲ築米田ノ外水ノ漲溢ヲ防キ植水門ヲ設ケ
テ内水ヲ泄ス又三郡ノ山ニ多ハ聖山ニテ大雨水スル毎ニ決壊ノ患多
ク沙石田畝滄没スルニテラヌ人家其患ヲ蒙ル故年々堤坊増加
高サ救丸ニ至ル其大曳ロヲ載テ用エノ易カラサルヲ云ス

封内堤坊大小高下ハ一ナラス其長サ一十一万肆千伍百七十五丈其二
万一十丈ハ村持トテ其村々ニテ修補ス其余八万四千五百六十四丈ハ皆官村
ノ管スル所ナリ常年用ユ十不三下ラスト云

植敷 凡一十廿有五 其制差植 各段モテ之ヲサス高六セ尺ヨリ一丈迄モ有 植不
差之凌ニ尺三尺余ヲ挿ヲ以テニレ 之横ニ然長者十五六間ヨリ二十間迄及フ 植不
ヲ簾ノ長堤長短ニヨル 瓶植 槩植 十植 石植 樹植 等ノ別アリ潮汐
入スル所ハ戸アリテ潮滿レハ自ラ閉潮引テハ自ラ開ク

補植堤

古図ニ三股門ノ外ヨリ濱地裁ノ南ニワキタリ標ヲ左右ニ植ク

六カク名付タリ室永年中取捕ヒ濱地裁前ノ海ヲ新田トシ此堤ノ上モテ
堤モリ同豊斗九月大風雨ニテ此新田皆海ニ没ス見聞畧ホニ堤上ニ里許

新屋川ノ米ニテ夕灯ノ門ヨリ直ニ此堤ノ隆迄六七丁

地蔵新田堤 見聞各志ニ慶安元年ノ頃

定細公此堤ヲ築セラル土民冬ノ閑ノ際ヲ以テ役夫ヲ出シ足輕等モ相交リ是ヲ築運土之シテ候節所ノアタリハ此木ヲ入テ其上ニ石ヲ置キ又土ヲ置又此木ヲ入テワカセタリ

油島メ切

油島メ切ハ木常川仔尾川ノ合スル所ニテ仔尾川上流夕ハ濃州トシ難儀ルルニテ油島長島ノ間ヲメ切木常川ヲ長島ノ北ニ導テ是ニ由テ仔尾川下流ノ水塔ヨクナレリ其用ニ初ハ寛文元年奥州二本松城主丹羽若狭守殿御手伝ニテ油島ノ方長四十二丈トナリ長島松ノ木材ノ方十八丈三丁向 本末ス宝曆三年松平藩守殿御手伝ニテ油島ノ方三百三十四丈三尺七間 長島ノ方八十五丈八尺三間 明和三年松平大膳大夫殿酒井修理大夫殿土川監物御手伝翌四年松平河波守殿中川修理大夫殿有馬中務大輔殿加藤遠に守殿 黒田豊松殿御手伝ニテ中央百八丈メ切 隆迄ノ口ヲ付木常川ヲ仔尾川ニ通ス凡六百六十八 宝曆中薩州河平伝ノ時三三年カノ金拾六万兩費ユトノ其時尾州水塔

故障アリ中央一百八丈ヲノコス右御並請成就セサルニ付世渡ノ家士三人自殺ス 隆迄ニテ今ニ至ル迄ヤ成就セス群更未ク帰ラスト云コトニテ川堤ノ御手伝世渡み度ハハ不被仰付ト云伝ノ

新田取掛

見聞各志ニ元禄十三年七月業糸郡大一九伝所ニ町人市岡平左エ門同茂左エ門開発ノ新田アリ大川通ハ差出堤ニセカレ高須御領内毎年積モアリ之官ニ達セラレ新田取掛ニナル

一茂左エ門新田大一九本堤ヨリ廿三間同東新田堤長六百九十間余之所堤取掛道跡ノ地形有末田ノ地形ニ一尺五寸低ク致スヘレ同所田方取掛堤ヨリ横廿間通存平均八寸但廿間目摺付ニ致レ河方次第下リニ仕堤取掛地形ノ取合可申候 其大天起ニモ右ニ同ニ總テ柳方ノ分世間ヨリ川方八田方ハ堀跡地形ノ通ニ取掛可申候 其外八田地形并ニ取掛可申候 一石堤土捨場本堤隆更水塔ノ江川東輪ニ堤長一百五十間余ノ所横十十間通ニ置其外ハ本堤ハ腰付道跡ニ置且又右新田ノ内本堤隆古堤ハ捨可申田畑土ノ義ハ堤取掛跡地形ノ取掛能様ニ不残堀取可申候此土捨場右同新

一庭右衛門起瀬左衛門起堤新田之間ノ堤共ニ長三百九十間程ノ分不残取掛

可申候此所堤取地跡用、地形一平均一尺五寸低但本川堤内三丁間外八分
堤取敷取地跡用、来由地形并二可致田方土取地之佐在衛門新田同、但
横サ間通一可取取右之所其喰場本堤添横、間程、内置本堤上置取可申候
一兵左衛門堤^{新田}横堤小堤共二不致取地へ、但川南堤取地跡地形有来由地
形一尺五寸低二致スへ、田畑共新田堤取横サ間通一平均一尺四寸六
寸方下り茂左衛門新田、赴三可致尤サ間通及畑方之今由地形並二取
地へ、川南段場草場共二取地地形へ取合能様三可致

右土喰場上、輪村堤内池へ入其外八有之治堤へ可入并本堤添幅間
通提系道踏ニ置置へ

右之通新田不致取地川敷二不致成後間堤并田畑段場草場取地跡、次方此
二後取地土一川へ入中間敷候猶又取地之途有某共相廻り候節下知可
致候且又下奉行下致、者相廻り其所々ニ存心ニ委細其元奉行へ之可申達
候向難心得所ハ於其場所間合畢竟川通水行能様ニ相心得可被申行
候右普請之義七月朔日ヨリ相始向廿日迄二不致出来候様可被度候元
取地急之事候向可被得其意候此外所々取地之令違々可申渡候右之
外土喰場可知一所、以可致中間候以上

未 六月廿八日

南條金左衛門
高木五郎左衛門

右之趣ニ付奉行侍二人被命山本七太夫松田与一太夫其役領
此新田二日替地南行勢明屋ノ茶屋、辺野ハ村ト云所ニテ返下サレトソ

水道

公私瓜録云寛永三丙寅年春松平隠岐守定行公仰上テ町屋川ヨリ水
出通、堀シソラル井戸、吉津屋ニ三ツ、上早町ニ貳ツ、宮通ニ六ツ、
大工三郎左エ門、同七庚午年同郷代、船馬ノ地ヲ開キ給フ時、町中水道ノ井筒
出、来ル一、護船馬水道ハ大鏡公、寛永十二年越中守定細公御入部ノ後、片所筋
四ツ、船馬五ツ、井戸本未ス又云、寛文七年井筒丁キ所ニ井ヲホラセラル九ツ、淨
土寺門前横郡屋敷等ナリ、寛永三年丙寅三月十二日ノ文書アリ、水道開
成元ノ年ナリ

桑名総町水役ノ事

一先規水道不通以前ニハ、大山田町屋川ヨリ水ヲ汲又ハ、毎貴水ヲ買ル、夥敷
造作カ、リ候所、居ナカラ水道ヲ汲自由ヲ付候然夫水役上テ町並一間口一
ツ、役録ヲ上テ諸役料可指加旨被仰出候向、町中總並ノコトハ、奉行公人借
屋總町年寄村屋御傳馬坂御船役不致有之役録可出之總年寄所代
取之上馬借總中右之趣具ニ承ッ届ケ下々、ハ可申觸候仍而如件

三月十二日

秩庭加兵衛
西村茂右衛門
本多八郎右衛門

又三實見永十五尺高平下里四郎兵衛家戎ト三者城まへ敷キ一間口一糸水
段録止ム

袖山見間記云水道筋町屋川ヨリト津屋御門際ヤヤ迄九百九十七間町
中井戸敷六百廿五水田井二口ニ原水道ノ水回リ三人所城ヨリ一人ニ独扶持ワ、
被下町中ヨリ三人扶持給文一人ニ四女見文ワ一取集木扶持米高五石四斗八
升三合と毎月町中へ割付半渡シ候給分十二女見文

小書室本帳ニ毎年改井戸敷六百廿五尺水道百九十二堀井戸四十六

大浦公貞弁郡笠田新田ノ北ニアリ所見永十一年ノ多度南野下市奈村藩後
ノ水ヲ引堤塘ヲ筑木池トナス塘高サ六七丈長サ貳百間余凡渺海
ノ如シ笠田ノ野大泉新田等諸村ニ三千石ノ用水トス始筑木レシ時ニ
度迄堤切レシカハ堤下ニ神明社ヲ御勸請アリ今ニイテリノ斗々修築不
ス上流ノ方ニモ小堤アリ山水暴深ノ時其水ヲ外へ溢レ堤決ラ防ク三宅
正堅ノ詩アリ
○堀ケ池ナト此ニ入レ山ノ奇ニアリ

一奉ニ
禰ケ池 田代池 山名ノ池
コトニアリ

蓮花寺池

坂下波 坂本村ニマリ長岡元甫詩ヲ夫見ク貝筑木高波一笠貫進時切太多
千畝 田園灌不止欣着黔首浴恩波 又三宅正堅詩坂下波塘ハ
千田深成功不口是民人從時
若有捨至客須認驪
龍此地吟

石搏波

石搏村ニテリ長岡元甫詩准水合流百丈波五月山三而映漣
漪南望溢眼魚雪早万里滄溟晴世奇

素名志料 卷十三

古跡

天武帝行宮

素名郡素名ニアリ日本紀ニ

帝大友ノ乱ヲ避東方ニ赴テ給フ冬ニ丙戌宿ニテ素名郡家丁西留
皇名^{持統}帝セ入ニ不破九月丙申車駕還宿ニテ素名トテトモ其行宮
遺趾定カナラス^湘秦紀行ニ素名ハ古壬申ノ乱ニ天武^{持統}経歴ニ
給フ路ナレハ其頓宮ハ何ノナルラント問ト答フル人モナシ又必辰記行ニ昔
淨見奈天皇ニ去野ヲ潜幸ありト云々皇名ニ評ハナレトモ天皇任此処
天武ノ國不破ノ間ニ赴カセ給ハテ皇名此ノ地ト云フ事アリト云々
と位ニありそむ不破カセマシテ天ノ命ニ天皇皇利ト云々せなまいて位ニ
カセマシ天武天皇ニト云フ皇名ハ天智ノ始ニテモ一ツノ素名ニ持統天智
中ニセ素名ニハハセテ頓宮今ハハレノ所なる事ト云々人ニト云フ事
ものなる

曾日聞ニ帝此停車^不憾在^不吾邦^不見書今問先蹤人不識誰^不廣風土^不攝

ナト見エタリ今鍋屋町ニ天智王ヲ奉祀スル所是也ト云ハ其是ハ近世ニト云

遺址ニアラス獨見間田谷志ニ新屋敷ノ北手水長屋ノ辺ハ楊柳寺ノ旧地ニテ行宮
遺址ナリ寛永中^新屋敷ノ郭ヲ廣メラル時楊柳寺ヲ今ノ地ニ移サル供御
水トテ此南一丁余ニ有シカ今ハ堀ノ中ニ成リトモ又天皇御足洗ノ井トテ同郭
中ニ出ニ辰^門ト云後園^教ノ中ニ空永頃迄アリトナト見ハタレトモ古井
ノ迹サハモ分明ナラス^按スルニ此辺ハ近世迄海濱ノ地ナルケレハ十歳ノ上此ニ行宮アリト
云モオホワカレ又ニ高上^即位^前ニテ^玉ヲ^トカ^レト^レハ^行宮^トナ^ルハ^ナラ^ズナ^リ
廣云上ニ紀ノ宿ニテ素名ノ^和家^ノ文^ヲヒ^テル^ニテ^スヤ^イフ^ニカ^ラザ^ル論^ナリ

石占頓宮

續日本紀ニ聖武天皇天智十二年冬一月辛卯國成申素名石占

頓宮トナル其遺址ニ詳ナラス

一本ニ按日本紀皇行紀セテ華美深國有善材者曰丹波公日本其尊道喚オ考故オ考卒石占
横立及尾張田子文編置而來トアリ此石占横立トナリ位ニル所ナルハケレ今素
ナル所ナレ

野代宮 素名郡野代村ニアリ今今ノ大宮トテ村ノ鎮守ヲ祀ル如其遺址セト
倭姫世記云活目入考五十狭茅天智十四年遷幸于伊勢國素名郡野代
宮四年奉齋又五十餘宮鎮座本紀云倭姫命天照大神ヲ載奉リ伊勢國
素名野代宮ニ四斗齋キ奉ル又伊勢名所拾遺集ニ野代宮素名郡トナリ
神祇^白官^ニ元^長
すみ水^を野代^の止^る名^の所^にて^も摘^入る^にて^も春^の名^を
山崎周音^の遊^行
大觀顯然^美氣^風行^地上^勢陽^中靈^神聞^説此^邊幸^四載^奉齋^野代^宮

ナト此官ノ遺地ヲ詠セルナリ

朝明行宮

朝明郡ニアルハ今ト其地未詳一説ニ吉野松原村ニ在ト云

日本後紀ニ聖武帝天平十一年辛巳秋十月丙午從赤坂發到朝明郡今村ノ鎮守ハ聖武帝ヲ祀ル村也ニテ武川ト云地系アリ皆其由也ト云伝フ

尾津濱

古事記ニ到坐尾津前一松之許先兩食時所ニ其地却刀不矢猶在

爾御歌曰鳥波利理多陀理勢加故天流表都能佐岐那流比古昔荒麻昔阿波利比等 昔荒麻比古昔阿波利勢麻不岐表岐勢摩之多知 聖德太子嶋尾津ハ今ノ尾津村ト云フ是ナリ太刀掛ノ松ハ郷衣野村ニアリ此辺ハ却テ尾津濱ナリ

間遠渡

城下川ヨリ尾州勢田宮駅ハ渡ル海上七里勢陽雜記ニ清水原

勢田ハ渡リ給フ時舟駛ルニ遠ナルヨリマナウノ度或トハ急ムコト有テ是レコリカクハ名付シトシ 按ニ向意ノコト天武帝ノ改事ニヨリ有明ノ月ニ風遠ノ渡ニテ 按スルニ(ヨハノアリアケノ月ハナキコトナリキコエヌムシナリ)天皇ノ御世ニ是レ國不 復ノ事アリシト云即ヒアラス聖德太子ノ高日皇ニ世ニ又ハ尾津ヨリ津島ノ渡リシニテ此 里渡ハ近代ノコトナルハシ又按ニ新後撰ニ後述ノ勢陽歌ニクモリナク月モシトテ十川ノ 間ノアラレトノ間ト云又新撰古今集ニ瓶有ノ哥ニヨリノ間ノアラレキ逢コトハマトナヒト モハハ多クナリ此川ハ廣ハ一帯御ニテリ川ノ間ノマトホニムコトナリ古ヨリ讀来リシラ此渡モ川ト云ニ

ニヨリ附合セシモノアルハニ猶待後考

コト考大カクハヨロシ

名草浦

三重郡桶狭ノ浦ヲ云又小ノ湊ト云古哥ニ浦傳子ノ名草ノ渡ノ島ノ

夕汐みちて空に鳴多世内大臣伊勢の海川の湊ゆゆに流し遠く千鳥ノ 鳴くナリ為重流ル世の未嘗も見えたりにけり川の湊五月雨の頃 袖衣相のさそいふならむあささしりく川の湊郷

右上古遺址ナリ

有王塚

業名郡矢田村地内ニアリ

後宮見塚

同所ニアリ土人傳ニ云俊寛ノ侍童有王丸鬼界島ニ至リ後宮ヲ訪ニ

後宮見身マカリレカハ其骨ヲ首ニ掛ケ回國セシカ此ニテ空ニシク成シカハ土人ノ此ニ 葬リ有王塚ト云俊寛ノ母ヲ葬リシヲ後宮見塚トヨフ今ニ立アリ其間ニテ

富田館

朝明郡富田村ノコトナレ其地詳ナラス東鑑ニ久元毎四年

当國守ヲ設武藏守朝政美濃國ニ廻リ伊勢國ニ入先進士三郎其度カ 朝明郡富田ノ館ヲ龍不ヒ排ニ戦ヒ刻ヲ移シ其度并舎美本三 郎盛光同四郎同九郎等ヲ誅ストアリ

早清屋敷

公負弁郡忍領志知村ニアリ今里正ノ宅是也此辺ハ早清ノ

領セシ所ニテ由緒モ所ニ存スナリ西長深村端彦寺本尊ハ早清守伊伝 松山廿番士十町氏ノ奉ニ惠セ兵衛ハ惠志知美衛ナルハヒト云

東方城址

勢陽雜記ニ東方村今秋迦寺ト云所ナリ秋迦寺ハ海濱
寺ノ別院ナリ織田信長長島征伐時向陣ノ跡ナリ天正記ニ天正二年信長
東別所ニ御本陣ヲ寄セラル磯川ハ其東南ニ島守ノ安永村ヲ見立西サ
丁余ニ白山ノ城ヲ慮テ北ニ入江アリ南ニ矢田リアリ東ニ廣野アリ敵ヲ目下
ニ見用氷島ニテ云々東方村書云ニ城跡ニテ所一ハ村ノ西山畑ノ畑ト云所
ニアリ今城山ト云甘河田南ニ陰山ノ跡存ス中島五箇内餘途ト云一ハ居村ノ
内ニテリ今西城田田田存勢丸館址云何レモ事實不詳以下章名郡城跡也
中江城主 福島村ノ中ニ中江ト云所アリ天正ノ頃一向門徒ノ拠ル所也ト云興替却
詳載ス遺址存セス

天田城址

天田村ノ西走井山觀音堂ノアル所是也東西ニ堀切アリ櫓櫓ノ跡
今興隆云五六十間四方モアリ天田半石衛門住セシカ天正中洲川一益ニ被陷計
死傷田長島攻ノ頃此城ヲ用立長島ノ押トセラル

走井北田城

天田城ノ北ニ接シ今愛宕山是也陰山ノ跡アリ天田ノ中節若衛門
ノ館址ト云 海ニ此城天田ノ城ト連接ト云別ニ要害ヲ設ク織田氏修築ノ時ハ別郭ノ様ニテ一
城トシタルレ

白山城址

西別所村ニアリ勢陽雜記ニ元龜四年長島一擡島退作信長
發向西別所ニ捕籠タル一揆ヲ佐久間右工内峰谷兵庫頭木下藤末節也
羽五節左工内等押寄リ入モ不殘男女共ニ切捨ラル場陣ノ時風雨ニ乘レ一揆任

幕に散々ニ戦ヒテハ

林新三郎加茂次郎左工内一所ニ討死ス棄名雜記
云城連ハ白山明神ノ村アル所也中島將監 籠ル所アリ天正之二十年
信長東別所ニ着陣ノ後降参スト云

西別所城

村ノ東ニアリ城山ト云林ノ田ヲ城下又城ノ腰伝大手ノ堀ヲナト存ス後
後藤藤五郎籠ル天正元年九月近江勢織田家ノ命ヲ受攻被スト云

愛宕山城

西方村ノ西ノ山ノ頂ニ在リ陰渠矢倉ノ迹アリ加藤勘助
ト云有、館址也天田北田城城ニ祀ル愛宕山ハ元此ニアリレ故 愛宕山ト云

江場城

江場村ノ西北田中ニ在リ獲本アリ城山伝佐藤本助餘趾ト云

安永城址

安永村ニ本林園書ト云春尻住セシ由云傳フレ其地詳ナラス

天田川

今家人屋敷アル所ナリ昔ハ町屋川 走井山ノ下ヨリ東流シ此辺ヲ經テ
海ニ入ル 慶長ノ頃南へ導キ此地ハ外郭トナル 天正十二年織田信雄長島ニ在リ
羽取不秀吉羽津ニ屯ル對陣アリシカ和睦アリテ此地ニテ對面アリ豊臣家譜
二十月廿六日秀吉與信雄於天田川奈有湯見秀吉東手曲膝垂涙而不言
歎長劍塚管ト云是ナリ

柳ヶ島城址

下深谷郡村ニテリ今地名存ズ 天正ニ在リ 五六十間四方アリ城ノ堀云
所アリ長島頼證寺ノ徒安藤左草ノ迹ノ跡ニ在リ也

北迫城址

同村西ノ山ニ在リ 東西六十間程 南北八十間程アリ長島一揆ノ迹

近藤右京佐據之所ナリ伊勢諸城此北邊ノ城小城ナシ民四方ニ風車リ
未申ニ山積ノ道アリ一騎打ノ細道ナリ中壇ト上ト二直ニ埒ヲ掛クハ攻ヘキ様
ハナカリケリ東禁ニハ家臣高野總右エ門屋敷ヲ構ヘ東北ハ馬足モ如深田
ナリ南ハ近藤孝太夫同十郎兵衛主司屋敷ヲ構ヘ縣大明神ノ社茂リタリ
埒ノ方角基下ニ北沙門唐土半壇ニ地藏土アリ西ハ大谷セ谷ヲ隔ラ山上
ニモ家中ヲ立ニ是ニテ其形勢ハ明ナリ

北猪飼城墟

北猪飼村ノ東ニアリ北通ニ土居趾アリ東邊追手トナリ古井
モ存セリ東西廿向南北廿四間程ナリ小串五郎登衛ト云者館跡アリ

大鳥居城墟

大鳥居村ニアリ是亦長島一揆ノ土張ニテ水谷兵衛左五門ヲ
以置今鳥渡ニラ押ハサセシセ長島没落ノ時塔城ス

南郷城墟

南郷村ニアリ所高民部ト云者遺址也トイハレ事失遺址モ分明ナス
小山城墟 小山村ノ子ノ方ニアリ北ハ谷ニテ山岸ニ土居ノ趾アリ東南ハ沼田西ハ山積
ナリ追手口北古井ナト猶存ス高井民部大夫ノ館迹ト云

深谷城墟

止深谷部村ニ三沙沢ト云所アリ是也玉井四郎左五門ト云者館址
埒城墟 今上深谷部是也長島一揆ノ頃方圓掃部頭巨者龜城ナリ

神井城墟

神井村ノ申ノ方ニアリ墟方四丁程アリ今松林トナル土居ノ形猶

存ス梶右近公ト云人ノ遺址也元龜二年五月此木田勝家氏家ト全西
松要人カ柚井ノ館ヲ攻サ落シ戸津ノ民家ヲ燒立トアリ此西松梶其前右

蓮花寺城墟

蓮花寺村ニアリ内山澤吾一南卷素名雜記ニ内山雲千紋丸ニ橋
後藤庄左衛門住セト云ヘ其前後モ又知ハカラス

糠田城墟

糠田村ノ子前ノト云所ナリ後藤太即左五門館迹ナリ云

栗部城墟

栗部村ノ東谷ニ二墟相並ヘリ北墟ハ毛利治郎左衛門南墟ハ大儀
須一作若狹守ト云者ノ墟也ト云傳フ又天正十二年信雄ト對陣ノ時秀

東金井城墟

東金井城墟村ノ南ノ山上ニアリ本丸ニ三ノ丸等ノ迹現存ス松園考之傳

家勝

天文三年中此城ヲ取立天正十一年九月廢城ス家勝城西面白山ヲ自教ス

北殿塚

小山村ノ東田中ニアリ雜記云

東照宮

美濃路ノ御通ノ節此ニテ北殿ノ楯セラレニヨリカク各付ヒトソ

八里木林

戸津小山ノ村埒ニアリ雜記ニ古ハ尾州ヨリ渡ルニ此ヨリ八里マトハカク呼ビ

星川城址

負井郡星川村ニアリ今畑トナル由飛騨守館址ト云フ伊勢諸

小田城墟

笠尾山ト云所ニアリ昔木大和駿河守ト云者住セカ織田氏ノ

二滅ナル又村ノ東ニ古墟一ナ所アリ館主詳ナラス

西方城墟 大泉ノ西方ナリ物柴木下野今ノ依址ト云

金井城墟 大泉ノ金井ナリ種村澤田左衛門ノ館址ト云

上笠田城墟 井仔田左衛門伝ノ館址ト云古井又御藏迹ト云所アリ

下笠田城墟 館主ハ多湖大内藏実元伝大井田高柳御園惣領美佐等

上麻生田城墟 上麻生田村ニアリ徳丸右左介居館ノ迹ト云

下麻生田城墟 日能大膳ト云者住セト云

石川城墟 石川村ニアリ隍渠ノ迹現存ス齊藤助六伝者住セト云

西野尻城墟 塩谷兵部ト云者住セシカ天正二年長嶋ニテ切腹ス伝

山口城墟 山口村ノ己方五丁計ニアリ玉垣内山伝墟五十間四方計土居アリ

本郷城墟 本郷村ハ志石庄一作白瀬ノ本郷ニテ白瀬城伝云又萬多城氏云村

長尾城墟 近藤澤田左衛門城墟也昔ハ長尾村ノ地内ナリシカ今ハ本郷村

ニ属ス本郷村ノ長十丁計ニアリ東西七十間程南北六十間程字中

森ト云古井存ス伊勢軍記ニ白瀬ト云所ハ本郷ノ北ニ当リ山城ナリ南ハ負

弁川ヲ要守トシ百五十間計ノ大ナリ北ハ古井ノ谷トテ大谷ニ自然ト水ヲ

湛タリト見エタリ梅ニ本郷城伝ニ近藤ノ館也ト云伝フレレ

田辺城墟 田辺村ノ亥子ノ方ニアリ南北二百間程東西六十間程本丸廿間四方

堀幅五間程アリ木造左衛門佐館迹ト云總見記ニ天正元年十月八日信長

東別所ニ入給ハ一揆皆降参ス味之存坂加用田辺皆人質ヲホストフル

同平城墟 同平村ニアリ土居内廿間ニ廿間程アリ西北東ハ岐ニテ南ニ幅五間程

堀アリ其ナトリニ屋敷迹數多ナリ田切左兵衛居館ノ蹟ト云字城山ト云

河下喜城墟 河下喜村ノ東ニアリ片山大和守信保ノ居址也主計又平天正中長

飯倉城墟 当村地高寺山ノ内ニアリ城山ト云堀ノ跡存ス館主末詳

富田城墟 朝明郡東富田村街道ノ西ノ分城山堀田奥殿ナト云処是也

新前ト云社アリ城ノ鎮守ト云伝フ南部治部大輔館迹也又住邊中

程ヨリ東長興寺邊是也城迹ニ南郡甲斐守ノ館迹也又村ノ南住邊

ノ東廿向洋ニテ又館迹アリ城ノ左殿城池ナト云云アリ從主ヲ南部駿河

守ト云此三人皆見奉ニテ此地ニ住セシトリ以下皆朝明郡古城址也

理生城址

理生村ノ西天神山ノ北ニアリ東田監物館述ナリ豐原屋譜ニ天仁三年

織田信雄ト秀吉拵楯ノ時秀吉以蒲生忠三郎代郷令ト名禊城ト

小向城址

小向村ノ西山ニアリ飯田庄ニ助館述ナリ

勢州朝明郡

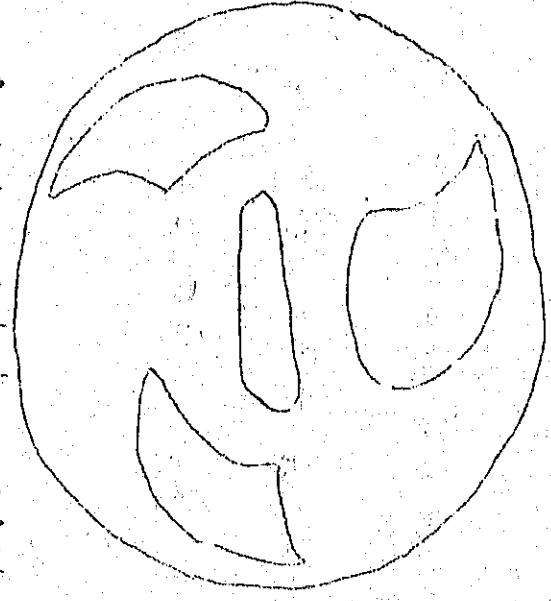
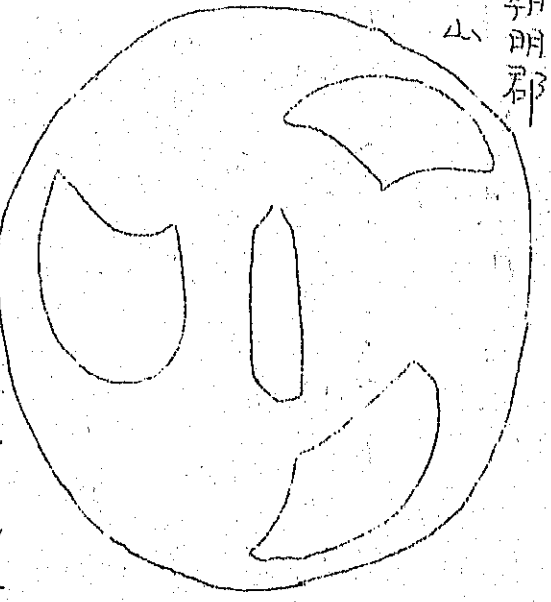
小向村山

古城墟

土中

所出

古鐘



柿村城墟 柿村ノ西ノ山ニアリ木丸ニ丸等ノ跡現存ス沢木入道宗喜ノ館
述ナリト云諸國廢城考云弘治三年六月義賢神戶下總守ニ命テ柿

城ヲ攻シムト總守千余騎ヲ帥テコレヲ攻ルトアル是也

茂福城墟

茂福村ニアリ大サ一丁余モ有之茂福下總守居館ノ址ナリ

高松城墟

高松村田中ニアリ其東北ニ橋アリ津橋ト云今順礼ハシト云コレナリ

渡部端部ト云者居館址ナリ

古沢城墟

古沢村ニアリ今堀丹後守ト云人ノ館址ナリ

羽津城墟

街道ノ西一丁半程ニアリ東西廿八間南北廿四間程赤城 右京ノ

館址ト云傳フ又天正ノ頃羽柴秀吉、此ニ陣セシトリ

曲豆田城墟

村ノ南田中ニ木林アリ古城址セト云館主不詳 按ニ土人ノ説ニ據
ルト云人ノ居址

テ其裔高ト称スルモノ今ニ軒アリテ笠田ト称ス

本郷城墟

三上里郡楠郷本郷村ノ西ニアリ楠十郎ト云土豪ノ住セシトリ

遺址刪身ノ僅ニ其迹ヲ存ス

川尻城墟

三重郡川尻村ノ東田ノ中ニアリ古子古城ト云川尻治部ヲ輔ト云者ノ

館址也事矣不詳

右中 古遺址

西方別業 業名郡西方村ニアリレ

大鏡公此ニ別荘ヲ設ラレ時々御遊豫ノ地ナリ

園鏡公御時廢せられ、トリ古園ニ今妙見寺ノ辺ニテリ

政餘形正ニ業名西阻郡村一許里有古墨一溪山圃小水浸之西林壑不美
大ニ君此地作亭以号西方茶店或爲末實饗食應之一興或爲遊御巡檢之
憩處也傍又ト勝地造立新祠安置妙見愛宕稲荷三社以爲玉家
鎮之靈窟矣改業之暇歩于花涉于月消遣世慮者セト由井房

ノ記セルニテ其形勝知レ山莊遊興ノ佳詠アリ

僻地山莊景色濃四望寧寫畫園工驟人吟嬉佳趣杯泛桃花各婉容
又慶安四年秋八月 公遊西方之別若未賞月盛作アリ 今雨西壑靜

遊觀月照廣田 露若珊海上清風紋碎影把爲世鏡盛東安

附侍臣恋敘詩

佐藤江卷

高上西山滿日優東溟涵影水憐々更令清彩添分外無限光明

吳幾州

里田元盛 叔々松林典韻輕露侵天外使醉平一痕飛出東溟重々七光明更明

渡野

久待仲秋快霽天嬌嫩今夜金蟾娟群僣陪臣更益賞別有清光照御慈

濱別莊

赤須加見濱地藏堂ヨリ一丁計堤ノ下ニアリトリ元禄以前

古園ニ見エタリ
三十三間堂 小貝洲ノ洲岬ニアリ本々家ノ頃ヨリ射術ナト試ト何頃
ニヤ風雨ニテ海溢地山崩トトリ古園ニ見ヘタリ

地藏院園

赤須賀地藏院ノ園池ナリ見聞畧志ニ地藏堂堤下ニアリ南北
ニ丁余東西テ余ニ延ニ泉ヲ設ケ奇石怪樹ヲ植テ山ヲ築宅ハ右ノ方左ノ方泉
ノワキニ藤アリ深山ノ戸トス英長三尺余四尺ニモ及宝永四年ノ洪水ニ枯リ
トアリ今ノ廢トス

村正屋敷

見聞畧志云千子村正ハ正宗ノ弟子也旧宅ノ地ハ六田村走井山
觀音堂ノ下道ノ左リ今庄屋ノ家アル所是也宝永七年ノ頃道毀家ノツイゴ
ニ用ヒレ古宅ノカケヲ向ニ堀ボスコトアリレ村正ノ母此千子觀音ニ祈テ置レ設ケ
レ子ナレハ千子觀音ヲ賜ヒ子ト云コトニテ千子ト稱ス其後千子ノ里ハ城下

江戸町ニ住シ小刀刺ヲナトラ製衣セシ

坐石屋敷

城ノ西半里計ニアリ 古園ニハリマニ坐石天和ノ頃律宗ノ僧幽岩ト云

駒野系松

天田町八幡瀨古ニアリ昔大坂陣時本多美濃守殿此松ニ雜干指

セラレト云 上トハ七株アリシカ今ハ僅ニ一株残レリ新記ニ織田信雄ノ古上指

天白流田蹟

城下油町ニアリ清水春流ノ遺址ト云

櫻馬場

西方村ノ北ニ丸山ノ南ニアリ

大鏡公ノ時ニ調馬場ヲ築カレ櫻ヲ多ク植サセシカク右付玉ノ何時廢
セシニト宝永ノ頃ニハ最早櫻ノ木モカサレトソの場角場用水ノ井ヲトモア
リシカ今ハ其所モサガカナラス

笠田別業 下笠田村ニアリ寶永五年中

鏡國公大涌ヲ筑木カセラレシ時此ニ別業ヲ設ケ御遊豫ノ所トナシ給フ公御
殿屋敷御殿井戸ト云所アリ三宅正堅詩アリ

皇早到笠田豔且幽生未半日也優游百竿洗竹清陰分剝見長川抱

練流

其形勢ノ方弗ヲミルニ足ル

北山田別莊 是亦

大鏡公ノ置レシ也三宅正堅ノ詩ニ

新ト松林別業成子原渺々對櫻明更無駭翳澹山色只有餘清引
水聲讀衣例場群馬競勸累臥土萬手耕未臨不狃為遊費稔
穡艱難要識情 此詩ニヨリハ調馬場ナトモ用カレシタルレ又長尚元甫

一絶アリ 澹川導水助農業田獵行春五馬控松下預知ト居處子耳遺
愛境甘棠

平野新田別莊 寶永ノ頃

大鏡公此新田墾開ヲ命セラレシ頃ニ倭々未遊アリテ別館ヲ設ケラレシ今御
茶屋跡の場御鞠場御馬場跡又御瓜冷御馬冷ノ地古井ヲト遺址今ニ
存ス寶永中高田御得替ノ時其館舎ヲ中津原里ニニ毀リ其宅
地ニ移レ今ニ存ス一説ニ此館舎ハ元北山田ニアリレヲ移サレト云

赤石志料卷之十四

神社 一 城下部

三壽大明神
春日大明神

ニ社会殿ナリ此ヲ葉名ノ總鎮守トス宮通町本町ノ間ニアリ

社地東西ニテ八間ニ七間又葉ナリ及ニ左ニ三崎 右春日各檜皮葺

額ヲ揚ク階下楯間ニモ左右ヲ分テ額ヲ打テ幣殿神庫手水所アリ龍

所神楽殿本地堂鐘樓堂陰馬堂等ハ礎矢ノ後未建 按スルニ見聞各

志ニ樓門ヨリ入テ十間許右ニ神楽堂アリ南北十間許東西三間許左ニ神

庫神楽堂ハ階ヲ上ル六七尺許金張付柱彩色格天井金張付各草花

柱彩色墨雲緋縁樂器善美ヲ盡セリ長押上ニ近衛信尹公御筆三

十六歌仙額ヲ揚ク 按享保七年春日記ニニ慶長六年二月七日近衛三藏院殿

信尹公御筆ヲ詣アリ御詠七種ニ礎茶檜ノ蔭ニ神ニテ祈ル行末又三十六歌ヲ書ル御

奉納アリシカ 明知ノ災ニ甘五尺礎矢今十一枚取ル奉納和歌共ニ宝藏ニ納ム

堂上ノ中央道ナリ入ロニ給テ掛ク左右ニ鹿ト馬ト作物アリ是ヨリ四五間隔

テ社頭ナリ南北十四五間 東西四五間前格子中ニロアリ二間許透戸

格子ノ如シ其前縁欄干アリ縁ノ廣ワ九尺許石礎三四段ハカリ口ノ向金

張付柱彩色 齋ノ戸ニ枚 常ニ内置祭日 是ヲ南ク夫ヨリ十間余アリ其

口ノ中央ニ末社アリ地主母山明神是ナリ口ヲ入ッテ左ノ方三崎明神右ノ方

春日明神ナリ階下ニ三段計ノ上ニ御堂アリ墨塗其前ニ石礎干アリ派全モ彫

金物四節祭日ニ非ラ開ク羽子簾ヲ掛ル階下ニ高四五尺ノ敵甲戸台アリ朱塗

ノ瓶子一箇ヲ置 神膳モ此ニ居上左右皆同シ階下ノ田舎五十畝計云

絹縁尾 皆直背社ハ白木作リ慶長以來ノ昔請ト云ト見ヘシリ本社ノ

制度今ノ畧同シ元禄ノ災ニ免カレシ明知九年ニ礎矢セ伝ニ社鎮堅ノ

由緒ハ三崎大明神ハ社家郷司代縁起ニ

皇年行帝東夷征伐ノ時ニ柱ノ御神ヲ登玉ヲ

天衣帝御時社頭造公言アリト云本頼寺旧記ニ云三社ハ三壽神ハ生

神故三壽大明神ト号ス北勢古志ニ式内葉名神社是也祭神

ハ天久之比乃命ニテ葉名ノ祖神ナリ三壽ハ尾野尾

赤ツ鳥崎 葉名ト云トノ説マレカニハ非ス神領記ナトニ三崎ト

アリ法泉寺縁起ニ海崎トアリテ唯ニテウニサテノ畧語ナリト云見聞畧之

ニ云三社ハ葉名神社ニテ祭神ハ天 櫻日命 天戸間見命 二座ニテ天津

彦根命ノ御子葉名首ノ祖神トアリ諸説ト異アレ凡三崎明神ハ古多

リ勸請タルコト畧論ナレ春日大明神ヲ合祠コトハ社家説ニ神設

皇承元元年下總国香取ヨリ經津主命ヲ勸請又香取ヨリ奈古長ノ御孫ノ

一本不詳 春流詩
神明 葉名直拜
既御春宮又宇
藤江介端内行中
地皇人致敬杯家
皇吟風十百論
二又寧思世不堂

一併此地ニ宿シテ此處ニ神倉ヲ建祀ル云又武藏九雷命ヲ正徳年中ニ
 勸請シ天鬼屋根命姫大神ヲ永仁四年奉衣ヨリ勸請シ春日ト移ス云
 當新旧家味團ナル者ノ家ニ紺紙金泥ノ勸請縁起ト云有リ其文ニ
 敬奉勸請申春日大明神 永仁四年丙申八月從末野奈良江上野村
 大一人若基遺則伊賀越仁 負弁 業部村造 師 故申伊供奉 於業部
 村一處奉成御鎮坐其後於伊田村構御旅所奉遷御 故申伊世其
 時節業野之地主三人農虫拜迎八月十八日熱州業部村江奉成勸
 請 而御尊身奉遷三崎大明神 而金殿奉行天下奉平国家安全
 在所長久ノ民豊粟宗 宿神者也仍旨趣如件
 永仁四年丙申年八月十八日

業部神社 中臣神社 和歌歌詠廣吉
 業部神社 祭神ハ桑名首ノ神神ニシテ一郡ノ祖祖シリ其神衣間ノ宗家代々職
 當郡ノ郡司ニ奉テ朝進ニ申勤セリ
 中臣神社 祭神ハ伊勢國造ノ祖神ニシテ神武天皇皇孫其功臣シテ其功臣當國
 其番ニセリ一ニ業部宗社ニ稱シ奉リテ其功臣ニ存セリ共ニ朝廷奉行神
 祇家ノ尊山宗世ノ絶エズ其巨細ノ縁起録ニ有リ六略ニツ

執事 左土早進 在判
 日主 野慶元 在判
 味 岡 平以 在判
 不送 願

此ニコトハ永仁四年合祀セシモノナリ 據ニ永仁ノ頃 在上年遷平以ナト稱スルコト疑シ且素
 疑ノ一也後人所念 在 祇ノ久キコトナリ今所更ニ業野ナト稱スルモ
 偽作ナレ 公私以録ニ正徳二年ノ遷坐トス是ハ永仁四年ノ前八年ナリ
 社殿ノ此獲雷神ヲ正徳二年ニ勸請スト云タルニ拠シナルハ又見開原志
 二八慶長年中本多家城地經ニ古ノ時 藤原氏ナルヲ以テ 區益田庄 上野村
 村ナリ 春日社ヲ今ノ名通母山ノ社地ニ遷シ三崎ト合祀スト見ヘタリ
 又慶長自記ニ慶長九年春日明神 所遷官 吉田神主ノ鬼許ラシ又
 鬼島ト左エ門殿御上リ而礼 余ニ枚トアリ社殿 造替ノ夕メ遷官ナラハ
 吉田家ノ鬼許礼 余等ニモ及ミ此上野村ヨリ此地ニ遷サレニ就テコト
 尤ハレサスレハ 西谷志ノ説 其言ヲ得タル 縁ナリ然レ自記ノ慶長五年ノ
 所ニ関奉一札ノ初ニ八月十八日春日奉礼 暨礼ニ付銜渡ノ式ノ行ハレ
 コトニハナリ又公私以録ニ永正六年十二月廿一日 業部春日遷官又
 室興山記ニ天文廿年亥某月渡主 松運法師印 遷官開眼 供奉ノ尊
 御相勤ト 堀正舩厨子ノ稟書ニアリト云此諸説ニヨレハ本多家ノ時始
 テ 勸請アリシニテハナク夫ヨリフルヤ奉ナルカ 本多家ノ時改テ勸請トナ
 鎮守ト奉祀セラレシコトナルヘシ
 社鎮 天室山田記ニ其寺塔頭 淨土庵 信長ヨリ五百石賜リシヲ本坊

佛眼院ノ領上セリ 其時春日ノ社家毛利左衛門藤右衛門二人
長子社領ヲ終りカ秀吉公ノ時没收セラレシトイハレタル信スハク
ラス慶長十一年申奉り度所領ニテ神君ヨリ百石御寄附アリト見テ水谷
氏ノ支書ニ
春日御神領地前高下石葉系三町縣公之内ニテ
内村様被進信大久保十兵衛殿御肝煎自出度御納所可被
成者也以上
上慶長六年丑三月吉日

水谷九左衛門
老勝判
葉系
神方
社僧
御衆中

光勝天ヨリ管見永成度
四月十二住シ御代合目ノ御公
神君ヨリ百石御寄附ニ付本多殿自筆ノ切紙ヲ出サル
為春日領葉系之内三町縣ニテ百石從
將軍様被爲所領永相寄進有間敷候也仍而如件
慶長八年六月十五日
社僧衆
林屋衆
本多中務少輔
忠勝
刃

此後松平隱岐守殿城主ノ頂許論ノコトアリテ社領被召上寛永十三年
鎮國公御時本多度折紙ノ趣ヲ以テ御吹寄アリ
大猷院様ヨリ再御朱印下サル

伊勢国葉系郡所崎春日明神領同郡三町縣之内百石事任先
規寄附之思
寛永

其後
御代々御朱印下サル 畧其
伊勢国葉系郡所崎春日明神社領同郡三町縣之内百石事并社中行末
諸段等免除依吉家先判之例佛眼院進上承不可有相違者可拜神
事祭祀之状如件
古事保三年七月十日

春日記云御朱印高百廿一石一斗四升一合内七拾三石九斗二升七合ニテ佛
眼院世之石八斗七升四合六分社人 十九石六斗六升七合一斗御修理田三石
六斗七升二合御車田 一本書入三町差水帳ニ車田トテ米四百石社總取上ヨリ 又曰高百廿一石一
斗一升四合相取免三ツ九分ニ至米五斗石之廿九升七合米一石五斗四升二合ニ
文金五十三兩三分銀三匁九厘地子金一
按社領ハ春日社ノミニテ三町トミテ見ス御朱印モ所崎春日トアリ今ハ三崎ノ其
ノ神ナリトテ上ニタリトモ慶長以後ハ春日ヲ以テ主トスルニ似タリ

銅鳥居 銅ナリ江戶御通リ西側ニアリ慶長自記云蓋木幅七間高三
間慶長七年十一月本多氏御建公爪録ニ承徳二年六月五日大風ニ
春日鳥居吹倒ス近享録云寛文七丁未八月鳥居立金ニ改ル是ヨリ前ハ
木ノ更ナリ
慶長金二百五十兩カ、リントノ松平一様ヨリ金百兩御寄進柱ノ太サセ
度レ一尺九寸金ノ厚四分継目ニテハ六分貫ヨリ上ハ三分石口ヨリ根入五尺厚
五分貫下高一丈八尺五寸蓋木上ニテ二尺五寸下ノ上廣サ柱中スニテ一丈八尺
當石四尺厚二尺五寸敷石三尺五寸四方鳴木花輪造ノ横枘表裏アリ
上リ膝ノ紋大サ一尺一寸都合十四元文五年閏七月二十日大東風ニテ倒リ翌年
再建ナリ

葦子衣 山魏々 推真惟園 神威可畏 保定万年

寛文七年七月廿八日穀旦

銘作有昧岡喜大夫幽山在下号ス筆者 常信寺住僧伯宝ナリ
慶長自記云慶長十八年八月十四日春日石燈籠立敷テト云享保九年記
云春日築地慶長年中北ハ長島城主松平信濃守様御寄進南ハ本多
美濃守様御寄進此築地慶安ノ洪水ニ前近金四年東ノ石垣廿余間
松平一様御寄進公爪録云此金甲佐藤氏ノ金百兩御寄進ナリ
石垣ニテ寄進アリ今南北ノ石垣是ナリ

正徳三年七月春日御社樓門其外端垣等而修慶長被仰付同八月額御進
公爪録云元和三年三寄春日造官也今檢皮葺是也正保年中春日
平殿成ル享保九年記云元和六年庚申本地唐王大破ニ付御城主松平慶安
様御代奉願型七年東福門改様御旅館ノ新御殿建候右ノ御寄進神官寺
建替アリ春日日記云寛永年中松平越一守様鐘樓并釣鐘御寄進ナリ銘曰
業名春日大明神廟銘鐘并序 三六七二取上撰

執事業名郡益田左置春日大明神廟而銘其奉業者一歴代尚
矣今城主趣中大守澤定唯公就封于松土之三年改令己均形ニ
夙化已沃和益又致力於神廟以補治焉以堅茨焉既修先制
又壯後觀於是平巫氏祝部及土家等相聚喜言曰今而賜
以時豈人樂推明神之降祥固太守之篤敬靈既孔昭孰不感
戴乃普勸琴郡官士農工商實婦女僮尼不得貴賤高下
同心合力棄俸拋財改作洪鐘以登神庭而請全書事於

戲可哉鐘乎畏撞夕叩其奠神之聽之介爾是福銘曰
東海故郡是夫業名神鏡人守風醇俗清于改造是時新發鉅
鯨匪橋匪石且知且守時氣相契夜星上月清瀏々流々鐘々鏗々

行餘... 坐禪本定... 行旅登程... 漢唐畫通... 湘水脫澄... 廟庭參鼓... 虞唐間坐... 踏然存... 詳々手盡... 無攻罪... 有教義... 一... 不上... 象力并... 九似... 既集... 賀大... 成... 躬致... 齋戒... 心存... 誠... 以祀... 以祭... 載... 載... 伏... 餽... 臣... 道... 恭... 惟... 君... 明... 父子... 弟... 兄... 友... 朋... 友... 善... 男... 賢... 女... 貞... 民... 各... 安... 所... 物... 咸... 樂... 生... 殃... 災... 日... 息... 禎... 祥... 年... 呈... 國家之盛... 興鐘共鳴...
寛永十五年山歳次戊寅秋八月十三日

元禄十四年二月六日鐘構神官寺頼成不見聞夏志二元禄受

監事鬼島修理大夫清貞

二本社神宮... 無別... 天明和九年正月廿五日社内悉く焼失ス

祭礼

本領寺旧記ニ吉社祭礼一基九度

二月十二日... 同十五日... 流... 二月初十日... 三月三日... 五月五日

七月七日... 八月十八日... 九月九日... 十一月己午

各祭云同而異... 物... 矣... 當時... 六月... 三日... 修... 二... 御神事

十二月御田植神事... 二月卯日... 季... 宜... 御神事... 祭... 六月... 晦... 日... 後... 御神事... 七月... 御太... 乃... 拭... 御神事... 六... 日... 七... 日... 石... 取... 御神事... 十六... 十七... 日... 同... 上... 八月... 十七... 十八... 日... 太... 祭... 礼... 五... 節... 旬... 御神事... ナリ

石取神事

ハ七月五日夜九時ヨリ車ヲカサリ大鼓鐘ハヤシ七日ハヤシ七日朝ヨリ

追々町屋川ニ行石ヲ取返リ車ニノモ京町見付ヨリ七屋町迄並ハメ方排燈ヲ餘
多カテ順々社參石ヲ社頭ニ納ムルコトナリ古昔七月十七日ナリシカ今ハ十七日ニナル
慶長自記云上慶長十八年七月十七日石取アリ江戸町ノ四川口ニ唐船一艘南ニ一
艘岸町ニワカヒ舟一艘ト云云見延記ニ七月七日ヨリ十七日迄町屋川原ニテ始離ヲ
乃キ... 葉... 石... 取... 添... ナトシテ春... 日... ノ... 道... スカラ春... 日... 秣... ノ... 石... トリ... ヒ... ヲリ
アヒヤウリト... 嘯... テ... 函... 殿... 白... 庭... ニ... 手... 向... ル... 此... 嘯... ハ... 十七... 日...
石ヲ取レトセ 元... 支... 嘯... ノ... 供... 七日ノ朝... 珍... 友
ヲ洗ヒ編笠ヲカマリ曰キ羊テンニ三尺世帯シタリ其後ハ布ヲ晒シユハニニ
墨ヲテ鬼ノ首或蟹蝦老ナトヲ画キタリ寛保迄享々嘯ヨリ木ノク注連
大鼓ナトニ成タリトソ昔ハ小キ車ニ竹ノワラニテ鉦大鼓モ寺ヨリ借福江町迄
モ引行セ曲リニトノ暮合ヨリ火トモ引渡リトソ人... 舟... ノ... 堤... ニ... 並... 置... ナリ
車... 夫... 祭... 祭... ナリシモ... 嘯... ノ... コトナリ
見聞夏志ニ七月七日晚氏子町屋川ハ行石多クニ不限拾テ笠竹ニシテヲ付
鬼排打ヲ燈シ往來テ神前階下左右ニ置拜テ帰ル家甲ニテモ下人ヲ
遣シ石ヲトラス帰路ノ間家ヲスルヲ祭ス此事... 年... 今... 止... ケレモ白洲ノ石増減...
奇... コトナリ... 祭... 祭... 四年... 書... 出... 二... 七月... 七日... 石... 取... 二... 祭... 嘯... ノ... 無... 之... 畫... 嘯... ヲリ... 追... 々... 參...

町屋川橋西ニテ石少ク取儀ニ入参リ俵作物ノ車ハ暮頃ヨリ吉津屋町

北ノ端ヨリセツ屋迄並セ右ノ右ノ車ニノセ暮頃相渡ル車数廿六夫日

ヒヤウリ

七月十六日十七日練物出ル社参ノ後北大手ヨリ入南大手ハ出ル御

物見禮ニテ御覽アリ宝曆四年書出七月十六日試樂四時揃相渡ス順番

ハ下レ春日表門ヨリ入北真町裏門ノ方ハ出夫ヨリ町奉行屋敷ニ往

町ニアリ今ハ官通ニ出張ナリ

十七日鳥居前御長板十筋飾置中間十人其所ニアリ足

輕四人二人ノ代合側ノ町家ニ相詰練ハ五ノ半時京町ニ揃官通入本町ヨリ

舩馬町川口北追手橋詰ニ揃次才ニ御門内ハ入南追手ハ出ル一書百二十七日

末裏祭正徳ノ年中追町中山ニテ

純子縮緬天衣鳥織様ノ水引ヲカサル

ナリ松平下總守殿御代三ノ九ヲ引渡ス様ニ被命ニ処各ノ車大手門通兼ニ付

頼テ練物ニ成トトソ

大祭礼

八月十七日十八日ナリ是月ニ入ト注連竹ヲ南北両大手京町門三出寄門鳥

居前上本町ニテ所下本町本町横丁南市場ハ階

宝殿市神十二ヶ所ニ立見聞鬼志ニ例年八月朔日朝両大手ノ橋詰ニ書付ノ

大竹二本立注連ヲ引ク十八日余ヲテ之ヲ収メ家中町注連ノ向久々

宝曆四年四月廿五日出ニ八月十五日

晴通四辻ニ置

年寄両車ハ合レ付一人充祭當采田テ諸事相勤ム

外ハ年寄子僕相勤

ノ子法鳥帽子

直直ニ目入

置タル板ニ幣ヲ画キ六尺余ノ木ニ挟ミ立ツ相副テ世五寸許ノ人形装束ニ合調ノ角ヲカケ末廣

緞子ノ御町連ヲ打面ス欄ニ下ハ金襴袖地ノ幕ヲ打夜ハ屋上ニ排燈數百ヲ付中央ニ

試練末ハ暮時祭ノ町奉行町人北市場ハ出集舞南市場ニ往如前テ北

木下ハ掃ル

十六人出ル 具是着願 去衣カヲ帶 銚ヲ持 者一人 具是着 伊豫大和八上下着町
 奉行宅ヲ酒ヲ賜フ 夫ヨリ 淨土寺ニ 行北市場ノ 車ハ行 戻ハ南車マニ付
 カリ前町奉行目付 兩社拜シ 夫ヨリ 神官等ニ入此ニ 佛眼院 社僧アリ 夫ヨリ 神官ハ 表門外
 ヲリ 表門ヲ出北 南ト 車拜シ 鳥居前ニテ 拜渡ノ 神車アリ ヨリ 神前ハ 儀
 相勤メ候者 小平大出英名 日本山右衛門ト云 此者七度使仕八度目 神樂所ハ 參候時 社人
 出候故 七度半ニ 相成候 社人門外ニ 並居申川 右内ヨリ 兩人出ル 此時北車行町 年生リ 兩人出
 社人ト向合所ニ 定使一人 銚ヲク 有之ヲウホトキ 下林置ニ 渡ス右 印年生リ 社人時宜
 致シ 年生可開キ申候 右銚ハ 下林置内ハサシ出ス上ニテ 受取立 掛置 是ニテ 銚渡 神車ニ
 夫ヨリ 北車ヲ 南市場ノ 引付 兩車ニテ 樂アリ 夫ヨリ 引戻シ 町奉行 棧敷
 前ニテ 樂アリ 其後 印棧敷ハ 花行ニク、リ 差出ス 町奉行ヨリ 太カヲ 遣ス 兩車
 夫ニ 同シ 夫ヨリ 北車 春日門南ニ 光明寺北ニ 佛眼院 棧敷アリ 此ニテ 音楽
 アリ 兩車テ 兩車役者時宜 致シ 北車ノ 役者ヨリ 先ニ 車ヲ 下ル 南車モ 下ル
 其後 兩車ノ 作花町年生リ 兩人 附添 御城中ノ 口迄 持參 城上ハ 差上ル 坊主
 是ヲ 受取 町奉行ヨリ 十姓頭迄 花差上候 旨申 達ス 今モ是ニ 準ストリ
 鑊國公造 城主代々 祭礼ノ 節 參詣アリ 鳥居前ニテ 銚渡 御覽見 佐藤民部

北林下 石垣太炊 鳥居 北角 兩家ノ 内ニテ 祭礼 御覽見アリ 右ノ 故ニ 町奉行 出候 趣
 申渡コト 又右 銚渡 濟候 後 大夫 村 存 穰 大和 所前ニテ 御太刀 被下 右側ニテ 今ニ
 太刀代一會 又下サル 午玉 迄ト云コトアリ 祭畢 町中 家毎ニ 米一升代 十ハ 文 五マ
 右ノ 錢 若 不 出 者ハ 表口ニ 午玉ヲ 張置 然ハ 祭 錢 不 出ト 知シ 候 故 何モ 出 錢 仕
 午玉ハ 外ハ 送 候ト 申 事ニテ 午玉 送ト云

末社

母山權現

社四間ニ 三間 本社ノ 西ニ 在リ 此社 地ハ 元 此 神ノ 社地 ナリシヲ
 春日ノ 勸 請ス カシハ 地主 神アリト云 神野地 考ニ 本多 美濃守 殿 御代 母山 權現 所
 附アリ 毎年 五月 五日ニ 鑊馬ノ 神事アリト云 右 五十五 配分ノ コトニ 付 論アリ 社家 不 致 光明
 寺ハ 引越ス 是ニヨリ 社家 鑊馬 遂ニ 退 轉ス

小神社

多度社

神明

熊野社

若宮八幡社

酒解社

芝山神社

白山權現

白岩名社

御之殿

住士口

五社一祠

ニ 祀ル

別當

宝興山佛眼院

詳テ 寺 改 部 按 由 籍 書ニ 大 圓 寺ハ 叙 迎 仏 光 明 寺ハ 菓 師
 佛 觀 音 尊 觀 音 地 藏 院ハ 地 藏 淨 土 寺ノ コト也 佛 眼

院ハ文殊何シモ天宮宮ニテ社務ニツウカリシカ何レノ時ヨリカ淳土余ニナリ社務ニツカラス唯佛眼院ノミ減ル等共光明寺ニテハ祭事ノミ出勤ス

社家

御司左京

今宝殿ノ社家ト云

石垣左近

安永七年仙眼院ト公事アリ神役取場所掛ニナリ今天田八幡宮ノ社人ト成由緒書ニ先祖ハ左近木部ト云貞治三年ノ文書ヨリ藏ス

三寄大明神祚宜職事

神任左近木部

右寄職者任先一神子藤原氏女讓之旨所神任也
早教魚貳精誠可達祈公私安全仍而下知如件

貞治二年二月

執事見南畝志曰業名神社古来ヨリノ神職ハ御司左京也天田八幡宮ノ神職ハ古来ヨリ石垣左近也中臣神社(今春日ト云)此ニ本多矣近ニ玉ヒト時鬼島靈佐藤ハ相從テ来ル氏元ハ業名郡地主城主等ノ末族ニテ此院ニ沈淪シテ有ケルカ春日ノ社人ニ成レト云リ未詳古志伝曰大守也所ニ至リ玉ヒト神社等傾祭ノ地所興レ玉フノ所々其由未詳其社司ノ申ニ從レ聞色レ玉フ寺院等ノ金所モ其例ナリ此院社久國教故實ノ學天下ニ知人ナラト高家兩部習合中臣被

ト部兼俱命ノ物又五十二條ノ被トテト部私ニ成々作意有レ習合ノ被ノ論六根三種等ノ類ヲ知レハ其比神多運道ノ如ク諸國云レナリ修理モ其類ヲ知レハ其比神紀等其外大國史等知人ニアラズ故ニ大守ノ尋玉ヒトニ知ル者ノ神社ハ天武天皇今ノ春日ノ地主ト答申テ式以業名神社ノ正實不知ト云リ斯レトモ有方

佐藤氏部

今官也

鬼島大炊

先祖ハ左衛門大夫失明ト云伊賀名津郡桑原御人ナリ春日大官司トナリ年日不詳天正ノ頃孫ハ部實治ト云正保ノ頃修理大夫尚貞ト云

執事業名郡御所之神社者 天武天皇之行官之基址也設祠于

地主大明神市 勸請春日大明神配祀之基爲供不怠重慶最新

神主藤原尚貞抽神職波瀾之餘流涉中臣之被五十二條之願積習

之功感其勵之志自今以後余僕掌北勢四郡之總神司掌然乃

諸郡鎮座之神社絶絶興廢祭礼被除一切神事可管其訓道等

仍伏如件

正保四年五月十二日

越中守定綱
鬼島修理大夫殿

春日大明神爲御所進從
河内守殿於職人町用屋敷五十五坪其方江被遺位間諸役有

問敷者也

寛永三年三月十八日

蜂屋忠兵衛

鬼嶋清大、夫殿

鬼嶋衛士

圖書百実聲代ニ員弁郡下野代村ニテ四五畝七歩所持ストリ
延宝頃兵部ヲ轉嘉敷トス書ヲ呈テ國教公ノ諸公子ハ手本上ケ又ハ
鼓、御師範モセシトシ

上御 中御門大納言

延宝三年二月廿日

宣上

藤原嘉武

宣叙正六位下

藏人右中辨 藤原熙定 奉

鬼嶋内匠

代々式部又藏部ト稱ス
口宣マレ任事各ス

鬼嶋三家ノ同家ニテ瑞士内匠ハ末家ナリ大炊ノ先尚書四郡ノ総社司ト
ナリ其子國書日奈得ノコトアリ一途家ヲ衛士ト志實郡明和年中休眼院ト
公事アリ安永ニ社務召致サレシコトアリトシ
一本 別表所録ニ徳長公代已前ニ
三等ノ金利在在 春日日後藤原ノ同家
六田八幡社 夫田町八幡瀬古ニテ本社六尺四寸ノ殿三間半ニ四間拜殿
六間半ニ或向今社地東偏十九間半南其ノ東南神系ヲ證ニ式立以拜
社ナリト云 石垣由緒書ニ書メ八幡宮ト稱ス任大書ニエス本多ト美濃守殿え和

大政ノ役起願ノコトアリ瑞陣ノ後御取立アリ社頭再建神田ニ及寄附
アリえ祿十七年

園鏡公ノ初宇御重修アリ大田町新矢田村等ノ代神トス見簡畧志ニ古
社地ニ大日ノ社アリ此社ハ天正ニ年甲子鎮由信確勸請アリ夫ヨリ八幡ハ本社
トナル地主ノ大日ハ本社ノ如クナリタリ人モ本社ノ右ニアリ例年八月十五
日小祭トシ九月十九日ヲ大祭日トス神主ハ石垣左近ト云云ハ春日ノ社ニ
家ニテ三寄春日ノ神職總 領ト唱来リト云 由緒書ニ石垣ノ社ハ三寄春日ノ社
安永七年休眼院ト公事アリ神役取揚所拜ニアル此ハ幡社ハえヨリ石垣
ノ家ノ持アリト故ニ此ニ住スえ春日ノ例ニ家アリ

宝殿社 宝殿町ニテリ社家郷司家説ニ三崎大明神御鎮坐同時ニ式内佐乃宿
神社 宮内ニ鎮坐也堂上明鑑ニ諸社寺方傳奏書名佐乃宿神社 卷目社
ハ鷹司殿トアル此宝殿ノコトナリ見簡畧志ニ六崎經官ノ時今ノ業者
神社 三崎明神ヲ宮町ヨリ此地ニ移シ後程ナリ今ノ官通ハ移シ春日ト
相殿ニ祀リ此所ニ社ヲ建テ宝殿ト号ス古志ニモ此ニ業者神社ノ神庫
アリト所也春日勸請縁起ニ奉遷三崎大明神之御宝殿トアル是也
寛永廿二斗

大鏡院棟御時社願御建立万治元年及彼境家中町奉祀御免ニ之再建
延宝五年南北石垣出来ス

玉矛社

北森下本町西へ入ル北側ニアリ祠九尺四方社地東西二間ニ五間半
社記ニ素名郡益田庄三寄鳥寄北市場玉矛大明神佐軍神神社所
祭一坐田心姫是則古所春日御祭礼御矛守護神也
由銘書ニ撰礼文録ニ祭元年神主佐藤民却則秀トアリ

座方市神社

北魚町横町ニアリ蛭兒ヲ祀ル三崎春日祭礼八月十八日ヨリ九
月廿日迄南北市場ニテ市アリ市ノ終ル日ヲ古社ノ祭日トス旧記ハ北魚町
ノ西南ノ隈ニテリシカ實保ニテ此へ遷ス本社三ノ四方幣殿ニ向余三向余

北市場八幡宮

三崎通淨土寺境内ニアリ神明ト相殿ト寺ノ鎮守トス

一鳥居

川口紀馬ニアリ吉田ノ入口ナシハ大明寺中宮山田宮ノ一鳥居建ツ

天満宮

萱町ニアリ見聞累志ニ云古来ヨリノ社ト云傳フ昔ハ此社前ニテ
運歌ノ會アリ賑ヒトシ坐像長五尺許菅公御自作ト云傳フ
江州和尙菅席記ニ云勢州素名萱町之菅席不知何代何人之草創馬席
裏所奉者乃自作之尊像又云天正之初討馬大社當時近衛信基藤

公篤敬菅席夙夜匪懈神カ所加輒得書聖之名永為一家之法子
親描尊像寫神歌于其上奉納異方之菅席一百所当社並預其
一也因茲有以信基藤公所得自信長平公之菅席鏡之背像而寄
当社者係濃州人也自幼學藤公之筆筆至老遍真併得此尊像矣
一寄事也慶長年中信尹藤公躬詣當社奉獻甲采ヲ類云々

泡州崎八幡社

新町光徳寺ノ門内ニアリ實延記ニ廿日光徳寺ノ方ニ
西北ニ八幡社アリ其地ヲ淡須出寄ト云今ノ一色町ノ邊也慶長己前ハ今
新町ヨリ江場村辺ヲ淡洲トイヘリ慶長ノ頃此へ移ストリ見聞累
志ニ寺中ニ今仙段ト云アリ昔此社ノ別當ト云傳フ

穴八幡社

新萱町ニアリ本社ト祠也敬殿七尺四方社地十間四方程相殿
ニ天武天皇ヲ奉祀ス上代潛幸ノ由縁トソ本願寺村ノ地也旧ハ今ノ八幡町
ニアリ城ノ守護神ナリトソ

天武天皇社

鍋屋町北側ニアリ古ハ今ノ新屋敷西ノ町真如寺ノ南ニ旧迹アリ
古ハ新屋敷本願寺也カ家中ヤシキ取立ノ時村ヲ今ノ地へ移ス其時古
社モ今ノ所へ移ス元南側ナリシヲ後ニ今ノ北側ニ移ス神社致家云天武社在
伊勢国桑名郡日本紀云天武元年大及皇子聚兵謀立帝入東國所成
天皇立宿于桑名郡日本紀云天武元年大及皇子聚兵謀立帝入東國所成

米郡山家以奏言遠辰所行改不便宜知近所即日大白至田自之石
而入不被杖七月壬亥大友白之子軍敗自縊九月丙申軍馬遷宿宿
勢幸衣度子詣于倭上其後人其自屋之遷之大台之祀りしなり然其奉祀
、歲月不詳

三奇神明社 今一色堤原南側ニアリ社傳於古本名三奇江之奥鎮坐
神數本多家ノ寄進也凡錄處長十九年神踊アリシニ三奇神明社ハ此踊
シラカテテ崇敬スル社トシ

楫ノ宮 城取ニノ丸ニアリ見聞累志ニ云三ノ丸去村ハ屋敷ノ向添屋敷
ノ東堤ニニアリ 船入ノ 本多家土之城 經名ノ時繩張ノ白其辺ニ十舟アリ
其堤ヲ取テ此所ニ建經名ノ後此所ニ社ヲ建ハヒトアリニヨリ此社ヲ建
レヒトノ奉祀ノ社家御司左京日足ヲ所帶

天満宮 淨土寺ニアリ存勢山田ノ神主 松木ノ内ニ奉考ト云アリ社宣ニナラハル
時自大夫ト云菅公源生ノ頃ヨリ奉事セシカ公左邊ノ時常ラ自大夫ニ懸
シレ松梅ノ林シシカハ 其木ヲ種カハ松梅ノ下リシカハ公長ヒ玉ト其木ヲ以
十二箇穀音ヲ彫刻シ玉ヲ 今北野ニ在 數番像是也 自大夫公ノ尊像ヲ刻ス公御子ニテ
三度撫サセ玉ノト云則此尊像是也 傳抄アリ左ニ録ス

春考之伴天満宮尊形於勝地一社建立可安置之矣奇特感靈
不斜候天下奉平祈念可有之者也

宝曆二年 申二月廿五日

在判

都竹丸 金勝殿

於般天満宮神形并兼原家之書令一覽候誠於淨勢同一社建宣公
置有度旨奇特之至候 信仰之乃ハ 諸願成就可有之候

申八月二十五日

自大夫廿七

社宣從三位高亮

小林志摩殿

今彼天満宮神形拜礼之處則 松木ニ神主從三位高亮ノ御添輪
土候向志之候 亦待仰無門所一社建宣可有之候以上

玉曆二在 申年八月二十五日

小林志摩殿

尤 在判

神社啓蒙北野天神會所撰社下ニ自大夫在本殿
辰巳申間内社宣補任ニ社宣外條ニ位下神主
兼春彦ノ天御中玉世六世孫也神主ニ門大吟人
高主六男也 延和十八年戊子六月廿日任同廿年上廿五日叙外從五位下承平三年上廿七日轉城隍男長陸
天慶七年三月九日平蓋 延和三年任世之時有幽契時故為第一根社也然今畧不記焉社宣謂於大
守御兼酒禮ニ公翁者非也

御筑金勝殿

大一丸神明社 銀屋堤 町ノ社記ニ云当社ハ三社ニ奉申八天照大神兼八八勝

西八幡宮ナリ大一十八伊勢大神宮ノ御事ニテ伊勢ノ御祀アリレ所故地ニ
テ大一丸ト云八幡宮初ハ大一丸ノ人家ヲ送ッ圓シ祭リ定リレ社地ナカリレ
カ天知元年北町ノ跡迄兵衛丸者高須ハ行レ時大田川ノ中ニテ小宮ノ
流テ舟ニ着テラトリ上タリレカ是大神宮ナレハ八幡ト相殿ニテ堤上ニ安
置ス福 荷ハ三崎ノ宝殿ノ内ニアリシ水主町ニ移シ置タル地所入用コトナ
リテ此社以ニ合セ祀ルトアリ

往社に社

正徳五年四月舟小屋ノ側ニ小社建立アリ貞享元年祠宇ヲ

廣メ祭アリ寛保二年本社ヲ海ノ向ニ建候是迄南向ナリレ其後舟人地形拜
殿等建立ナリ

宇佐八幡宮

掛楯 觀照院ノ境ぬニマリ古キ官地ナリト云傳レ氏傳記不
詳 見前恩忌志此社例ニ一在舟アリ大田ト云寛文ノ頃一色町ニ而却氏ノ御置ノ下
ヨクホタリ此院ニ送リ供米等ヲ施シテ深ク信仰レシリレカ殿々立身シテ百石
ヨリ四百五十石迄ニナリタリト云

コノ大田正徳ノ頃和ニテ寺ノ殿々ニテ銅屋ノ焼テアトニアリシヲ北勢史談會ニテ保存スルコト
ニナリ今葉在寺掛楯山町山内立部方ニ安置ス

秋葉三尺坊

上貞享年中遠州秋葉三尺坊託宣アリトテ京ノ上リコトナリ官通

春日官ノ社内ニ一二日神興ヲ止レカ此觀照院從ヲ秋葉ニ赴キ神齋

申請返リ小社ヲ八幡ノ側ニ立ット云

香良洲社

掛楯 南光院ニアリ

金毘羅社

同所園覺院ニアリ

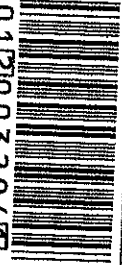
年頭天皇社

福江町東田中ニアリ此地元大福田寺境内ニテ鎮守ナリ

由大福村氏神ナリ葉在雜記ニ上貞觀年中尾州海部郡ノ年頭天王
ヲ都ヘ勸請ノ時此地ニテ供御ヲ備レシトナリ當社ノ祀リテ大門祭云云六月十
四日松明ヲ燒シ運海邊へ出ル是勸奠ノ料ニ奠ヲトランテ海濱復ニ出シ古
例ノ残りタルト云 大福村ヲ近頃 迄大門村ト云

菜名郷土誌 業書 第三編
又 菜名 土心 才三卷
昭和二十八年五月三十日刊行
東京市 城小町
北 敦 味 談 会
振替口座 名古屋四三九三三 山田五郎

0120032947



桑名市立図書館

92

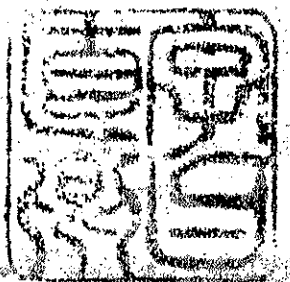
7

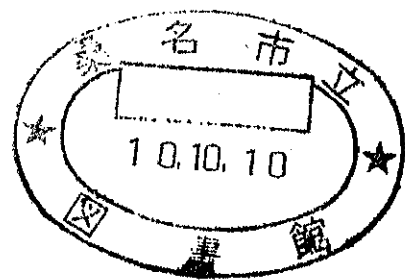
3

素石志 四

陳芝翁

佳室





業名志料卷十五

神社 二 業名郡

舟着明神

東方村字白山ト云所ニアリ社三間ニ二間社地東西四十四間南北六十

一間由緒書云式内尾野社是也祭神衛立舟着神合殿ニ字賀八幡春日

六座合祀ル神名帳未證徵古録勢陽俚語比目同按ニ此古海涯ヲ舟着

高野御前ヲ尾野神社ト云未詳孰是神像立体社内ニ真鍮杖一本長

二尺六七寸竹ノ節作り也按ニ古事記ニ投棄御杖所成神名衛立舟着神ト

又二所合會セシ物ナルハシ

高野御前

同村字寂迦寺ト云所ニアリ祭神月讀命小社アリ社地東西廿九

間南北廿二間土人草鞋神伝一甫庵雜記云昔海善寺僧侶他国修

行ニ出ル此神草鞋ヲ供シ祀リ遺風トラ今七多草鞋ヲ供ス

八幡社明白山権現

北別所村氏神也三社会殿七尺ニ四尺五寸拜殿二間并ニ

天満宮

同村ニアリ小社アリ社地東西十三間南北十七間北別所村世尊座中

真記何地無神何神不靈者不敬焉也地之無神者不祭焉也

祭焉則神在云夫敬焉則靈云彰矣神也靈也在祭及敬而已僕一也

亦跋涉觀此神壞矣愷閑故殆非虛一境矣問諸焉其竟則曰是

帝之曰地而赫天神此言々々之為言也早登也神現乎何世帝與子
何時總不可言乎僕嗚呼歎曰掃哉勝地鞠為茂草乎我賢太守之足重
津公本姓久松氏而為官家商僕自祖考食祿于麻毛下三世于今矣
乘肥衣輕飽沐德以曾無策一毛之功而報九重之恩誰不愧素吟
欲今修此廟用祈景福為萬物為麾下致奉封之祝則庶幾抽微忠乎
珍斯命工造小祠祝布薄典神靈陟降方非可觀乎伏願神光與
日月久照君德兼乾坤永昌次其風調雨順萬民富庶僕子拜有
孝不墜家聲輒為之記之歲月也己室永甲申九月穀旦

山神 同村ニアリ小社ナリ社北東西北二間南北十三間

正八幡宮 西方村代神ナリ社二間四方拜殿二間二間五尺社地東西廿間南北
廿一間余一日連山神小社アリ

神明宮 同村出御坂ノ下代神也本社二間拜殿二間四方社地十三間

妙見社 西方村ニアリ相殿ニ稻荷 慶長ノ祀ル寛永丁丑年 大鏡公命
ヲ建セル江戶田安ノ廟 稻荷モ遷座ス是時分本丸ニ白狐アリレカ
鶴飼 兵右衛門貴久ヲ使トシ本丸ノ堤ニ白ヒ高声ニ稻荷ノ神使ニ附
間早速彼所ニ遷ルヘキヒヨラ述レ公否ニ妙見ニ白狐見ト云本堂所ニ御院

ノ元地ニテ西宗山妙見寺ト蘇人社領 云々云々

定一説云越 守氏神稻荷ヲ御座後故遠州郡ヨリ不取降ラカレテ東名宮方ニ稻荷妙見愛
名一社ニ建立御座信御座後白狐等 云々事ニ説ラヌ入ミテ思ハレヒテ

神明宮 同所字三九郎谷ト云所ニアリ本社一社社地八間

八幡宮 同村奥新田代神也本社三間拜殿二間社地四間

神明宮 播六村代神也社也外屋二間拜殿二間社地東西五間南北六間

神明宮 三寄新田鎮守也社一社拜殿二間社地東西四間南北七間文化十二年勸請境

神明宮 福島村代神也社二間拜殿二間社地東西四間南北七間境內稻荷社アリ

神明宮 多度大神宮 縣大明神 三社相殿上輪新田代神ナリ社一社拜殿

神明宮 同村枝郷 飯塚ノ東ニアリ蛇倉ト云小社也 寢覚竹云飯塚村八元ト云云

神明宮 西法上村ニアリ小幡ト云本社一社社地東西五間南北五間境內山神小社アリ

神明宮 東法上ニアリ小幡若官ト云本社小幡社地東西五間南北五間

古宮神明宮 同村ニアリ 小祠アリ 社地 東西九向 南北十向

山神 同村ニアリ 小祠アリ 社地

縣大明神 蛸塚新田トテ大谷ト云所ニアリ 代神アリ 社地 東西九向 南北十向 拜殿ニ向 社地 東西九向

南北西六向 祭神 天穗日尊

山神 同村ニアリ 小祠アリ 社地 東西五向 南北十向

深江神社 下深谷部村ニアリ 一村ノ代神ニラ 式内神社ナリ 祭神 天穗日命

本殿 四向 雨屋 四向 拜殿 六向 社地 東西北五向 南北七向 免除地也 近代ハ縣大明神ト

稱レ式内ノ神タルコトヲモ知ラサリレニ古棟札ニ深江神社トアリシ故其コトヲ

官ハ昔改稱ス此邊ハ深江御ミテ深谷部ハ其轉訛ナルヘレ北勢諸雜記

下深谷部昔ハ深江ト云深江神社縣大明神ト云社前ノ小山コト帆掛谷ト云

今ハ六地藏ト云其邊ヲ比立尾街道ト云宮ニ三丁程以上ニ蓮池ト

云ルアリ旧比ニ綺宮カサリ宮ニ又可設太宮ト云今ノ山王社地ニラモアリナシ

山ノ東南ノ谷上ハ波太下區北ヲ社谷ト云末社金比羅權社社地ニアリ

深谷部神明宮 同村ニアリ 社地 東西四向 南北七向 拜殿ニ向 社地 東西四向 諸雜記ニ昔川濱

ニ流空ツエフ神也 トテ其地ヲ神明池トテ神供田トナス也

山王權現 同村ニアリ 小祠也 社地 八山ヲ

玉神三社 同村ニアリ

大森大明神 上深谷部ニアリ 村産土神也 祭神 天日方 櫛日方 命祠 四向 拜殿

八幡宮 同村ニ在 祭神 應神 天皇 祠 四向 拜殿 一兩手 社地 東西八向 南北廿四向

若山權現 同村ニ在 祭神 仁德 天皇 十祠也 社地 東西六向 南北十九向

神明宮 同村ニアリ 祠 四向 社地 東西十三向 南北十三向

山神三社 同村ニアリ

神明宮 今島村ニアリ 産土神トス 祠 四向 社地 東西八向 南北三十四向 拜殿 三向

山神社 同村ニアリ

春日大明神 下野代村ニアリ 代神也 兼首 神明 熊野 權現 白山 權現 山王 權現

相殿ニ祀ル祠ニ向 社地 東西十四向 南北三十四向 式内 野志里 神社ト云ハ

此社ナルベシ或云此社林ノ西北ニテ計ニ小山ヲ林アリ 其址セト云北勢志志云此アリ

皆野代ノ官ノ遺地ナルヘシ 倭姫世記ニ流目入考ニ五十狹茅天皇ナリ斗邊

寺ノ子行執國書名野代官四年奉齋トナル野代官ノ遺地ナルヘシ

神祇百三十一

兼首 生野 しろの宮のありとて 採人 ちり には 春の祭 元長

今此社地ヲ大山宮ト云

兼首 神明宮 同村ニアリ 社地 東西七向 南北廿四向

龍野權現

同村ニアリ小祠ナリ社地 東延七間 南北四間

白山權現

同村南ノ山ニアリ小祠也

山王權現

同村山中ニ在り小祠ナリ社地 東延廿四間 南北廿二間

田宮神

同村内ニ在り小祠ナリ社地 東延廿四間 南北廿二間

山神

同村山ニアリ小祠也社地 東延十三間 南北七間

山神

同村山ニアリ小祠也社地 東延十三間 南北十間

八幡宮

大島居村字川内ト云所ニ在り小祠也社地 東延十三間 南北十間 拜殿 三間一尺余ニ在り社地 東延十三間

山神

同村字ツブ池ニアリ小祠ナリ

稻荷大明神

同村字鶴ノ内ニアリ小祠ナリ

八幡宮

同村郷村ニアリ社殿神トニ社相殿ニ祀ル社地 東延十四間 南北三間

竹生宮

同村字儀大夫新田ニアリ祭神不詳小祠也社地 東延十四間

香取大明神

香取村ニアリ小祠也社地 東延十四間 南北十三間

八幡宮

同村ニアリ小祠也社地 東延十四間 南北十三間

山神

同村ニアリ小祠也社地 東延十四間 南北十三間

市神

同村ノ中ニアリ小祠ナリ市神ノ市場故ニ祀ル

天之社

抽井村ニ在り考名命ヲ祭ル祠殿ニ祀ル社地 東延十四間 南北三間

潮干神社

同村ニアリ底箇男命ヲ祭ル祠殿ニ祀ル社地 東延十三間 南北十五間

潮干神社

五座齊宮尾崎ト云是ナリ名所圖會ニ永尾崎潮干神社ト云同所ニ潮満ト云アリ美濃埜薦ノ堤ト云所ナリト云云諸祠村ノ北ニ塩満坂ト云所アリ

稲荷大明神

同村ニアリ小祠ナリ社地 東延十四間 南北十五間

山神

同村ニアリ小祠ナリ

八幡宮

戸津村ニアリ尾津神社山神相殿ニ祭ル祠殿ニ祀ル社地 東延十六間 南北廿六間

鳥波利理多陀理

禰尊阿波例比等

利勢阿波岐又岐缺カ

史言日本武尊東征抵尾津進食松下遺劍而去還月猶在因作歌云此其遺址今稱尾津有叢祠祀尊及禰武考命村人課建碑表之因以摩歌勸之上并記其由云天保十一年歲次己亥冬十月 法泉教寺空觀誌

同郡御衣野村八劍宮云々此事ヲ傳フ未詳孰是

多度神社

多度村多度谷ニテ祭神天津彦根命相殿命命理根命也
見前畧云云室永申祭神詳ナラカレバ山田令所神宮ニ向レニ天津彦根命也ト云
レヨリ此神ニ定メル檢ニ天目一箇命ハ三國志部祖ニテ多度神社ト稱スルハ是也天津彦根命
ハ其父ナレハ後ニ吳國固山宮ニテ祭ルニテ本社トナリ天目一箇命ハ一日連トナ
攝社トナル今新宮大明神ト稱スルハ官氏村ヨリ遷坐時後ニ祭レ地ニ祠ヲ立カク稱セシマ
別神ト稱ニナリト云未詳孰是

御衣野村八劍宮ニ社ハ二箇而ト見ユ
在石ニ山境流ル米在ハ百廿三穂現ノ米地
ハ神樂諸尊也本社ハ是歟アラスカニマレ
マニ一日連一尊明神是之御前也

勢見前畧云云是喜式曰伊勢國東
郡多度神社名神トアル是ナリ祭神而足
ノ神ト云色ニ不明近身伊勢山田ノ祠也
云半彦根命ト云ヨリ是ニ定ムルハ元
官ノ神帳ナラ給夫是ニ諸用ニ式以テ社ニ祭
神ノ神号不知コト多シト

本江前畧云云御衣野
村多度神社ト云御衣野
村ノ祭也
官人ト云也
カニモ祭也

本江三箇四方舞殿五箇半ニ三箇半神樂殿立間ニ武向御供殿一丸四方舞神樂一殿三箇
武向之層破以門一ニ鳥居神前橋長四向余幅九尺五寸擬宝珠勾棟作り社地東西
十三丁余南北十一丁余之長式神名帳ニ素名郡多度神社名神大ト云是也
鎮坐ノ年代未詳續日本紀桓武天皇之曆元年冬十月庚戌朔叙伊勢國東名
郡多度神從五位下是國史ニ見續日本紀仁明天皇天長十一年夏四月庚辰
奉授伊勢國從五位下多度大神乙五位下兼和文年十二月丁巳伊勢國乙五位
下多度大神乙五位上同十一年六月丙辰奉授伊勢國乙五位上多度神從四
位下文苑實録云素禰參年九月甲申詔以伊勢國多度大神列於官社類

取國史三十月癸丑以伊勢國多度大神列名神三代實録云貞觀元年乙酉
七月甲申奉授伊勢國從三位多度神乙三位和十一年ヨリ今年迄十六年此所
二月十七日癸卯授伊勢國乙三位多度神從二位十九日乙巳二月十七日癸卯
授伊勢國乙三位多度神從二位十九日乙巳遷乙五位下守右中兼兼行式部
杖朝臣土月日向伊勢國多度神社記財室此ヨリハ官社ノ資財帳モ作ラレタリト見
資材ノ同五年六月廿六日丁巳進伊勢國從二位多度神階加乙二位 仁和三年十
四月六日己酉令遷伊勢國奉幣山城國八幡伊勢國多度神在經記ニ云實仁
元年九月乙卯依可被定一代一度奉幣早且退去云々東海道伊勢國多度
社ニ云云上廿八社被奉此奉幣蓋一蓋四箇布平紋野刺一腰五漆赤漆短袴
一張六脚四箇助一平紋絆一本有鉄五寸鉞一面有干支平文麻袴一ト干支線
柱一本奉子除命勢所并守佐香稚等之外者皆被奉御幣一袴干支各籍
籍一也絆一也 此等ノ所記ニ據ルニ上古ヨリノ大社ニテハ幡林ト同様ニ置可ト云アリ
シヨ見ルベレ申セヨ傳記ニ所見アレ見聞志畧云云永祿丁年滝川一益織田信
時トテ多度田ヲ掠ルハ家ト化香取何ハ九節ト云者ヨリテハ永祿ニ及神社ヲ
放火ス時神室田比呂反燈トナレ按ニ此時多度郡隸于子院社家ヲ誅シ構現ノ宝殿
ト又神主ト申ハ系圖ニ云電三平神宮礎失スル時八十平重隆御ニ休ラ天守地豊州ノ山甲
ニ遷居ル事書ミテ後立堀倉根正上初令遷居スル錢生ストナリ年月相書ミテ詳孰是
慶長十一年本多ノ家時周建神田屋ノ所ナリ

神領ノ事ニ関スル文書ニ於テハ
 一 田戸社領ノ事
 一 拾五石
 右ノ令ノ寄進者也
 寛永十二年九月十一日
 本多美濃守 忠政 在判

本多申言様爲御立願多度權現江御神領高三十石自昔年可被進之候其多
 度郷中御普請役御免之旨ニ付御神前御掃除等御祈有向敷御謹言
 二月廿八日

多度 祢宜衆

右川左京庶 在判
 松下河内守 在判
 佐野雅樂助 在判
 梶淡路守 在判

一 拾五石 東林上村
 右ノ令ノ寄進者也
 多度 祢宜衆
 本多美濃守 忠政 在判

多度神領之事

一 十五石 小山村
 右ノ令ノ寄進者也
 元禄二年九月十一日
 本多美濃守 忠政 在判

神主殿

多度權現領之事
 一 田畑合 二町三反
 右ノ令ノ寄進者也
 寛永十二年九月十一日
 本多美濃守 忠政 在判

蜂屋弥兵衛 成政 在判
 伊藤三郎左衛門 直政 在判

神主 右衛門大夫殿 右馬大夫殿

其後代々領主崇り祀田守附モアレ氏田各之
 神領トシテ中江八幡島 見圃畧録云由井小山猪猪飼戸津ハ古来ノ神領ニテ
 氏神也古ヨリ流行ノ疫疾ナレ又産婦ニ怪我ナレト云 多度郡麻江山

猪飼北猪飼カ尾津七村ノ神廟ト稱シ
其神鏡アリトシ今ハイナト稱シ神事ヲ勤也
神木楠當社坂ノ上口ニアリ古木八圍リ
數株ニ分レリ昔ハ形セ色ニ今レトテセ色楠ト
本社前ニアリ鏡石本社ノ側ノ上ニアリ明和七年
下ノ鏡廿面大ノ八斤出タリ今ハ社庫冠石冠
少存ス影石拜殿ノ邊ニアリ社前ノ溪流ヲ落
多度川ニ入

一本溪水。朝拜山峰社頭、後山ニ絶頂ヨリ中勢志州
州志山ニシル

。在尾山 本社ノ西麓ニ在リ絶壁ニ越リ登ルコト難ナリ
。山石名山 本社ノ東ノ山ニ在リ
。立石山 本社ノ南ノ山ニ在リ
。上谷山 本社ノ北ノ山ニ在リ
。獨石水 一峯社ノ前ニ在リ
。八重溪 山麓ニ在リ
。石ノク 忍竹ノ下ニ在リ

一本溪水 明和七年神事ニ山ノ掛リ一尋許ノ松木ニ止ル下ヨリ古鏡廿面一振約重十五斤
御佛復覚料ニ在リ社ノ祭ハ五月五日所ノ百姓ト云ル城主ヨリ馬出ル百姓馬ニリ神前下ニ神木楠アリ
柳堤リトテ是ラクルルトノリ田ノ上ニ、鏡馬ヌルヤリト云ル神事、御供トテスガ馬場ト云ル行神
輿ノ前ニテ計、馬場ニ越ルコト馬ヲカケルヤリト云ル神事、御供トテスガ馬場ト云ル行神
立カテ根ヲマツカヒ打テ連ルニヨリ申ルヤリ 神石五ノ内ニ去セリ今ハ鳥帽子子出カ

神事ハ古ハ七拾五度アリシカ今ハ七度有之
九月九日 十一月朔日 五月五日 騎射神事有之 代子勤之見聞 祭志云々母年五
月五日 神前ニ控酒ヲ飲シ先神輿ヲ昇ル神木楠廻リ様トシコトアリ楠ノ前ニ神

輿ヲ止メ祝詞ヲ讀ム此向七度半ノ使ト云コトアリ了テ馬ノ乘三人馬ヲ追テ馳
三人ハ笠ヲ被リ棒ヲカケテ天ヲ持由井ノ山ニ至代子ノ内ニ月朔日神前ニテ大ニ
五月迄精進潔斎ス其内十一ノ小童アリ神子ト稱シ白糸ヲ着ス馬乘三人楠
ノ邊ニ馬乘相控ル馬ノ口ヲ放スト一時ニ聲ヲカケニ三丁向ノ坂ヲ追ル外ニ平常ノ服ヲ
ル者三人都合六人シテ其以前ニ度々坂口迄馬ヲ追坂ヲ上ル時ハ袷着タル三人ト
上ルナリ

夫ヨリ神輿ニ供奉シ須賀ノ馬場ニシテ 船泊馬場ニ馬場東面ニ在リ 此時神主
西ノ東帯レ騎馬ニテ供奉ス法雲寺乘輿ニテ馬場ニシテ 室階中法雲寺社ニ在リ
今ニ 神輿ヲ馬場ノ右ニ居教言因ノ士其左ニ列ル馬廻侍一人並清奉行一人
馬役一人麻上下也馬柄廿本前後ヲ固シ 今ノ神方役人出陣 三所ニ挾物アリ射手三度
馬ヲ馳コシテ射ル了テ神輿ニ坐供奉前ノ如シ騎射三人徳例ニ神事ヲ行ハ

社ノ前野ノ馬大ノ神主ト申五門太夫ト云アリ代々神主ニ預ルトシ其家道ノ志ナク
社ノ彼ニ一區ノ神ノ事ヲシタルノコト神主ノ古例古式不承スリ永禱ノ兵火ニ神記神室
ノ燒失レ一倉半存スナシ唯本多忠勝侯來名城主ノ時慶長ノ頃奉納ノ給馬アリ高
社ノ餘 本多中務大輔忠勝様御息所命祈所 慶長ノ時 月日 是ノ神ノ物ト稱スル
二月 拜殿ノ左ニ在リ 本多美濃守忠勝様御息所命祈所 月日は是ノ神ノ物ト稱スル

一日連社

多度權現社ノ石ニテ萬八九尺南向社壇六尺四方程

祭神ハ多度大神御子天目一箇命也 姓ハ録云津守林命ノ子天麻此止利命也 天麻此止利命ノ神命也 今一日連ト云ハ誤ノ轉誤也ニルヘレ見前志畧ニ多度權現ノ臣下又

山ノ狗賓ニテ地主神也云社頭六尺并空絹縁ノ邊ニ帖敷中ニ百斤目計ノ

黒石アリ御ニ体ト林ス神出入レト時山鳴動シ風吹テ此戸帳上ル帝坐時

亦起トス北勢古志云古語拾遺ニ天目一箇命ヲ紫雲存勢所國志部社也云

于磯城瑞垣朝長 神威同殿不安故更令齊部率石疑呪神裔天目神

天目二氏更鑄鏡造到以爲德御妻是令踐跡之日所敬神妻鏡劍セト

アリ三種ノ神是物此御神ノ御末ニテ遠奉ラレセ閑田耕筆キニ上野下野

ニテ別風ニ一日連ト云又和漢三才圖會ニ勢尾濃澤有不時暴風俗稱之曰

連以爲神風拔樹仆山石壞屋トアリ此神ノ靈顯レ世人ヲ幸シ給時必雷ノ如ク

鳴集キ一ノ支物出レセ何レ浪風ニ殊ニ驗アル也然風ラモ一日連ト云ニルヘレ

按ニ志畧古志等ニモ此社ハ古國ノ神神ニテ古ヨリ此地ニ鎮坐アリ多度神社

氏多度大神氏奉稱レテ今據現天津考派命ハ其父神ヲルヲ以テ建治弘

安ノ頃ニ美濃國宮代ヨリ此ニ遷シ祀キヨリイフトナノ此社ヲ攝社ノ如ク

リシナルヘレト云カモアリナン

新宮大明神 多度神社拜殿ノ前ニアリ天津考根ヲ祭ル

社設ニ三層社ニ五尺

建治弘安ノ頃美濃國宮代村分天津考根命ヲ勸請ヒト云 按ニ新宮ト

津考根命ハ後ニ祀ヒモノニテ 一日連ノ上ニヨリ祀ヒテ見ヘレ 祭スラモテ天

按ニ二冊庵雜記云多度社ハ古濃州加茂郡酒倉村分遷幸其時倒トテ遷

官ノ時一間計ノ白木ノ舟ニ神輿ヲノセ白小幡ヲ立並其幡ニ濃州加茂郡

酒倉村住人ト書スルコトセテ文化ニ年遷宮ノ時ノ舟ヲ見タリ此説不審

也或ハ新宮明神官代ヨリ遷坐ノ故事ニヤ

伊津久志女社 拜殿神樂殿ノ向ニアリ社四尺六寸ニ五尺余祭神市杵島姫命

志畧云濕土卷ヲ患ル者立願ヒ賽ニ米ト豆ヲ煎リテ供スト云

一 拳社 拜殿ノサレ奥落葉川ノ向ニアリ小社也志畧云一日連眷族ノ

神氏又登山ノ神氏云古志云此神ハ何神ナルコト定カテラス社下ニ小キ白アリ

神明宮

八王孫社

龍神社

八幡宮

膝波社

鈴立社

比呂末社

初也鐘 志畧 九尺四方鐘 錄左ニ録ス

多度大神宮鐘 錄并叙

陰陽不測而直者神之德也受中以生克敬之見誠者入之道也

苟以誠敬感通神明則神人協和等而措之政治亦何難之有

此所以禮祀之不可已而禮器之不可闕也。多度大神者，日神御子天
津彦根命也。紀所謂令節天皇是也。在昔建官柱於葉名郡多度
山禁下而崇奉，義順焉。想夫為勢北一方之鎮祠者，照世捧祝冊
時致幣帛，列於官社。旱澇疾疫，凡所禱求，靡不報應。焉。遐邇
首末，连接武皇。雨霜，雖古威驗，維新且山之為我，也。禱禱嶙峋，鐘秀毓英，溪
流清而滄遠，巖岫連而雲起。金藏之饒，珍材之富，田獵啼鶴，唳麋
鹿，牲信非他山之所及也。宜哉神之茂于期矣。吾明府昨土素多
歷年所，改通人和風俗，醇美洪基，類緒奕世。瞻茂此其敬神愛人之所
致也。頻歲脩造祠宇，納神卷若子官前，至懸蒲宇，以其追慕，故使
覓氏新摸之祝，躡先驅，蜚蜚，應駿乘不日而成上之旨。留竹虛，隱聞之響，振
林於是乎。祀典肅爾，神靈添輝，古之諸侯祭名山，大川之在其地者，而
大神之在名山，山豈可忽。諸澗毛可驚，况多輟乎。白茅乎，藉况鉅器
乎。既非媚又非執，焉神之聽之。喜享陰翊，而賜之。苦邦家之業
英筭之似，心久矣。天壤固極，亦可從知而已矣。臣之不文，忝蒙嚴
旨，為之銘。雖不勝戰汗屏營之至，願若述。臣職也，不可敢辭。遂
謹敷系之以銘，其詞曰：多度山，崑崙兮。維邦之望，限江濃兮。鎮伊疆
燔柴，仲兮。想前王山之禁兮，水之傍。有他閭宮兮，占壇場。丹

楹刻楠兮，設橋河。宋延式之帳兮，神在芳。萬葉之詠兮，佳境彰。精裡匪懈兮，
祀史齊莊。潔茨茨，盛真酒。漿靈，當揮惠兮。既孔章，照焉。邪兮。威可
埴，允乳改。舊兮。碎鳴霜，原山。城兮。雷，依々。象樂奏。處兮。是為
綱。怨德，頌功兮。不登場。昔禹鑄日，乃兮。騎懸。藏虞。問坐兮。鳥獸
躑躅。庭之用兮。勝他。鑑。錦神之格兮。永觀禎祥。
寶永三禩歲，合丙戌六月朔，且
從四位下松平越中守淳朝臣定重
元嗣
從五位下松平因階守淳朝臣定達
三宅堅恕拜撰
令進

山神田社

同村八坪谷口宮山等ノ地ニアリ何モ小祠也

船附大明神

上肱江村須賀ノ馬場ノ側ニアリ祭神氣吹ノ主命當村鎮
守トス小祠也社地廿五間四方

小神社

同村字茶里ト云所ニ在十祠也社地 東西十六間 南北廿一間

船附大明神

下肱江村ノ西ニアリ小祠也社地 東西十五間 南北十七間 當村鎮守也祭神
氣吹ノ主命

山神社 同村鎮守社地ニ在リ祠也

八幡宮 小山村鎮守社地ニ在リ祠也五反歩程式内小山神社是也

小山神社 八幡宮ノ祠トスルサレドモ此村ニ林出テ明神トシテ多度大神本縁畧記ニ社地内山神小祠アリ

春日大明神 同村端郷大久保ニテ祠ニ在リ社地ニ在リ

林崎明神 同村ニテ多度附末社ナリ多度本縁畧記ニ神領給入引付

林出テ御出テ六石又神鳳抄ニ素名郡宮永西林御厨十二丁トテ此林崎ノ祠トモト云ハレ社地ニ在リ

山神社 同所ニテ祠也

八龍大明神 同村字八竜伝所ニテ祠ニ在リ祠ニ在リ社地ニ在リ

牛頭天倉 同村字尾津社ト云所ニテ祠ニ在リ祠ニ在リ社地ニ在リ

梅屋津神社 尾津御衣野等モ傳トモテ的證アルニテ此地衣尾津社ト稱スル此社タルモシカルヘカラス此地也此地古尾津ノ地ニテ後教ノ孰ク是孰ク非トモ

田神社 同村ニテ祠ナリ

天神社 同村ニテ祠ニ在リ

八龍宮 御衣野村字西谷ト云所ニテ祠ニ在リ祠ニ在リ社地ニ在リ

日本武尊 稚武彦命也式内尾津神社ニ坐トアル是也 日本紀云日本武尊 稚武彦命而到尾津昔日本武尊向東之歲傳尾津濱而進食是時解一劍置有松下遂忘而去今至此劍猶存故歌曰鳥波利禰多陀珣 鳥波加勢流比 若草麻亮 阿波例比 等草見 麻亮比 佐珣 阿波利禰 林崎 岐勢 摩之 鳩 多知 波南 摩之 鳩 トル 即此所ニテ武尊ノ大刀ヲ掛置給ニ給セトテ古松一株今ニ存ス其下ニ武尊ヲ祀カハ劍宮ト稱ス也古八此地ニ入江ニテ此所ノ尾津ノ津島ハ渡リシ也尾ノ山ト云モ多度山ト云ニテ此地ハ尾崎ノ地ナルモテ尾津氏尾津出崎氏ニシテハ尾津氏ノ行勢島ノ滿野ノ濱ノ松ノ枝ニテ終テ立テル大刀モカニコレトアルモコレハ日本武尊ノ古事ヲ傳ルハ此地ニシテトスハ

諏訪大明神 同村字奥ノ谷ニテ祠ニ在リ祠ニ在リ社地ニ在リ

縣大明神 同村大杉沢ニテ祠ニ在リ祠ニ在リ社地ニ在リ

山神社 同村字宮山越ニ在リ祠也社地ニ在リ

菱宮大明神 猪飼村氏祠ナリ本社ニ同西面相殿ニ薬師八天宮ヲ祀ル

山神社 同村ニテ祠ナリ祠地ニ在リ祠地ニ在リ

諏訪大明神 北條村字寺山ト云所ニテ祠ニ在リ祠ニ在リ社地ニ在リ

廿八宿相殿ニ山神一社アリ祭神建御名方命

若宮八幡宮 同村ニアリ多度付末社ナリ社小祠也社地 十間四方

高塚社 同村ニアリ小祠也社地 東西五間南北廿六間祭神 底筒男命 中筒

男命 表筒男命也

西宮 若宮西宮ニ社字馬場ト云々多度神事ノ節馬乘三人先當

社ハ奉詣シテ絃打ト夫ヨリ多度一修行神事勤ルナリ

山神社 同村ニアリ何モ小祠也

春日大明神 カ尾村氏神也本社 東區十間 社地 南北廿七間 祭神 手力雄命也

田宮神 同村ノ中ニアリ社三八ニ 社地 東西五間 南北十二間

山神社 同村ノ山ニアリ小祠ナリ

八幡宮 古野村ニアリ志打氏神也相殿ニ 鈴鹿權現ヲ祀ル祠ニ同 社地 東西廿間 南北廿六間

神明宮 同村ニアリ西宮ヲ勸請ス祠ニ同 社地 東西十二間 南北十四間

山王權現 同村ニアリ祠一兩半ニ同 社地 東西廿三間 南北九間

牛頭天童 同村ニアリ祠一兩余 社地 東西廿三間 南北三三間 相殿ニ 山神社アリ

神明宮 美鹿村ニアリ祠ニ同 相殿ニ 八幡宮 白山權現 藏王權現 小祠ナリ

ラノ女ニ一村ノ氏神トス拜殿 三間ニ 社地 東西三丁間 境内ニ山神一社アリ

神館神明宮 江場村ニアリ内外兩宮ヲ勸請ス祠ニ同 社地 東西廿四間 南北廿四間

山神ニ社 同村ノ新地 錫屋竹西組掛桶 福江村北組ノ氏神トス

神明社 獵師村ニアリ氏神トス 四方拜殿 三間半 社地 東西廿五間 南北廿三間 境内ニ

一目連社 秋葉ノ社ナリ

一目連社 赤須賀 新田鎮守セ小祠ナリ社地 東西廿四間 南北八間 境内ニ山神社アリ

春日大明神

小神社 大良洲新田ニアリ鎮守トス祠一兩 拜殿 二間三入 社地 東西六間 南北七間

神明宮 同村ニアリ小祠也社地 東西五間 南北五間

神明宮 一目連 福本新田鎮守ニ社合殿小祠也拜殿 九尺 社地 東西十間 南北五間

古子傳年中勸請ス

八幡宮 福地新田鎮守セ小祠也拜殿 一兩三 社地 東西五間 南北三三間 宝曆日

年中勸請ス

一目連 大平新田鎮守セ祠 一兩半 社地 東西四間 南北十五間 天明七年八月勸請ス

神明宮 福江新田鎮守セ 一兩三入 拜殿 一兩半 社地 東西十三間 南北十間

山神社 同村ニアリ初ナリ

一目連 未廣、新田鎮守也十祠也

神明宮 和泉町鎮守也祠二向、社地南北十九向、拜殿三向

山神社 同村字三軒屋ニアリ十祠也

伊津久志御前 荻町新田鎮守也

神明宮 小泉新田鎮守也祠二向、三拜殿三向、社地東北廿二向

一目連 同村ニアリ十祠、社地東北五向、一山神十祠アリ

稲荷大明神 同村ニアリ十祠、社地東北廿六向、余

半頭天皇 大福町東ニ在一村ノ氏神也祠二向、拜殿三向、社地

神明宮 安永町氏神也字東宮ト云祠二向、拜殿六向、社地東北

天神宮 同村ニアリ十祠、西宮ト云祠四向、社地東西十六向、南北廿三向

山神社 同村ニアリ十祠、社地東西十九向、南北十八向

一目連社 同村ニアリ十祠、社地東西十二向、南北八向

愛宕社

矢田村西ノ山矢田北辺ノ城墟ニアリ本社二向、拜殿五向、社地

手頭天皇 同村ニアリ、社地東北廿五向、社人加藤武兵衛守

八幡大明神 同村ニアリ、同小祠也、祭神大己貴命

山神社 同村ニアリ十祠也

八幡宮 大夫村ニアリ、本社三向、拜殿六向、社地東北十八向

祭神 應神天皇、式内立坂神社也、社地東北廿二向、社地東北十八向

神明宮 午頭天王、皆十祠也、八幡社地ニアリ

増田明神 八幡宮社地ニアリ、初九尺、当社ヨリ丑辰未戌ノ歳獅子舞ヲ

出ノ縁起云 天武天皇大友皇子ニ龍ヲ給ヒ、当地ノ潜幸アリ、登保利川ニテ被初メ

高倉ヲ造、拜シ玉ヒ此増田ノ夜屋ニテ靈夢ヲ見給ヒ、皇女アリ、天ヨリ

落念怒ノ猛獸ト成、海濱ニ舞去、其皇ノ落タル地ニ一ノ石ヲ現ス、

其川ヲ星川ト云、地ノ在古ト云、此位行宮是也、其後大友兵破

天皇位ニ即セ玉フ、益田ノ庄在土原郷、一殿園ニ並社ヲ建、天照大神

...

...

經津主命武甕槌命保食命ヲ勸請シ増田大明神ト奉号ス天
木綿筒飛行像 諸々是神ニ現レ且及中臣猿女猿考ノ面像ヲ祀セ獅子
舞神事奏ス是也社獅子舞始也又年々大神樂ヲテ城内ヲ巡リ其
後諸國ヲ巡ル皆當村ノ本也毛利但馬山本伊豆水谷九十九三人代々
大神樂支配頭也

山神社 同村 山ニアリ小祠也

春日大明神 上野村ニアリ又西宮大明神氏云本社 三ノ尺 拜殿 四ノ尺 社地 十ノ尺
大夫村社人山下伊豆由緒書ニ城下鎮守春日社ハ永仁四年大和國奈良
ヨリ觀請ノ時先此所ニ斬リ鎮座アリ其後今ノ地ニ移レテ遷ニ當社ヲ
建セト云見聞畧志ニ式内中臣神社ハ益田村ニテリ今春日伝此神ハ神
護皇正統年中清原國土鹿島ヨリ山城國牧岡ニ遷サレ時此地ニ公伯シ
給テ後殿ノ地也鹿島ニテハ中臣神ト云南都ノ春日ニ遷リ給テ後春日ト
称ス天津見屋林命ノ神孫ニ牛臣ノ姓ヲ給テハ君ト臣トノ中ニアリ上
下ノコトヲ通スルヨリ系ナリ後藤系ト改ム此神社迄書式ノ撰レテ頃
ハ中臣ト云シカ今ハ春日ト云 慶長年中本多家氏ノ祖神ト云此
神社ヲ城下へ移シ業名神社ト命セ祀ルトナリ

按ニ此説理アル様ナレバ慶長己前ヨリ三崎春日ト運称スルハ本多家ノ時始
テ此ヨリ城下へ勸進アルニアラザルベシ北勢古志ニ中臣神社ハ当社ノコトナ
中臣ノ乱ニ跡方モナクナリシラ永仁年中一再ニ奉良ヨリ勸請シ春日ト称セシ
モノニテ城下へ遷坐ノ後此地ニモ社頭ヲ造立シ吉地ノ鎮守トセシ中臣神社
余波ヲ存セシナルヘレトアリ此説サモアルヘレ

富士浅間社

同村ニアリ祠 一ノ尺 拜殿 九ノ尺 社地 一ノ尺 勸請不詳 寛永十
五年六月 大鏡院毛利若大夫ニ命セラレ 駿河富士本宮ヲ再ニ敷
請シ業城擁護ノタメ東向ニ本社ヲ建サセラレシカ高田御得替後社頭
破壊セララ文化十三斗再管ス其時社頭ヲ南向ニスト也境内ニ
大鏡公御手植ノ老松一株アリ神木トス

山神社

同村ニアリ小祠ナリ
牛頭天王 西金井村鎮守也祠 一ノ尺 社地 南北北西同 同所ニ山神社アリ小社也
春日大明神 業部村鎮守也祠 一ノ尺 拜殿 一ノ尺 社地 南北北西同 相殿
ニ神明八幡ニハ社アリ

山神社

同村 字 青木 中山 田 小谷 城 小ト三所ニアリイソモ小社也

土子神

同村 字 城 北 大川 堤ニアリ小社也 祭神 不詳
牛頭天王 春日大明神 神明宮ニ社相殿 能部村鎮守也祠 一ノ尺 拜殿
一ノ尺 社地 東西北同 南北北西同

白山權現

同村字宮上ニアリ小社也社地 東西六間 南北五間

春日大明神

同村字鎮守也相殿ニ藏王權現午頭天王ヲ祀ル祠一ノ四方
社地 東西十五間ニ尺 南北十七間 拜殿 四間ニ貳間

稻荷大明神

同村ニアリ小社也社地 東西十三間 南北十間

山神社

同村ニアリ小社也

八幡宮

西別所村鎮守也本社 一ノ三ノ尺 拜殿 二ノ四ノ尺 社地 東西十六間 南北五ノ十間

白山權現

同村ニアリ本社八ノ尺 拜殿 三ノ四ノ尺 社地 東西二ノ四ノ尺 南北五ノ十間 祭神 荼理姬命

白山權現

同村ニアリ小社也社地 東西四ノ五ノ尺 南北三ノ四ノ尺 社地 東西四ノ五ノ尺 南北三ノ四ノ尺 社地内ニ牛頭天王小社アリ

神明宮

同村ニアリ小祠也社地 東西八間 南北七間

山神社

同村ニアリ小祠也 東西七間 南北三ノ四ノ尺

額田神社

糠田村ニアリ糠田増田西村ノ氏神也相殿ニ社中央

春日大明神

東社 午頭天王 山賀神社 藏王權現 三坐也西社

神明宮

拜殿 三ノ四ノ尺 拜所 九ノ尺 社地 東西四ノ五ノ尺 南北三ノ四ノ尺

山賀神社

拜殿 九ノ尺 拜所 九ノ尺 社地 東西四ノ五ノ尺 南北三ノ四ノ尺

山賀神社

拜殿 九ノ尺 拜所 九ノ尺 社地 東西四ノ五ノ尺 南北三ノ四ノ尺

山賀神社

拜殿 九ノ尺 拜所 九ノ尺 社地 東西四ノ五ノ尺 南北三ノ四ノ尺

山賀神社

拜殿 九ノ尺 拜所 九ノ尺 社地 東西四ノ五ノ尺 南北三ノ四ノ尺

山賀神社

拜殿 九ノ尺 拜所 九ノ尺 社地 東西四ノ五ノ尺 南北三ノ四ノ尺

山賀神社

拜殿 九ノ尺 拜所 九ノ尺 社地 東西四ノ五ノ尺 南北三ノ四ノ尺

平岡神社 我故伊勢風土記 素名郡ノ由ニアリ記云奉出集時代難知矣
 又薦野ノ下ニ平岡ノ神領セトアリ薦生野ハ三重郡ミ今薦野伝然ハ
 古社ハ三重郡ノ部ナラ錯位固テ古郡ハ入レタルハ
 長谷神社 延喜式神名帳ニアリ其所在ヲシラス或ハ素部村ニアリ大倉姫ヲ
 祀ルトアリ氏澄トスハキモナシ

素名志料卷之十六

神社 三 負辨郡

神明宮 星川村ニアリ延喜式神名帳ニ星川神社トアル是セ一村ノ産土神トス
 本社ニ入拜殿ニ廟ニ社地東北ニ向神風抄ニ日生川大明神 神田ニ及ト
 見ヘタリ名所拾遺ニ星川負辨郡 素名ノ一里計上額田村ノ川向也
 神名帳ニ負弁郡 星川神社トアリ此所ニ星川山安渡寺と伝テアリ鴨長明哥ニ
 カナリ水は橋トシクナリ鳥鵲のたてる一に星川の水
 伊勢雜記追加之此社ハ天武天皇自水野大場テ天皇臨幸ノ時龜ノ
 皇居ニテ眺望シ給ハ一ワノ皇地ニ落御日雷ノ如シ人ヲ馳セ見セシメ給
 ハバ星石ノ此川也ニ落タリレニヨリ川ヲ曰玉川云其皇ヲ祀リハ此星川神社
 ナリト云傳フ 同郡南大社ヲ籠ケ岡ト云

年頭天王 同村字天ヶ平ト云処ニアリ村ノ鎮守トス土神 此神ハ式内星川

神ニ社 同村字前小天ヶ平ト云所ニアリ何テナ社也 東西六十向 南北五十向

神明宮 嘉例川村ニテ代神トス本社ニ向ニ社地 東西六十向 南北五十向 嘉勅清年代不詳

社地内 山神社 山神社アリ小社也

山神社 森忠村ニテ社地 東西七十向 南北四十向

神明宮 森忠村ニテ代神トス本社ニ向ニ社地 東西五十向 南北三十向

牛頭天王

春日大明神

八幡宮

其ノ管寄村アリ三社合殿ヲ吉村ノ氏神

山神社

同村ニあり小社也社地 東西四十二間 南北五十五間

稲荷大明神

大伸新田鎮守也本社 七尺五寸 社地 東西九十九間 南北一百間

山神社

同村ニあり石小祠也社地 東西五間 南北三間

八幡宮

又及田村ニ在村ノ氏神トス本社 一四間 拜殿三間 社地 東西廿六間 南北廿二間

山神社

同村ニあり何しモ小祠アリ

春日大明神

茲此家村氏神也本社 九尺 社地 東西 之向半 南北 廿五間

山神社

同村氏神社地ニあり小祠也

水神社

同村ニあり小祠ナリ

八幡宮春日大明神牛頭天王

三社相殿穴大村氏神トス本社 三間 拜殿二間 社地 東西 南北 廿三間

牛頭天王

瀬古泉村氏神也本社 二間 拜殿三間 社地 東西 南北 廿二間

天神社

同上本社 一四間 拜殿三間 社地 東西 南北 廿二間

山神社

同村ニあり何しモ小祠アリ

稲荷大明神

式以係不部神社

神明宮

式以鳥取山田神社

春日大明神

式以鳥取神社

三社相殿山田村字大宮トス所ニあり本社 一四間 拜殿二間 社地 東西 南北 十八間

按ニ土人所伝由緒書ハ如此然徴古録 古谷双紙 勢陽俚諺 等ノ諸書
ニハ長尾村ノ鎮守牛頭天王ヲ以テ負兼神社トス理アルニ似タリ猶其條下ニ詳
ニ北山田村ノ諏訪ヲ以テ鳥取神社トス未詳孰是

八幡宮

同村ニあり本社 一四間 社地 東西十八間 南北十八間

牛頭天王

同村ニあり本社 三間 社地 東西廿四間 南北十六間

牛頭天王

同村字大坂トス所ニあり本社 四尺 社地 東西十一間 南北廿一間

天満宮

同村ニあり小祠也社地 東西五間 南北四間

神明宮

同村字官北ニあり小祠也社地 東西六間 南北九間

工一権現

同村ニあり本社 七尺 社地 東西廿二間 南北廿三間

稲荷大明神

同村字楠トス所ニあり社 四方 社地 南北十一間 一本三三間

稲荷大明神

同村字安附政伝所ニあり小社也社地 東西十間 一本廿四間

山神社

同村大官ニあり小祠也社地 東西四間 南北六間

八幡宮

上之山田村産土神也本社 三間 社地 東西十九間 南北十五間

山神社

同村ニあり祠ナレ社地 東西七間 南北六間

山神社

同村ニあり祠ナレ社地 東西四間 南北五間

諏訪大明神

北山田村字川中島トス所ニあり村氏神ニテ式以鳥取神社トス

之類ニ古物古書ニ有テ神ノ北山田村ニ諏訪トス一里ノ産土神トス者ナレハ
徴古録ニ古谷双紙 勢陽俚諺 等ノ諸書

祭神天湯河祈命世本社二間拜殿二間社地東西廿五間 南北廿四間

神明宮 同村字長野ニアリ本社八尺社地北之南

山神ニ社 同村ニアリイッレモ十祠ナリ

神明宮 六把野新田代神ナリ本社十祠也拜殿三間社地東西廿二間 南北廿七間

八幡宮 同村ニアリ本社一四四尺社地東西廿二間 南北廿七間

地神亦神 二社同殿同村ニアリ社地東西十九間

山神社 同村ニアリ石十祠也社地東西五間 南北十一間

神明宮 西新田代神世本社一丈社地三十間 四方

小神社 同村ニアリ十祠也社地東西五間 南北十間

八幡宮 八幡新田ニアリ本社一四四尺社地東西五十四間 南北十五間

秋葉權現 同村ニアリ十祠也社地八間四方

山神社 同村ニアリ石十祠也社地東西十六間 南北五間

春日大明神 東一色村ニアリ式内大谷神社是也俗ニ大泉春日氏又八其森

長大トルテ長宮ト稱ス大泉西方金井寺村四ヶ村立会ニテ祀ル神鳳抄

ニ大谷新田内三石六九十二月外宮一石五牛田又云大泉大久百五丁下見入

タリ此大谷八大泉郷中ニアルト明ナリ諸書皆同シ今字十里宮ト云本社一四半ニ八尺社地東西四十間 南北六十二間

熊野權現 同村中ニアリ氏神トス本社一四半四方社地東西十八間 南北廿四間

愛宕權現 同村ニアリ十祠也社地東西六間 南北十四間

牛頭天皇昆沙門天 二社相殿同村北ニアリ祠五尺社地東西廿七間 南北三十間

神明宮 同村字暮明ニアリ本社四方拜殿三間社地東西五十四間 南北三十四間

神明宮 同村茶白山ニアリ天持金神社也本社一四半社地東西十七間 南北廿四間

堅牢地神 同村甲ニアリ十祠也社地東西八間半 南北亦同

稲荷大明神 同村ニアリ十祠ナリ

神明宮 同村字新貝ニ在西方金井大泉寺打四ヶ村立合祀ル也社地

稲荷大明神 西方村字長尾殿ニ在金井西方村立合祀ル本社一四半社地東西廿二間 南北廿七間

山神社 字塔坂北条ニテ所ニ在一八小石祠一八板十祠也社地

神明宮 金井村内ニアリ寛文八年勸請入社八尺拜殿二間社地東西十五間 南北廿四間

社地ニ山神十祠アリ

天満宮 同村ニアリ元禄十四年北野ヨリ勸請ス社八尺

八幡宮 同村字ニアリ金山石ニアリ十祠ナリ社三間

神明宮 同村字石佛ニアリ下笠田吉村立會ニ祀ル社九尺社地東西二十八間 南北二十七間

神明宮 同村字松ノ木ニアリ吉村忍領大泉永村立會ニ祀ル社七尺社地東西九尺 南北二十七間

神明宮 大泉新田字大溜堤下ニアリ吉村笠田新田ニテ村立會ニテ祀ル

實永二年大溜ヲ築キニ度々堤ヲシヨリ吉村ノ庄屋兼兵工伊勢ハ遺サレ御立願アリ堤出来セシムル辰九月吉社御勤請アリ修葺復料トテセ及

十三歩社田御寄附アリ右ノ内ヨリ八斗ノ年々御初穂梅谷大夫遠送ルトソ

社棟木御紋付也小祠也拜殿ニ向ニ西向社地東西五十二間 南北六十二間

神明宮 八幡宮 同村ニアリニ社相殿九尺社地東西十五間 南北十一間

牛頭天王 同村ニアリ本社七尺社地東西七間 南北七二間

山神社 同村ニアリ石ノ小祠也

白山權現 畑新田氏神也本社一四半社地東西 北一四 南北 三十間

八幡宮 同村北ニアリ本社一四四尺拜殿一四四尺社地東西七六間 南北四十二間社地ニ山神石祠アリ

牛頭天王 御園村ハミキキ社地ニアリ村ノ氏神也本社一四四尺社地東西三十四間 南北四十四間

山神社 同村ニアリ小祠也社地東西十三間

八幡宮 楚原村ニアリ字北野ト村ノ氏神トス本社一四半社地東西十四間 南北十間

拜殿 三向五尺ニ二間

天白社 同村字鍵ノ手ニアリ小祠也社地東西四間 南北十二間

山神社 同村字東谷ニアリ小祠也社地東西十三間 南北十一間

牛頭天王 上笠田村ニアリ吉村ト宇野村ニ村ノ氏神也立會ニ祀ル本社二向五尺社地ニ神明八幡ニ小祠ヲ安入社地東西三十三間 南北五十二間

山神社 同村ニアリ本社五尺社地東西九八間 南北十九間

八幡宮 下笠田村氏神也字丸市東伝所ニアリ本社二向拜殿三向四尺

名燈籠ニ基社地東西八八間 南北六六間

山神社 同村字城屋敷ニアリ小祠也社地東西九間 南北九間

神明宮 同村字六把野新田ニアリ本社八寸五寸社地東西七尺七寸 南北七尺八寸

八幡宮 同村多湖兵太夫持ニテ一ハ字大西ト云所ニアリ一ハ兵大夫宅

地ニ在何レモ小祠也

神明宮 笠田新田字成子未起ニアリ寛文三年大溜神明ヲ勸請

ス小祠ナリ社地東西十二間 南北七間

山神社 同村同所ニアリ小祠ナリ社地東西十七間 南北十五間

山神社 同村字西新田同所ニアリ小祠也社地東西十四間 南北十五間實永十八年勸請

山神社 同村字東新田ニアリ小祠也社地東西十四間 南北十七間美濃三年勸請

山神社 同村久藏島ニアリ小祠也

八幡宮ニ社 同村ニアリハ祠也村人宅地ニアリ

稲荷社 同村ニアリ村人宅地ニアリ

金山比羅神現 同村伊左衛門屋敷ニアリハ祠ナリ

待所井社 宇野村ニアリ本社五尺ニ社地東四間同社地南北六間山神ハ祠ナリ

小神ニ社 同村ニアリ何レモハ祠也

神明宮 麻生田村ニアリ氏神也祠四方拜殿四間社地東西十六間南北廿六間

天満宮 同村ニアリハ祠也社地東西十七間南北十五間

天白社 同村ニアリハ祠也社地東西六間半南北十七間

八幡宮 同村ニアリハ祠也社地東西十六間南北十四間

山神ニ社 同村ニアリハ祠也一ハ祠ナリ

三輪大明神 片楯村ニアリ一ハ祠ハ氏神也片楯明神也云北勢古志云古社ハ式内朝

明郡大神社 是ナリ古郡界今ト同シラス故云郡ニ入ル伊勢風土記云

膝木林在靱尾村西一里虽木林無樹木唯有一席祭大己貴神處也上

人毎歲落梅之時供神膳此所四時无蚊蛇喰大己貴ハ即大物主

命ニ大和三輪ノ神也靱尾村ハ今片楯村ニトナルヘレ古ハ朝明郡ノ界

石標丹生川迄モ及ヒコト是等ニテ分明セ云々本社二間半社地東四七二間

修覆科トテ上田一及六畝十一歩社領也社地ニハ幡山神ニ社ナリ

按ニ神鳳抄ニ己ニ氏火ノ名アリ古ノ靱尾村タルコト的證ナレ且神祠靱尾村

ノ西一里トイエハ今ノ村里ニテハアルヘシ同郡友村ハ古村ノ東南ニアリ或ハ

是ナラシカ且古村ニ神宮ニテト称スル觀音堂アリイワレ昔ハ大社ナルコト

明ナリ土人ハ負命神社也云

上ノ御前社 同村ニアリハ祠ナリ社地東西廿二間南北十六間

住士明神 同村ニアリハ祠ナリ社地東西四間南北八間

半頭天王 同村字久保田ニアリハ祠也社地東西四間南北廿間

小神ニ社 同村ニアリ

半頭天王 石標東村字久保ト云所ニアリ村ノ氏神トス本社二間半拜殿

稲荷大明神 同村字一色ト云所ニアリ本社四方社地東西六間余南北廿六間余

山神五社 同村所ニアリ何モハ祠ニワハ石也

春日大明神 石標南村字淵ト云所ニアリ一村ノ總社トス本社一間四尺

拜殿二間社地東西廿六間南北廿五間

八幡宮 同村氏神也本社四方拜殿一間社地東西十五間南北廿二間

山王権現 同村字園心ニアリ本社一ノ半拜殿一ノ半社地東四十九向

山神四社 同村所々ニアリ皆小祠内字大門字内ニ祠八石也東四十六向

牛頭天王 石標北打字天王山ニ在村代神也本社四ノ方社地南四十四向

能野権現 神明宮ニ社相殿同村字権現山ニアリ本社二ノ向社地東四十三向

神明宮春日大明神ニ社相殿同村字宮林ニアリ本社二ノ向拜殿三ノ向

社地東四十二向 南北三十三向

天満宮 同村字天神社ニアリ本殿九ノ方社地北四

小神三社 同村ニアリ皆小祠ナリ

鴨神社 丹生川久保打ニアリ八幡宮妙現権現ヲ相殿ニ祀リ丹生川四村

氏神トス祠三ノ向拜殿二ノ向社地東四十一向式改神社祭神大年神也

按ニ古公双紙ニハ志村ヲ社式改鴨神社トス北勢古志云鴨神社ハ中村ナリ

ト云勢俣俣講ニハ川上打ニ在トス初志社ヲ里人ハ八幡神明権現トシ稱セシ

カ直明ハ鴨神社ヲ神明権現ヲ相殿ニ祀シセト云大安寺封戸事書ニ伊勢

國貞御印宿野軍佐伯所西至一ノ言鴨社南坂川西山北丹生川トアリ然

ハ今ノ中村西上打ノ辺ヲ宿野軍ト云ヒテ坂川ハ湊大川ニテ石標ノ打界丹

生川ト云ハ今ノ青川ニテ湊田郷ノ界ナレハ然ラハ志村ハ鴨神社ト云テ説カスラ

綿荷大明神 同村ニアリ本社一ノ半社地東四十九向下村ト立會祀ル

年頭天王 同村ニアリ小祠ナリ社地東四十九向下村ト立會祀ル

山神社 同村字北野ニアリ小祠也社地十五向四方

山神社 赤植山ノ内字権ノ木ニアリ社地五ノ向四方

山神社 丹生川上村ニアリ小祠ナリ社地東四十九向南北廿四向

山神社 同中村字石佛ニアリ小祠ナリ

山神社 丹生川下村ハ字北野ニアリ一ノ片植山内五本松ト云所ニ在皆小祠ナリ

山神社 東禪寺村ニアリ皆小祠ナリ

神明宮 東禪寺新田新田代神也本社二ノ向社地東四十八向

山神社 同所ニアリ社地二ノ向社地東四十八向

八幡宮 石川村ニ在石川東禪寺ニ村ノ臺上神トス式内不神社是也古志

勢俣俣講北勢 登神御食津姫ナリ本社三ノ向社地南四十四向

古志 勢俣俣講北勢 登神御食津姫ナリ本社三ノ向社地南四十四向

神天神 綿荷大明神 春日大明神 大屋天 香良洲社ヲ合セ祭ル

拜殿二ノ向 社地東四十三向 官附ノ林東四十四向 字鳥居山ト云

小神三社 同村ニアリ皆小祠ナリ

社地東四十三向 官附ノ林東四十四向 字鳥居山ト云

同村ニアリ皆小祠ナリ

春日大明神 西野尻下野尻村ノ氏神ニテ宇賀野ニ在本社ニ向全拜殿

二向社地 東北七三向 当社上古八幡原嶽池ノ平ト云所ニ鎮坐 山系ニ古社ニ因ルトリ

藤永中藤原山嶽 雪深キ故此地ニ遷ス天正ノ兵火ニ因テ社ノ跡ト云

寶寺燒矢ス盤若面ニワ躑躅銅ハツ割銅鼓太鼓金輪大振高

愛宕大根現 西野尻字愛宕山ニアリ本社ニ向四尺社地 東西廿四向 南北十二向 田入

昔聖王世渡邊下修驗法藏院ト云者住居セシトテ世渡邊ノ跡アリ

八幡宮 同村西野ニアリ本社ニ向五尺拜殿 三向全社地 東西六十二向 南北九十二向

昔吉村ニ銀銅山アリ繁昌ス其頃筑紫八幡宮ノ名ヲ裁ク勸請セシト云

神明宮 同村字笠子山ニアリ初セ社地 東西廿四向 南北廿四向 是亦銀銅山繁昌

ノ頃 勸請スト云天明元年ノコトト云

社稷子 同村字南城ニアリ初セ社地 四向

山神社 同村落合谷ニアリ初セ社地 北二向 南

神明宮 同村字庄屋山ニアリ初セ社地 東西廿二向 南北廿二向

愛宕山大根現 下野尻村ニアリ初セ社地 東西廿二向 南北廿二向

山神ニ社 同村ニアリ比日初セ

山王權現 坂本村ニ在坂本大貝戸西村ノ氏神也大同年中江州坂本ヲ

寫シ廿一社ヲ請勸セシカ天正ノ兵火ニ罹リ僅一社ヲ存ス本社ニ向

社地 東西廿四向 南北廿四向

山神三社 大貝戸村ニアリ比日初セ社地 東西十向 南北五向

八幡宮 山日村ニアリ氏神トス本社ニ向社地 東西十九向 南北十九向

射軍神社 同村字水落ト云所ニアリ初セ社地

山神ニ社 同村字見染山細河ニアリ初セ社地

天白社 本郷村ニアリ本社ニ向社地 東西廿七向 南北廿二向

八幡宮 同村ニアリ本社ニ向社地 東西廿七向 南北十三向 半

神明宮 同村ニアリ本社ニ向社地 東西十四向 南北十六向 半

山神ニ社 同村ニアリ比日初セ

齋宮大明神 市場村ニアリ村ノ氏神也本社ニ向社地 六十四向

山神四社 同村字北林江ノ山畔ト云御前屋所ニ在比日初セ

千頭云玉稻荷大明神 二社相殿ニ云比日新田ニ在本社ニ向社地 四向

代房大明神 川合村氏神也本社ニ同四方社地 東西十二間 南北十間
諏訪八幡宮 同村ニアリ本社ニ同 社地 廿四間

山神 同村ニアリ祠ナレ木林四ヶ所ニアリ
千頭天王 上相場村氏神ナリ本社ニ同半座方拜殿ニ同 社地 三十五間

山神三社 同村ニアリ何レモ祠ナリ
千頭天王 下相場村氏神也本社ニ同 社地 東西廿間 南北廿五間

山神二社 同村ニ在祠ナリナレ
神明宮 日內打氏神也本社ニ同半 社地 東西十三間 南北十五間

往古大明神 同村ニアリ本社ニ同 社地 東西六間半 南北十間半
山神社 同村ニアリ石像也社地 東西十六間 南北六間

千頭天王 長尾村ニアリ長尾村日內川合三村立會ニテ祀ル式以會辨
神社是也本社ニ同半拜殿ニ同 社地 東西廿三間 南北廿五間

廿二日授伊勢國從五位下員弁大神 乙五位下八年三月戊午伊勢
國乙五位下員弁神授從四位下十五年九月九日侍從從五位春澄
朝臣高子奉幣代神向伊勢國勅賜稻二千五百束以爲行旅之資云々

此高子、春澄朝臣善繩ノ女也善繩名達在京人本姓猪名部造爲
伊勢國員弁郡人也後移隸上京師其祖財幣爲員弁郡十領
按ニ此ニ氏神凡ハ猪名部神社アルヘシ此辺ヲ美那郷ト云モ此神社ニ
名ニテ上代ハ大社ナリシヲ知ルヘシ今郡領、屋敷邊ト稱スル所村中ニ有、
見南畧志ニハ員弁神ハ片植村ノ片植明神ニテ片植ハ社名ニテ村公員弁村也ト云
又山田村由緒書ニハ氏神三社ハ稻荷神社ヲ以テ志ニアツ冬其條ヲ合未見ヘシ
按ニ同郡大社打氏神ヲ土人ハ員弁社ト云員弁寺、遺跡ニ隣村大木村ノ中ニ
アリ且大社村、名モコトクアルニ似タリ

山神社 同村ニアリ祠ナレ社地 廿三間半四方

神明宮 同村ニアリ祠ナレ社地 東西三十間 南北廿間

神明宮 篠立村ニ在志村古田西村ノ氏神ト云本社ニ同半 社地 東西五十四間 南北四十間

神明宮 同村ニ在志村ニ同 社地 東西廿四間 南北廿四間

山神社 同村ニアリ祠ナレ社地 東西廿四間 社地ニ稻荷ノ祠アリ

八幡宮 志田村ニ在志村ニ同 社地 東西廿四間 南北十八間

山王権現 同村ニ在志村ニ同 社地 東西廿四間

神明宮 深尾村氏神也字數之内ニ在志村ニ同半 社地 東西廿四間 南北十四間

千頭天王 清司尊上組下組ノ氏神也本社ニ同半 社地 東西廿四間 南北五十五間

為後名大權現

同村下組ニアリ小社也文化年中勸請ス

佐々木大明神

稻荷大明神

諏訪大明神

三社相殿川原村氏神也本社二向

拜殿

三向ニ向

社地

東西四十向

南北十六向

秋葉大明神

同村ニ在ハ祠ナリ明和年中勸請ス

按ニ大權現ナレハ土人誤大明神ト稱ス

山神ニ社

同村ニアリ何レモハ祠ナリ

千頭天王

千司久運新田ニアリ氏神トス本社

一向半社地

東西十五向

南北廿向

文中勸請ス

秋葉大權現

同村ニ在ハ祠ナリ

山神社

同村ニ在ハ祠ナリ

神明八幡宮

田辺村字仲田ト云所ニアリ式取ノ多南開神社ニテ祭神天

日鷲公命セト云徴吉録缺カ陽俚諺北勢古志諸説皆同シ

本社

四向余ニ向

拜殿

四向ニ向

社地

東西廿二向

南北十三向

山神六社

同村ニアリ

神明宮

白山權現

諏訪大明神

三社相殿

瀨村氏神也本社

二向ニ向半拜殿

二向ニ向半拜殿

山神ニ社

同村ニアリ小祠也

神明宮

白山權現

諏訪大明神

三社相殿

小原一色氏神ナリ本社

東西廿四向

社地

東西廿四向

南北十三向

同所ニ山神ハ祠ナリ

山神ニ社

塩崎村ニアリ

諏訪大明神

塩崎畑毛

白平三村ノ氏神ニテ

二年ケ野東原ニアリ本社

二向四八ニ向ニ向

社地

山神ニ社

畑毛村ニアリ

正八幡宮

下平村氏神也本社

拜殿

三向半社地

東西廿四向

南北十三向

山神社

同村ニアリ

石ノ小祠也

社地

東西八向

南北廿五向

諏訪大明神

阿下喜村字屋ノ口ト云所ニ在ハ祠ノ氏神トス

大和守信保ハ信州

諏訪ノ人ニテ

社ヲ勸請セト云傳フ本社

拜殿

四向社地

東西廿八向

石鳥居社地ニ山神

小社アリ

八幡宮

同村ニ在

社地

東西廿八向

南北廿七向

同村ニ在

社地

同村ニ在

社宮神

同村ノ中ニ在

山祠也

石像アリ

社地

八尺

千頭天王

同村

社地

東西廿八向

南北廿七向

同村ニ在

社地

同村ニ在

山神社 同打鳥坂ニアリ小祠也社地 東西四十二間 南北九十八間

鳥洲大明神 山神社ニ社同所ニアリ同村字小山伝所也社地 東西七十四間 南北廿八間

山神社 同村字午ヶ額ニアリ土人八幡頭 天王ト呼子小祠也社地 東西七十四間 南北十八間

八幡宮 飯倉村氏神也地高寺境内ニアリ本社 一丈三三間

山神社 同村ニアリ小祠也社地 東西廿七間 南北廿八間

神明宮 西貝野村ニ在村ノ氏神也本社ニ間二尺社地 東西廿五間 南北廿五間

山神社 同村ニアリ祠ナシ社地 東西四十四間 南北五十五間

神明宮 東貝野村ニ在本社ニ間三尺社地 東西六十六間 南北三十五間

午頭天王 同村神明社地内ニアリ

八幡宮 同村ニアリ本社ニ間半社地 東西廿三間 南北十五間 以上三社皆吉村ノ氏神トス

山神ニ社 同村ニ在社也

午頭天王 鼓村ニ在一村ノ氏神トス本社ニ間半拜殿ニ間社地 東西廿八間 南北六十八間 社地ニ山神ト祠アリ

八劍大明神 同村ニアリ大坂御陣ノ時左右工門ト云者大坂ヨリ持来祀ニ

トノ初ハ右ノ者一人持セシカ中頃ヨリ村持トナリ氏神同様ニ尊崇トス

然レ二月ニ鏡餅洗米ハ左右工門家ヨリ供ス本社ニ間半社地 東西廿八間 南北廿八間

午頭天王 大比新田ニアリ小祠也社地 東西廿八間 南北廿八間

御霊大明神 平野新田ニアリ寛永十三年大鏡公吉村崩落ヲ命セシレ又御別荘

ヲ設ケテ時々御遊覧アリシヲ村ノ氏御生祠ヲ建立シ一村ノ氏神トス初ハ大明神

トクニ奉拜シカ其後御霊大明神ト稱シ奉リシ由本社ニ間半拜殿ニ間

社地 東西十六間 南北廿二間

山神社 同村ニ在祠ナリ社地 東西十五間 南北十七間

午頭天王 白山權現ニ社相殿 南甲津原 北甲津原 西村ノ氏神トス本社

ニ間半四方 拜殿ニ間五間 社地 東西四十間 南北七十間

神明宮 南中津原村ニアリ本社ニ間四方社地 東西十三間 南北十二間

香良須明神 同村ニ在本社ニ間四方社地 東西十四間 南北十五間

龍神社 同村字橋詰ニ在小祠也社地 東西十四間 南北十五間

山神社 同村ニ在祠也社地 東西十四間 南北十五間

社宮神 同村ニ在祠ナシ社地 東西十六間 南北十七間

八幡宮 同村ニ在 鎮守トス本社一畝

神宮明神 北中津系村ニ在本社一畝三六 社地東西南北十八畝

山神社 同村ニアリ祠ナリ社地東西南北十五畝

社宮神廿八系 社地東西南北七畝 当社ハ其系南中津系 所村論所ニテ当村預ニテ

千頭天王 其系産土神也本社一丈六尺 社地東西南北廿六畝 字座野原所ニテ

信木社 十五畝四方アリ也社ノ旧地ト云

神明宮 同村字垣内ニ在本社九尺三寸 社地東西南北廿七畝 当村氏神トス

山神社 同村ニ在祠ナリ社地東西南北六十八畝

稻荷大明神 同村ニ在ニ子塚長三郎狐伝傳フ昔ニ子稻荷ト云社アリ其塚ヲ

遠々田畑ニ打起セシカハ狐住マスナリ又其後村人稻荷ヲ勸請セシトリ

南宮大明神 市ノ系村氏神也字上ノ宮ト云本社九尺 社地東西南北四十四畝

神明宮 同村ニアリ字官ノ坂ト云本祠九尺 社地東西南北三十四畝

千頭天王 同村ニアリ字西ノ宮ト云本社九尺 社地東西南北六畝

山神社 同村ニ在小河也社地東西南北三十四畝 南北四十四畝

加良毛神社 武内負光郡十社ノ一也古谷双紙勢陽俚諺ニ垣内村ニ在ト云

見聞田各志ニハ別所村南谷ニ古志ノ木林アリ今春日ト云是ナラシムニモ

未詳孰是且三村皆封内ニアラス

平群神社 亦武内郡神社也今忍領志知村ニ平群山云所ニ平郡大明神

又平群宮氏縁スル神社是也山下ノ池ノ平群群池ト云神鳳抄ニ平郡神田

三丁トアリ北勢古志云三代実録ニ木菟宿禰之後賜味酒臣姓論

落貫伊勢国主丁文雄祖宗改臣賜首姓トアリ此論落テ程ニ此奈

リニ下祭神ニ平群 木菟宿禰ト云ニ付テノ論也 和訓 草木ニ伊勢国負

弁郡ニ平郡神社志知村ニアリ是日本尊日本武尊美濃ヨリ鈴鹿

郡ニ赴キ玉フ時ノ母ニタシコモ平群山ト讀セ玉也所成ヘシ其

山群ノ木多シ因テタマカシカ菟ヲト續ケ給フ思國歌セトアルヲモテ和

ノ平群トスルハアリ、今満山皆白樫ノ木ナリ

榎菟神社 文明元年申年節行本伊勢風土記云郡ノ内圭田

廿五東 孝謙天皇御宇三年二月始鎮座トアルモ未詳

業名志料卷之十七

神社 四 朝明郡

天神社

繩生村ニアリ字天神山ト云村ノ西山ニ在祭神ナク考名命社家
申傳ニ式内苗代神社セト云天満官相殿ニ祀ル由緒云菅公自作
ノ像ト云一村立土神トス本社三方上屋三方拜殿七間祈禱所三間
社地東西五十間 南北七十間山下ヨリ石壇六十六級アリ本社左合ニ千頭天王
八王寺ノ二小祠アリ末社 愛宕八幡 西所大神宮 稻荷 蛭子山神
六小祠アリ

山神二社

同村ニ在イッレモ小祠也

一目連社

同村町屋川堤上ニアリ小祠也洪水ニテ堤度々カレシヨリ

宝曆五年申此ニ勸請ス

神明宮

龜尾新田ニ在小祠也寛延年中新田開墾ノ時勸請ス

神明宮

小向村氏神村ノ西山ニ在天白八王寺ト三社相殿ニ祀ル祠

三間半ニニ向半 社地 東西九八間 南北九三間

稻荷大明神

同村ニ在十祠也

山神社

同村ニ在十祠也

千頭天王

柿村ニアリ字官山ト云本社二間拜殿一四八社地東西五十六間 南北五十四間

徴古録ニ志三社ハ式内井後神社セト云北勢古志云井後神社ハ柿村ニ在
今千頭天王ト称スルモノ成ヘレ井後ハ川尻ト云フトミテ古代朝明川此アリニ
テ海ヘツク所ナレハ井後ト云ナルベシ

貴船大明神

同村東田ノ中ニ在本社一四八拜殿二四社地東西十一間 南北一四間

雜記ニ古ハト吉村ノ氏神ナリシカ荒神ニテ其地ノ木葉木一ツ取テモ狂氣スル
テ別ニ千頭天王ヲ勸請シテ氏神トス此神ハ祭祀モ絶ヘタリ然レ今ニ毎年
二月九日十九日ニ十日村申ニテ官本ヲ定メテ、例式ヲナストシ
按ニ吉村社頭モアリ又二月廿日ヲ祭日ト定メ繩生村後藤豊前ヲ頼ミ祭式ヲ行フ

神明宮

松申寺村氏神也小社也社地 東西十三間半 南北十六間

山神

同村ニ在十祠也

一目連社

同村朝明川堤上ニアリ土手神ト称ス官本ニ年洪水ニテ土手危

カリシカハ一目連ニ立願シ水災ヲ免ルヨリテ勸請ス

神明宮

八幡 春日大明神 三社相殿 時山一四村氏神也本社

山神

同村ニアリ十祠也

八幡宮

西田村鎮守也本社二間或向一尺 社地 東西十三間 南北十六間

若石一大権現

祭神 連 玉男命

飛鳥大明神

祭神 天事 二社相殿 鎮守 命

東富田村ニ在(西富田)松原富田一色天ヶ須賀五村ノ産土神ヲ
七月十日日鎮大祭松明神事トテ五ヶ村立會祀ル按ニ吉郡寺陵部
觀成寺跡念仏此ノ松明神事ノコトナルヘシ觀成寺ハ若一ノ代寺也

一説ニ宿屋文ノ頃漢人ノ綱ニカ祠ノ掛リ上リシヲ投捨タリシカ甚ク告
ニヨリ又引上ル所ニ勸請ノ解馬祭ノ由未是ヨリ起ルト云本社
三向拜殿瑞垣御供所四向神馬舎八尺鳥居額元禄十三年前大
納言基時卿書
社地東西十七向
南北七十九向末社三社大神天満小鳥蛭子山神
諸説此飛鳥社ヲ以テ式内鳥止神社也トス諸雜記ニ南郡一家ノ氏神トス

止御前社 同村ニアリ祭神極安彦神埴安姬神也

八幡宮 同村ニ在リ

山神社 同村ニ在

山神夜叉神ニ社相殿同村ニ在祭神大山衞命山神豐盤石窓神櫛盤窓神

諏訪大明神 富田一色鎮守也村中ニ在本祠二向拜殿二向社地東西
四十向

南北六向半 社地山神十祠アリ

聖武天皇 松原村鎮守也本社二向半拜殿二向半社地東西十三向
南北十六向半

相殿ニ山神十祠アリ

按聖武天皇天平十二年辛酉十一月到朝明郡ト國史ニ見ヘタリ又朝明行宮ハ
富田松原ニアリト云土人ノ天皇ヲ以テ氏神トスルモ故ナキニアラス由諸書ニ土人
太右エ内ナルモノ天皇行幸ノ時其家ニミユキアリシ者ノ齋ナリトテ是月十四日
ニオトウ講ト云コトナス神主ヨリ神酒ヲ送ルコトナリ又オトウ田ト稱スル由六畝
ハナリテ太右エ内親類共マワリニ作り米或牛ノ神主ヘ遺スコトナリト云陰地ナリ

若宮八幡宮 北村ニ在三尺許ノ十祠也社地東西四十向
南北十六向

山神社 同村ニアリ十祠也

正八幡宮 八幡村ニ在吉園一社ノ官ト云傳フ存勢園ト云傳ナトニ

書クコト也本社二向社地東西廿一
南北百向寛永十二年八月棟札下官ヨリ修

造セシモノト云

山神社 同村ニアリ十祠也社地東西十六向
南北四向

千頭天王 茂福村字城山ニアリ三尺半ノ十祠也社地東西廿六向
南北廿二向四尺

茂福家鎮守也ト云傳フ

稻荷大明神 同村ニ在吉村氏神也十祠也社地東西九向
南北十一向余

山神社 同村ニアリ十祠也社地東西九向余
南北七向四尺

齋宮大明神 此鶴村ニ在式内吉郡伊賀富我神社是也

由緒書云吉村忍領鶴村十三村ニ分リし時鶴村ニモ吉社敷請ス其後本末論アリシカ吉村ノ本社タルヲ以テ総社鶴神社ト称ス昔ハ社地七町余アリ官道八幡茂福福村ノ間ニ鳥居アリトシ其区今ニ官道通ノ掃除ガ有リ持セ其区ニ七ノ宮ト称シ田中ニセケ所ニ林アリ吉社ニ由緒アル地ナリ

天武天皇ノ此所ヨリ遙ニ大神宮ヲ齊テ給ヒ所ニテ此所ヲ齊宮ト云由緒書云大天知村地内ニ今齊宮村ト云所也吉社ノ旧地ト云云 天武天皇ノ額突セ給ヒ山ヲヌカワカ山ト云其下ヲ流ル川ヲ米後川ト云御役木ヲ焼ヒト云今ナ四川ト云コレナリ一浦庵雜記ニ此山上ニ東坂ト云所アリ明神大神宮ヲ車ニ載奉リ引セ玉フ所ト云 此説信 諸雜記ニ祭神大稻與命也

齊宮ノ籠 本社ニ同ノ社地 康徳共六向 由緒書云ニ社頭神明社アリ旧地ハ羽津村ノ内片岡山字神明トハ會所アリカ羽津村人他村ノ神セトテ差置ヘカラスト云ヨリ今ハ社地ニ安ス淡島社是亦社地ニアリ

惣社伊賀留我神社

大日靈尊

抑云ニ社監錫ヨ寄奉ル人自五十一代重仁天自五十四年示 相殿 天照皇大神官尾州中島行宮村ニ吉國葉系郡野志島宮ノ遷幸座在須四箇年此時相殿宮於朝明奉建則伊訶倭我神社是稱相殿美嘗後給所祀志河登一是此流富泉地故今自然ニ茂福登

申登可屋六十代延喜帝醍醐天皇御宇本朝三千一百五十ニ社内一稱今末世到利時移而登謂 其旧跡絶 世須年九月御祭礼現式嚴重ニ神事敏事昌隆 產子息災延命 齋宮大明神登 崇奉 留

真貝船大明神

同村ノ前田中ニ在リ村ヲ古宮ト云フ此木林ノ内ニ八十四方

ノ赤石アリ神ノト云祭ノ時神酒ヲカクルコトアリ貴船ノ神酒備上云石ノ色赤赤タル酒ニ酔玉フ云柿村貴船八同社也ト云 昔柿村ノ荒木宗左門知氏ナルモ 本社ニ三社地 東北三同 神林ノ石ヲ持来ルト云 南北四同

高野御前

羽津村ノ内ニ在リ志氏神社是也北勢古志云志氏神社ハ今羽津村ニテ高野御前ノイヌルモ是也天武天皇 東国ニ下リ給ヒ時給

鹿山中ヨリ日暮雷ナリ雨イタク降從者寒ニ堪サリケレハ三重郡ナル民家ヲ燒漸凌カメ給ヒ朝明郡迄大川ノ辺ニ至リ天照大神ヲ祭給ヒシノ木綿取テ後ヲモレ給ヒ故此地ヲ御後園志氏

出齊ナントトノ在付タル也其木綿ニテ給ヒ迹ニ祀レル故志氏神社トアカメタルナルヘシ不葉集ニ丹比屋ナリノ高ニ後尔之人守思久一傳 志氏野崎木綿取之流(野崎)而持又迹跡由境又衣寄ニ知水ケル志氏ノ准リ御被ヒル志氏ノ事リ由ル志氏ノ見

志トアル此事ヲ讀リ跡大川ハ今余内川ト云本社一箇ニ同ニ拜殿
五箇ニ拜殿ニ六同ニ拜祈禱所ニ同ニ拜殿ニ神在神木等アリ社地東北四十五同
末社千頭天王御山御前祭神大汝春日大明神八幡宮諏訪大明神
能(野)大神六社アリ

福世河大明神 同村字西山ニアリ社地東北廿同
天神社 同村字山下ニアリ社地東北廿同

嚴島大明神 同村字中ニアリ社地東北廿同
山王權現 同村字阿下ニアリ社地東北廿同

山神四社 同村字ニアリ何レモ社地
愛宕大権現 土世沢打ノ西ニアリ社地東北四十五同

小神ニ社 同村ニアリ孰モ小社也
住吉大明神 祭神市行 嚴島大明神 祭神市行 二社相殿天々須賀村ノ

鎮守社本社三箇ニ同ニ拜殿ニ同ニ社地
山神社 同村ニアリ小社也社地東北廿同
神明宮 豊田打ニ在氏神トス式以八十積持神社是也祭神豊受姫命也
古志等記説皆同也

社壇 五尺 雨盛鏡ニ同半 拜殿 二箇全社地 東北十五同 社地 東北十五同 山神小祠アリ

神明宮 豊田一色ニ在本社ニ同ニ拜殿 一箇全社地 東北十五同 社地 東北十五同
山神社 同村ニアリ小祠也

神明宮 白須賀新田氏神也本社ニ尺五寸 社地 東北十五同 南北十五同
注吉大明神 豊立廣新田氏神也小祠也 社地 東北十五同 南北十五同
八幡宮 大満宮ニ社相殿高松村氏神也 祠ニ尺九寸 拜殿ニ同 社地

神明宮 南福崎氏神也本社ニ同半ニ同 拜殿三箇ニ同半 社地 東北十五同 南北十五同
八幡宮 北福崎氏神也本社ニ同半ニ同 拜殿三箇ニ同半 社地 東北十五同 南北十五同
山神社 同村氏神社地ニアリ小祠也

神明宮 豊田出寄新田氏神也本社ニ同半ニ同 拜殿三箇ニ同半 社地 東北十五同 南北十五同
神明宮 当新田氏神也本社ニ同半ニ同 拜殿三箇ニ同半 社地 東北十五同 南北十五同

山神社 同村ニ在ナ祠也 社地 東北十五同 南北十五同
神明宮 龜須新田ニ在本社ニ同半ニ同 拜殿三箇ニ同半 社地 拾二箇四方
山神社 同村ニアリ小祠也

一目連社 同村堤邊ニアリ社一箇半 当新田ハナ村持也
神明宮 尾崎新田ニアリ本社一箇半 拜殿一箇半 社地 東北十五同 南北十五同

文久年中吉村用登、時勸請入相殿ニ春日大明神、熱田大神宮
住吉大明神、合祭 秋甚不社、小祠アリ
神明宮 申吉新田ニアリ、小祠也、社地 東西三向、南北五向
龍神社 同村ニ在小祠也

延喜式、神名帳ニ吉郡廿四座ノ内、石部神社ハ今貞弁郡石部村ニアリ
ト云、免上神社ハ同郡宇加村ニアリ、妙光宮ト云、大神社ハ同郡宇加村
ニテ三輪明神ト云、古志志守ノ末子アリ、氏其村ノ由緒書ニ載ル、外ハ收メ
其他十四座、皆封内ニ非シ、八田各々

神社 三重郡 附

神明宮 小倉村ニアリ、本社 東西四尺、拜殿 三向、社地 東西十四向、南北三向、勸請不詳

天満宮 同村ニアリ、小祠也、社地 二向

山神社 同村ニ在本社 東西四尺、拜殿 三向、社地 東西九向、南北廿一向

濱宮 神明宮 同村ニ新田ニアリ、本社 東西四尺、拜殿 三向、社地 東西廿九向、南北廿二向

山神社 同村ニ在本社 東西四尺、拜殿 三向、社地 東西四向

神明宮 吉崎新田ニアリ、小祠也、社地 東西廿向、南北廿向、明和八年、勸請入

千頭天王 本郷村ニアリ、本社 三尺三寸、拜殿 三向、社地 東西四尺、南北六十向、余 三十四向

八幡宮 同村ニ在リ、本社、小祠也、社地 東西十五向、南北廿二向

山神ニ社 同村ニ在リ、イッレモ小祠也

官田士権現 同村、大川ノ邊、西堤ニアリ、小祠也

白髮大明神 若宮八幡宮ニ社、相殿、南五味塚村ニアリ、ニ社 共ニ三尺ニ

雨宮龍神 同村ニ在小祠也

山神社 同村中ニ在小祠也、社地 東西四向、南北五向

神明宮 北五味塚ニアリ、祭神、天御中主命也、本社 五尺三寸、拜殿 三向、社地 東西四向、南北六寸、向 未社八社有

上下、諏訪大明神 祭神、事 此ニ社ハ楠郷領主楠十郎貞孝、元信、信州諏訪

ノ人、故諏訪神社ヲ此ニ勸請シ、代々氏神ト尊奉ス、社領、等々、今此未社トス、宇佐八幡宮、熊野

有、カト貞孝、没落、御社壇ニ焼失シ、今此未社トス、宇佐八幡宮、熊野

三所権現 鹿島大明神 正八幡宮 蛭子 愛宕山権現 皆吉社社地内ニ

アリ

天満宮 同村ニ在本社小祠也社地 東西十九間 南北九間
稲荷大明神 同村ノ北田ノ中ニアリ小祠ナリ社地 東西六間 南北三間半
濱之宮大明神 同村ニテリ小祠也雨屋復ニ向社地 東西六間半 南北三間半 前道路幅三間半長三九間
山神社 同村ニアリ何モ小祠也
茂大明神 南川村ニアリ小祠也
神明宮 同村ニアリ本社三三三拜殿ニ向社地 東西廿六間 南北廿七間
天満宮 同村ニアリ本社三三三拜殿ニ向社地 東西十間 南北十間
山神社 同村ニアリ孰モ小祠也
稲荷大明神 北ノ色村ニアリ本社三三三拜殿ニ向社地 東西廿四間 南北廿六間
山神社 同村ニアリ小祠也社地三向
神明宮 天満宮川尻村ニ在何シモ小祠雨屋復ニ向社地 東西十一間二尺 南北十四間五尺二寸
神明宮 社軍神 同村ニアリ本社同堂小祠也雨屋復ニ向社地 東西八間二尺 南北七間二尺
山神社 同村ニアリ小祠也社地二向

業名郷土誌叢書第百十編
 業名郷土誌 第四卷
 昭和二十八年五月二十日發行
 北勢史談會
 郷土史談會
 振替口座名古屋三九三
 三九三



桑名市立図書館

0120032958

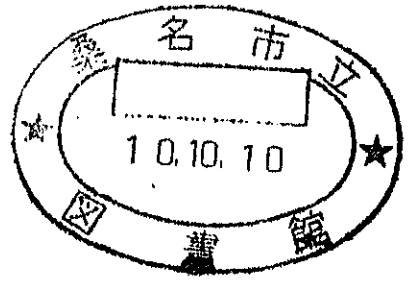
12

桑名志

桑名
郡
志

三

染名本全六巻を一巻と改すのみと
 なりし一丁大体系定を通り刊行未
 きたので九月で完結せしめ
 御入念下まつた会員の方々に多く御
 礼を申上ます
 十月から三期刊行物として
 小本きたた。執の全見前更
 十月より改題
 各種書籍を平
 のどちらかをおまいたいと思つて居る
 まう近藤を主とし御礼を傳へて
 次期刊行物を決定せしめたいと
 存して居ります。次回も多数御入念
 下さるやう今から御願ひして居ま
 います。 北勢史談会
 山 辰五郎
 御礼を申上ます。十月まで御願
 ひ未小はと存して居ります。



業名志料 卷之十八

寺院 城下部

照涼寺 東方村ニアリ東海山泥洹院ト号ス淨土宗鎮西流義ニ智恩院
 末世公家ニ御菩提所ノ世境以東西百三拾壹間南北百四拾貳間本堂十一間
 半書院六間七間庫裡十三間十七間半縁起云寛永元年松平隠
 州定勝公御逝去小定行公台許ヲ得一寺ヲ建立アリ出雲寺ト称ス遠州
 掛川天然寺傳舍ニ甫ヲ以テ開基トス寺領三百石ヲ附ラル間ニ智恩院
 院末トル後定行公松山ノ御所替我大鏡院公大垣ヨリ唐城ニ御徙セ其
 時崇涼寺住持塔頭ニ院共松山、移サル御唐ノ御同家ノコト故院ニ置テ依
 棟トテ其後院ニオカル公智恩院ヨリ深谷長意ヲ請テ住持ス二百石附セラ
 ル松山ヨリモ御件供料トテ百石寄附セ寛永三年將軍公御廢中御
 逝去出雲院殿ト奉称ニ付今ノ名照涼寺ト改テ神ノ御遺跡ヲ山正保三年
 本山ヨリ直參内金襴衣ヲ免許ス宝永中高田ノ御所替ノ後モ同棟也塔頭
 智光院 智徳院 授法院 後山ニ出雲院殿 松澤院殿 積善寺
 リ大鏡公御唐御鳥居アリ左右ニ殉死セシ楯ニ叻右衛門福本行藏ト云アリ
 後山ニ金堂梅ト云梅アリ改彫玉ニ東方照涼寺ヲ梅ノ花金龍寺ノ移ニ成ト云ん花
 々頃まうて一見すハ在らずにちかしの夫がうたぐれ唯今はかりに思ひやられ
 たりかみつし花に心を入相かゆてまもふ方多し名残正御名其外詩哥アマアリ
 也云

圓妙寺

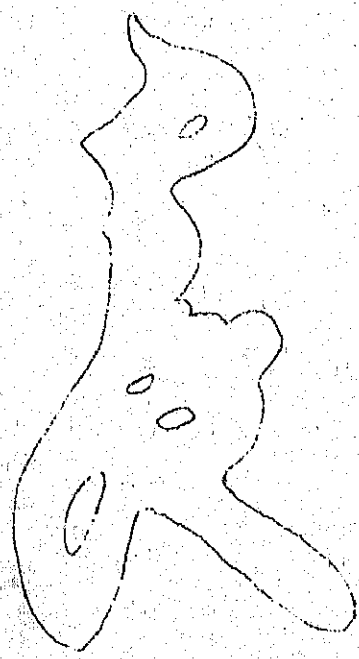
東方村ニアリ光徳山ト号ス法花堂身延山末ニテ御菩提所ノ一也
 境内一万余石四十坪程縁起ニ明暦三年光徳公御病氣ニ付御母昭安院
 殿ヨリ尾州名古屋 日蓮宗 大光寺ノ白隆ト申僧ハ御祈禱ヲ仰付テ此僧
 城下ノ顯本寺ニテ白日御祈禱ス其砌公ハ攝州有馬ハ御湯治御帰路ト喜御
 ニテ御逝去アリ顯本寺ヨリ尊嚴御迎ニ登リ顯本寺ニテ御入命龍矢田川有馬
 ニテ御葬礼アリ顯本寺ノ寺中 大泉院一寺ヲ取立ラシ 光徳山園妙寺ト号シ
 引道ヲス此今ノ園妙寺也 由縁書ニ天應寺ト云真言宗古寺 塔頭三院殉死三人ノ
 院号ヲ糸ス法住院ハ タン賀主馬之助也一安院ハ堀田五郎右工門也蓮心院
 ハ長瀬四郎左工門也此三院ハ御所替ニ從テ高田白川ニ移ル此ハ養仁珠仙
 妙ニ養アリ天和三年十一月十六日 公御空御逝去養仙院殿ト奉絲江戶
 高繩ニ一寺御建立高林山養仙寺ト号然ニ新地ノ寺院禁セラルニヨリ
 其堂宇ヲ此地ニ移トニ養トス御院号ノ字ヲ分テニ養ニ右付前ノ三院ハ本
 堂ニ附此ニ養ハ併殿所也毎養 現米五人扶持 寺領ハ二百石也宝曆中諸座
 此三院ハ御御替ニ從テ高田白川ニ移ルト云不審也内妙寺ハ高田ハ不末
 移ルト云不審也内妙寺ハ高田ハ不末 室曆年中詔立内極也ヨリ直ニ
 白川ニ来リトナリ高田ニ在取節 此ニ養ハ養セラル 諸座御縁後未建大福田寺
 内妙寺ト云ナシ此地ニ本坊塔頭 天祥寺跡ハ移リト故暫其跡ヲ点トサレ置ル御屋
 内妙寺ト有シナリ

五向 客殿 七向 庫裡 六向 方丈 二向半 惣門 四向 公御座後山ニアリ殉
 二向 客殿 五向 庫裡 十三向 方丈 十三向 惣門 四向 公御座後山ニアリ殉
 死、三人墓 御側ニアリ境内鬼子母神 巖屋大明神 多度大神 官稻荷
 大明神ノ社アリ

圓妙寺文書厚シ
 其院依 御由緒 辨紋 白
 御加衣 永世 拜領 之 旨
 勸修寺官 御之 氣色 祈候 也
 仍 執達 如件
 文政八年四月十一日 一 殿務 大藏 御
 御坊

圓妙寺日俊 御坊

圓妙寺住職之事
 三味堂 檀林 其能ク
 可為入院モ一ト毎ニテ
 住職之 法類 或ハ
 門葉之 僧ナリトモ
 階級修學ニ云全能
 之モハ 不及入院ニ
 沙汰事
 文化三年十月廿五日



長壽院

寺町ニ在松山嶽山ト号ス臨濟宗也古々町屋川此辺ニ流レシ時八分蓋ト云其位餘ナリレカ一寺ヲ創メ陽向寺ト称ス元和四年松平隱州定行公御室御遊去當寺ハ莽ラレ長壽院殿ト謚シ乃チ寺号トセラル公家御入部ノ後モ御菩提所同様也見聞畧志ニ臨濟寺田妙寺大鏡公御時出領室和尚公ニ請テ御東帶ノ御木像ヲ彫刻ス珠ニ思召ニ叶ノ申仰有リト乃御像並御歴代ノ御位牌ヲ安置ス寛政申御木像ヲ白川ノ御徒ト御城内ノ朝陽山ニ御安置アリ百川ノ御移ニ寛政申上八談世天明四年也先公御自ら御画像ヲ画カシノ吉寺ニ納ル寺領百石御寄附也

神宮寺

春日ノ神官寺也社内北側ニアリ元禄ノ災ニ破失ス涅槃像一軀寺ノ故物ナルヲ今重坂村觀音寺ニ藏ス記ニ永禄四年辛酉閏三月五日繪師芝法眼尊仲假名實珠房依志執立者也書写之日教廿日也宿大泉院神藏院南陽坊寶泉坊年行事之象徒奉先院法印舜濟総持坊長賢吉祥坊隆賢定光坊慶海田中坊政舜妙坂坊賢政松之坊本親大泉院法印信舜笑泉坊真宗院三崎春日大明神西宮神宮寺法樂合當住物也道俗男女以志取立畫日寫畢事保廿二卯二月十三日午刻寫之官臣氏トアリ

佛眼院

奥町西側ニ在寶興山喜禪寺ト号ス天台宗ニテ東叡山支院也延崎春日神社ノ別當ニテ御祈願所ナリ客殿八間大間本尊文殊觀音地藏三体厨子ヲ安ス御仏殿三間半公儀台徳公ヨリ文昭公マテ御位牌アリ庫裡九間境内東西北ニテ廿二間半南ニテ十九間南北東ニテ五十三間西ニテ五十一間除地也文書百アリ

佛眼院者歴世安置春日大明神社僧莫敢懈法供然境以狭隘而僧尼迫近矣今因抽大樹御祈禱之精誠以其隣地二百甲四歩令附于之畢宜被廣ヨ制之狀如件

寛永十三年

八月十八日

越一守定綱

佛眼院法印御房

寺記ニ元臨海院ト云傳教大師三壽明神ニ詣シ仏法興隆ノ地ヲ祈ラレニ西ニ當リ普薩ノ尊容ヲ拜ス乃一宇ヲ建宝興山佛眼寺ト云醍醐御時三壽ノ神宮寺ヲ葺サシム改テ法喜禪院ト名ク弘安ノ頃坊尊再興ス應永二年三壽遷官ノ時住持榮家導師ヲ勤ムト云賢ノ五記云其天正十三年有故此叡山ノ末寺トナル自是以前ハ当国総本寺ト称ス同廿年当社造營ノ時住持松進導師允申御心願厨子ノ重ニ書付アリ元禄兵亂ノ後自他宗ト差別ナク住持入権實記兼頼云吉寺卅三代賢ノ重就南光坊天海僧乙請其弟子天壽寺ト爲後住後

天尊社領ヲ申下ス 嘉永春ノ代ニ御代官ヨリ春日領一百石ノ御書付出ル
 嘉永元代ノ實永十三年御朱印相濟此時ヨリ東山ノ支配ト定ル由緒書
 二日夫山勅命會方部經ノ節八十人頭作勢播戶端頭被仰付公儀尊牌
 拜礼ハ侍從席ニテ拜ス永錢三十貫文下ナル慶長自記ニ談議所ト云ハ
 當寺ノコト也後ニ公武御歴代ノ尊牌ヲ預ル御供料ヲ附セラル御所替
 後假ノ尊牌ヲ残ト下リ今ニ長押ニ葵ノ御紋残リ
 見聞書志ニ志城經官ノ前今ノ本丸ニ丸ノ辺ニアリトナリ私日本丸ノ内ニ古
 キ石仏石塔ナト災後ニホリ出ストナリ本多家夫日初請ノ時社カ御書トシ
 神宮寺兼帶ス 城志寺ニ弘治三年鬼島道善(修理大夫祖父)天正五年社屋左
 工内道心(佐藤氏御先祖)天正十一年伊藤武左工内石碑アリ常久院殿現存ス
 又慶長自記五年春月奉ノコト記シアリ本多ノ春日勸請時別書トス非人
 寺領一百石ノ内五十石志寺ハ收納ス空永年ノ奥町侍屋敷ヲ寄附
 セラル 此説寺説ト相違ス猶春日社ノ條下ニ論ス寺空ニ伏尊法印書寫行
 秘案記殘篇奥書目

此許可行情在之昭畧行根本印所用
 西都大日印為合行也此故安貞也
 三部都法大阿闍梨前僧正業澄記之賜
 右御本書寫之号

清淨金對 澄真記之
 建武元年七月廿五日書寫之已十冊
 同廿七日一吏

真家鎮
 嚴家
 真家
 真家

元文年直然法印寫密藏行用秘密記十二帖是等ヲ以テ志院ノ旧地ニ
 ミルハレ寺中四寺不存淨光坊終持坊大壽坊吉祥坊存大明坊
 末寺重地觀音寺阿弥陀堂土六向四面享保三年文會改一庵ヲ立
 田向庵ト云山玉吉祥天稻荷ノ小社アリ辨財天本社小堂外屋ニ間
 境ハ十四間ニ南北 北本林下ニアリ木像也殿内ニ画像一幅
 境ハ十三間余 此所ニ大角印アリ

西園寺 殿境
 妙音天女尊御影
 山本殿依御所奉下之
 角印丸印

慈源寺

殿町南側ニアリ本堂燒失未建庫裡五間四面淨土具宗
 高田川一身田末世視象生山ト号ス開基詳ナラズ 由緒書ニ古八真言宗
 境ハ 東西十間五人余 相傳古ハ境改廣ク今ノ三寺門南ノ土手適邊境成也
 時ノ仏具五輪ナト掘出ストアリト云

淨土寺

三寺通北側テリ本堂十間三尺九間三尺書院九間三尺庫裡

十間ニ玄奘境内坪敷二千七百七拾九坪八分七厘淨土宗西山派也袖野山西岸院ト

糸ノ西山寺ヲ喜樂院ト号シ喜寺ヲ西山院ト改ム忠一公何堂ニ喜樂院ト親揚ノ本寺章

都西山樂生光明寺宗山永觀堂禪林寺ノ二寺也古寺一歷代記ニ永

兼四年地蔵出現ヨリ室治元年(由緒ニ嘉祿年中トナリ)道觀淨土宗トナリ中興

道觀ヲ天門ト云フ天堀入院迄ノ間分明ナク元禄六年前迄ハ藤次上人筆

ノ名子賜書ニ應永九年四月十五日於熱州葉名淨土寺書目之下アルモノ存リ

澄空子工足之永元年(職ノ頃トナリ)寺旧地元田町西側伊眼院ノ北ニアリ慶

長六年町割アリ時三出リ移リ自記慶長六年八月淨土寺三出リ移リ五ノコト同七年七

八幡新屋敷ハ移リ五ノコト同七年八月二日普請初也同十四日

敷ニ小屋掛テイタサレシ也八年二月八日淨土寺新屋ニキハ名ツキ十四日淨土寺ノ地并新寺ハウ

ツリ玉フ四月十五日淨土院柱立檢此書ニヨル松糸ハ今ノ東町吉津屋ノ辺ニアル伊眼

院北ト云コトフニナリ袖野地亦ニ旧地ハ今本町中切向ニシテ三寺社ト一境ニテ三寺ノ

本地堂又ハ神宮寺トイハルトアルハ不覚御ナリ

同丁五年忠勝公御逝也西山院殿ト号ス美濃守殿一寺ヲ建立西山寺ト

号シ當寺住ニ御菩提所ナリ元和四年本多家姫路ハ御所移リ時西山寺舊

寺共彼地ニ從サレ其後本多家下野吉河ハ御転封又石州濱田ハ御從時

淨土寺一当地ハ之先ル實永七年當寺九世澤巖西山寺ヲ請ニ當寺ヲ

從之其支書

業布表西山寺日辨ノ之儀ハ先父御孝養之夕メトシテ建立ノ処也

當家中興之御座跡也依之御大切ニ被思召候其元申請永々相續

之儀令其器量被仰付候此後朝暮勤行臨時香火不可有退

転者也此時西山寺一寺ニナル松山家御移封之後モ當寺ハ御歷代

尊牌被指置照源寺御建立也御香火院夕リ照源寺御建立後山堂

源院殿御住持ハ被指置ト云祖傳御入城ノ後モ忠勝公御座ノ御參詣

アリ御忠一家元功之至タリトテ御三入屋ノ御修西復有之

過去帳慶長十四年ノ洪水ニ流矢其残竹間

天文十一年二月廿二日

三島仁淨勢禪門 河内裁人 討死

察仙道口禪門 太田藤一 討死

溪翁宗川禪門 太田 討死

池冷宗蓮禪門 大田美助 討死

日保榮秀禪門 太田ナ 討死

トアリ此ハ織田家北勢發向ノ時ノコトナリ 又山号ヲ袖野ト云 見聞要目志ニ

月定法園禪門 下里民部 討死

玉菴淨琳禪門 河内新七 討死

桂月宗茂禪門 太田藤三郎 討死

梅江大春禪門 大田孝三郎 討死

徳夫 禪門 太田孝九郎 討死

室治以前ニ三出可ニ執見左車云人アリ鎌倉ニ下リカ死ニトスル時従者一
命ヲ領地ノ段登ヲ淨土寺ニ寄附セシメ後從者箱根ヲ通りニ在車ノ是アラ
ハレ故郷ノ訖徳ニトラ左ノ神ヲ吳レトツ其神元祿ノ從迄北市場ハ幡ノ
内ニ裁シテ燒矢セヒトリ今ニ忌月忌日ニ法會アリ木像ヲ安ス鳥帽子直垂
坐像ナリ石碑ハ碎シテ改建ス室治元年十月七日トアリ

天和二年飢饉ノ時住持助參勸進施行自二月十一日至四月十日毎日煮
粥施行ス所生信在家者千六百余人乞食者千六百人
飢饉ニ米粥共ナリ
施行ヲアス共頭數
二千三百人以内六百五人ハ町々
因窮人六百八人乞食アリ 御聽ニ違レ感心セシ元祿ノ災本坊塔頭記疏ノ
願迄悉ク燒矢ス乙徳二年本堂再建身保廿三年庫裡出来又塔頭
淳光院眞性院永眞院也昔ハ總持寺ト云テリカ寛永中住持長嶋
城主松平能登守殿 手習ノ師シツリカ園繼寺ヲ創ラレ右ハ入院總
持院ハ廢スト也

性善院

鍋釜町東ニアリ 地内 當寺ノ地也

十王堂

門前ニアリ三間三尺ニ貳間三尺 堂元大福田寺ノ廿六堂ニ
小野山ニアリシカ松平下總守殿天祥寺御創建ノ節此ニ移シ十王堂ト云今
棟瓦ニ梅鉢ノ御紋アリ

大園寺

入江町ニ在本尊三尊阿弥陀本堂七間 庫裡 四間半 境内

東世同舍南十一間五尺余 鏡知山ト号ス淨土宗也古ハ天台宗ニシテ山ニ在
西廿一間余北九間五尺余餘地 鏡知山ト号ス淨土宗也古ハ天台宗ニシテ山ニ在
トリ開基ヲ呂運ト云ト貞觀ノ頃ノ人也其後朝明郡馬場村住僧ル今
安置スル藥師ヲ波々藥師ト称ス馬場ノ訛也又高倉ニモアリトリ
所藏ス十王箱ノ裏書ニ應永八年勢州赤糸郡高倉南境智山大和寺ト
アリ本多家町割ノ頃一色町ニ從ス一色治二年今ノ地移ス本堂棟札
ニ一色町ト見ユ寛文二年堂町ノ光明寺ト号テ論ノコトアリ光明寺末上
觀立日寺 銀治町横丁ニ在 江南山ト号ス 淨土宗ニテ旧名ヲ長福寺ト云
古圖ニ正色禰寺ト云 境内 南北三十八間 東西北ニテ七間 本堂 三間半 庫裡 五間
元土津屋町ニアリト云 身守保年中將軍山家ノ御幼名ヲ避テ改ムトナリ鏡
守社神明并天合殿ニ祀ル

榎大日

東一色堀端土居上ニアリ貳尺計ノ石彫刻ス榎ノ大木ノ根ニ卷コシ
今ハワツカニ見ユ此大和寺ノ旧地ト云伝フ

光明寺

新町西側ニアリ本尊藥師脇侍十二神將本堂七間半四面庫
裡十四間ニ五間半境内東西廿三間南北廿六間 免地 境内淨土宗
流義ニテ瑠璃山 醫王院ト号ス京都 西木生 光明寺 東山 禪林寺 西寺
ノ末世開基年代不詳寺記ニ元八令津ニアリ吉澤海院ト稱ス今春日ノ

也世 神山記ニ云フ 慶長町割ノ時此ニ移サル處在物箱内記ニ奉寄進
當六曼陀羅業名今津光明寺常什文龜元年閏六月八日上ル是也
袖山見聞記云寺本尊藥師八立木意宿ト云者ノ安置也慶長ノ
開山知道中興養園ニヨリ六代光光之伝涅槃木像ノ裏書實文八年
十五世光空トアレ其世教ノ詳ハルヘカラス寺ニ三寺春日ノ神面アリ
元和五年八月十四日氏人三十四人ヨリ奉納ノ證文アリ瑞璃山光明寺
春日代寺而秋八月十八日祭礼ノ会所也故尋旧儀以奉納尉春日大
興姥三寺大神面於寺院トアリ寺ハ寺町年寄十八人ノ母那ルヲ
以テ春日ノ氏寺ト云神事ニ預ルコト也故此面ヲ寺ノ鎮守ニ納世
塔頭知福院外ニ淨信院 吉祥軒ノ名アリ鎮守千頭天王ノ社在外ニ
地藏堂在リ

光 徳寺 新町ニアリ本堂七間ニ八間庫裡九間ニ書院七間ニ鐘樓門二間ニ
鎮照山ノ額ヲ打取ニ凝念院ノ額アリ本尊坐像阿弥陀鎮照山凝念
院ト号ス淨土宗智恩院末世開基ハ花頂山廿七世一心院三世光念
上人本山退住ノ後隱居ニテ寺ヲ草創ス今ニ智恩院隱居所
ト称ス實文寺記ニ岡寺淨空寺記ヲ引テ宗祖上人繼承錫於遠州柳池

時信宿業名池洲云云ニ寺光念上人遺堂祖之加進隱居業名池洲創
念佛場号老徳寺慶長八年爲智恩院末トアリ樓門ノ名ニ貞正元年
トアリ境内池洲八幡社アリ塔頭心喜院 祿專院 住徳木院

十念寺

傳馬町西側ニ在 仏光山九尺院ト号 淨土宗鎮西流智恩院
末ナリ本堂八間ニ八間半書院六間ニ庫裡四間ニ茶間三間ニ鐘樓總門
境内 東西五十三間半南北 北大間四人全 北世二間半 寺ハ天平五
年寺中一 行基ノ草創ニテ旧ハ朝明刹切畑村ニアリ朝明寺ト号後廢ス
寛元ノ頃一宇ヲ建 九岳寺ト云後田光村ニ移シ今山号院号寺号
ヲ改ム 本尊ヲ田光根元佛ト称シ大永元年住持圓的寺今ノ御城
中御本丸ノ地ニ移ス大永十四年御城 筑本ニ付洲寄八幡宮ノ東油屋
敷ト申所ハ移サル御城守渡ニ地藏尊ヲ殘 十念寺地藏ト称ス今アリ
慶長六年町割ノ時今地ニ被移元祿三年八月十四日境内狹隘願言リ上
野村 官山ノ北谷ニ中島山北地ニ被下圍光大師像在リ大師ノ弟子
正法房ノ筆ニテ大師鏡ニ對シ相違ノ所ヲ直シ四方四向ノ積寶ノ書ニ
問四才 仏鉢延宝七年大念寺和尙叙伝銘屋町ニ爲居毎月齊日夜念佛町中ニ遊行ト其
有之 施ニテ千体佛ヲ作ス

壽星寺

傳馬町ニ在妙延山ト号ス法華宗身延山末世本堂八間 庫裡

五間ニ 建自院ニ 玄閣ニ 廊下鐘堂 境内南北廿五 除地也 縁起
慶長十五年 伊谷云 始者天台宗ニテ 妙蓮寺ト云 開基不詳 文明申 國教院
日意 初上殿山ニ住セシカ 身延ニ到リ 日朝ラ師トシ 後此ニ 婦リ為 法花宗
祖 越樋口 蓮久等 信服ス 殿山コシラ 怒リ 同五年 龍末 西日ノ 戦ニ日
敬 日登等 戦死 此時 堂舎 魚土トナル 是歳ヨリ 改称 妙延山 壽皇寺
天文八年 山僧 再ヒ 来政 同十二年 身延山ノ 日傳 刹條ヲ 授ク
定 日傳 在判

公孫孤鐘貞重
元年 寺時也
頭本寺有坐論
壽皇寺
塔頭 野寺
ヲ開カレ

先師以來之法度 條目 堅可相守之事
住持被申出之儀 在之者 真俗不可有違背之事
於住持 有疎遠之族者 真俗遂談合 早可追出寺之事
天文十年 壬寅 九月

永祿十二年 織田信長ノ 亂ニ 檀越 樋口 淳三 十女 備討死ス 諸堂 田祿スト云
慶長十五年 人ニ 身延山ニテハ 内陣 坐才甘ニ 列スト云 日進記 世ニ云 寺
ハ 古ハ 今ノ 一色町ニアリ 慶長町 割ノ 時此ニ 終サレ 番神 堂ニ 開基 稻荷ノ 利支天
願證寺 傳馬町ニアリ 長島山ト号ス 淨土 真宗 高田派 一身田 再修寺
末世 初ハ 所派 ナリシカニ 徳ノ 頃 改派ス 天文年中 本願寺 蓮如 十二男 蓮

淳長島 杉江村ニテ 開基 由緒書ニ 上近江ハ 幡ニアリシヲ 蓮淳 杉江 四世 證意
元龜二年 長島ノ 城ニ 入 是年 病死ス 其次子 顯 忍 相繼テ 長島ヲ
押領ス 織田信長 教々コシラ 攻下ス アタハス 天正二年 信長 文子 四カ
ヨリ 攻入 城 中コラニ 兼南 退ク 顯 忍ハ 駒江 野田 脇ニテ 自殺ス 其子
准惠 時ニ 歳ナリシヲ 捕圍ニ 包々ニ 入江ノ 内ニ 投入シ 同郡 南郷村
ニ 流寄シラ 村人引ヒテ 密ニ 養育ス 曲直 臣家ノ 代ニ 此地ニ 再ヒ 願證寺
ヲ 營造ス 爲 院 家 御坊ト 号ス 乙 徳 中 琢 哲 言ノ 代 改派ス 此時 門徒
比 百ハナレテ 寺 裏 廢ス 本 堂 上ハ 一身 田ハ 引レトリ 今ハ 堂アリ 竟 東 西 九ノ
南北百 唯 鐘 樓ノ 旧ニ 依レリ 見 聞 覺 志ニ 大 鼓 橋ニ 鐘 尾アリ 長 島 殿ト云シ 後 主ノ
堂ノ 棟ニ 鶏 尾 在セリ 全 凡 寺 祠ト 古 同ニ 諸 堂ノ 回ア 八ノ 十

長圓寺 傳馬未町ニ在 大悲山ト号ス 初ハ 真言 宗 世シカ 後 淨土 眞宗 派 派ト
ナル 旧 述ハ 益田 庄 北 北 郷ノ 内ニ アリト云 慶長 二年 總 堀 出 来ノ 時 今ノ 地
移ナル 明 徳 五年 本 堂 寺 裏 書アリ 本 堂 五 間 半 庫 裡 三 間 半 坐 敷 境 以 四 畝 十
除地 貳 畝 六 分 十 年 二 頁 地 也

報恩寺 謝徳山ト号ス 由緒ニ 高 境 内 東 西 七 間 餘 除地 傳馬未町ニ在 淨土 眞
宗 派 派ナリ 開基 不詳 寛永 五年 寺 号 免 許アリ 本 堂 四 間 半 庫 裡 三 間 半
坐 敷 二 間 半 本 堂 寺 阿 弥 陀 立 像

顯本寺

新莊町東側ニ在リ持原小境知日堂ト号ス法花山号身延山末也表彼
公ノ御住牌ヲ安ス通結圓妙寺ノ條ニ見ユ見圃聖志ニ元天台宗ニテ大泉
寺ト号ス旧地城中ニ九ナリトリ寺記ニ云身延山十二世日意永六十年赴京此
有小梵刹日大泉寺日立見改鉢顯本寺坊舎十九院後衰廢唯存大
泉院一宇四日市瑞代官水谷九左工門狭日透修造詔日意之遺迹
其後久松忠義買地寄附之其子義重去打文右工門建立空六宇
寄附金塔顯大泉院其南柳院実成坊ト云ニ宇アリカ今ハ
廢ス大泉院ノ手水鉢ノ下ヨリ世世日意ノ石塔ヲ
堀出ス中史ニ経感ヲ建ス四ノ文字アリ寺年也 文政二年自火ニ不殘積手ノ假
本堂五向ニ八間 羊庫裡十一向羊六向境内表南北卅六向余集表
廿五向東西卅五向十年

般若院

新莊町ニアリ境内十四間四方免陰地也當山以修驗宗也旧ハ方丈川山カ
福寺ト稱ス又福壽院トモ云久廢實永中大鏡公ノ時時遠州掛川ヲ成軌
院ト云修驗ヲ忍シ也院ニ住セシメラ旧地ハ八幡町ニアリカ後此ニ移サレ八幡社
明福荷社アリ 古圖ニハ幡北側ニハ幡社 上庫裡 五向羊
ニ社相並ツホ其一ニハ祈禱所ニ向羊

不動院

龍宝山妙見寺ト稱ス新莊町ニアリ真言修驗ニ三金院末也寺記ニ
古ハ真言律院ニテ天林寺云廢絶セシラえ和申松平陰州公ノ時遠州懸川

不動院

不動院ヲ此ニ移サレ祈禱所トス其頃ハ寺領ニ百石也實永中大鏡公西方村
竜宝山妙見寺ノ稻荷所禱休也妙見寺ハ寺院ノ配下故山ト号ス寺年ヲ
寺院ニ移シ用ヒ寺領廿俵下サル 稻荷妙見ノ別當ニ兼ス見圃畧
志ニ走井山勸音ノ別當トシテ祈禱所トナル 寺領ハ百石ニテ塔顯覺壽院
代々法印位也

取勝寺

新莊町ニアリ浄土真宗西洲也坂手山大通院ト稱ス古ハ真言宗ニテ
長島下坂手村ニ在リトシ本堂ハ向羊書院 五向羊 一庫坐敷 四向
所 十間羊 茶所 三向羊 玄關鐘堂鼓樓 寺アリ境内 東北西向余開基
ハ永仁ノ頃教祐ト云佛本願寺覺如ニ從テ改宗ス西勝寺ト号ス末寺
百八十箇寺アリオ八世祐恩寺ヲ其子克祐ニ謀リ香取法泉寺ト稱
辰ノ末寺サテラ令ソ天文七年住持教誓被後去奔堺遍乘寺其
勢丹羽定直者 薙髮 号了誓 元龜申織田家攻石山時有功
准如以了誓爲西勝寺 十二世天口中從 于尾州海西郡立田村又從
干此 由緒云自辰田吉津屋町ニ從ル境内一町四方 東西今派ノ時 東属金寛
了處長所創ノ時三崎内ニウワサル

養泉寺

新莊町ニアリ蓮花山ト号東西十間四尺南北十一向屋敷 八向
了處長所創ノ時三崎内ニウワサル

願證寺ル家老下向豊洲子金人長島落居ノ後本家ニテ用基ヲ願證寺々中ナリシカニ徳中願證寺改洲ノ時從ハスニテ取勝寺ニ屬居ノ享和ノ手中手扱ニ分新町ノ空地ヲ願ヒ候也且那集本會所ニ候ハ一不昔新地ノ棟ニテハ御法度ノコトナリハ鳴物ノ説法ノ法話等ハ又テ不相成ヒ自ミテ夫ヨリ新町ニ住居依之宗門ヲ誦願等ハ最勝寺境内ニ養泉寺ト認コト也

法盛寺

新葺町アリ淨土真宗西洲也古ハ天台宗ニテ三州ノ願郡夫刻ニアリ阿弥陀寺ト号親鸞鳥道翁ノ時弟子忠心圓房ヲ住セシ此ヨリ當宗トナル忠田ハ奥州秀衡持念佛ナリ由テ政齒吹ト稱ス見開原志ニ本尊ノ遺體形ヲ佛付アリ天和貞亨ノ頃志ニ遺シ修復セシ其後見金引替ニシテ六世林慶乱ヲ避素名郡外田左屋町ニ移ル長島一際ノ時得末ノ什宝散失ス此時法盛寺ト改ム見開原志ニ地ハ今ノ新葺屋平邊ノ地故水ヲ去トノ意ニテ盛榮ヲ祝シ法盛寺ト改ム今ノ新葺屋址ニテ敷ノ中ニ三尺斗リノ五仏アリ柳堂ノ古仏ナリト稱ル今ノ新葺屋十三世寂然本願寺准如ノ嫡孫故准連枝ヲリ須孫檀免許アリ末寺五十七寺アリ塔願善龍寺教宗寺西福寺甚久寺照林寺

旧記ニ今ノ色ニアリト云

公私刊録ニ寛永元年柳ノ下法盛寺且才人別奉加ヲ以

不遠寺

去此山ト稱ス新葺敷西ノ町ニアリ境也南北世同陰地也淨土宗光明寺

揚柳禪寺

新葺敷西ノ町ニ在境也南北世同陰地也淨土宗光明寺鹿兒島福昌寺ナリ開基不詳旧記ニ以前ハ長生寺ト云旧地ハ今ノ手木長屋ノ辺リニテ天武帝行宮ノ邊ト云寛永中今ノ地ニ移レシ也本長屋ノ所ニ鐘銘伊勢州素名郡坂塚春持統帝潛竜之旧址而御揚柳寺トナリ後建梵刹額曰揚柳寺帝登程後国子安寧縁之稱柳猶存等後建梵刹額曰揚柳寺帝登程後国子安寧縁之稱安国山又云天正中高山禪師末月世薩一福昌紺宇再隆末至一百載皇地尋邊猶不出沓洲之中云是以其既不思各ヲ見ルハレ東照宮御画像ヲ藏ス定弘公御宇前十六将ノ因ナリ公子知幼ク頃時此寺ニ給フ時御重安ノ御島ナリトテ御堂附アリト云

真如禪寺

日輪山ト稱ス新葺敷西ノ町ニアリ曹洞宗色本堂六向年禪禪禪五向境内西三向南北六向陰地也本尊釈迦寛永十二年御入城頃遠州

樂川真如寺住僧高山ノ御手羽目ノ師タル以テ招カセラレ斬首御城ニ留置レシカ後寺地ヲ賜リ野心川ト同シ山号寺号ヲ用ラル其御佛供料々儀々賜リシカ今ハ五俵ワリニナル御位牌ヲ安置直ス觀立日堂金田比呂御在

舟天社十堂土 鎮守寺七社ナリ

海藏禪寺

今一色寺町ニアリ法性山ト号普門洞堂之開基不詳近年本

寺町改ノ時

四天王寺時州ヲ開山トス神統書曰安濃津四天王寺末三ノ十七世時州ヲ開山トス本堂七間半

庫裡七間

禪堂三間境東十ノ四ノ八ノ南北ノ寺設ニ旧ハ西方村ニアリ

今ハ木ト糸スル所也其時ハ東明山海善寺ト称セシトリ今其地大空院

ト云修驗住ス糸天十堂一秋昔糸糸荷ト社ナリ

江州和尙海藏寺鐘銘 存勢州 葉名邑 法性山海 一禪寺者相

傳 往昔列乎太涼之派下申古有故清州之四天王寺時州禪師

而為第一祖紹續法燈五世于今

本統寺

寺町ニアリ淨土真宗 東本願寺輪番所也本堂十三間四尺

十五間余

八棟作リト云書院八間半廣間十一間台所九間四足門

二間半

茶所七間余鐘樓 鼓樓 一切經藏アリ境內東西六十間

三間半

元龜天乙ノ頃攝州石山本願寺織田信長ニ攻ラレシ時諸國門未嘗

評議所ヲ構ハ本山ニ安穩 守ヲ遣ヒカ尾州勢ノ門末此地ニ一所ノ道場

ヲ構ハ評議所トス今寺ト糸シ旧地ハ今ノ地ヨリ西ニアリトノ慶長

六年東西合戦ノ時掛所トナル故地ノ長女花山院忠長卿ニ嫁シ

ニ嫁シ給ヒシカ後ニ法華ニテ教證院ト云今寺ニ一ト向アリ寺後カセラシ素

名御坊ト号寛永ノ初ニ宣如一嫡男宣惠教證院養子トシテ下向

アリ寺量院ト号此時迄寺号ナシ因、ト号其後琢如上人ノ男

教惠住持 惠澤院ト云慶安三年始テ本統寺ト糸ス又云貞吉元

年琢惠退去ノ後河州八尾大信寺兼帶元禄三年辭退回四年ヲ

輪番所トナル公私録云寛永十八年本統寺 創建此ニコレハ本統寺ノ名

寛文五年圓禄ス貞吉三年再建ス寺中佛乘寺旧名法 正福寺法 覺

摩房ト云配下末寺勢尾濃ニ貳百餘ヶ寺此地初メノ香取法泉寺

ノ地ナリシカ掛所トナリ立ノ時 法泉寺 香取、引ヒト也地子孫ヲ近頃迄

法泉寺ハ納ヒカ今ハ止ナリ

輪小宗寺

歸帆山田林院ト号ス寺町ニ在境內東西四十七間 淨土真宗高

田派也本堂大間半

庫裡八間 別開五間半 鐘樓 惣門アリ 御冷泉院

御守真海ト云仏心公ノ僧開基也其後四代住僧田林淨土門ニ入親

亦鳥ヲ師トシ唯仏ト改ム嘉祥元年申 親重一ノ寺ニ来リ三尊画像

九條紫沙衣桐木念珠ヲ唯仏ニ契フ門前迄舟乘相合止故船着御坊

ト云又親重一ノ寺ニ来リ三尊画像 六十三歳ノ像ヲ自彫ヒ契フ永正二年申本山ヨリ宝物添書

二関東本寺トアリ其後高祖ト十北寛文五年八月四日禪ノ時三尊画像灰燼ノ内残ル表装軸ハ燒タリ今燒残ニ尊ト称ス寺中法樹坊普ハ臨里教糸ノ二坊アリシカ實文ニ後廢ス

常信寺

如法山大珠院ト号寺町ニ在淨土真宗高田似也本堂ニ八間三入

庫裡五間

書院六間境内東南西北門前迄中三間余永云頃專修

寺中興真惠古寺ヲ創建ニ弟子性圓ニ付ニ南基トス親齋所

書ノ本願相恋集一冊ヲ綴ル真惠ノ奥書日アリ又世臣臣秀士日公ニ

世西蓮ニ與リ書下リテ世伯金能書表日鳥居銘ノ筆者也寺中

神野菴堂

九一丸ニテ寺堂三間羊境内東北七間西北五間神野八屋寺亭

云云神野菴堂ノ古蹟去本茂寺北在二町余執貝目阿蒙申興

上人ノ遺蹟寄治野以酬其恩其先傳ニ言斷神爲徵人感其

異遂名其野爲寺山号ノ由ヲ知ル其野ト云ハ此地ヲ云セ淨土五戸

代記ニ神野田地ノ數ノコト東北七間三間西北五間南北間北北五間合一及

九畝北六畝此坪五畝九坪六畝

万治二年神野ノ地年貢ノ儀申付テ新ノ爲町寺寄ヲ以テ御代官御郡

代ハ申ニ相済同十一年野村増右工内檢地ノ時年貢込沙アリ再三願ハ

任取上ナク方丈退院ニ徳ニ年再ニ願通年貢御免一万治三年町

年寄寄附扶アリ

神野田地坪數之事

一東北七間三尺西廿五間南北間北廿五間合一及九畝二十六畝

此坪五百九十坪六畝

右者神野ノ田地業名町年寄是町中立會如古例令寄進之處

實負也自然當城之御用ニ右ノ田地被召上候者其替地以坪數無

相違相済可申候爲其如件

万治三年庚子三月十五日

行藤五郎兵衛

杉浦六郎兵衛

町年寄各連判

正念寺

今邑中町ニ在能祢山ト号淨土真宗西似也本堂六間庫裡

七間半開基ノ常祐ト称ス由緒書目ニ常祐父和田移自水守ニ遠九代孫新九郎

新太郎江州小谷ニ由居法躰ニテ松公卿ト号ス一宇建立正泉寺ト号ス天正十一年攝

州石山ニテ軍功アリ十三年当國治田ニアリ慶長ノ頃撤真意カト云今ノ地ヨリ東

ノ方ニ住ス又慶長ノ頃合ノ地ノ辺リニアリ常祐ノ代傳永四年寺号免許アリ和

念寺ト云旧稱念寺ト云永慶申元徳公御里印ノ後正念心ト改メ今寺

附ノ印猶存也

業名正念寺屋敷之事

一上畑三及四畝十四歩 此高田在二斗四升四合
右屋敷令寄附之畢余可有修用者也仍而如件

兼徳元年辰八月十五日

攝津守

定良在判

大鏡公近臣福本伊織遺杖ヲ藏

伊織丹羽寺、儀三行、取立相續候処公御逝去、伊織儀、御供不、因テ其鏡公ヨリ寺地寄附アリ

其事

大鏡院殿家

御尊恩候之故、今度之御供仕候、然者其儀父祖

代々之御宗旨ニ候得共

大鏡院殿

御供仕候上者、淨土宗ニ羅成則照

源寺江

契約仕候御

御心得可被下候、且又所方屋敷之事、今度申上候

間道行可被仰付吳奉存候

正月八日

手前取之候御

早々申残候

福本伊織

正念寺福

或説ニ旧ハ法盛寺、寺申ナリシカ
福本氏、請ニテ寺地ヲ賜リトリ

兩寶院

會目下ニアリ

山

洲修験

世境以、鎮国公ノ時、除地ト

ナル旧ハ

西方村ニマリ

後

三出

神明ノ側ニ、徒ニ、實文、年申此ニ、徒ハ、慶安

ノ水災ニ旧記流矢ス

見、障、累、志、ニ、藥、所、産、了、昔、空、世、洲、サ、ラ、ト、云、者、住、持、ス、法、速、ト、云、不、詳、本、堂、ニ、御、本、尊、滿、末、師

安龍院

今一色提存ニアリ、昔洞宗也、其渡持山ト号ス、開基ハ海藏寺ニ世々堂

也本堂ナレ、庫裡

見、開、累、志、實、永、申、大、鏡、公、此、ニ、安、龍、院、殿、堂、後、修、験

公兩位牌ヲ頼テ給フ

安龍院初メハ、湯ノ丸、院ト云、五ノ御、志ノ時、廿、向、四、方、門、前、中、ニ、向

米廿俵

ノ母、年、寄、附、アリ、シ、カ、天、和、中、止、二、九、掃、ヨリ、往、時、御、拜、後、毎

通院様

御十、神、ニ、ワ、打、敷、ニ、ヒ、テ、納、玉、フ、年、終、テ、損、壞、セ、シ、テ、挂、物、ニ、ヒ、テ、納、ム、ト、云

八木氏旧記ニ伝

通院様、御十、神、ニ、テ、ワ、ハ、後、地、ニ、鳥、梅、一、ツ、ハ、栗、纏、ニ、ウ、ツ、ラ、各、終、ナリ

林光院

錫屋所、東側在、真言宗修験也、之徳中、開基、庫裡、四、間、境、内

東面八間

南北、五、間、半、年、工、夏、地、七、曲、以、地、藏、處、持、也

本願寺

錫屋所南側ニ在、御影山、田中坊ト号、淨土宗、光明寺、末世、應永

ノ頃、良田ト云者

開基、由、緒、書、ニ、南、基、小、寄、少、年、二、天、台、宗、ナリ、シ、カ、明、曆、旨、末、永、在、心

噴淨土堂ナル

本、堂、上、四、間、半、一、庫、裡、三、間、半、境、内、二、尺、余、西、ニ、テ、十五、間、四、尺

本尊、信州、善光寺

今、身、如、末、世、實、金、佛、前、立、尊、阿、弥、陀、佛、山、見、開、録、ニ

當時昔ハ春日ノ

神、宮、寺、ニ、テ、益、田、村、ニ、アリ、ケル、カ、永、仁、ニ、春、日、ヲ、今、ノ、地、ハ、移、セ、シ

噴佛眼院ニ我

錫、カ、住、セ、シ、ニ、社、鑑、ヲ、渡、シ、社、教、ア、ラ、托、セ、シ、ヨリ、神、官、寺、ノ、職

務カヲ佛眼院ノ

取、行、フ、コト、ニ、ナル、寺、堂、ニ、神、輿、ノ、幡、三、旗、アリ、春、日、ノ、神、輿、三、行

ニ物トシ、金具ノ

東、ニ、関、河、郷、神、輿、御、幡、ト、刻、セ、リ、應、安、元、戊、申、八、月、洛、陽

絵所加賀橋守所

画、ト、上、東、書、日、セ、ル、淨、土、曼、陀、羅、阿、利、サ、レ、住、旧、記、開、録、ト、不、詳

変永公後ハ本院天白皇御代貞治ノ後之嚴政天皇御代ニテ貞治元年ヨリ廿三年ノ後ナリ
笑フベシ 盤云 変永ハ康永ノ誤ナラスヤ 貞治ヨリ廿三年前ナリ

觀照院

鍋屋町瓦師にニアリ真言修驗也祈禱所ニ同牛庫裡ニ同牛
境内 東西十四間余 南北廿二間余 年貢地旧地ハ今新屋敷八幡町ニアリ古来ヨリ宇佐八幡
宮アリ 古圖ニ見ハクルハ幡町 家中屋敷割ノ節新蓋町ニ移ス棟札ニ本願寺村ト
アルハ世世トコトナリ其後此ニ移ス昔ハ同行八連ノ修驗アリ其名ハ高殘ル
寺院ヨリ当所住居ノ比立ルウ支配ス魚籃觀音太像在リ元禄二年掛樋堀
サレヒノ時ト申ヨリ申フ 見厚更ハム夫日八幡ヲス 名多ナリ此ハ表徴ス

圓覺院

掛樋ニ在リ江場村ノ地内也天台修驗也松平下總守敏代々
ノ祈願所ニテ宝永年向備申福山ヨリ從ヒ来ル一旦廢絶ス再興ノ後ハ御
祈禱ハ命セラレス旧地ハ吉津屋町ト云得フ陰徳小陽報寺ト号ス

南之院

圓覺院ノ北隣ナリ真言修驗也
明圓寺 鍋屋町北側ニアリ淨土真宗東派也其上不詳文祿慶長頃香
取法泉寺祖安田空之明ノ家臣伊藤孫右衛門ト云者 出家シ唐中丁ト云者
寺ヲ中興ス本堂五間 庫裡六間 境内 東西十三間余 南北十八間
由緒書ニ淨土作ル
教見寺 松下山ト号ス夫田町ニアリ淨土真宗西派ナリ本堂六間 庫裡五間

善口西王

夫田町ニアリ淨土真宗西派也由緒書日ニ南其空門ハ夫田一族本即在工
門俊次世天正五年滝川一益ノヲメニ夫田城 陥レ氏俊次出家シテ善口ニ
基ス其子覺善代々寺号免許也俊次又ハ半右衛門俊元ト云夫田ノ城主也境
内 東西七間 南北十八間 一及八畝廿五方 年貢地也本堂六間 庫裡七間 鐘樓本
堂 阿弥陀立像

西龍寺

白谷山ト号ス八幡瀨古ニアリ淨土宗照隆寺末也慶安兼在志ノ
頃信州人啓運ト云者此ニテ一日念佛ヲ修行ス其頃大内寺ニ西龍寺ト
云上廢地アリシヲ照隆寺ヨリ寺号ヲ母屋ト又啓運ニ興ハラシト也 大内寺ニ田中
末前アリ其後洪水ノ損田夫田川余ニ西龍寺ト云 元禄中御預人北見若狭守
旧名迹ノ名ヲトリ立庵ヲ結ヒ一日拾遺トセラル

大膳院

福江町東側ニアリ山修驗ナリ皇福山南嶽寺ト号ス境 東西九間
祈禱所ニ同牛ニ同 庫裡五間ニ三間

大膳院

福江町東側ニアリ山修驗ナリ皇福山南嶽寺ト号ス境 東西九間
祈禱所ニ同牛ニ同 庫裡五間ニ三間

明王院 本山修験也六田川原庚申堂ニアリ元越後高田ニアリシカ公家御在

城ノ御祈禱冊等被仰付實保二年白川ノ御得替ノ時從行ノ院近

地ヲ賜リ馬城内神社教ノ所御預ニナル實延三年棚倉ハ視大膳院也分

所段下ニテ九ノ文政六年寺地御得替ノ時從来ノ宅地ヲ賜ル天保三年飯

藏御門内八幡官御勸請ニ分ノ寺々十俵ノ被下同ニ斗上ノ早耶置渡院

直支配トナル

阿弥陀寺古迹 詳ナラス或云今世置町不動院ノ辺其古址ナリ天神ハ則其鎮守

也其本尊ハ十念寺ニアリシカ實元永元年法盛寺ニ徙ス實延記ニ泊洲ニ

阿弥陀寺アリ毎年七月十五日道場祭トテ囉アリ車ノ祀モ此寺ニテ作ルトシ

一 雲土寺 此雲土ト稱ス古迹高島ノ内ト云空之上ノ南基ノ古刹也安永ノ頃

會下ニアリシカ山岸西山ニ移ス今彼地ニ觀音堂アル是也

真宗寺 今高須ニアル淨土真宗東山ニテ三岳山ト稱スル是也本願寺教也免

許ノ本尊ニ素名真宗寺門徒某トアルヲ藏スル者アリ其遺址未詳

永真菴 公私録云今一色ニ在ノ旧址不詳實永七年淨土寺田町ヲ今地ニ移

リシ時今一色ノ永真菴ヲ引塔頭トス永真院ト改トナリ

金剛寺 上尾山ト稱ス外堀ノ端ノ東ノハツレナリ今侍屋敷トテ松平下総守

致元和二年中大坂生玉ニ首割アリ松樹山地福成伝入部ノ時此移ル東照宮ノ御像

御預ナリ近年寺トテ改メ御祈禱ノ時忍ニ獲ル

桃林寺 大藏寺 松山殿寺

業名 志料 卷之十九

寺院 二 業名郡

大福田寺 東方村ニアリ真言宗ニテ神宝山法泉院ト号ス御堂御所御

法流仁和寺御支配也 御堂ノ支流ナレバ末寺ニテハナシ 志守ノハ松平下総守殿

御菩提所ノ天祥寺ノ跡ヲ求得テ從住ノ用地ハ今圓妙寺後寺也縁起ニ古

ハ度会郡ニアリ内官ノ大神宮寺ナリ 按ニ大神宮諸雜事記ニ神護皇元元年

宣旨トアリ續日本記天平神護三年秋七月丙子遣使造丈六仏像於御勢大神宮寺

トアルモ寺ノコトナレバ今多氣郡ニ西相鹿瀬東相鹿瀬ト云所アリ當時御界度会郡

ト川一ツ隔タレハ古ハ度会郡ニ依官セシナルニ

寺ハ下總守殿内寺ニテ古地ノ移封ノ頃古地ノ境内ヲ借リ建テアリ

又ハ移封ノ時取毀ノカリシヲ古寺ニテホリ

實元二年法皇御崩居アリシ故 法皇院ト号ス元

用明上帝御願ニテ 聖德太子ノ開基ナリ

天智 天武 持統 諸帝皆幸アリ 御遺物 皆現存ス

聖武 帝ニ御行幸アリ 勅シテ大神官寺トス

淳和 帝ノ時 勅シテ真言本山トス今文照 白王山大神官寺真言本

山古跡ト稱スル是ナリ

宇多 志守ノ 白王子 法三親王

後ニ父木高ノ白王子耶王尊法親王ト目書寺御住職アリ弘安元年伽藍災

アリシ時大和守額田部実證ト云人再建シ忍性伝備ヲ請ヒ住持ス

是ヨ申興トス
後守多ク申再ニ勅シテ爲勅領寺務所寺領ヲ寄セリ其給旨令ニ
存ス

伊勢国大福田寺領并種邦実證所帶末在猪名部朝明三
重四ノ郡内散在田畠事向後停止甲乙人等濫妨可全知行之由
所仰下之状如件

十二月二十九日

入信上人御房

春宮權大進



此入信ハ忍性後ヲ受タル人也此給旨ニヨリハ是頃最早此地ニ彼リ
シナルヘシ按ニ續日本紀ニ宝龜十一年二月丙申朔神祇官言伊勢大神宮
寺先爲有出崇遷建他所而近神郡其崇未止除飯野郡之外移
造便地者許之トアリ此文ニヨリ神護景雲元年大神宮寺ヨリト
此歳ニ至リ申間十四年ノ向ニ出テ恐テ外移セシ方猶小宗アルヲ以テ遠
地ヘ移スヘシト也今神戶領ニ具言止宗大福田寺ト云寺アリ當寺ノ旧地
ト云然ニハ初ハ逢麻瀬ニ在リテ河曲郡ニ移レ又此ヘ移セシルハレ

後二条帝時忍性ニ其首薩号ヲ授ケラレ給旨付物トス
勅傳燈大法師忍性者排法燈於南室琢戒珠於日域化儀之
被遐脩之誘人誦經之繼晨宵羽翼ノ克已五十二位之内證雖正
暗辨五十二年之練行於是自彰致禮施誠爲悲增仍彼第
葉之請益許某善善之稱号矣

嘉元二年五月廿五日

弘安ニ蒙吉襲末時興ニ昔昔薩ニ勅シテ仁王命ヲ行ハル興道比丘大威徳
ノ法ヲ修ス興道ハ即入信ノコト也其功ニ因リ秩卑車免許アリ此時末
寺四百六十箇寺半世七院僧七百アリト云一作末寺千四百六十箇寺半中世七
北朝ノ頃足利尊氏寺領寄附アリ又大字ヲ加テ大福田寺ト称ス
後柏原院永正九年内官神主連聖有ノ文書アリ

一 可早任廳裁之趣守本式之旨大福田寺事

右当寺者自往古公武之御祈神佛之法樂殊勝最上之勤君子
所任先例当官神官之成敗之外他競望不可有之云勅願寺
太神宮寺於後代自然至寺門寺務令成煩上殿慮神鑑甚
不可然吹吹住僧等者堅守往昔之法度殊勵當時之精祈更不可
違犯之状所宣如件以宣

永正九年十月 日

祢垣荒木田神主

- 守則判
- 守晨判
- 守兼判
- 守武判
- 守幸判
- 守保判
- 守弁判
- 守直判
- 守長判

按ニ内倉臨時及殿遷官記ニ明徳六年九月廿九日

守垣判

造替解状ヲ載連署者ニ守則ヨリ守保迄六人ノ名見テ守則ハ五位下其餘皆從五位下也此頃迄ハカク内倉ヨリ支配シ神官寺々ハコトモ共カカリシニ今ハ神人等佛寺ノコトヲモテテ神官寺様ノコト絶テ言サレハ寺々ト知ル人モナクナリシ

文庫ノ頃ノ住持ヲ齋瀬ハ此ヨリ前明應年中堂宇兵火ニ罹リシ故再管ヲ謀リ勸進縁ヲ撰シ西三条内府実隆卿ヲ請テ清書日ス文長不説其六前書執州業名郡神戶郷大福田寺トアリ向大ニ文庫元年七月日勸進沙門齋瀬敬白其末ニ亞槐拾遺臣花押トアリ又永祿ノ禁札ヲ藏ス今写シテ門前ニ建フ

- 一 軍勢 甲乙人 監妨狼藉事
- 一 陣取事 附 放 大事
- 一 至寺領事 遠乱事

石條々方一ツ遠乱之輩者早可被嚴科者也
 仍下知札件
 永祿十年四月十八日
 右兵衛尉

民部尉
 判

又紹巴富士見記ニ六日大福田寺に早々着ぬ業名ハ近郷喧嘩にて去りハ
 ままチテ月にも進ませるの儀に入けりに舟あまたして尾州へ渡りぬ茨江といふ川嶋
 と詠やるにたつかりきこちせり様に見へたり元慶天正頃ノ兵乱ニ寺領モ失
 ヒ古ハノ姿モ無ナリ又實見ニ已前ハ江場村ノ西一本松ノ辺ニアリシ松モ其境内ナ
 シモノト云大門ハ今ノ大福村ニ西向アリシ大福村ヲ古ハ大門村ト云若官祭
 ラ大門祭ト云太閤様存勢跡ハ御出之由兼り度尾州象存勢ノ名名へり
 有勿々衛ノ跡屋ノ名名へり時法りハ、町屋川の才た大ふくてんし
 能もち申し故ニ幸名やふ小申太閤様町屋ノ川向まで御越和成へと
 申し申し申し事不成塔つたハに屋た山へ御上り御陣御すへ大ふくてんし
 其日惣兵衛居申さ小下とて幸名やふ小申もあれも其後西方あつかに
 成申し石水野家記公私録ニ大福田寺ハ鶴屋町東ヨリ三丁并南ノ南中
 ニ一本松アリ其根ハニ高キ所アリ此ニアリシヲ兼應年中地伝ヲ厭ヒ東方へ引レ
 ント云公私録ニ安永江場大福ノ田富士ノ字ニ神ノ居前 御堂 釋迦堂十三
 堂 安養院 等ノ名アリ又老ノ地ニ知自水村ノ道ノ西ニ十堂アリ此カ合ハナレ
 又江場ノ田中ニ疊置十余枚敷程ノ大石アリテ耕作ノ時鋤ナト打当コトナリカ
 近年ハ深ク沈ミカ見えスナリスト此日古寺ノ遺迹ナリト云實見文二年
 東方へ移し時替地ノ御書ヲ藏ス

大福田寺之禁地於
 東方村 上田大及廿五山
 上田五及大畝廿五

都合一町一及七畝拾五歩之所依望
替興之春也仍如件

寛文二年寅年
十二月廿日

越中守御印

大福因寺

深忍法印御房

寺什物佛像等伝来ノ物甚多シ其證トスハキモラ收載ス地蔵堂
聖天堂比皆境内ニ在

專明寺

同村ニアリ淨土真宗東派也了庵ト云僧慶長ノ頃一字ヲ刻
建シ教如ノ裏判ノ画像阿陀陀ヲ授リ本尊トス境以東北廿八間免除地也

長頸寺

上之輪新田ニアリ淨土真宗東派也三州矢作人義弘伝傳ニ保
年中此ニ草菴ヲ結ヒ住ス天和二年十一月寺トナル境以東北廿四間半

山斥西菴

東方村ノ北岸西山ニ在宝曆九年奥平宗石工内和子下松寺
定立シ住持ス夫ヨリ代々川満寺ヨリ相續ス

觀音堂

境以ニアリ此寺堂山一層寺ト号ス今一色堤牟会下ニ在シ安永三年此移
地蔵堂 同所ニアリ天明七年建立ス其余金毘羅秋葉等ノ小祠アリ

土佛堂

北別所村ニアリ室性山聖象寺伝京師東山泉涌寺末寺也本尊阿
弥陀土佛長四尺八寸後光ニ十像一ノ百十六軀アリ天和二年信行ト云者作之
信行ハ鍋屋町也ノ者也土細工ニ妙ナリ今信行燒ト云物マ一存ス後隱遁ト云

ニ住ス過去帳ニ古子傳ナニ年二月十七日命終トアリ高甲卿得替ノ後十堂ノ境
ル堂三間ニ四向半境以東北四十四間聖象寺ハ古ハ伽藍地ナリト由寺後ノ間ニ
鐘樓迹ナト云地衣存セリ過去帳ニ南山空舜末縁宗師寛元三己
三月五日示寂中興ノ乘覚照範宗師古子孫四仰二月廿日示寂ナトアリ又
親長卿記ニ文明五年二月二十七日伴勢国悲田院末寺聖象寺住持末神事
奏聞可仰付云トアリ古キ寺ナル可知聖象寺記ト云モアリ載録ノ素名城外
北別所村ニ有古梵刹相伝永ニ申維東泉涌寺前往乘覚見北尚飛遊此地ト
山林幽徳光難掩四象子末伽藍立就扁曰室性山聖象寺聖道尼方四十二
所安象一十餘指列泉涌之末派而為圓舞今兼学道場空天心南為兵
孫大所産寛文之初有信行者折言興寺之盛素名城主越州君賜以彼
古迹行克古昔之什物得大盤般若二卷ノ末有記永ニ申所贈而聖象寺
之上生之無量壽佛坐相欠天和二年八月廿九日也更画現勢ニ聖王用為挾持
定弘公子手書日聖象寺之三大寺賜馬行又送阿陀陀小像一ノ一軀地藏十
像一ノ一軀觀音持勢至十像各一軀此記ハ揚柳寺江州和尙所撰ニテ古キ興盛願
ル詳ナリ

冷水菴

上野村ニアリ井坂山ト号ス禪宗曹洞派海蔵寺末也本尊
虚空蔵菴三間半四向一庫裡在境以方十三間八山下ニアリ此ニ移ス

え祿ノ頃海蔵寺ノ弟子ニ愚自ト云者アリえ町人也三十歳ノ時時勢ヲ割

禪ニ帰入海藏寺ヨリカミ巻ヲ建屋ニ白ヲ置置其境ノ内ニ思ハ本尊濃州新州
ノ辺ニアリシヲ首子保十三年カミ巻ニ納ム

寛永觀立石堂

四方村ニアリ預材山ノ修驗大空院境内東北廿四南北廿四村陰地ナリ本尊
ハ千手ニテ行基ヲ作ナリ觀音堂ニ遺傳記室町永八行基堂首并薩杉ハト
キモモクノ千手ノ像ニ鉢ニ彫刻シテ木ハ走井山ニ在リセヨク木ハ此堂ノ像ヲ
ニルキテ元不ノ觀音ト云此所ハ東明山海善寺ノ田地ニ本は首子保ニ構ヘ安置
ナリ堂永三年シテ月ノ頃山ノノ木ハ下ニ置テ是今ノ堂ナリ別當實相院
ノ坊ニ在リ

海善寺址

同所也本禪宗曹洞派ノ大地ニテ東明山ト号セシカ夫ノ兵村ニ
同種ノ遺教ノ東北別所村寺領ノナリニテ釋迦堂ニ思善堂ニト遺名ノコトハ知カ
陽雜記拾遺ニ載ルカ中ノ天ノ千手三ノ年冬十月カ藤原廣経謀及ノ時大御官
ハ知事ノ榮行ノ宮ニ遊幸セ玉コト時此寺ヲ行基ニ命ジ建立ナリト云觀音堂ハ
往古西才村ノ中ニアリト也建長元年ニ海善寺ノ地ニ相ノ中今ニ天平ノ古瓦ヲ掘出セシ
コトアリ此寺ノ旧迹ナリト云此ノ路鳥山云寛永頃道ハ松林ニテ白路鳥ノ多ノ
集ル所ナリト歌枕ニ云鳥ノ守ニハ是也

妙見寺

同村ニマリ蘇山ト号セシカ寛永中
大鏡公稲荷河再興アリ本注ハ妙見也公稲和録ニ寛永十五年西才稲荷建立不
動院縣知リヨク榮者ノ移住ノ後寺ノ寺号ヲ山号ヲ不動院ト號ス

了嚴寺

西才上村ニマリ淨土真宗東派也同種地路ノ島諏訪
明神ノ社司諏訪中務カ云者也天ノ大地衆ニカ路ヲ島込據セシ階中野寺地

ハ移リ出家シ道場ヲ建立ス寛永十六年寺号ヲ免許シ了嚴院ト號ス
南北 及ニ畝ナシ免許地

西琳寺

下深谷部村ニマリ淨土真宗西派也永ノ頃寺所北迫敏主近々藤
右ノ京高菩提所ニテ禪宗ナリシカ右ノ京高養ニ明泉ト云備アリ此ニ住シ
ヨリ今ノ宗トナレ電年北迫落去ノ頃明泉如州ハ落行シカ無程立ノ尺南建ノ境内
東西ニテ心 南北ニテ同 内ニ畝 免許地

安養寺

同村ニマリ淨土真宗西派ニテ大寂堂ト号 寺村柳ノ島城主空隆
左ノ京高ノ末子 成没落ノ時其子江州ハ落其後田里ニ返リ出家シ了善
ト云卷ヲ結居リ其孫明教ノ時木佛寺号ノ免許アリ境内東西
廿四 南北廿二同 内ニ畝 免許地

南樂寺

同村ニマリ淨土真宗東派也兼之徳元ノ年良祐伝僧ノ時寺ト号
免許アリ良祐以前不詳境内東西十八同 南北十六同

飛鳥寺

同村ニマリ真言宗ニテ兩尾山味光院ト号古ハ伽藍
地ニテ僧ニ房ニアリ雜説云今坊谷ト云是土坊ノ址也津宮禪台兼心子地
也之僧天ノ乱ニ燒失ス寛永十二年大鏡公 御遊覽ノ節百草卷ノ終
ヲ御覽有供料田上田五畝 中畑八畝 空リラル元禄ノ頃南條
三太左エ内余親地蔵像ヲ得寺ノ本尊トス其後旧寺本尊ヲ觀
音立向ノ燒殘ヲ草卷ニハ女四直セレ三太三五エノ像鉢ヲ作り興院ヲ建
安永四年土三國世三箇ノ村所トナル元禄十七年寺禁札ヲ賜ル京都

東寺玉也 境内 東西廿四間 南北十五間 山林 東西一百廿四間 南北七拾五間 堀五
畝 免除地也 雜記云 此山ニ細公及谷ト云字アリ又ハ細公家祭恩トモ云寺ノ旧址

道定寺 寺再興縁起云 寺去 奉名 城十星 許山 火ト幽 入 邊 杉 折 言 莫 者 遺
址也 又日寺 在 石 學 津 密 禪 台 四 第 元 龜 年 為 織 田 信 長 所 創

寛永十二年 和 平 澤 朝 臣 定 細 公 來 遊 訪 問 旧 事 供 料 田 若 干 畝 云
祿 年 同 南 條 宗 親 欲 安 地 藏 像 干 此 見 朽 木 數 片 合 接 者 則
觀 音 像 首 世 因 名 佛 工 修 造 之 就 山 脈 處 啓 一 堂 安 三 ト ア リ

阿弥陀寺址

同村ニテリ 律宗ニテ 功徳山ト号シ 京都泉涌寺ノ末流
寺領云 五百石ナリシカ 天正ノ兵 焚ニ 燒 亡 ス ト 云 今 其 址 八 田 ト ナ リ 今 寺
本 堂 上 ト 云 雜 記 云 此 田 ヲ 耕 ス ニ 不 淨 ヲ 用 ヒ 八 足 指 六 ニ ナ ル 又 六 指 ノ 子 ヲ 生
或ハ 鋤 ニ テ カ 六 ヲ ニ ナ ル ト テ 里 人 恐 テ 其 所 ヲ 官 田 ト シ 耕 テ 六 指 田 ト 云

明光寺

上 深 谷 郡 村 ニ ア リ 淨 土 真 宗 東 派 也 開 基 ハ 奥 州 國 司 顯 家 卿 子
權 備 郡 顯 道 也 顯 家 卿 討 死 後 奥 州 縣 章 一 寺 ヲ 建 稱 海 未 京
妙 光 寺 其 後 此 地 二 姓 ヲ 改 稱 海 未 京 明 光 寺 三 在 マ 年 外 不 詳 信 長 長 島
城 筑 不 時 之 文 書 有 藏 入 奉 息 城 之 條 子 二 載 ス

藏不師店

同村ニアリ 堂一 間 半 四 六 境 取 東 西 十 間 南 北 廿 間
祐 泉 寺 今 島 村 ニ ア リ 淨 土 真 宗 西 派 也 北 廻 山 十 号 ス 由 緒 書 曰 北 迫 近 藤
藏 不 師 近 藤 左 近 ト 云 奉 寛 永 頃 本 願 寺 淨 土 如 養 子 ト ナ リ 開 基 云

境内 東西十八間 南北十二間 内五畝三歩 免除地

延柳寺

下野代村ニアリ 淨土真宗西派也 古ハ 阿弥陀寺ト号セシトシ
天正十二年 妙泉ニアリ 寛文九年 寺号ヲ 延柳寺ト 免許アリ 鳥 量 十 号 ス
境内 二畝十五歩 免除地也

徳蓮寺

同村ニアリ 真言宗也 智山方 鳥 畏 野 山 宝 光 院 ト 号 ス 京 都 東 寺 宝
藏 院 末 寺 也 古 者 中 蓮 寺 云 本 尊 上 盧 舍 之 藏 高 野 大 師 大 神 宮 ノ
神 托 ニ テ 尊 像 ヲ 作 リ 安 置 置 之 又 阿 弥 陀 寺 徳 蓮 寺 即 身 院 西 道 院 藏 不 師
寺 ノ 五 寺 ヲ 建 ツ 天 正 ノ 兵 火 ニ ハ 免 レ タ レ 石 洪 水 地 震 ニ テ 亦 流 没 ス 此 宝
寛 文 ノ 頃 地 ヲ 公 買 子 金 銅 ノ 佛 像 ヲ 得 タ リ 上 以 其 所 十 寺 ヲ 作 リ 安 置 置
徳 蓮 寺 ノ 号 ハ 古 刹 ナリ シ 用 ヲ 村 民 地 ヲ 寄 附 ス 二 俣 四 年 本 尊 八 節 兵 衛
三 代 村 民 ト 謀リ 堂 宇 ヲ 修 造 ス 棟 札 今 存 ス 文 錄 香 取 堀 田 氏 記 云 中 蓮 寺
ハ 三 論 宗 也 野 代 谷 在 レ 天 治 ノ 頃 燒 夫 石 塔 ノ 遺 存 僅 カ 明 徳 ノ 頃 洪 水
ニ テ 埋 没 ス 其 地 今 石 石 塔 増 上 林 境 内 山 東 西 一 町 余 南 北 二 丁 余 免 除 地
藥 師 堂 址 村 内 有 リ 今 二 寺 ヤ 一 キ ト 云 五 畝 步 免 除 地 凡 是 ナリ 本 尊 八 徳

藥師堂址

蓮 寺 二 堂 置 入 瑠 璃 光 山 ト 号 セ 由

圓壽寺

中須村ニアリ 淨土真宗東派也 西 路 堂 上 号 ス 寛 永 中 水 谷 淨 光
齋 ト 云 奉 尾 州 興 善 寺 ノ 養 子 ト ナリ カニ 寺 ヲ 開 基 云 興 善 寺 ノ 養 子 ト ナリ
興 善 寺 西 派 二 軒 也 時 々 寺 ハ 其 傍 東 派 寺 境 内 東 西 廿 二 間 南 北 廿 四 間
免 除 地 也

因領寺

大島尾村ヨリ午島山号淨土真宗東派也開基ハ長島杉江ニ千野
因幡臣若石山本願寺ニ籠リシカ天正九年石山和隆アルニ分カ村ニ来ル午
島山云所ニ傳シ出家シ居テ寛永四年今ノ地ニ徒ルニ代カテ明曆三年寺号泉
許アリ境ハ東西十八間南北廿七間段ニ畝十五より免冷地也

妙鉢寺

同村ニアリ淨土真宗西派也蓮花山ト号入開基不詳境ハ東西
廿四南北廿五間

専光坊

南鄉村ニアリ淨土真宗東派也一専堂ト号開基ハ今佐見専
八郎ト云者大段ニ籠城セシカ落城ノ時カ村ニ来リ元和二年出家シ了南ト稱シ
一専堂ト号基ニ住ス寛永四年寺号免許アリ境ハ東西廿五間南北廿六間
村冷地也

法泉寺

香取村ニアリ淨土真宗東派也安田山ト号由緒書云清和涼
天安田ノ一高年少又次郎義隆於甲州出家シ空之阿ト号ス其子信慶
長島杉江村ニ一寺ヲ建立ス杉江村ニ空明
屋ノキト稱ス天文年中今ノ地ニ移ル又城下
寺町本願寺ノ所ニ遷所アリ海寄法泉寺ト号ス本願寺建立ノ後モ地ヲ去テ寺ヲ稱メシ
カ其末ニ属スルハ其地ヲ本願寺ニ分附シ
トス十一世空明十六世成ノ時長島親證寺ニ属シ元龜二年美濃執力織
田家ノ先手トナリ大田ヨリ攻入シ時空明叔父圓空大平寺在工内是ナリ上ニ人計
女中ノ野ニ自身大田打ノ攻入アリ親證寺ニ去リ時空明ハ坂手川ヲ打流リ
大坂ニ立退其後織田家本願寺ト號ニナリ空明モ此地ニ塔住ス
天心三年羽此本秀士信雄ト号稱ノ時濃州高木一宮皇織田カテ同國

駒野ノ城ヲ指シ時高勢ナリシカハ

神若信雄ト議シ玉ニ空明ニ大田金七郎ヲ加勢トテ被込置其時ノ文書ニ

貴状委細令披見候仍其城加勢之儀空明大田金七郎兩人申付
候向定可念命着候能令相談万事不越度様氣遣所心候也

八月十九日

信雄花押

高木權右衛門殿

高木勝兵衛殿

急度申遣ル仍勿柴北伊勢出張之旨方々分申
未候得其意一万事無由祈儀專一也

信雄花押

室白水寺

高木權右衛門殿

高木勝兵衛殿

高木彦太郎殿

高木彦助殿

神若御説ニ城際迄被押詰候而ハ防成間敷ノ間鞍骨坂迄罷
出ダトト上立意ニ付罷出ル処秀吉ハ南ノ御廻リ繩全村ハ押掛食赤川
ヲ隔對岸陣ス公立明手助ヲ引率シ西方別所村ハ出張ノ敵東方ノ山ニ
取上候ハ一難拒御旗ヲ賜候ハ夫田川原一戰ノ刻横鐘ニ可馳合ト
申上ル其請口任セラレ
神若ヨリ御旗ヲ被下獲テ本ニテ被込ニ出張ス然処織田勿柴御和陸アリ

東照權現 素名之館 渡御 隔負辨川 對輝 輝然所空明一騎
辛敬十人言上曰 敵東方觀音山 取上者 難拒一可下
賜御旗 急彼觀音台 馳上可成 義勢主矢 田川率 遂一戰之期
則橫體可馳 合此謀具 達

上備任空明請下賜御旗 果至觀音台 幸數千人 馳上 數言 固因
此功 天下一統 之後 召尋 空明 伴空 之為 恩者 見其 陳因 多々 數
雖 然 寺 以 狹 隘 謚 難 成 伽 藍 因 茲 後 之 田 地 甚 及 寺 并 溝 野
之 郊 新 井 明 谷 之 收 南 依 山 神 宮 之 下 狹 谷 之 道 北 限 尾 寄 東 西
依 田 地 為 柴 薪 之 地 同 上 山 畑 三 所 甚 及 七 畝 拾 步 令 空 可 附 之 興 幸
全 可 被 領 之 者 也 仍 如 件

正保四年四月八日

越中守 定一 御花押

空明室ハ西尾豐後守女也長島落去ノ時同郡吉野ノ山中隱ル天
二十四年二月十五日香取ニ帰住ス其隱住セシ地ヲ小尾上ト云在由緒
每午三月十五日吉野村人ヲ持テ寺ニ入正ニ負ルキ寺ニ納ム今ニ小尾トナシ
香取町入口昔ハ木戸アリ昔ニ寺ノ家中屋敷ナリト云外南ノ方ヲ西町
氏小人ヤシキ氏云又古老ノ申伝四日ト申後トテ素名ハ寄郷ニ出ルトナリル

此寺ノ役ヲ勤シ故也是モ今ハ中絶シテ役ニ出ルトリ又高須城主小笠原
主膳ヨリ末寺除地ノ狀アリ

濃州石津郡私領太田新田村内貫僧通寺屋敷甚及六畝廿步之所
地子諸役共田壁共ニ出卯之年ヨリ令免許候為其仍如件

慶安四年卯年十月十一日

小笠原 主膳 貞信 印

空了駿府ニテ兵服拜領ノ時御紋御免被成トテ御紋付御盃被下今
御紋ヲ用テ其奈空明

權現様ヨリ拜領ノ御ノ鞍 津口御手道具等寺宝トス又

尾州の家并 大鏡院様ヨリ頂戴ノ品空明所持ノ器具等現存又

空明騎家老ノ名姓アリ高木兵次郎 多羅 高木 妻 幸 勘次郎 氏 兵 次

世古新太郎 香取世居左 韋 連 子 ナリ 大田和治兵士 梶 尾 茂 右 工 門 世 古 久 大 天 山 口 市 兵

上河部助右工門 南 部 同 善 右 工 門 向 九 助 加 藤 澤 右 工 門 坂 手 同 又 左 工 門

川 伊藤孫右工門 經 後 藤 市 兵 士 在 平 野 又 右 工 門 安 田 外 記 空 明 同 藤 助 氏 家

伴 女 降 右 工 門 同 大 平 兵 右 工 門 持 付 寺 十 九 津 津 一 本 松 上 三 所 一 町 四 角

本トノ地面又堤外ニテ持地アリ免降地セトノ

高平寺

前村ニ在時宗ニテ州藤沢山ノ末世應永十一年始行十世自空

開基ナリ文政二年堂宇地家ニテ破壊ス境内 棟廿二油余

立勝寺

同村ニアリ淨土真宗東派也開基ハ文明二年鯖瀬藤五郎ト

云者出家成道如ノ弟子トナリ道因ト云者ナリ境内 東西廿四坪

空念寺

柳井河ニ在淨土真宗東派ニテ般若山ト号ス開基ハ法泉寺空明

ノ臣小林徳右エ門治室ト云者ナリ天正十八年空明小田原陣ヨリ塔リ廿九歳

ニテ卒ス徳右エ門出家ニテ慶順ト云慶長年中一宇ヲ建立ス即是也境

内東西廿四 南北廿四余

所見地藏堂

同村ニアリ堂九向四方境内東西廿四 南北十五向

法觀寺

同村ニアリ堂

樂師堂

同村ニアリ堂一間ニ入境内東西六十八向南北廿四

喜寶院

同村ニ在吉山派修驗天石守中大學坊也春前其土也境内 東西廿四

法念寺

多度村ノ北山上ニアリ宇數多シ真言宗ニテ多度權現ノ神宮

寺也上戸ハ人々權現社ノ東ノ山ニアリトシ禁テヨリ七八丁上ニ古碑多ク碎テ倒

テテノ是其ノ旧地ト云 由縁ニハ此地ヨリ神宮寺ヲ建テタル多度大神ノ神宮寺

耶王武帝ノ御時天下ノ大社ニ皆神宮寺ヲ建テタル多度大神ノ神宮寺

ヲ法念寺トシ其頃ハスル也今ニテ支院トシテ寺アリト云今ノ當時ノ財

帳上京ノ東寺ニ有リシヲ江戸津輕屋換券ナリ者購藏ス

寺名多度寺鏡三綱謹識上

以去平天室字七年歲次癸卯十二月庚戌朔廿日丙辰神社以東有井於道場

滿額禪師居住敬造河津院丈六丁時在人託神云秋多度神也吾經久叔作

重罪業受神道報今與永為謝神身欲帰依三空如見託說至忍教

通猶存託云於茲滿額禪師神坐山南也代掃造立小堂及神厨像号林

多度大神也薩次當郡主帳外從七位下水取月足銅鐘鑄造并鐘基儲天

施次美濃同近土縣主新磨三重塔奉起次室龜十一年十一月十二日朝進使令

四人得度次大僧都賢珠大徳三重塔起造既畢次天應元年十二月始

秘度沙弥法教引道子行勢美濃尾采志广貴回国道俗知識等造立

法堂并僧房大衆湯屋迄于今日遠近修行者作備供養行事並寺

佛物

板障子釋迦淨土

藥師佛木像壹軀

金泥弥勒像壹軀

畫像阿彌陀淨土三副

太子像壹軀

大般若經卷六百卷

金泥弥勒菩薩像壹軀

金泥觀立菩薩像壹軀

金泥得大勢菩薩像壹軀

脇侍菩薩壹軀

畫像觀世音菩薩壹軀

法花經拾部 八十卷

大室積經卷部 百廿卷

化生殿經部 百六十五卷

灌頂經拾貳卷

瑜伽論卷部百卷

金剛三昧論壹部 三卷

塔貳基 並三重

東 檜皮葺

西 瓦葺

水精玉漆丸

唐鏡 壹面

鏡 廿壹面

法物

板葺堂上卷肉板敷壁狀板立 長二丈八尺 廣一丈四尺

檜皮葺法堂上壹守板敷三向 長五丈一廣三丈五尺

板葺小堂壹卷廂板敷 長二丈七尺 廣一丈三尺四寸

檜皮葺堂上壹守 長一丈七尺 廣一丈七尺

高座貳具 高二丈一尺五寸 廣三尺六寸

高座相貳具 高二丈一尺五寸 廣三尺六寸

高座全頂貳具 各十條 廣一丈二尺

最勝王經卷部廿卷

金剛三昧經卷卷

金剛般若經伯卷

智度論部 二百卷

金剛三昧論頌卷卷

大一丸 中一丸 小一丸

經六寸三分

著法華經在

五寸以上

二寸以上

秘錦壹床 長六尺三寸 二幅

小幡壹拾肆流 各長一丈 之中白色二流 二具 各長三丈五尺 廣二尺三寸 三具 各長三丈 廣一丈四寸

灌頂幡伍具 花掛纒玖句 花机壹前 經机壹前

聖像御座兩面壹床 長三丈九寸 一輪半

白紗花障壹領 各長九尺 三幅

押緞帶肆條 各長一丈一尺四寸

緋紗經 西復壹領 長八尺四寸

悲田料帶白布帳壹條 長九尺二寸四寸

紺帳壹條 長二丈三尺 二幅

金銅泥銅火爐壹口 是在

銅金泥香鉢肆合 各口徑四寸

銅金爐壹口 口徑七寸三分 是在五

銅鼓名壹枚 長一尺五寸五分 廣一尺一寸

銅鐘壹口 高龍頭並三尺

布法座調度

賜息生定前

如立息生定前

簿冊捌拾隻

威漆口 一口 綬 一口 錦

漆塗持橫氣合 幅 綉料

樂具

大鼓 壹面

高麗大卷頭

衣摺領 七軸

箏琴氣隻

金泥 鍍男女小刀卷柄

骨竹勿志杖

僧物

板葺枚敷僧房卷向土塗

板葺小子房卷向泥塗漆敷在

草葺僧房卷向土塗

草葺小子房卷前泥

鐵湯釜壹口

湯瓶氣隻

供神料器

漆塗轉轆梳氣合

漆塗盤肆口

淨水丸筒氣口

小鼓 參面 一破

高麗日月子氣頭並白

羊臂氣須並紅欄麻裏

金泥 大刀 卷柄

珠冠 壹口

長三丈一尺五寸

高九尺 廣一丈三尺

長三丈一尺五寸 廣一丈三尺

長八丈三尺 廣二丈一尺五寸

長二丈二尺 廣一丈六尺 高六尺

長三丈三尺 廣二尺四寸

長二丈六寸 廣二尺一寸

長二丈六寸 廣二尺一寸

通物

白銅錫杖氣杖 各在威

一母貝水精 一百世丸

一會貝迦梨勒 五十四丸

木香噓壹杖

大塚

板葺屋卷向 長二丈三尺 高八尺

板葺電屋卷向泥塗 長二丈六尺 高六尺

板葺軒室氣向 普塗 長一丈六尺五寸 廣一丈一尺 高四尺

一間 長一丈四寸 廣一丈一尺 高三尺

草葺厨卷向泥塗 長二丈八尺 廣一丈三尺 高七尺五寸

草葺板倉卷向 長一丈二尺八寸 廣一丈一尺五寸 高八寸

一間 長一丈一尺四寸 廣一丈一尺 高六尺五寸

一間 長一丈一尺六寸 廣一丈一尺 高九尺

草葺湯屋卷向泥塗 長一丈六尺五寸 廣一丈一尺 高六尺四寸

鐵釜氣口 各受三升中一口破

大槌 壹隻

鐵 伍分 中伍鐵 壹壹料

鐵 壹口 各受一斛

珠數氣母貝

之中玖拾五十七

水精七丸

西塔料

廣一丈四尺五寸

長二丈六尺 廣一丈五尺

長六尺

廣一丈一尺 高四尺

廣一丈一尺 高三尺

廣一丈三尺 高七尺五寸

廣一丈一尺五寸 高八寸

廣一丈一尺 高六尺五寸

廣一丈一尺 高九尺

廣一丈一尺 高六尺四寸

鐵 壹口 受二升

湯鐵 參拾介 大壹合也

寺木印 壹隻

油 壹口 二升六升

金舞口 三口各受三斗 一口受一斗五年

聖僧御座短茵肆枚 高坐并 礼盤短茵肆枚

長茵肆拾玖張 廿六麻席 長席肆枚 繩 席叁拾五枚

伊勢國桑名郡幡指嶋東庄額田并田代
始自一条辰田里十二坪并廿五丁始自同条二土入里一坪
并三十六町始自三堰里一坪至于廿坪并廿二町

伊勢國肆町陸段叁佰步 參佰肆拾步 大御堂正三位
藤原雄里施入

桑名郡野代郷條外里十九室木田貳段叁佰步 壹室流
次廿室木田玖段肆 次廿一室木田肆段 壹室流

六條九鳥埴里廿四滿奈田陸段 田代野代所
條外里門屋奈貳町 四至東西北山

七條二多治比遲里田代并山一處在寺前 四至東十卷社南十山

三重郡六條五鈿板里七海辺田玖段陸拾步廿貳 土俵田叁佰步

尾張國壱田并田代叁拾伍町捌段肆拾步 海部郡十三條馬背里陸拾伍町叁拾步
田代廿肆年叁拾肆町伍段肆拾步

荒廢公田陸拾陸町伍段肆拾步 常葉八町一段
六年佃還公 空地壹拾捌町 捌町肆拾步

延曆五年長官紀朝臣佐渡安麻介井上直千廿大日大伴直赤
柯少目春日村主廣江等任時所進

合稻吉竹伍佰玖拾束

通修理料貳佰貳拾五束
西塔修理料貳佰貳拾五束

同海阿弥陀悔過料伍佰肆拾束
講經料 壹佰陸拾伍束

悲田料陸拾漆束伍把

市无伍佰木部坂紐外垣倉納貳佰壹拾伍束

出拳伍佰捌束捌把伍分
未納捌佰陸拾束壹把伍分

伏願私度沙弥法教并道俗知識等頃年之間猶造法堂土僧
房太象湯屋種々所修功德先用迴施於多度大神一功神等

増益々成克永隆佛教夙願順序五穀豐稔速截業納同
致其日茂

聖朝文武教乎水滸善勳軋坤誓千代千朝萬業不常君 次賴
遠近有緣知識四恩濟挺鹿三筆電共訪覓者現在法侶等同

蒙利益遂會界外輪降有頂早離閣淨供奉極樂
延曆廿年十一月三日親主沙弥法教

鎮修行住位僧 賢中
知事修行八位僧 仍

檢察
仔細方国

大國師傳燈大法師

少國師傳燈住位僧 芳心浩

尾張國

大國師傳燈法印赤心松

少國師傳燈法師

僧綱御使 後儀僧 慈廣

僧綱判板

大僧都修行傳燈大禪位 賢環

小僧都修行傳燈大法師位 行賀

少僧都修行傳燈大法師位 玄掛

律師 傳燈 大法師位

此ニテ其大地タリシヲ見ルヘシ又續日本後紀ニ
仁明帝義和六年二月己卯以伊勢國桑名郡多度神宮寺為天
台一院同七年十二月詔曰先是伊勢國桑名郡多度神宮寺為天

別院今傳之嘉祥二年乙酉辛巳傳燈大法師位書實言以伊勢國多度大
神宮法雲寺為真言別院即為後國家兼奉饒大神者依請許之トアリ
義和七年迄八天台別院タリカ又此ニ至テ其言トナル又近キ武云凡伊勢國
多度神宮寺僧十口度緣成牒准國分寺僧甚納國庫神替之日朝鮮
文進官トミハソリ永祿ノ頃迄ハ絶テ記録ニ見ハススニ是年申織田家長
島攻ノ時兵大ニ罷リ夫ヨリ退轉シテ東支院ト云一院ノミ残リシヲ實心
永中松山家遠州磐川ノ邊ニ在ラ此地ニ移レ其別古トシテ出テ寺ヲ興
アリトシ今棟札アリ松平陰岐守再興所ト有左右ニ斗月アレハ麻生
實心永ニナチヲ存ス林下村中ヨリ寺迄八丁山下ニ鳥居アリ愛宕山ニ
道風ノ書ヲモヨリ又八丁ニテニ愛宕社アリ見聞家志ニ此所舊ヲウツ所
綱場ト云魔所トテ申刻ヲ過レハ上ルコトヲ禁ス又日吉寺ノ鐘ハ永祿兵火
ノ時内母ノ淵ニ沈シテ定綱念水練ノ者ヲ入テ引上サセシメカ水際ニ繩切
エラス 定綱公ノ時沙汰アレハ一クル事難コトテ新ニ鑄ニルニ三ヒモ堅ノ
銘アリ 按ニ此寺ヲ村下田地ノ子ヲ以嚴寺ト云又西御堂ト云所モアリ此
今ノ社人伊豫ノ祖ナリ其家ニモ同時城出セシ坐像一軀ヲ安置ス

圓正寺

小山村ニアリ淨土 真言天西洲テ尾津山ト号ス

祿十三年寺ヲ免許境由 東西廿間 南北廿五間

大日蓮王

同村鎮合社地ニ在リ

藥師堂

同前

光生寺 御衣野村ニアリ淨土真宗西派ニテ光臨山ト号ス開基ノ教連ト
實文中年申免許アリ境内五畝歩村寺也

觀音寺 同村ニアリ本尊十一面觀音境内東西三間南北五間光生寺預也
淨教寺 北條飼村ニ在淨土真宗西派ニテ清和山ト号ス開基不詳也天台宗
ナリシカキ村ノ館主ト申五郎女衛弟五郎左内ト云有末代承シ今ノ宗トナリ

住持セシヨリ相續ス境内東西世間南北世間旧地ハ今田町トナリ本堂逆鐘
堂ノ跡ト呼フ實文中一度々洪水ニテ今地ニ移ル旧地ハ今ニ免除地ナリ

大日土堂 同村ニアリ土堂也境内東西五間南北十二間

西方寺 吉野村ニアリ古ハ天台宗也ニ信惠坊辰有本願寺顯如ヨリ本尊
ヲ授リ改宗スト貞享三ノ寺号免許アリ東派也境内東西世間南北
世間冷地也

西願寺 同村ニアリ 同淨土真宗東派也開基六世村ノ人渡部市兵衛ト云法
泉寺空明ニ從ヒ所ス。隱ル其生子ハ空ヲトテ法泉寺トニ代セ市兵衛ト云
剃髮シ教知ト稱シ一宇ヲ創建ス其後寺号免許アリ空ヲ子ヲ法泉寺トニ送
ニ柴ヲ付西願寺付添法泉寺ニ贈ルナリ 此場ニ空明没後其子ト云
境内東西世間南北十七間 免除地也 境内セテ法泉寺村ノ開基ト云所ニ

地藏土堂 同村ニアリ土堂方一向境内東西五間南北八間

圓正寺 美鹿村ニアリ淨土真宗東派也大永三申了西ト云者本願寺ノ實
如ヨリ無量壽佛、繪像授テシ開基ノ境内東西世間南北四十四間免除地也

大鏡公本統寺ノ折ニ被入時柳堅ト申致權トシハノ御前ハ出シテ寺内行
ノコト故 在取ト申ニ住持可然昔本統寺ノ被仰住持ス其時何堂可申トアリ
カハ御紋ヲト申上知免アリ今ニ梅鉢ヲ用ユ

觀音寺 同村ノ東ニアリ寺一向四面境内東西十五間南北十二間

圓通寺 江場村ニアリ淨土真宗西派ニテ法城山ト号ス開基ノ教團ト云吉打領
主佐々藤六左内秀勝ノ子也秀勝ハ織田家ニ屬シ四十八家ノ一也其館址ハ
村西田中ニ小丘存ス子城山トシ長島領ノ御印信長ノ疑ヲ受テ庵元年没
サラス其子木工助秀道濃州ニ走リ程過テ当地ニ帰住シ寺ヲ開基ス
教團是也五代祐玄ノ時寺号免許アリ山号ノ文政七年守國公額タテ賜
リシヲ初立年本願寺立寄ノ時一覽アリ夫ヨリ終ス

地藏院 赤須賀新田堤ノ下ニアリ古山修驗ニテ竜官山ト号縁起ニ本
尊地藏石佛ニテ濱地蔵ト云往昔漁夫ノ綱ニ掛リ貝洲ノ濱ニ上リシヲ
松ノ五股ニ合シタル中ニ安置セシカ夜々竜燈ノ上リタルトテ竜燈ノ松
林ス堂宇ヲ建安置女カカ天正十三年十一月大地震ニ山崩壞ス後又小
津ニテ建シニ實寛永八年ノ大風ニ倒ル大鏡公ノ御時再建ヲ命セシ此時
下妻ヨリ御供セシ教屋院ト云修驗ヲ住持トセラシ始テ修驗宗トナル
兼後三年風雨ニテ洲崎壞シシ故今ノ地ニ移ス初代々修復ヲ命セシル常燈

明アリ田船ノ目當ト入宝曆年中ヨリ始ル境內濱堤東西同計南北百今
二向ニ敵歩屋敷地除地也

地藏堂 獵師町ニテ

晴康寺 安永村ニアリ淨土真宗 東西也大永年中明西區借開基ノ境內東西
廿八向南北十八向

了順寺

大福利ニテリ淨土真宗 西也開基ハ同郡葉部城主毛利次郎
左工門秀重ノ孫次郎助秀久本頼寺准如ニ隨順ニ出家シ、意秀ト云
和七年一寺ニ創シ、葉部山了順寺ト免許アリ境內東西十三向南北
十一向除地也

美長像院

矢田村ニアリ愛宕別當也山派ノ修験也古ハ西方村ニアリトリ
安寛永申大鏡公愛宕社ヲ御從アルヘク思召有之所鶴一ツノ物ヲ御来ル
地藏ノ小像也奇異ノコト思召愛宕名ヲ此所ニ遷祀シ地藏ハ其本地
ナレハ鶴地藏ト稱シ此ニ安置有シカ實政中白川ニ被遷今本城御宮
ノ側ニ安置アリ境內東西八十三向南北八十向山腹ニ映帆亭アリ櫻多クアリ
眺望甚佳ナリ

徳元寺

東金井村ニアリ淨土真宗 西也也本城主松岡考之進被官ニ
山家三右工門同七兵卫友盛ト云者アリ其衣冠祐 西也有開基也元ハ庵
ナリシカ百年前寺号免許アリトリ境內東西十八向余南北廿二向余

走井山觀立日堂

矢田村ニアリ開基米詳公私録云元和三年走井山觀音社下
ニ在シカ羊路ト云人御城主ノ任官ニアリシカ判金一枚ヲ出シ山上へ引上ル云々境
内ニ大子堂燈町不動院隱居所アリ、元和以來ノ古額アリ境內矢田城古墟
ニテ堀切槽並ナト現存ス東西一丁余南北一町堂八向二五間 走井山觀音寺
ト号シ不動院持ナリ 江州走井山詩
緩急道山寺、馬車馬稀、徘徊高閣、指點遠
帆飛本村、葉城是入雲、蓬島微曉、多邊興好

待月 陽塔

藥師堂

西金井村ニアリ堂八尺四方 安永六年京都因幡藥師ヲ移シ祀ル

虚空藏堂

上野村ニアリ境內十五間四方 按 冷水菴ノ
カトナリ

教尊寺

葉部村ニアリ淨土真宗 西也 開基不詳 天和年重田市在工
門内、一子出ハ家ニ西義代巨基寺ヲ 中興ス、伝来ノ香炉ノ蓋ニ花ノ模、梯
アリ香合モ藤木ヲ以テ割製セリ 因テ藤花堂ト号ス 境內東西廿四向南北十九向半
町除地也

善徳寺

同村ニアリ淨土真宗 西也 開基不詳 境內東西廿六向南北廿三向
余町除地也

地藏堂

同村ニアリ石像 十壹エ也

繪所堂

能部村ニアリ本尊阿弥陀堂三向ニ西向境內東西十五向南北十三
間 葉部村善徳寺持也 按 繪ノ會ノ談カ

藥師堂

神田村ニアリ室僧山サ不王寺ト号ス 東西二向ニ三向

葉名御上誌叢書第五卷
昭和二十八年八月二十日
葉名市城公所
北勢史談會
郷土資料部
振替口座 名古屋 三九三番部

桑名市立図書館



0120032966

92

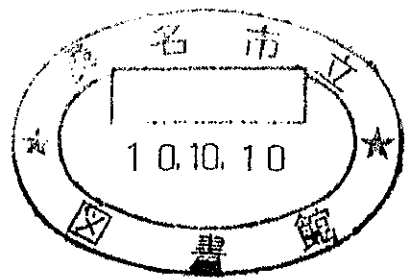
桑名志 六

桑名

桑名

桑名

桑名



業名志料 卷二十

寺院 三 眞辨郡

多間院

星川村ニアリ 本山 沢修験ナリ 星河山 安渡寺ト号ス 行基菩薩開基ニテ 本堂

觀音行基ノ作ト云 本堂 東ニ行基腰掛ナリ 土入行基ノ歌トテ

天津屋川

瀨ニ皇彰ノ宇 埴ヲ於 如安ノ渡ト見ヨリ 物故 吟ニ古ノ此寺ニ

ト伝シ 氏名所

ニ 久後トアリ 行基ニテ ハナン 志国世 香札所也 明ヲ命ニシテ 百廿余

以前 西室院ト云 修験住セルカ 杖藜ヲラ 善ガストテ 東西八八向 南北五十五向 免除地ヲ賜フ

寺ニ 木乃 棒ナチヲ 什物トス

傳西寺

同村ニアリ 淨土 眞宗 東派也 昔ハ 眞宗ノ宗ニテ 五及田打ニ在リ 慶長年中 禪

道ト云 僧改テ 五廿年 程前此地ニ 移ル 辰 快樂山ト号 境内 南北廿四向 本堂 是 禪觀 鐘堂ナリ

源 八入寺

穴太村ニアリ 淨土 眞宗 西派也 元禄ノ頃 入京 却興ニ寺ヲ 興テ 寺号 免許ト

伝ニカ 享保二年 是日 三ト云 僧 西本願寺ヨリ 寺号 免許アリ 本願寺末トナル 境内 東西廿

之間 南北廿八向 淨地也

淨白泉寺

同村ニアリ 淨土 眞宗 東派也 開基ニ 詳ニ 徳年中 香取 滝泉寺 穴之山ノ 弟

養正ト云 僧住持セルヨリ 相續ス 境内 廿八向 南北廿六向 前 説立 寺 淨地ナリ

福泉寺

瀨吉泉村ニ在 寛永 甲辰ト云 法名 地ナリシカ 寛文 十年 教信ト云 僧 寺ト云

免許ト云 西本願寺末トナル 寺号 免許ト云 境内 東西廿二向 南北廿二向 淨地也

教領寺

同村ニアリ 穴太山 多井寺ト号 本堂 行基ノ 作ナチ 觀音ノ 安置ス 志国 廿

九 寺 南 利 所 也 又 十 野 篁 作 必 命 地 藏 尊 ヲ 安 置 ス

菅不所内堂

本村 忠打ニアリ 淨土 眞宗 東派也 前 基 末 詳 境内 東西 廿 向 南北 廿 向

其カ 免許 寺トアリ 堂 六 向 三 向 半

大日如来

同村ニアリ 堂 三 向 三 向 境内 東西 廿 向 南北 廿 向 縁 起 未 詳

及 及 田 村 代 神ノ 境内 也

地蔵堂 筑紫村に在る堂、九尺四方、村人長六、夫九者持て、下へ持来、淨境の東、
十四向、南北廿四向

辨天寺 同村弁天山ニアリ、境、東、西、南、北、三百六十向、南北百廿四向

圓光寺 山田村に在る、弁山ト号ス、淨土、真宗、東、西、北、也、古、寺、地、三、百、餘、年、昔、年、
天、の、兵、亂、ニ、退、却、ス、其、臣、ニ、存、在、降、六、之、進、ト、言、佛、教、友、ニ、西、事、ト、稱、シ、本、願、寺、教、如、
佛、依、シ、寺、之、前、其、ノ、負、弁、寺、什、物、不、動、佛、沙、門、像、ヲ、安、置、セ、カ、カ、石、佛、神、不、動、
像、ハ、遠、ト、泉、沙、門、ノ、像、殘、カ、力、足、モ、今、持、ト、ル、境、内、東、西、十、八、向、南、北、廿、四、向、
下、野、日、丸、山、ノ、佛、像、ニ、佛、也、今、其、寺、ニ、伊、也、同、願、寺、ト、
別、錄、セ、レ、伊、像、見、タ、リ、ト、云、此、堂、マ、シ、不、動、ト、ル、ハ、レ

淨淨寺 同村ニアリ、淨土、真宗、西、北、興、ス、寺、内、徒、更、無、住、ニ、テ、城、下、堂、町、法、登、寺、兼、帶、ス、同、其、
負、弁、寺、到、後、三、百、坊、以、淨、同、坊、ナ、リ、負、弁、寺、退、却、ノ、後、今、宗、ト、ル、本、願、寺、阿、陀、像、
八、淨、同、坊、什、物、ナ、リ、シ、ラ、今、本、願、ト、ス、是、等、子、中、淨、淨、寺、ト、免、許、ア、リ、境、内、東、西、廿、四、向、南、北、
廿、四、向、内、廿、四、向、淨、淨、寺、ト、免、許、ア、リ、亦、負、弁、山、ト、号、
泉、沙、門、堂、同、村、ニ、アリ、字、大、御、堂、ト、云、負、弁、寺、ノ、旧、址、也、圓、光、寺、ノ、條、ニ、ア、リ、泉、沙、門、
是、也、境、内、十、向、廿、六、向

負弁寺 遺址 同村ニアリ、天台宗ニテ、古、郡、ノ、大、地、也、カ、天、正、ノ、頃、織、田、家、ノ、為、退、却、ス、
本、堂、ノ、址、ハ、大、木、村、ノ、田、所、ト、ナル、古、村、西、南、ニ、鐘、樓、堂、迹、アリ、鐘、樓、ト、云、ト、ナ、リ、北、ニ、三、百、坊、
ト、云、所、アリ、ハ、十、四、方、程、ヲ、リ、志、上、ノ、礎、ヲ、基、ト、ス、住、痕、圓、一、不、余、ノ、城、迹、アリ、今、同、支、寺、ニ、テ、
リ、查、經、藏、不、モ、存、ス、又、氏、神、社、東、ニ、大、味、堂、ト、云、字、アリ、大、御、堂、ノ、址、ト、云、レ、泉、沙、門、ノ、
弁、寺、ノ、旧、址、也、一、書、云、負、弁、寺、伽、藍、遺、址、在、清、司、倉、村、終、場、加、ト、行、入、遺、址、三、百、坪、
程、ア、リ、ト、云、恐、ハ、誤、ナル、ハ、大、木、村、大、社、ノ、同、川、ヲ、塔、上、ト、云、其、川、ヲ、ホ、ト、リ、大、木、村、地、内、ニ、塚、ト、テ、
ト、千、塚、三、ノ、田、中、ニ、並、立、テ、リ、古、及、ノ、燒、カ、ケ、ル、多、シ、又、十、千、仏、像、ナ、ト、拾、シ、シ、里、邊、市、川、邊、有、
一、題、リ、ト、云、是、堂、今、塚、ト、テ、堂、廢、頃、首、金、ヲ、堀、去、セ、ト、ソ、

阿陀陀堂 北山田村道場ニテ、常、閑、ト、云、本、願、ハ、元、負、弁、寺、別、院、三、百、坊、ニ、アリ、カ、
寺、村、ノ、館、主、山、石、田、氏、ノ、衣、關、不、助、氏、者、新、創、ス、テ、常、閑、ト、号、レ、此、堂、ヲ、建、立、シ、村、道、場、
ト、ナ、リ、其、子、孫、代、々、堂、ヲ、之、新、創、ス、レ、ハ、常、閑、ト、稱、ス、
戒堂院 同村ノ、修、驗、也、古、山、川、不、動、院、同、行、也、是、堂、ノ、噴、間、其、堂、ト、云、
宝傳 同村ニアリ、古、山、川、修、驗、也、實、文、ノ、噴、間、堂、院、ト、云、
清室院 酒、新、田、ニ、ア、リ、古、山、川、修、驗、也、本、願、寺、不、動、尊、寺、表、ニ、田、本、勝、大、ト、アリ、
萬福寺 東、二、色、ニ、テ、リ、淨、土、真、宗、高、田、派、也、元、和、四、年、教、導、ト、云、僧、開、基、實、文、元、年、寺、
名、古、山、川、免、許、アリ、ト、号、專、修、寺、末、也、境、内、東、西、廿、四、向、南、北、廿、四、向、廿、四、向、淨、淨、
寺、同、村、ニ、アリ、淨、土、真、宗、派、也、江、州、滿、堂、郡、日、野、照、支、寺、末、也、明、應、年、中、淨、淨、
ト、云、僧、開、基、實、文、ノ、噴、間、寺、号、免、許、境、内、廿、四、向、免、除、地、也、

花不師堂 同村、字、下、二、色、ニ、テ、リ、堂、ニ、向、干、ニ、三、向、境、内、十、四、向、四、方、開、基、不、詳、
妙光寺 大、白、山、西、方、村、ニ、テ、リ、淨、土、真、宗、東、派、ニ、テ、紫、雲、山、ト、号、ス、開、基、不、詳、天、正、三、年、出、口、七、街、
門、入、道、惠、便、祖、父、空、明、ノ、庵、跡、ニ、テ、リ、建、立、ス、寺、号、免、許、アリ、空、明、ハ、出、口、秀、信、ト、
テ、大、倉、ノ、郷、ニ、テ、リ、天、正、中、攝、州、石、山、ニ、テ、歸、如、ノ、茅、子、ト、ナ、リ、出、家、シ、虎、之、明、ト、稱、シ、大、白、山、ノ、
結、善、寺、慶、長、六、年、卒、ス、其、地、ハ、古、ノ、比、奈、寺、山、光、明、寺、ト、云、佛、心、山、ノ、伽、藍、寺、境、内、
ノ、西、四、丁、程、堂、捨、テ、ト、アリ、カ、天、正、ノ、兵、火、ニ、退、轉、ス、鎮、守、編、阿、社、ノ、錢、堂、寺、村、ノ、氏、
神、是、也、長、尾、堂、明、神、ト、稱、ス、元、明、寺、傳、來、ノ、不、動、像、古、寺、ニ、ハ、廿、四、向、入、地、三、下、
長、尾、寺、ハ、免、明、寺、ノ、コ、ト、ル、ハ、レ、下、ニ、詳、ス、大、倉、加、ノ、竹、村、中、ニ、テ、リ、

圓光寺 同村ニアリ、淨土、真宗、東、派、也、長、尾、堂、中、真、宗、弘、明、ト、云、僧、開、基、
此地ノ、館、主、種、村、左、半、太、夫、ノ、子、依、ニ、テ、一、字、建、立、シ、古、山、田、福、寺、ト、号、シ、祈、願、
所、ノ、リ、オ、六、四、山、乘、ハ、越、前、ノ、法、倉、滿、堂、ノ、嫡、傳、也、カ、文、安、ノ、頃、復、建、立、ス、テ、

此地ノ、館、主、種、村、左、半、太、夫、ノ、子、依、ニ、テ、一、字、建、立、シ、古、山、田、福、寺、ト、号、シ、祈、願、
所、ノ、リ、オ、六、四、山、乘、ハ、越、前、ノ、法、倉、滿、堂、ノ、嫡、傳、也、カ、文、安、ノ、頃、復、建、立、ス、テ、

此地ノ、館、主、種、村、左、半、太、夫、ノ、子、依、ニ、テ、一、字、建、立、シ、古、山、田、福、寺、ト、号、シ、祈、願、
所、ノ、リ、オ、六、四、山、乘、ハ、越、前、ノ、法、倉、滿、堂、ノ、嫡、傳、也、カ、文、安、ノ、頃、復、建、立、ス、テ、

此地ノ、館、主、種、村、左、半、太、夫、ノ、子、依、ニ、テ、一、字、建、立、シ、古、山、田、福、寺、ト、号、シ、祈、願、
所、ノ、リ、オ、六、四、山、乘、ハ、越、前、ノ、法、倉、滿、堂、ノ、嫡、傳、也、カ、文、安、ノ、頃、復、建、立、ス、テ、

此地ノ、館、主、種、村、左、半、太、夫、ノ、子、依、ニ、テ、一、字、建、立、シ、古、山、田、福、寺、ト、号、シ、祈、願、
所、ノ、リ、オ、六、四、山、乘、ハ、越、前、ノ、法、倉、滿、堂、ノ、嫡、傳、也、カ、文、安、ノ、頃、復、建、立、ス、テ、

此地ノ、館、主、種、村、左、半、太、夫、ノ、子、依、ニ、テ、一、字、建、立、シ、古、山、田、福、寺、ト、号、シ、祈、願、
所、ノ、リ、オ、六、四、山、乘、ハ、越、前、ノ、法、倉、滿、堂、ノ、嫡、傳、也、カ、文、安、ノ、頃、復、建、立、ス、テ、

古寺ニ住ス其後本鎮寺蓮如ノ弟子トナリ今ノ鎮寺也天正庚辰ニ種村家没落ノ時寺モ退廢ス住持圓教蓮如真筆名号ヲ撰立退シカ自種立地ニ一庵ヲ結ヒ名号ヲ本尊トス十二世田智ノ時永和中香取村法泉寺ヲ以テ本山ノ額ヲ阿弥陀佛ヲ賜リ本尊トシ法泉寺末トナル天知申寺号免許在田鎮寺ト改ム雜記ニ田福寺土岐大膳父子ノ墓アリ依ス種村ト云梅ニ今寺行法寺種村氏アリ土岐墓其後田ニ存ス

三進場 大泉新田村持ミテ一向宗世守ノ不動堂ト云

辨天(大) 同村今大進ト云所ニアリ笠田新田守野村ト立合祀ル

不動堂 同村ニアリ

地藏堂 同村ニアリト云ナリ

真養寺 梵皇村ニアリ淨土真宗東派也南基ハ天正三年に州番場宿時宗ノ寺蓮如ノ寺ト云アリ其住持麟菴此地ノ隱居シ一寺ヲ建立シ八英山白蓮華院ト云

元和七年住持幡庵今ノ宗ニ改ム幡庵死シテ村道場トナリシカ天和三年後云ト云僧本山ヨリ真養寺ト寺号ヲ免許アリ相續ス境也東庄セテ向南北世一向

大日堂 同村ニアリ

辨天(大) 笠田新田ニアリ大海鎮守神明社也

樂不師(大) 宇野村アリ真言宗ニテ相應山(大) 鎮守ト号本尊行基依ス僧頂多度山ヨリ此ニ移セシト云本堂ニ向ニ二向半一庫裡四向ニ内堂有

覺通寺 上笠田村ニアリ淨土真宗東派龍基山ト号ス元真言宗ノ一ノ寺アリシカ

宝鏡(大) 増源明法解本鎮寺蓮如ニ隨順シ今ノ宗ニ改ム天正庚辰ニ中興

寛永十六年三浦清経臣有太政役ノ後寺地ハ東居セシカ出家シテ信達坊淨真ト云本堂再建シ寺中興ス境也東西世一向南北ト云

不動院 同村ニアリト云世境也東西世一向南北ト云

萬行安院 麻生田村ニアリ禪宗ニテ神井渡山ト号ス寺記ニ早都一カノ寺皇平川ノ端

春江ト云僧文明ニ年創建ス 竜泉山一カノ院ト稱シ妙心寺末トナル後春

江カノ寺ニ住シテ年勅諭志覚真宗禪師依奉信ヲ始修トス天正三年

六寺初南ト云境ヲ中興ス其後代々看坊ニテ相續ス元文三年保村大樹寺号

子祖開住持ト云山ヨリ寺号ヲ改ム境也方ニ余世置臣家捨地ノ時ヨリ陰地トナル

通場 同村ニアリト云

新鎮寺 片種村ニアリ淨土真宗西派石種村照光寺末也南基ハ六三州其ノ國ノ住人本

村式部也ノ次男左近介頼清本鎮寺蓮如上人ノ阿弥陀佛像ヲ授カリ此地ニ

隠ル宝鏡元氣蓮如石種村照光寺末トナル南テ照光寺ニテ三ツリ出カシ善智ト

稱シテ寺ヲ創建ス境也東向ニテ南南北北三向ト云法輪山ト云頼清所住ノ院ト云寺ト云

觀立(大) 同村ニアリ今ノ村社ト云一官寺ナリト云内村山神宮寺ト云此ニ三輪神

ノ神宮寺ナルレニ身神社ハ長尾村ニ在見聞ノ觀音ト云三輪明神ト云身神

社ナリト云此ヨリ三輪山ト云三輪明神ト云式部朝明郡ノ大神社ト云古カ

西明ノ神ト云古カナルレ

地藏堂 同村ニアリト大座也

西山寺 石構下村ニアリ一向宗也

光徳寺 石構東村ニアリ浄土真宗西派ニテ城下蘆町盛寺末也

昭光寺 石構南村ニリ浄土真宗西派本願寺一宗也南山長崎院ト号ス廟其ニシテ

小松重盛四代ノ孫盛綱ノ四男長崎院即昭光本願寺ト号ス其ノ創建者ノ南出長崎院昭光寺ト号ス初ハ禪宗也シカ正嘉ノ頃上京ト本願寺南出親亦其ノ弟子トナリ後ヲ澄念ト改ム代々相續ス織田信雄北勢ヲ領セシ頃百

八丁六カ貝文ノ寺鐘境以ノ知札ヲ寄附アリ寄附状今ニ存ス
別當家御座世ノ初ニ無住ニテ寺領ニ設セリシテ其ノ境以東西六一三向南北七
十二向山林西向四方田捨石余畑六反余苗末ヨリ毎年貢地也末寺セニ寺

圓長寺 石構南村ニアリ浄土真宗西派ニテ妙法山ト号ス寺國ノ安濃郡郡司

清原監物に春建保五年祖師親實東國ハ下ラシ時弟子トナリ道圓ト
是寺寺ノ廟其也境以東西五十二向余南北世九向半相寄附也

唐中満寺 同村ニアリ浄土真宗西派ニテ昭光寺末也龍岳山ト号ス廟其ノ鎌倉

人三師行兼トシ春親實ノ弟子トナリ出云家ニテ願信ト云フ孫大藏邊ニ住セ
シ九代目長信上ノ時此地ニ東蓮如ニ遊遊之一寺ヲ創建ス其後寺号
免許アリ増大以五十二向 南北世一向 陰地ニラス

新立日堂 同村ニリ寺号大福寺ト云唐満寺持也境以世同四方村陰地也

辨天堂 同村同所ニアリ小祠也境以十五向四方

地藏堂 同村寺永源寺ニ在弘法仏形ノ地藏伝境以東西十四向南北三十向

永源寺址 同村西山ノ麓ニ在地藏堂ノアル所也昔ハ七堂坐佛堂モアリシカ退転ス

横懸 三高山麓門カ開及前々下杯云所アリ今江州彦根ニ永源寺ハ此所ニ在シ
ヲ移ヤト云伝フ彼地ニモ横懸ニ三高山号ノ名ヲ存ストリ

専福寺 石構北村ニリ浄土真宗西派也尾張人渡辺左近致正寺郡所用

ニテ出家シ教ム坊ト称ス其後寺ヲ北山ニ移ル今ノ教ハ屋敷是也宝徳寺中
建カノ弟子トナシ教ムニ二人ノ子アリ長ハ吉寺ヲ相續ス其ハ丹生村松隆
寺ニ用其入寺村ノ鏡主開傳以没後後其館址ニ傳今ノ境以是也七分圓
信寺号見許北山寺ニ専福寺ト称ス境以東西四十五向 南北世三向

持光寺通寺 丹生川久保村ニリ浄土真宗西派也三重郡小杉村持光寺通寺

也廟其三年代不詳 天正年中本山 錫書ヲ藏スレハ古キヨリノコトナルハレ境以東
西廿六向 南北廿二向 陰地也 一本ニ村陰地セトナリ

善了寺 丹生川下村ニリ浄土真宗西派ニテ東野山ト号ス廟其ノト云春末家

ニテ善了寺ト称ス本願寺蓮如ノ弟子也一寺ヲ建立ス善了西ト改ム境以東西世
六向 南北廿四向 陰地也

松陰寺 丹生川中村ニリ浄土真宗西派ニテ高岡山ト号ス廟其ノト云善了

本願寺蓮如ノ所許松陰傳ニ傳一寺ヲ創建ス其地ハ村ノ西高岡山ト号ス其後今

地籍ルニ憑 四寺寺号免許アリ境内東西西北南向南北世五同村除地也

真の寺 丹生川村ニアリ境内真字西洲ヲ 釈王山ト号ス前基道性ト云者道場
リ名号ヲ得道場ヲ建シ又注首ハ公法寺山ノ下ニアリトシ 延宝九年寺号
本尊免許セ境内東西八向 南北七八向余除地セる法寺山下ノ田地三畝十五歩
免除地也

正法寺旧地 同村ニアリ昔ハ高岡三ノ寺トテ大地アリカ天正ノ年火ニ悉退転ス其遺
址今正法寺山ト云其西南 興 山下ニ所跡寺ト云ルアリ其心十七八丁程山
下ニ次能寺ト云河ニアリ是 三ノ寺也 其寺古文書ノ 左屋ノ家ニ存ス

高岡三ノ寺 別當所 轉々トテ
約 此ノ寺ハ 高岡三ノ寺ノ
送 此ノ寺ハ 高岡三ノ寺ノ
注 是徳ノ南朝ノ年号

伊勢国高岡郡丹生川御府内片火村雜事突然ノ願先再興次印又ハ先貞
不致違妙決標ノ守度方以下致櫻対川事ノ標物此子細見状也亦所
自述古以来有内八六日十月廿日申奈田中時而時無ノ和任入方荷ノ事先
亦澄時ノ久ラカニ無難ノ早修止テ坊住人等申上テ申由致沙
法ノ子細ノ川あり御ノ事御方被注申上テ依由ノ信長事御執
達如件

貞和二年九月十二日
後係持事大もろ
乙改

按ニ此文書三ノ寺ニ關係セリコトニテハナシ然モ下條ノ文書ニ拠テ片福村ハ此寺ノ領
ナレハカ有之也ヤ 一ノ寺ノ領 貞治 貞和 建永

伊勢国高岡郡丹生川御府内片火村雜事上道園申御祈願祈事繪圖如此御殿法庫
兼僧堂以上ノ圖滿僧員十人出山住ニ 祈申魚相違 否載起請之詞乃
被注申上テ依御執達如件

貞治三年二月五日 沙弥在判
伊勢国丹生川御府内片火村知行不足 ありて是如此仍執達如件
應安三年七月十一日 左ノノ御仲表

伊勢国丹生川御府内片火村知行不可 ありて是如此仍執達
如件 應安二年七月十一日 左ノノ御仲表

應安二年七月十一日 左ノノ御仲表



辨天堂 同村ニテアリ何トモナク也

明添寺 東漸寺村ニアリ淨土真宗西派也足下山園領内ト号ス又天正九年ニテ

東漸寺ト云々同年中傳教大師開基トシ堂伽藍ノ地ナリ又ノ頃住持トシ
園ト云親意上人ニ依テ弟子トナリテ上道ト改メ一向宗トナル保四年ニ明添寺ト
改メ境以東西ト八間南北廿四間余一畝十五歩陰地也今猶東漸寺村ト云永
頃寺領ノ文書見テ藏ス云云兵火ニ退却セシナル也

一 東漸寺領 三ヶ所

一 東漸寺境内 一ヶ所

一 鎮守春日明神地 一ヶ所

合五ヶ所

右青田家安全為祈禱 令寄附奉也 下知如件

母貝 淳四郎 印

永井 藤藏 印

青木次郎左衛門 印

東漸寺

大塚孫大炊

西教寺

東漸寺村ニアリ淨土真宗也開基未詳寛永十八年正月辛卯本佛免
行アリ境以東西廿九間南北廿四間 餘一畝十五歩 下寺ニテ寺衣梅東村モ徳寺濃州不
津村 神領トナリ南上領ニ道場

觀立日堂

同村ニアリ在堂一向四方境内十一間四方本尊馬頭觀音也

藥師堂

同村ニ在一向四方境内六畝半ニ四向釋

地藏堂

石川村小字土谷ト云所アリト堂也

不動堂

下野尻村ニ在境内以東西六八間南北廿二間 延野尻村ト立合堂アリ

地藏堂

同村ニアリト堂也

唯照寺

西野尻村ニアリ淨土真宗西派也開基未詳三徳三年寺号本佛免淨寺

檀信願寺

大貝戸村ニアリ淨土真宗西派也大野山ト号ス吉八天正九年也開基ヲ七代

東世世同

南北十八間 寺賣地ナリ

教養寺

坂本村ニアリ淨土真宗本派也開基未詳延宝年中寺号本尊免許

境以東世世同

南北廿二間 寺賣地也

天王堂

同村ニアリ釋宗ニテ鴨谷山ト号ス開基未詳大同二年中傳教大師開基ノ時

共勝堂

石山ト云ルヲ以テ以敷山ヲ写シ聖體ノ坐坐等ヲ精ラントテ地ヲ坂本ト云

小玉社

社ヲ勸請アリセ堂伽藍ヲ創立シテ 聖王堂ト云今今寺ノ像ノ形

刻シ本堂トス坊舎十二段アリシカ天正五年火ニ燒ケレ本尊及小玉一社ヲ改メ

本尊ハ岸奉ラ致シ安置セシカ刀治三年清司尊亮堂子ノ祖立早ト云傳中

興ニ寺同セト奉ノ所トナル山王、今今村大貝戸村ノ鎮守トナル境内ニテ四方

免除地也境内南ニ經塚山ト云所アリ經藏、地也境内ヲ經テ尾ト云清水アリ

大師降出、水ト云山ト云ノ所也東坂ニ鐘磬堂ニ王位ト云所アリ又此

勝坊ト云味津邊經テ尾ト云所堂藏ナト云ト云テリ園、地也佳也上ノ池

大間四方 下ノ池十間半 嚴下時 會世中 尊舎アケ 今世に 辨弁 天秋 葉ノ小 祠ヲ
安ス又 於上 嚴ノ 秋遊 木像 十而 觀音 銅像 皆 鑲嵌 あり 塚 土 して

善日下寺

山下村ニアリ 淨土真宗 東派也 龍峯山ト号ス 前基ハ永正六年

本光寺

永知打ニアリ 淨土真宗 東派ニテ 龍峯山ト号ス 天和二年 明得トシ 僧
同基ニテ 境收セニ 向合 四方

圓琳寺

同打ニアリ 淨土真宗 東派ニテ 青龍山ト号ス 前基ハ 詳境收 東西廿
五 向南北廿五 向 免 陰 地 也

高見勝寺

市場村ニアリ 淨土真宗 東派ニテ 加納山ト号ス 古ハ天正五年ニテ 淨泉
寺トシカ 天正五年 淨川一益ニ 櫻枝 林 遷移 地ニ 會見 永年中 濃州 加納 町 覺

勝寺

練運 觀ニヨリ 前基ニテ 加納山 高見勝寺ト号ス 境收 東西廿五 向南北三十
五 向 ぬニ 又 三 設 十 寺 免 陰 地 也

藥師寺

同村ニアリ 堂ニ 向四方 境收 東西廿五 向南北廿五 向

續圖寺

川合村ニ 在 淨土真宗 東派 也 初 下 相 場 村ノ 道 場ニテ 十 向 坊 伝
阿彌陀ノ 繪 像ヲ 繪 畫セシメ 天正五年ニテ 遷移セ 後 像ヲ 移 寺ニテ 遷 來 然レ 江 州 佐々木 氏ニテ

三信寺

一 信ニ 寺ニテ 遷 其 像ヲ 安 置ス 延 享 二 年 木 佛 寺 号 免 許 アリ 境 收 東 西
十一 向 南 北 廿 五 向 免 陰 地 也

辨天堂

同村ニアリ 小堂也

地藏堂

同村ニアリ 小堂也

地藏堂

長尾村ニアリ

辨天堂

同村ニアリ

藥師寺

下相場村ニアリ 堂ニ 向四方 境收 東西八 向南北百一 向

淨園寺

日ノ村ニアリ 淨土真宗 東派 也 昔 村人 藤井 某 本 願 寺 蓮 如 寺ノ 阿彌陀 畫
像ヲ 得 剝 取シテ 淨泉ト云ニ 道 場ヲ 立メ 女 置 村 持ニナリシカ 會見 永 中 道 場 燒
失ス 乃 治 中 淨泉 同 姓 到 魚ト云 者 再 興ス 會見 文 十 年 寺 号 木 佛 免 許 也 境 收
廿五 向 四 方 免 陰 地 也

福琳寺

長尾村ニアリ 長尾山ト号ス 延 暦 二 年 中ノ 創 造ト云 本 前 寺 地 藏 像 傳 教
ノ 作ト云 近 世 蘇 洋ニ 在 内 其 旨 提 所 也 トシ 免 尾 天 正ノ 災 大ニ 燒 失ス 其 三 檀 寺
荒 蕪ス 境 收 東 西 廿 五 向 南 北 五 十 六 向

長尾寺

同村ノ 内ニアルヘレ 未 詳 遺 書 圖 史 日 長 尾 寺 什 物 智 證 入 所 永 正 十 六 年
神 大 殿 奉 經 東 書ニ 永 享 十 二 年 十 月トアリ 堂 宇ハ 永 祿 庚 辰 火 災 燒 失 堂 物 十 六 卷
泉ニ 郷 村 没 入 年 番 預 之

明正寺

上 相 場 村ニアリ 淨土真宗 東派 也 前 基ハ 不 詳 初 道 場 寺 号 免 陰 地
寺 号 免 許 境 收 東 西 廿 五 向 南 北 廿 一 向 以 五 設 廿 七 寺 免 陰 地

阿彌陀

繪 畫セシメ 天正五年ニテ 遷移セ 後 像ヲ 移 寺ニテ 遷 來 然レ 江 州 佐々木 氏ニテ

淨泉寺

淨土真宗 東派 也 昔 村人 藤井 某 本 願 寺 蓮 如 寺ノ 阿彌陀 畫
像ヲ 得 剝 取シテ 淨泉ト云ニ 道 場ヲ 立メ 女 置 村 持ニナリシカ 會見 永 中 道 場 燒
失ス 乃 治 中 淨泉 同 姓 到 魚ト云 者 再 興ス 會見 文 十 年 寺 号 木 佛 免 許 也 境 收
廿五 向 四 方 免 陰 地 也

福徳寺

同村ニアリ淨土真宗東派也開基不詳道場あり慶長三年寺号免許アリ境の東西世間半南北世間 内三畝免陸地

觀盛寺址

同村ニアリ兵太ニテ遷転スト云今地名トナリ

陰涼菴

同村ニアリ小庵也弘法淨土觀止也安西五ノ世實ノ志ニテ備リカキ大ニ煖天ス永ニ噴本尊ヲ遊上セト云木野山ト号村持也境の東西十向南北十二向

下継米寺

故條立村ニアリ曹洞宗明峯寺御留録峯永明山ト号濃州方形御上御倉村阿保陀寺ノ末也同其ノ八ノ養老六年奉遷也本尊馬頭觀音菩薩淨土御立

下御屋沙門惣長慶日仁王也村ノ西山狗角山ト号長樂寺御六茂也見前卷ノ末ニ詳立山中ニイ志ニテ御起不詳本尊佛供座佛子御八俱全宗成今大室相宗ノ御像ニテ在三年八月日本ノ代ノ御也上北ニ古寺ノ布シタルハ寺境の東西世間南北世間免陸地北藏志上社業人ノ昆田雜稻荷社アリ觀止山境の東西百間南北六丁向陸地也

明行寺

同村ニアリ淨土真宗東派ヲ轉輪山ト号ス慶長年中ノ意トシ備ノ用世也境の東西十八向 南北世二向 内三畝免陸地

善行寺

古田村ニアリ淨土真宗東派也慶長年中ノ意トシ備ノ用世也境の東西十向南北世二向 内三畝免陸地

龍像本願寺

池邊像本願寺教外御書アリ世ノ杉谷小洋玄院ト稱セカ近頃ノ不雨境の東西十向南北世二向 内三畝免陸地

藥師堂

深尾村ニアリ淨土真宗東派也慶長年中ノ意トシ備ノ用世也境の東西十向南北世二向 内三畝免陸地

觀音堂

清司原村ニアリ釋宗ニテ寺號觀音堂也同村ニアリ觀音堂也同村ニアリ觀音堂也同村ニアリ觀音堂也

安樂寺

同村ニアリ淨土真宗東派也元一門空蓮場也元祿三年寺号本佛免許

觀音堂

同村ニアリ本尊ノ觀音堂也堂ニ向四方境の東西十向南北六向

地藏堂

同村ニアリ六地藏ノ御堂也

養老寺

川原村ニアリ元村道場也堂ニ向東本願寺ヲ寺号ナリ

觀音堂

同村ニアリ本尊ノ觀音堂也堂ニ向四方境の東西十向南北六向

地藏堂

同村ニアリ六地藏ノ御堂也

養老寺

川原村ニアリ元村道場也堂ニ向東本願寺ヲ寺号ナリ

觀音堂

同村ニアリ本尊ノ觀音堂也堂ニ向四方境の東西十向南北六向

觀立日忠寺

同村ニアリ本尊ノ觀音堂也堂ニ向四方境の東西十向南北六向

佛觀立日忠寺

同村ニアリ本尊ノ觀音堂也堂ニ向四方境の東西十向南北六向

真光寺 田代村ニアリ和道場セシラニ和二年康本頼寺アリト云ク免許アリ境以
東西十五向 南北十三向 免除地

光明寺 二ノ瀬ニアリ浄土真宗 康和也田代山ト号ス和年中本多ハ部ト云者
田代池ノ光物ヲ射備ヒニ阿弥陀ノ木像ナリシカハ天ニ放言シテ人ノ最志ト云
當寺ヲ崩其マニ云德田寺号ス免許アリ境以東西廿三向南北廿六向

慶樂寺 畑毛相ニアリ浄土真宗 康和也阿其ハ教安辰寺ニラ道場ナリシカ
天和二年寺号ヲ木尊ニ免許アリ境以東西十二向南北十五向 免除地也

春光寺 阿下村ニアリ浄土真宗 康和也田代山ト号ス和聖徳太子百濟寺建立ノ
頃阿弥陀ノ像ヲ彫刻シ泰川勝ヲ命ジ百濟寺ノ北山ニ安置シ福田寺ト云太平
中然悉ト云備此北ニ移シ春日作其宗神像ト共ニ安置ス受曆ノ使傳教大師ノ
弟子道頼坊 堂宇ヲ再建 貞永中宗ニト云信守浄土真宗ニ改道場福田寺
ト云縁起云 文仁ノ皇子樹元君 臣武守守不知ミヲ田村管身由切丸ヲ召
運此地ニ来リ宗ヲ造ラント謀玉フ故此ヨリ宗ヲ野ト云道頼ニ天ノ命ノ一山ノ南カシム
今堂々下ト云道頼ノ住セト所ヲ道頼公ト云又三人ノ臣下ヲ命ケ置玉フ白瀬政年
西山ノ村下ト云今ノ白瀬庄是也初瀬直及ヲ東山ノ村ニ置キ川瀬存親ヲ此
地ニ居玉フ田代丸商田切幸ニ進春丈入道ト云宗西ト云夫ヨリ春光寺ト稱セシカ
云保年中今ノ山号寺ト云免許アリ境以東西四十四向南北廿六向 免除地

善日徳寺地 下平村ニアリ不詳
見性寺 阿下村ニアリ浄土真宗 康和也龍興山ト号ス昔ハ天台宗ナリ
此地ノ領主方小範者ノ建立也 範者ノ法ハ寺ヲ見性院殿儀東本堂ニ號

云弘治二年三月朔日卒ス其室ヲ惠明院殿ト云永禄五年卒スニ墓現存ス云云
又此ニ片山家没落シ惠寺モ兵燹ニカケル本尊ニ觀音ノ像ナリト云土人旧址ニ安
置ス境以二町余ノ免除地トナル 万治三年羽場惣右衛門ト云春尾丹綿葉権造寺
虎岩ヲ請再興ス是ヲ禪宗ト云虎岩ハ大猷院様御懇立意ノ僧ニテ種々拜
領物アリ此寺建立ノ後 自綾御紋架御衣 朝鮮院御紋付 阿茶碗 寺什物ト
ナル塔頭獨立庵軒今ハナシ

西念寺 同村ニアリ浄土真宗 西念ニテ向山ト号 阿基ハ紀州人山北豊後守教尊
ト云人丹生川上村ニ住ス其昔提所ヲ向日山松峯寺ト云天乙乱後 教尊出家シ
松峯寺ニアリ又屋三ノ子改宗シ此地ニ移住ス寛永年中寺号免許アリ仍山ト

佛念寺 同村ニアリ浄土真宗 康和也慶長年中良善ト云僧ノ阿基セ境以東西廿
九向 南北廿二向 以三畝 免除地

相頼寺 同村ニアリ浄土真宗 康和也法乙ト云僧ノ阿基 年月未詳境以東西廿
九向 南北廿七向 以三畝 免除地

淨念の寺 同村ニアリ浄土真宗 康和也阿基未詳本尊集印本頼寺宣如ナリ
元ハ村道場ナリシト云境以東西廿五向 南北廿六向 年二畝地也

藥師寺 同村ニアリ元禄二年田中傳右衛門ト云春阿基ス縁起云古ハ此地ニ的
場山長見院ト云在天乙乱領主没落ノ時燒失元禄二年田中知老ノ妻夢

想ノコトアリテ濃州玉野村ニ行此像ヲ得迎希長見院ノ旧地ニ安置是像セ
元見世院ニアリシト云淨和ノ頃見性寺後セシカ 西町筋病人多ク絶家ス者有リ

ケレハ又此像ヲ元ノ所ヘ移スト云

地高寺

叙倉村ニアリ臨濟宗ヲ叙倉山ト号ス昔ハ天台宗ニテ伽藍地アリカ天正ノ兵大ニ退却ス寛文三年所下青見住持寺上虎関ノ弟子益首座ト云者此地ニ今ヲ建立シ

虎関ノ開山トシ其寺トナル本尊十一面觀世音菩薩八幡ノ札所也境内東西八十間南北四十間 免陰地ナリ八幡宮社アリ古寺ノ鎮守ニテ一村ノ耆老神也

勝泉寺

西貝野村ニアリ淨土真宗東山也古ハ天台宗ニテ天野寺伝守堂外アト云所ニアリカ岡山坂ト云地ニ移ス其頃本願寺蓮如ニ帰依シ改宗石榑照光寺末トナリ

其後又差戻ト云所ニ移本願寺東西ニ合ヒ時東本願寺直末トナリ寺号免許アリ境内東西廿間 南北十八間 免陰地也

面比沙門寺

同村ニアリ境内八間四方

鉾貝林寺

東貝野村ニアリ禪宗妙心寺派阿下青見住持寺末也古ハ天台宗ニテ阿下城城主一山竹觀春祈願所ナリトシトク久ク其派院セシヲ延宝ノ頃虎山住持

子六布首座一合テ建立シ上虎山ヲ開山トシ境内東西廿間南北百五十間程村陰地也捨入山トナラス

不動寺

同村ニアリ

乳石藥師堂

鼓村ニアリ堂二間ニ一前半土人惣右工門ト云者持信ニ弘法ノ作也

野村

田信安安置物ト云伝フ野村指在工門再建セシカ五十年程前大破ニ及ビ祈願内勸化ヲ願再建ス乳不足ノ婦人立願スルハ驗多シト又村内僧俗ルコトナリト云伝

以道場

同村ニアリ興云寺末一向宗也昔ハ天台宗ニテ開基不詳中古三重郡小村村持光寺ノ末ニ属ス境内四十間 南北廿間程村陰地也

辨天堂

大辻新田留ノ中ニアリ小祠也

行願寺

南中津原村ニアリ淨土真宗東山也蓮華山ト号ス元ハ二階堂行願寺ニテ開基ト云者開基ニテ真言宗ノ高野山ノ末流也其弟子ニ階堂行願寺ノ末流也

道場

其原村ニアリ東本願寺派南津原村行願寺掛新也其原村ノ頃也所伴戸野三郎支寺ト云禪刹アリ其弟也 西行坊無母全ナリ文圃ノ頃本願寺トナリ行願寺ト号ス後無住故本願寺トナリ 南津原寺末宗利寺坊 行願寺掛新也 免許アリ境内 南北七十間 東西五十間程 免陰地也

觀音堂

南中津原村ニ在云觀音馬頭觀音前ニ本尊ナリ又堂ニ入ス二間トナル今、本尊ハ明和九年奉山ヨリ受ル也云

石佛

同村ニアリ立佛 臥佛トテニ体アリ自然石也

通念寺

上中ノ原村ニアリ淨土真宗東山也南基末詳境内東西廿間南北十五間 免陰地也

石川下野守へ
就尾新左衛門尉へ

伊勢國朝明郡下野守御内左主山本見兼守
散在石田屋敷山林以下
事件去月十七日御施行方一本可被法沙付御執事一代之状如件
寛正六十七

石川佐渡入道殿

十一月廿四日

御料所伊勢國下野守御領所云云住持古確今朝於石原京軒公儀様
御目仍貴殿へ被参千足折紙御對面
按今村ニ山ナリ餘スルハ三人アリノ申御事
此山本見兼守ノ領ナリ

西光寺

柿村ニアリ淨土真宗東派也本堂五間庫裡三間別座敷四間長屋二間

世運證寺

松寺村ニアリ淨土真宗東派也明和四年寺町本鏡寺ヨリ宗長トス僧末住セシカ
天明四年本山ヨリ寺口トス免許也本堂四間庫裡三間境内東西十五間

長明寺

サ降田村ニ在リ淨土真宗西派也時田山ト号ス開基ハ石州鹿嶋ノ神官
大申屋下野守兼遠本家シテ推定ト称シ下總國岡田郡飯沼藏持ト云々
居住セシカ本鏡寺蓮地ニ從ヒ此地ニ来リ真言宗ノ一寺ナリ蓮地斷自一遺田アリ遂ニ
當寺トナル天明十七年本寺子免許アリス往還ヨリ五町程東ニマリカ慶安五年此地ハ
移ルニ屋敷ハ今古屋敷ト称シ田地トナル本堂七間玄關大鼓堂三間鐘樓堂書院
六間ニ三四年總門二間境内東西四十四間南北四十二間除地也

三光寺

西宮田村ニアリ淨土真宗西派也寺町領主時田相摸守宗勝本家又初ハ
本寺ノ本堂三間庫裡三間鐘樓堂三間庫裡三間下座敷三間長屋三間境内東西四十四間南北四十二間

蓮生寺

一舟田村ニアリ淨土真宗西派也寺町領主時田相摸守宗勝本家又初ハ
開基ハ寛文三年申教阿坊忍宗トシ僧也申樂ハ長身申真光ト云僧也此真光ハ常田用
主南野申樂守ノコトニテ時田申樂ハ後主家トシ傳授トシ十三代宗長兼光トシ子トシ
休院ト稱シ也寺ニ住持トシ南野申樂トシ本堂六間庫裡三間總門三間鐘樓堂三間
庫裡三間又銀大知村寺町領主南谷トシ石牌アリ重修寺真意時此ニ寺修寺ヲ建セリ
遺址ニテ今ハ古寺トシテアリ

長興寺

同村ニアリ梅宗トシ越前永平寺末也東谷田村名天々橋加月谷田一色ト云村ノ
代寺セ用基養春トシ後泰澄トシ云由縁寺ニ本堂大間庫裡三間鐘樓堂三間庫裡三間
此寺城主南野申樂提所也天仁宗ナリカ何時改メテトシ詳テフス寺元ハ今境内ニリ
北五十四間許ニアリ本堂六間庫裡三間鐘樓堂三間庫裡三間地蔵堂五十六間雜講人天神社等
アリ境内東西十七間南北十九間山ノ下谷田山ト云

正泉寺

同村ニアリ淨土真宗高田山ト号ス開基ハ永正五年仲唯田ト云僧也本
堂六間庫裡三間鐘樓堂三間境内東西廿四間普光光明寺ト稱セシ也寺口免許伊勢
國下野守兼遠本家トシテ免許アリカ元禄天仁ノ災火ニ罹リトシ今田記分明トス
疑ラシハ今ナト其寺口ナリテ不テシヤ

道場

同村ニアリ淨土真宗西派也寺町領主時田相摸守宗勝本家又初ハ
所無之ニ付慶

安二年建立ス堂一 庫裡二 境內三

龍泉寺 同村ニあり 堂一 塚二 同三

龍泉寺 舊田一色ニあり 淨土真宗高田派ニテ 殊王山ト号ス 關基六丈 祿二年 西光坊 皇可上

僧也 本尊 阿彌陀 故 田信六 傳 来ト云 伝フ 本堂一 庫裡二 總門三 東門四 鐘樓五

下り 境內 東面 北西 南北 世三 同

道場 同村ニあり 一向宗セ 堂一 境內二 建立年代未詳

千手觀音堂 同村ニあり 堂一 緣起ニ 天平十四年八月十八日 海中ヨリ 引上ル 像也

一々 山部 同寺ト号ス 淨土真宗 高田派ニテ 勸成寺ト云 山ト号ス 傳奉 豐前守 建立ノ 寺也 弘仁

二年 草創セ 行勢 軍記云 仲奉 前守 八富田 北設クシカ 事 敏 然念ニテ 一家 滅亡ス 其事

ヲ ナクシテ 村中ニ 歸念仏 妙成寺ニテ 秘藏 會ヲ 用ニ 秘明ヲ トス 毎 年 七月 十四日 日 卽ケル

按ニ 今モ 跡念仏トテ 東 富田 神主ニテ 秘明ヲ トス 此 觀音 堂ニ 承ル 其 寺トク 本 境內ニ 轉ス 堂アリ

朝明光寺址 今其アリ所ヲ 此ニ 誌 雜記ニ 寺ハ 若一王子ノ 氏寺也トアリ 今 寺 村ニ 若一

橋現ノ 祠アリ 然ハ 亦 寺 郷ノ 由ニ 由ル

善教寺 北村ニあり 淨土真宗 高田派セ 成徳山ト号ス 同 基ニ 宗 旨 不 詳 堂 寬政 七年 建立

切ト云 傳ヨリ 寺 堂トテ 本 堂 大 同 半 同 寺 庫裡 九 向 上 同 境 內 東 西 北 南 世 三 同 鐘樓 梅堂

地藏堂アリ 堂一 三 同

樂師堂 同村ニあり 堂一 境內二 東面 北西 堂內ニ 弘法大師 御子 判 辨 天 堂 建立

證圓寺 茂福村ニあり 林 丈 山ト号ス 淨土真宗 西派セ 關基 詳ナラズ 中興ノ 林六郎 支明

廿一代ノ 孫 三左衛門 光正 長亨 二年 蓮如 弟子トアリ 正西ト 稱シ 再興ス 永祿十

年 寺 城 茂福 家 没 落 時 正 西ノ 姪 次郎 入道 去 證 茂福 家ノ 遺 跡ヲ 隱シ 林三郎 左

工 門ト 名 來ラセ 自分ハ 寺ノ 住職ス 元和 九年 寺ヲ 免許アリ 證圓 寺ト云 本 堂

六向 一 座 敷 三向 半 庫裡 二向 鐘樓 梅堂 廊下 物置 寺アリ 境內 東面 北西 世三 同

堂中 同村ニあり 淨土真宗 西派ニテ 光明山ト号ス 天 之 寺 淨土 法道ト云 僧 南基ス 堂 建立

七年 寺 免許アリ 本 堂 六向 庫裡 三向 半 座 敷 三向 鐘樓 梅堂 廊下 物置 寺アリ 境內 東面 北西 世三 同

藥師堂 同村ニあり 洪恩 寺トス 持福 掃部 介 菩提 所 天台 宗セ 永祿ノ 災 大ニ 亡

本尊 藥師ノミ 存ス 證茂福 家 菩提ノ 八 寺 郷ノ 由ニ 由ル

正法寺 羽津村ニあり 禪宗 曹洞派 能州 總持 寺 末也 延命 山ト号ス 同 基 公 堂 峰

良 秀ト云 德永 十三年 寺 末 寺 末 家 代々 菩提 所 也 六代ノ 牌アリ

西 山 成徳 山ト云 大 居士 羽津 城主 赤堀 右衛門 大夫 藤 左 盛 宗

庭 豐 知 伯 大 禪 定 廟 赤堀 大膳 直 虎 藤 左 宗 人

春 月 善 心 大 居士 赤堀 上 總 介 藤 左 宗 人

加 貝 屋 宇 慶 大 禪 定 門 赤堀 肥 前 守 藤 左 宗 人

久 山 宗 貞 大 居士 赤堀 因 幡 守 女 藤 左 宗 人

大 山 智 清 大 禪 定 門 赤堀 右 衛門 大夫 藤 左 宗 人

本 堂 八向 庫裡 九向 禪 堂 五向 鐘樓 堂 總 門 外ニ 鐘 堂 台 山 金 毘 羅 社 あり

境 內 東 西 北 南 世 三 同 鐘樓 堂 總 門 外ニ 鐘 堂 台 山 金 毘 羅 社 あり

大 鏡 公 御 寄 附 狀 あり

執刀州朝劍郡羽津村正法寺者、建代之在、判世景象、其蕭條勤修、無闕然者、其
内之地三畝、三三歩、地ノ諸役悉免、除之并門前百姓三在、衛門屋敷之地一畝、十五歩、
地子下置畢、全可被銀、處手者世仍狀、此件

正保四年
四月八日

越中守
定綱

九明寺

同カニアリ、淨土真宗、西派ニテ、青木本堂、初野山ト号ス、旧記、寛文三年、雷火ニテ
燒失ス、古ハ大六和村ノ青木本堂ト云、所ニ在、ト云、伝フ、一説ニ、寛文三年、高田寺修、其時、
名、西ノ寺ニ、本堂、四間、経藏、四間、庫裡、七間、鐘樓、本堂、境、東、西、三間、南北、三十間、由緒、
モ、三、月、本、谷、ハ、高、田、宗、真、真、一、旧、地、未、堀、宗、慶、寺、ヲ、建、立、セ、ト、リ

明園寺

吉沢村ニアリ、淨土真宗、西派ニテ、放火山ト号ス、開基ハ、永正二年、了正ト云、僧世本
堂、五、間、庫裡、三、間、境、内、東、西、三十間、南北、十六間

道場

天多須賀村ニアリ、堂、四、間、本、堂、寺、阿、弥、陀、土、集、書、慶、長、八、年、本、願、寺、蓮、如、子、境、
以、東、西、十九間、南北、十三間

道場

豊田一色ニアリ、淨土真宗、西派ニテ、松寺蓮證寺、兼、常、又、堂、五、間、境、内、東、西、十間、南北、十五間、四、尺、
竊、師、堂、同、村、ニ、アリ、堂、一、間、半、鏡、台、神、附、社、地、ニ、アリ、南、福、崎、若、海、邊、ニ、テ、古、木、ヲ、拾、ヒ、新、ニ、セ、ト、
持、来、レ、所、夜、々、光、リ、レ、故、同、村、ノ、山、神、社、ニ、據、テ、所、業、師、ノ、像、ヲ、ハ、安、置、ス、ハ、ト、茂、ク、告、
ニ、ヨ、リ、此、ニ、安、置、ス

光輪寺

高松村出郷塚田ニアリ、天、多、須、賀、
地、内、ナ、リ淨土真宗、西派ニテ、解脱山ト号ス、廣永城主、模範

善正養寺

同カニアリ、淨土真宗、西派ニテ、高松山、高松寺ト号セシカ、傳、永、ノ、如、也、寺
ト、ラ、改、公、論、其、不、詳、恋、仁、噴、出、所、城、主、渡、却、利、ノ、善、提、所、也、利、ノ、没、落、後、出、家、シ、テ
當、寺、住、職、村、潮、坊、ノ、ト、オ、チ、ト、成、法、名、ヲ、松、吟、ト、云、文、明、三、年、本、願、寺、蓮、如、ニ、隨、從、シ、教、了
ト、改、始、ハ、天、正、五、年、セ、シ、レ、此、時、今、ノ、宗、ト、ナル、本、願、寺、法、地、ヨ、リ、初、中、後、ト、云、キ、格、ヲ、後、セ、ト、
云、本、堂、七、間、庫裡、六、間、半、座、敷、三、間、鐘、樓、本、堂、總、門、等、アリ、境、内、東、西、廿八間、南北、廿一、間、

道場

松倉村ニアリ、淨土真宗、高田派也、開基不詳、本堂、三、間、半、境、内、東、西、十間、南北、十間、半、

法雲寺

南福壽寺ニアリ、淨土真宗、西派ニテ、南林山、魚、骨、院、ト号ス、京、尾、州、海、西、郡、西、一、色
ニ、アリ、智、證、大、師、天、長、三、年、作、レ、創、造、也、ニ、文、安、年、中、今、ノ、宗、ト、ナル、其、時、ノ、住、持、ヲ、蓮
遊、ト、云、然、度、々、水、難、ニ、テ、堂、塔、モ、破、壞、ス、蓮、遊、本、尊、ヲ、携、ハ、長、嶋、ノ、願、證、寺、ニ、閉、居、ス
後、本、尊、ハ、河、曲、郡、林、岬、村、南、林、山、普、願、寺、ニ、安、置、ス、蓮、遊、願、證、寺、蓮、如、子、蓮、信
ヲ、養、子、ト、ス、其、頃、高、松、村、ヨ、リ、招、待、シ、テ、普、信、一、寺、ヲ、建、立、シ、南、林、山、ト、号、ス、ス、亂、リ、テ
去、住、蓮、說、淡、州、方、縣、郡、鶴、飼、庄、ニ、閉、居、シ、堂、宇、退、転、ス、元、和、九、年、兼、淳、再、高、松、ニ、集
ム、奉、テ、法、地、ノ、所、ト、カ、村、ヨ、リ、招、待、シ、テ、此、寺、ヲ、再、興、シ、法、雲、寺、ト、号、ス、乙、徳、三、年、ノ、ト、也
本、堂、六、間、半、庫裡、七、間、半、鐘、樓、二、間、境、内、東、西、廿三間、南北、十六間、

南元土寺

小倉村ニアリ、淨土真宗、西派ニテ、空、海、山、ト号ス、北、五、味、塚、村、榮、松、寺、末
寺、也、本、堂、三、間、半、庫裡、三、間、境、内、東、西、廿間、村、除、ナ、リ、開、基、ハ、文、祿、元、年、法、養、

寺院

三重郡

淨世ト云傳ナリ本尊阿彌陀也子千觀音ノ木像ヲハスス吳像ナリ此觀音ニ寄附トシテ田一及一畝半ノ免除地也

滿性寺

同村ニアリ淨土真宗廿四向の地也其天白宗ナリし由天正年中ノ開基ニテ小倉小王聖坊ト号ス慶長廿一年中一自身田事修テ寺ヲリ万性寺ト号ス允許アリ本堂七間半 庫裡三間半 境内東西廿四間半 南北十七間半

藤木郎清寺

同村ニアリ浄土真宗廿四向の地也其天白宗ナリし由天正年中ノ開基ニテ小倉小王聖坊ト号ス慶長廿一年中一自身田事修テ寺ヲリ万性寺ト号ス允許アリ本堂七間半 庫裡三間半 境内東西廿四間半 南北十七間半

信最寺

北五味塚村ニアリ淨土真宗高田派也欣治山ト号ス往古ハ天白宗ニテ天文六年西倉ト云傳令ノ宗ニ改メ是ノ開基トス亦五世順上ノ時大鏡院棟ヲリ境内三及一畝十歩 新田一町七及一畝五歩 杉林ト御堂附アリ 勢多州三連和柳村五味塚 欣淨山信最寺住僧須藤志操貞信而其功宗旨遊學武城累歲頗有紹隆之功爾乃寺内之地三及二畝十歩より地子諸般悉免除之詔又以新田一町七及一畝五歩并田廻植樹之松奇興之全可被領御之杯如件

正保四年十一月八日

越中守 定綱

信取寺

又猿荷石ト云奇石アリ猿ノ物負ルル状ニコソリ 公ノカク名付レ侍臣ニ詩ヲ題セラル其頃材木ヲ賜リ本堂西更ス永永四年 地原ニ山崩ル之改ニ年再建シ旧觀ニ復ス新田八高田御行替後年賣地トナル本堂 六間一尺 庫裡 六間半 境内東西廿七間半 南北廿一畝 鉢力州桶縣傳令有庭有一怪石其大可才入而其形如馬拾猿猴之形物一時北郡太守渡御ノ次偶居於此因賞愛奇石呼其名曰猿石在更裁一詩於石上石人方中次更賞景粒凡與多象衆客徒知奇觀好主知大不可呼猿荷石是正貞

慈不照寺

同村ニアリ淨土真宗鎮西派ヲ京御智恩院末也慶長廿年中清田ト云傳首寺ヲ建シ住居セシ五世真眼ノ時 大鏡公一寺ニ取立テキトノ命ニヨリ本山ノ鎮西月海山崇照寺ト免許アリ直末トテ境内并鐘御寄附アリ本堂六間半 庫裡三間半 境内東西廿六間 南北十八間 末寺十合村南ニテ 桑女村ニ寄附アリ

神光寺

同村ニアリ真言宗ニテ大山歛山ト号ス本郷村花臺寺ノ末也本堂三間半 境内東西廿四間 南北廿二間半

地藏堂

同村ニアリ浄土真宗高田派ニテ海科山ト号ス昔ハ真言宗ニシテ慶長二年信光院ト云傳令ノ宗トナル一身田末トナル本堂六間半 庫裡三間半 境内東西廿六間 南北廿二間半

玄中寺

南川村ニアリ淨土真宗ニテ文珠山下号ス東六村邊澤寺末也開基ニ未詳ノ治年中南能ノ二僧中興ス本堂四間半 庫裡三間半 境内東西廿九間半 南北廿二間半

樂師寺

同村ニアリ浄土真宗高田派ニテ海科山ト号ス昔ハ真言宗ニシテ慶長二年信光院ト云傳令ノ宗トナル一身田末トナル本堂六間半 庫裡三間半 境内東西廿六間 南北廿二間半

阿彌陀堂

同村ニアリ浄土真宗高田派ニテ海科山ト号ス昔ハ真言宗ニシテ慶長二年信光院ト云傳令ノ宗トナル一身田末トナル本堂六間半 庫裡三間半 境内東西廿六間 南北廿二間半

正心見寺

本郷村ニアリ淨土真宗高田派ニテ海科山ト号ス昔ハ真言宗ニシテ慶長二年信光院ト云傳令ノ宗トナル一身田末トナル本堂六間半 庫裡三間半 境内東西廿六間 南北廿二間半

アリ長壽院山領空室和尙、再興之被入材木知生所アリ公傳元年唐王守成就之境以
南北五十間余 東西五十七間余 田地高九石六升三合六及五故三升 陰地ニナル山領空
兼帶又兼唐三年山領空室弟子仙溪住職六天明聖卿木像自川一御遷之時長壽院住持光
年故寺住職上藏主為名代御供ス知代々御位牌桐家位牌ヲ安置ス本堂ニ七間四半
庫裡六間四半廊下居間玄關空敷長屋鐘樓等アリ本堂之觀音桐家ノ守本堂ナリ

花基寺

同村ニアリ真言宗唯識派大覺寺末世大原嶺山海空院ト号ス
縁起ニ推古天皇御宇聖德太子論此地地立七空室伽藍安置佛像乃號花基寺海鏡
院吳子山梅樹更魚餘木花香芬芸満郷空室故大原嶺山或科花坐山花基寺或名
阿弥陀寺然又持統天皇曾奉修佛彫於塔内淨般若經 孝謙帝新入親田改
寺号ヲ稱 灌園神 下畧本堂八魚櫃地故大敷ニナリ明和年中取山朋ス空室四間半下
屋三間 境内東北三間 免除地ナリ境内ニ地藏唐土寺外ニ八幡宮大社アリ

來教寺

同村ニアリ淨土真宗高田派ニテ口松山ト号ス古八天宮、精舎世シカキ空ノ南基
ハ勝壽院貞應ト云天正丈禄ノ間ノ人也本堂東向六間半 庫裡三間 境内東北廿四間
經堂九間 棟十郎守本堂ナリ觀立日廿四日

正久寺

川尻村ニアリ淨土真宗西派ナリ住持ハ天台宗也カ天文頃今ノ寺ニナリト由天文
年中本願寺證地兼書、阿弥陀ノ像ヲ安ス本堂四間半 庫裡四間 座敷三間半
東屋三間 境内東西十三間半 南北十九間

十五堂

同村ノ子新屋敷ニ在 空室一間 境内 東西十三間半 南北十九間

大日堂

同村ニアリ空室三間 境内東西十二間一尺余 南北十五間余 境内地藏空室ナリ五尺
大日山ト号 大日山ト云寺ト云福泉寺ト云空室八尺ノ帳ニアリ

代佛堂

北一色村ニアリ本堂阿弥陀木像高田宗世也空室四間 境内東西十一間南北
二二三間

同比沙門堂

同村ニナリ空室三間 境内東西六間四尺 南北十三間

風俗

人国記云北伊勢八人ノ意地能忍多ク是モ尋言ハ下地ヲ難クシテ作リ上リ漆ニテ
其仕リ如シ然レハ下地ヲ土ニテ作ルヨリハ遙ニ勝ルナレバえ来雜木ノ所アルナリ婦人ノ姿ハ上オ
ニテ也三國ト云オ一ナリ按ニ古國ハ大庭海濱ワキナリ但一南西ニ一而ニ山ナリ川モ又ナシ寒モ暑ハ
暖氣多ク温ナル地ナリ民俗本書ニ詳カセむ軽薄ノ風儀也

見聞更々ニセノ風ハ上ノ和ニ倣フト云ハリ下賤ノ者其身ニ嗜ナム故聊思食ヲセヌ甚肉
ヲ禁ス鶏等モ食スルコトナレ國ニ患疾癩ノモノナレト云ハリ又身ニ虱虫アルハ至賤ノ者モ
甚耻トスエヨリ士庶ノ中末々迄モ虱虫生セヌ末ノ小児ニ布を腥臭ノ手ヲ觸レ頭ニ生スルアレ
甚コレヲ州心スル故蕃ルコトナレ民ハ必ニ雜穀ヲ食レ末々木穀ヲ食スルコトヲ重トス衣服
調度ハ分限ニ隨ニ是ヲ賤ヘテ不來オラス士庶ノ服モ草蓑ニ造リ綿布凡ニ田舎ヲ賤ニテ京都
ニ造リテ是ヲ用ニハナク蕃財モ多ク是ニ準テ其ニナシアリト云ニカ

又婢ノ出替リハ男ハ二月ニ日ヨリ二月ニ日迄ヲ一年ト定ム女ハ三月ヨリ九月半季ニ定テ
三月三日九月九日上替トス

扶持男ニ合半女ニ合計縁味醬汁古来ヨリノ格ニテ一同此上^{上白}中^{中白}下^{下白}ナリ宝永元年後
ハ上下混ルコトナレリ

町ハ味醬同溜リヲ用ニ城故白味噌下味噌又醬油ヲ用ニ在中亦町ニ全シ
大塚ノ糟漬春ノニ三月市中コレヲ賣フ

民間本領寺洲多ク諧談職聞、睡サマと昔ヨリ豆ヲ煎テ温飴粉ニ砂糖ヲ和シ又テシル生
菓ヲモ製シ小袋ニ入一錢ワ、ニウルコレヲ携ヘテ男サキニ行コトナリトリ

火災アルハ片屋様上ニ伊勢被箱ヲ立拜又伊勢大神宮ノ國ナレハトテ月待日待等々希也
諏訪茅澤斎見圃書日ニ云桑名御時代ニハ大身ノ面々家内年始廻リハ駕籠ニテ馬服
ヲ着用シ鈴一升ヲ持テ先方右ヲ吸物ニテ祝ヒ所々廻リ候若キモ、杯夜味ニ参リ候得ハ
重箱ニ握リ飯ニ味噌ヲ付焼ニイノニ香物一重添差出何ヨリト申吐掃リ候町廻リ節ノ
身ノ面々鏡一本ヲ持廻リ候申三石取リ、暮ニ方平日計ト香物ニハレソ、上ヨリ下迄
賄女世流イタレホス申祝日モ干物佛ノ日ニハ盃豆當五大本位在ニ勤番用土原毎十
十金程宛ハ陰置ク由道中モ千盃、并荷荷籠位ノ由上辺ハ都ヲワマシキ所ニテ流
尻、洗米又ハ湯殿ノ洗水モ漏桶ヲ居置出入ノ百姓共其大塚等持參ニ在溜水ト取
替參リ候由

鈴木總右衛門上京却兩便若副使ニ被參候女即右若堂、幸右町末ノ家ニ腰ヲ掛
居候ハ、正月廿未ヲ却ニ参リ候由又買手モ參候ハ、右ノ若堂、女房ノ中候ハ先刻青
茶ヲ二錢ニテ却ニ候ニ又二錢ニテ賣候ハ利分無之如何致シ候事故ト申候ハハ
女房アナタハ、御江戸ニ御座リマカト申候成程ト申候ハ、御本ノ御不慮ニコサ候
却ニ候青茶ハ、茶ニスシテク、候夫ヲ扱ヘ直ニワラハ本ニテク、遺ニ杖世不ヲ手前
汁ノ賣ニトリ候同是ニテ合候ト申候由

長嶋細布ニ長嶋在々己前多ク火葬ニイタレ来リシカ、西徳ノ末ヨリ享保七八
年頃マテ止アリシカ程ナリ御免アリ

長島ニテハ、廣白ト云番昔ハ木ノ白ニテ繩ヲ何向合ニ居ナカラ引シカ、寛元永ノ始ニ備前
ヨリ今ノ白作、深谷却ニ末尾シカノ倉村ヘ呼テ作ラセシヨリ始ル年ニカラ、劔ヶテテ
耕ハモ兼惣ノ頃ヨリ始ル其己前ハ皆劔劔ニテ耕セシトリ泥アタカモ兼惣ノ頃孫

在工内ト云者始テ作りシ後端トテテ飲モテハニ仕カケリテ劔鋒ト云ハ延宝三年松平良高公大政庭カ糸田ノ節節諸ノ氏大攻テ調ハ果リヨリ始ル況引ト云ハ圃ノ低キ処ハ高所ヨリ出ラ引ヨリ田圃ヲ直スニ三尺四方ニハハニ枚重シ丈夫ニ拵ハ繩ヲ付肩ニ掛田中ヲ自由ニ引テ縁頃ヨリ始ル又木村ト殿名村ト毎午五月五日酉村ノ童子ニ艘堀ノ堤ヲ境トシテ櫛ヲ打手足ニ疵付痛マシムルヲ勝トス延宝四年申年申停止トナル

春名町在任年ノ始ニ門カサラス御復封ノ頃ヨリ川口旅籠屋ノ門私立ナリ紙書六春等ヨリ弄ア出者タコトテ武者ノ通マセトリナリニ月初午ニ走井辺ノ田圃ニテ大人モ入テテ弄フ夫ヨリヤムナリ

春秋、嶺山岸ニキテ繁昌ス難遊ハ常都ノ風ヲ故フ塩干ノ頃町屋川ノ落及蝦蟇ノ類ヲ採フ甚賑フコトセ五月嶺ハ幅廣キ木綿ニ色々ノ模様ヲ染本唯一本立ルコトナリ嶺竹ハ三月竹ノ大ナル尺圍リモアルヲ根ヲ行堀タリヲ用ユ今尚タルモノハ毎年竹ヲ易ヘ去月キヲ以テヨシトス餘長ノ等四五本並ハ立 六七月ノ頃在々ニ出遊ト云フコトアリ大サ一抱長サ六七尺余ニ及フヲラニテ次把ヲ拵ノ教本始ニ連レ銀大鼓大ニハ大鼓ニテ全長五六尺アリヲ叩キ田圃ノ向ヲ遠リ村境ヘスルナリ毎村ヨリ定メ七月五日夜九時ヨリ鎮守ノ石トリ神事念鼓ヲ鳴ク十車ヲ引七日ハ曉ヲ町屋川岸ニホ石ヲトリタカヲ車ニ振打テ余多ク銀守ノ糾復レ河ノ神事ニテ御腹アリ同十七日ヒヤリ糸練物出ル八月十七日大祭アリ神社ノ節詳テス七八月頃ハ町在々神社祭リ日毎ニアリ十一月一向宗報恩譜ニテ寺々賑フ十月頃大浦ノ足ソレヘトテ次浦行列ヲナレ搦ヲ立其上ニテ色々ノ戲ヲナス去嶺ノ頃タカノ打トテ村々ノ火書ヲラサ大サ三四寸圍リ積ニ綴ラテ巻キ地ヲ打トアリ十月半ヨリ大夫村ヨリ大神樂ヲホス種々ノ戲曲ヲホス先城内ニ入御櫓ノ前ニテ舞ヒ長ヨリ家内家毎ニイタス又丑辰未戌ノ年ハ別ニハ獅子舞ヲ出スコトナリ城下近キ村々ヨリ家内所家ノ不洋ヲ取り秋ニ至リ餅米野菜ヲ納ルナリ奥所ニテ毎日魚米ノ布アリ近國へ送ル片竹ニテ野菜ノ市アリ香取村 阿下花村 月六度市アリ

業名志料 卷之廿三

人物 城下旧家部

当地ニ三十六家氏人ト称スル者アリ是悉未名ノ旧家事由緒アル者ナリ其後漸々滅之シセ七家減ハサハ家又ハサハ必セシ家ナト称スル時アリ

定綱公事書ト云モノニ三十三ノ町ノ町年生ナト云々光明寺神而寄附六世四人宝永七年ノ頃ハセム人又云五年ノ人減候様ニ被命セ人ニナルト町年生ノ事ニテ右役ヲ勤ル者多ク旧家ノ者ナリ古書自ニ見ハタル者又当時ニ存スル者ヲ下文ニ收ム

北勢戰伐記ニ伊勢國業名郡三壽地待矢部在馬亮子息善七郎豊後守下里不即英衛家

興時岡民部伊藤武左工門會倫太田忠右工門去清伊藤載泉軒信安右衛門右馬亮同九兵衛

尾藤河内藏人同新七人此碑有浮立寺味岡才在工内夫田左工内矢田半左工内

同書附録ニ業名郡三壽ノ地待或ハ孫氏人モノ

- 服部 又右衛門 今
- 伊藤 交參
- 味岡 民部
- 太田 又六 兵衛
- 矢部 善七郎 豊後守
- 味岡 才右衛門 尉
- 下里 藤左工内 尉
- 立木 半左工内 尉
- 伊藤 藤五郎 左工内 尉 今
- 立木 考右工内 尉 今
- 太田 九郎 兵衛 尉 今
- 杉島 六郎 右工内 尉 今
- 樋口 平右工内 今
- 伊藤 英左工内 長好
- 矢田 半右工内
- 大田 忠右工内 善清
- 星 野覺兵衛 尉
- 伊藤 藤左左工内 今
- 下里 考左工内 尉
- 大田 孫四郎 今
- 水谷 十一兵衛 今
- 鈴木 傳左工内 尉 今
- 谷 五左工内 尉 今
- 矢部 孫兵衛 尉 今
- 味岡 勘右工内 今
- 矢田 左工内 次
- 下里 四郎 兵衛 家督
- 朝原 善右工内 今
- 大田 相介
- 下里 次郎 大夫 今
- 伊藤 藤左兵衛 今
- 福本 六大夫 今
- 立木 次郎 右工内 今
- 富田 庄右工内 今

伊藤佐平次 今旧家ト録スル春由緒ノ詳ニスヘキヲ印録ス

小細町ニ住ス先祖ハ伊藤武者皇綱ニテ更セ兵衛 伊藤武左衛門

房永の丁年ノ春閑康ヲ来リ此地ノ東ノ城ニ住ス入ハ伊東ト稱セシカ此ニ来リ時春
日ノ氏人等他姓ヲ容ルヲ欲セス因テ東ヲ藤ニ改ムトナリ皇綱清ノ曾直重ノ片袖ヲ持伝ヘ
今ニ存ス大永三年九月廿五日卒ス今城中ニ武左内膳ノ跡ト云所アリトシ松山十河氏ノ
赤ニ皇綱清ハ皇綱清郡志知村ニ住セリヨリ知ノ兵工ト云トナルヘレト云志知村ニ皇綱清ノ
持傳ナド伝フルハ此ノ因ニアル人ナリ皇綱清ハ古市ノ人ニテ末ハ別ナリ

次田カラ由置左内門官倫ト云此地ニテ三ノ石ヲ領シ香土公ニ任シ文祿高野陣上
ハ功アリ南京四十枚令捕ノモノトテ伝フ感状ヲ賜ル後信確ニ屬ス

美濃國本巢郡文珠村之内千石事令扶助訖全可領知者也
天正十九年 後二月十六日 御朱印

弟彦作ハ信長公ニ任ハ本能寺ニテ討死墳墓彼等アリ慶長五年氏家開城ノ
時豊左内門候者ヲ勤ムト云本多忠勝公ノ時伝来ノ由直重ノ袖ヲ御覽ス入寛永
二年卒入其子豊左内門官直八收皇綱門ニ任テ後本多美濃守殿ニ任ハ大坂陣ノ後美
倫ノ家ニ継ギ旧家タルヲ以テ代々諸役ヲ免除セラル由直重ハ後火災ニ破失入信長
公御朱印信確公御印印香土公御朱印拜領因次ノ脇差左文字ノ大小板滝川
一並感状等ハ今ニ伝来ス其三田乃法盛寺ノ住持ナリ世間公貴元武左内門ト稱ス其子實
次ノ時天知三平武士ノ外帯カラ林業セラル實次家ノ由緒又軍役ヲ勤ムキト云テ其子實
次ノ佩刀御免ト貞享五年ノコトナリ今此地待ト稱シ相續ス
由直重ノ記ニ本能寺討死ノ事
由直重ハ伊藤彦作トナリ

吉津屋町西側ニ住ス先祖ハ洋ナラス由緒書ニ文治頃此土ニ住スト云次郎大夫ト稱
其子ヲ治部ト云水無瀬守相氏長卿ノ親屬ナリト云書ハ教通ヲ所持ス其次ヲ内藏分ト
云元庵ノ頃西ノ城ノ城主ナリ支族甚多シ其時皇寺檀越家ヲ彼寺ノ邊去帳ニ妙園植
口内藏分内トアリ寺皇寺縁起ニ文治年中春山ノ為寺ヲ校カレト云植口連久ト云アリ之永祿
三年織田信長ノ亂ニ際シ三平武士討死ストアリ此者ノ祖ナレシ其系洋ナラス

松平阿波守殿ノ臣ニ植口内藏分ト云アリ大坂ノ戦ニ戦功アリ今子孫往來伊藤寺ニ
参詣スト云其三田乃法盛親清ト云慶長公斗上田吉之丞ヨリ大坂坪流手綱ノ伝書
ヲ伝フ今ナリ其次ヲ大兵工ト云三平大夫家人ノ一人ナリ之知申ヨリ村サレテ實永年中
諸役ヲ免除セラル由緒書ニ皇綱領ノ時升作リハコト領分ノ現據ナリトアリテ公道ハ延
頼アリ外サレ盡免本村ヲ被下今ニ所持スト云永年中御改被下安永五年
江戸榭屋村外八諸國御サレ盡免御吟味ノ時日記ヲ以テ申上今ニ家譜未トス又家全ニ千
餘ヲ伝フ石唐ニ兼助ノ作ト云石ヲ六ニ兼助ニテルニ五石兼助ト稱スト云

鍋屋町ニ住セシカ今ハ新絶ス家譜云本姓ハ平氏ニテ三浦義明ノ次田乃義澄ノ夫部別也

ト云其後胤夫部慶全尾州清須 徹田家ニ任フ其次ヲ石馬丸主殿ト云初ノ名ハ五郎也其
地ニ江ノ島ニ住シ江島殿ト云大永三年連歌師宗碩田識ニテ教日田置ニ時佐野渡ト云紀行
ヲ作ラレトナリ其子石馬丸相繼テ三田ノ城主ナリ慶長十四年八十歳ニテ卒ス其
次ヲ善七郎ト云後豊後守ト稱ス織田家ニ任フ其國神ノ子ニテ信長公ヨリ野菊
ノ花ヲ摘テ賜リシヨリ彼所トス信長恭送ノ後遺物ニ天蓋ノカヲ拜領ス慶長六年此水
野大徳寺ニテ自殺ス其弟孫兵右馬允ノ跡ヲ相續ス入工藤家譜ニ夫部忠石内
鍋屋町ニ住シ支那人役勤務セシカ自不地立息ニテリ父子共ニ出家シ家断絶ス

大田平左衛門

船馬町南側ニ住ス家譜源三位頼政ノ孫廣綱ノ子大田國善助吉卿業北中
 場ニ城ヲ築キ江ノ奥ノ城トシテ文武女五年卒ス曾孫新左五門主成天文十六年安
 羅推院より田地ニ及買取ル證文今尚存ス其孫又六郎吉家天乙九年滝川一巻ヲ諸役免狀
 其方持方田自由屋敷并質物等自然徳政申付永代令免許口次酒役
 門并諸役相除之於領今何方虽有諸商賣在町前聊不可有相違之狀并
 天正八年二月十日

大田又六郎殿
 大田新平殿
 左近在判

新平八弟ナリ後美濃ニ住ス小禄十年八月廿三日織田信長公大田ノ館ニ入リ陣羽織并大カ一
 腰ヲ賜フ人獨持信ヲ天正九年滝川一巻ニ從ヒ伊賀國ニ發向シ殿功アリ多羅屋ニテ不動尊ヲ
 得テ埽リ淨土寺ニ安置ス人新左五門ハ江ノ奥ニ住シ又六郎ハ江ノ尾ニ住ス入和元寺ナク其子
 忠右五門吉清三重郡楠六郷ノ代官ヲ勤ム慶長四年ヨリ廿年春迄世上ノ記三冊アリ
 慶長元和二年卒ス其弟傳左五門吉利四日市ニ住ス此子孫信長ヨリ拜領ノ大カ滝川ノ
 免狀ヲ傳フ吉清子吉重ヨリ子半左五門吉寛其子ヲ吉堅ト云町年寄リニテ町
 中酒屋ヲ支配ス其子半左五門年寄船年寄ヲ勤メ濃州御田米支配キ津船百廿世
 大田

本町西側ニ住入肥前屋ト稱ス先祖ハ佐々藤次信ノ支族ニテ兄ハ三重郡小杉村ノ侍走寺ニ住持
 弟ハ業ヲ承ラシ名乗リシトナリ夫ヨリ十二代ヲ経テ大田相介ト稱ス代々佐藤ヲ名乗リシ
 カ攝州大田ヨリ事ヲメトリ夫ヨリ大田ヲ稱ス慶長五年岡原ヲ西方敗年ノ時町年寄トナリ
 城下ラ守衛ス此時鍋屋島信濃守勝茂主從三騎ニテ謀事ル相介我成ノ供奉トシ

リトナリ天下靜謐ノ後鍋島信參勤ノ節右ノ由緒ヲ以テ本陣トス夫ヨリ鍋島一家皆
 此ニ宿セラル(俗ニ鍋島本陣ト云)初勝茂公ニ供奉シタル時粗末ヲ菓子ヲ獻ス例トナリ今モ
 亦地ヲ至テノ粗末ナリ殊ニ懇ナリトナリ其書狀猶存ス

後身上ニ書テ相成ノ移住ス
 大田相介ノ書
 大田新平殿
 大田又六郎殿
 左近在判

大田相介ノ書

大田相介ノ書
 大田新平殿
 大田又六郎殿
 左近在判

大田切野史 下城新史

右ノ閨二月八日貞吉三年ナルハ直朝ハ勝茂ノ四男今地ニ万石肥前鹿島ノ城主ナリ旧例トテ本島良清ノ大根ヲ獻スルコト今ニ夕ハス肥前ニテ相介ノ香物ト云フアリ二月八日城ノ時自本島ニ香物ニトテ載リテ式トス此ノ葉名ノ相介ノ香物ト云フ

味岡市兵衛

川口西側ニ住ス先祖ハ永仁年中春日勸請縁起ニ見ヘタル平内伝モナリ縁起ハ此家ニ伝ハル平内大代ノ孫民部ト云家記ニ慶長五年因テ本師合戦ノ節即当城ノ内家内膳筆置城ス福島ノ頼守世全騎ニテ攻守可スル此時味岡甚左エ門ト此民部御使ニ開城儀云入ル十九日内膳本置頭ニ退去ス氏孫常孫市左エ門ノ勝ノ時城主ヲ諸役免除スル

市左エ門儀御役儀春日由緒ニ有ル者ハハ先諸役儀相除キテ

西折坂在上門ハ松山家ノ所奉行ナリ

下里四郎兵衛

江戸町東側ニ住ス先祖ハ田尻冠者重綱ノ末葉四郎兵衛尉家賢ト稱其子本郎兵衛家興流川一益ノ慶下ニ居ス其子四郎即家信天正九年久保良九ト云大船ヲ造ル長島新造氏云此頃小田原海上運送盛盛ノコトアリ滝川家手配ノ由断リ北條氏政父ヨリ運送不サレ朱印ヲ本多俊在城ノ時長島界ニテ大丸ノ新造アリ家信ヨリ頭ニ此時本多俊在免サレ其父四郎兵衛家茂代官永十五年町中水役銀ヲ歎キ御免ナリ關船運止ノ時城主ヨリ

為儀官買藏米百俵ヲ賜フ其子孫ヲ三四郎家現ト云不孤育又吟軒トモ号ス

伊藤兵左衛門

本町通三山通北ハ入西側ニ住ス先祖不詳曉泉軒信守世傳伊氏ニテ復舟郡金網城主ナリトシ徳由豊臣所命ニ居ス其子兵左エ門松坂ヨリ辛名ニ来リ住ス慶長五年關ノ原ノ時城主氏家内膳ノ前城ノ使ヲ勤ムト云其子玄周道三法印ニ設テシテ本多美濃守殿ニ奉仕三石石川世入扶持ヲ給フ吟松軒ト号ク玄周本多家ニ從ヒ橋州郡路ニ在リテ玄周政男兵左エ門行勝又ハ玄節有隣赤ト号ス郡小ヨリ当地ニ居住ス子孫相續ス

水谷次郎左衛門

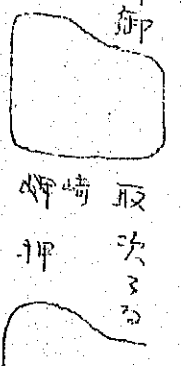
家譜ニ清和源氏子知算若盛義七代改則其子ヲ宗左エ門真義ト云北勢平賀ノ城主ニ居シ甲長島額澄寺ニ居シ四日市地下ノ城ニ栖籠リ討死ス其子ヲ立木村五左エ門貞直ト云滝川ノ旗ノ下ニ居シ戦功アリ感状ノ内一戦甲首ハッ討取則若荷紋ノ上ニハ支ルナラ置キ水谷外改ム此感状ハ信長ヨリ給フト云義次郎左エ門義宗猶子トテ当地ニ住ス其子孫ノ紋丸ノ内辰ノ子ヲ用フ今断絶ス

丹羽藤九郎

傳馬町西側ニ住ス先祖詳ナラズ
東照宮御由緒ノコトアリテ屋敷諸役ヲ免除アリ傳馬一疋ノ御朱印ヲ賜ル又慶長五年御朱印アリ

狩野御

一貝洲新田



取次
崎押
取次ノ切開キテナリ

出雲守の傳は、駿河守之春香、而前下志成之春國送願ハ川上

元茂文禄三年上再上朝鮮三波リアアリ感状ヲ賜フ

此度於高野河野在正内之至西端川上無比頼川ハ多感状此件
文禄三年十月十八日 輝元

元茂、孫十郎無上隆貞後茂左、時毛利家ヲ上上島、松平能登守殿ニ任ツ後又
毛利家ニ被召返時一子茂左内林重ヲ当地ニ留ム近室三年長州ニ赴キ父生リ湯ノ
降時、大守ノ御目見ス其後当地御通行ノ旨御本陣ニ去御目見ス元茂高野河野ニ其向
在セシ賜書三條作無餘モノ一尺ニテ三人アリ極今家室トス

中園傳左衛門

今元茂ニ任ス慶長頃濃州各務御山石田村ヨリ移住ス松山家御得替ノ後當湊ノ不
穀諸口銭不定ニ任取御假祿被命上上ハ兵二年ヨリ長州下関迄兼節ハ三州ヨリ
銚子石卷迄北國ハ越前敦賀ヨリ本羽迄加賀ノ米穀味嗜酒ノ手鱈ノ頼油ノ新口銭
等ヲ相定申上ル付江戸表ハ罷出候様添給アリ公保勘定所ノ何レ何レ通被仰付
則向屋号御向所岸免許アリ

伊藤五郎四郎

宮通ニ任ス先祖細田信雄ニ任ツ所藏ノ文書アリ

亦技助前御由ニ以テ四十五日久餘宛 孫全一可領知ノ状此件
天正十四年七月廿二日 細田信雄判

伊藤五郎

御田領ノ頃家毀半毀被命

其方儀此ノ頃文禄儀御意取被ノ儀御知事ニ奉書申上ル付
孫全一可領知ノ状此件 天正十四年七月廿二日

伊藤五郎

以テ紙張御上ノ傳者宮内御紙屋様ニ御奉書申上ル付
ノ外及御儀無事請申候ノ旨不取成ニ付屋敷工上ノ儀ノ旨
運御帳ノ中ニ御奉書申上ル付御意取被ノ儀御知事ニ奉書申上ル付
以テ紙張御上ノ傳者宮内御紙屋様ニ御奉書申上ル付
孫全一可領知ノ状此件 天正十四年七月廿二日

秋山清平

中島庄左衛門

弘馬ニ任ス穀賀屋下稱ス天濠御執事御用達被仰付所觸重アリ

美濃御勢河内御年貢江戸御廻米之儀此度致書屋庄在正内江定是差配申
付川向右之春安内次新倉ニテ十年送過之大夫成能運賃金及取之
魚三九文之差金ノ致廻船於御時味之上多感度平替其旨ノ相心得、以上

左衛門

天明二年庚九月十六日

十左印
女四印
九郎左印
行豆印
信濃印
伊豫印
碓云印

志州
三州
遠州
駿州
相州
武州

廻船問屋
船持共

此度致賀屋庄左工門義廻船定差
遠、此分大切、致賀見、上別紙清印帳、
其別紙寫十一遺、條在寫、
宣 九月十六日

十種大印在街内印

志州
三州
遠州
駿州
相州
武州

廻船問屋
船持共

大塚 興 六郎

紙馬ニ往ス本陣ナリ諸役免除ノ文書アリ

今度其方家屋敷役義之可成間、
本守公被_レ在形、
少即備仕、付る様是、
宣文三十二二月廿八日

大塚 五 六郎 殿

小座末政、
落合深左、
書判

又松平本羽守殿御状アリ

平助、
三月九日

大塚 五 六郎 殿

出羽 直政 御書判

吉田玄格

吉田ニ住ス醫シ世業トス先祖ハ傳兵衛ト云 松山家ヲリ

曾鏡公御前人ナリ始祿百石ヲ賜フ後屢加増シ三百石ヲ領ス故アリ高田御得孫也

頃当地ニ残ル

公ノ孫判物四枚ヲ藏ス一ニシ

高百石宛行ノ早一ツ全領納者也

定重 加花押

吉田傳兵衛トシ

為加増者五十石宛行ノ先知合百五十石當己ニ移分合テ領納者

也如件

万治四三月朔日

定重 印

吉田傳兵衛トシ

為加増者百石宛行ノ先知合百石ノ事年々所移分合テ領納者也

安永六十二月二十三日

印

吉田傳兵衛トシ

蓋木善石衛門

鍋屋町ニ住ス先祖ハ吉田長野一族松林院出羽守ナリ本朝守ハ天正八年七月織田信兼ノ

アリ吉田ニ来リ柿村ヲ領ス迄文ノ頃守護仁木義長ニ原シ佐々木忠平永親吉寺城ニ移

夫ニ中リ討死ス其子宗政ヨリ柿村ニ退去ス其子宗政其孫其木其子宗勝ノ弟三子ハ攝州

守母ノ世木守左エ門村ニ養ヒ松重ト稱ス其子宗勝ノ嫡孫大膳莫也如コト書ヨリ蓋ス

鍋屋町ニ住ス先祖ハ吉田長野一族松林院出羽守ナリ本朝守ハ天正八年七月織田信兼ノ

アリ吉田ニ来リ柿村ヲ領ス迄文ノ頃守護仁木義長ニ原シ佐々木忠平永親吉寺城ニ移

夫ニ中リ討死ス其子宗政ヨリ柿村ニ退去ス其子宗政其孫其木其子宗勝ノ弟三子ハ攝州

守母ノ世木守左エ門村ニ養ヒ松重ト稱ス其子宗勝ノ嫡孫大膳莫也如コト書ヨリ蓋ス

工藤十右衛門

鍋屋町ニ住ス先祖ハ吉田長野一族松林院出羽守ナリ本朝守ハ天正八年七月織田信兼ノ

為松林院ヲ追出サレ遂ニ討死ス其子女部少輔北執事率ニ浪浪ノ男子一人アリ慶長御

トニ江與矢部兼七郎妻ハ兵部少輔ノ姉故矢部ニ成長工藤長司ト稱ス父兵部少輔

守トニ至リ織田曲直江ノ西水ニ住リ文祿四年江州ニテ疾死ス

北島軍記信直欲シ松林院出羽守ノ家子息安部大輔為護山登之旨先以非教之松林院家長

赤野呂方本之ニテ遂ニ松林院出羽守同兵部大輔父子ハ相守賴其弟矢部兼七郎居後守土信長

公給ハ地為城番矢部大輔或賴津川家或賴徳川家諸國流年後初以不家給ハ地云云因ト小

案アリ不詳孰是

長司ノ孫六大夫ニ祿命申ニ吉田ニ移ル信長ヨリ拜領ノ提物丸盒ヲ傳来ス矢部

家ノ遺物帳礎乃大関ヨリ拜領ノ由ニテ傳来ス

繁五 輪六兵衛

先祖ハ城ヲ奉節兵衛尉ト云昔ヨリ此地ニ居住ス其子孫ニ城本節ト云云右建保三
年夢想ニヨリ觀音像ヲ感得ス其節基ヲ以テ節ヲ供ヒトテ今ニ三月三日菱刈ノ節ヲ
六兵衛家ヲ供ス其前城本節左エ門ト云云昔甲子無之ニ台濃州土岐ノ三輪備前守三郎
馬ノ助親家ヲ養子トシ夫ヨリ三輪家ノ兵衛ト稱ス
東照宮御帳ヲ所傳セシカ今ハ別家ノ仲左エ門内家ニ伝フ
大鏡段様御時手自柿ヲ持テ給ヒ賜リシ青鶴御ト云文化十四年三月火災ニカケリ枕
今ハ別ニ持シ年々乾テ献之

満野村 草雄忠藏

先祖ハ日本武藏守ノ御衣間ト云傳フ傳フ大ノ掛松ト稱スル物ハ後園ニアリ天ノノ原草雄忠
雲守ト稱スル者朝明御世生ニ笠尾城ヤシカ共城後此地ハ退キ民間ニ下ル詳ニ
四十八士ノ久ホニ出ス

林 李兵衛

先祖ハ内藏助ト云平謙詳ナラスハ家傳文書アリ不審アリ其終録ス
此ノ及御城廻リノ屋舎ヲ放火故五六十人討押去御左エ門生捕中
是思お成此ノ似
家康公昔御成此ノ思召捕又御下ノ忠勤此ノ件
五月十五日
上原極若林 勇次翁

林 五郎左衛門

今度西國方御合戦大坂表末世八日御出船了り成別福島左エ門大夫殿所運判見足
外夫了及一戦各覚悟依之由申多形大夫殿上仰越之安堵右御筆收此申
度一以上
八月廿一日

林 以藏助殿 直盛翁

東富田村 堀庄九郎

東照官御判ノ物ヲ藏ス
堀平十郎能越討死依無遺跡為致甚ハ提安城ニ由御子堂限ノ南方有
由緒物地獄首奉是所也因所志ニ寺領ノ守護不入判形同永諸役令免
許年子孫々不有違乱者也仍此件
十一月 日 神名

諱御判 堀平左エ門入道トク

- 一 為龜子世定
- 一 紅明連ノ中ノ件
- 一 一才上ノ成前ノ於此ニ其年守上相渡以形取て之加増ス
- 一 右条ノ如件

天正十二年末 七月五日

家康公 御朱印

堀山三郎トク 後水部 甚兵衛トク

一 細川道仙 駿河守家直公 道仙子 加藤三之丞 三之丞子 加藤左馬之助 田原守 堀平右工門
子夜工門子 堀井次郎在工門御家公 堀井公被為所家 堀井公在工門御家公 堀井公在工門御家公 堀井公在工門御家公
堀 甚矣 堀 堀井城主 堀井城主 堀井城主 堀井城主 堀井城主 堀井城主 堀井城主 堀井城主 堀井城主 堀井城主
堀九郎 堀九郎 堀九郎 堀九郎 堀九郎 堀九郎 堀九郎 堀九郎 堀九郎 堀九郎
堀十右衛門 堀十右衛門 堀十右衛門 堀十右衛門 堀十右衛門 堀十右衛門 堀十右衛門 堀十右衛門 堀十右衛門 堀十右衛門

下笠田村ノ里ニ世先祖ハ多湖大内蔵トテ高村大井田御園林足元美在笠田村ヲ領ス天正
十ノ年小田原役ニ戦死スト云傳フ今兵大夫迄十二代此ニ住ス先祖是利家ニ屬セシ頃ニ引
兩ノ紋賜リシト云今ニ用ユ

先祖ハ嘉兵衛トテ實ハ永中大浦甚清ノ節アリ御馬一疋ヲ給ル川原同八月邸上下ニ被下口保
四年新田成就セシラ傳セラ上田ニ町生被下

實弁即就大泉新田用起杉屋百姓ニ割正木嘉兵衛至彼地定初末後群聚用
光教所町之田自備依之上田就丁為其堂下給畢全可有作考也仍如件
云保四年四月十日

新田庄屋 嘉兵衛
山左 堀
木八郎石印
宇野打

先祖ハ大浦知統下立ノ節功ニヨリ谷田一及寺陰地ニ被下高田御得替後右ノ由緒ヲ
打陰地トナル

先祖ハ小三郎直ト云長嶋一礼、頃此地ニアリ其堂ヲリ天正十三年豊大内蔵御勢ハ亂入頃
高木五郎法泉寺堂明ナリ味ニテ防之小三郎後新十郎ト云又左京近江村ノ末孫也
古久大夫安藤藤助ト云有地田ノ被官セトシ 公成御領ト成リ頃旧家クルシ 堀井公成
コトトノ被官三町賜リ被官新田ト云 被官入公保四年新田新紙被下下屋敷陰地也
其家ハニハ

先祖在門ト云有吉村草劍ノ由云伝フ
上相場 伊サ藤 四郎大夫

先祖ハ同和ノ向村領主木村庄之助ト云小向没サ後吉村ニ末傳ス又武岩頼令ニ持伝フ
南福井 山本庄太夫

實弁郡北山田庄尾城主平姓安豊天正三年中落城討死ス由カ子三人幼キテ止女ニ村ノ落来リ
浪人ニ住居大坂、制嫡子亦左立門地田圖書以江祖シ笠取又落去ノ後ニ吉村ニ来リ御土
成安永正二年所成ニ住リ之男也村ニ住ス後中村ト云又長九之在工門ノ祖也三男佐太夫
松山侯ノ御家ナリ也常閑實弁寺遊ニ坊ト云所ニ阿弥陀佛ニ奉進スノ代々新影ノ後
ハ道場也常閑ト云ハ道場ノ寺遊スルコト也

先祖ハ吉村ノ主茂福下野ノ寺也其父ヲ掃部介政ト云代々此地ヲ領ス永祿
十一年滝川一益ノ為ニ長島ニ討テ陣亡ニ歳、由カヨアリ地待ニ林ト云澄ト云寺院ニ置
成長後林三郎在工門ト云長五十年本多公一奉仕ス姫路ヲ移封ノ頃暇ヲ取吉村
ハ移住ス其子與在工門代官ニ勤コリ代々代官勤心其後五左工門ト云有茂福
氏ニ復ス所勘定奉行道勤ト云高田御得替後衣服ニセ吉村ニ住ス入ラニ相續ス

系圖ハ家相伝ニ餘カ載ス

茂福村 茂福小兵衛

系圖ハ家相伝ニ餘カ載ス

料ニ幾ニト云茂親云人ノ年ヲ待ハレシ容水是ニ從フニ年ノ後書入果ラ前斗ニ勝レ
リ後迄其異見ヲ悦ヒトソ江戸湯島天満宮ノ額ヲ書ス

友悦 針術一流ノ名アリ何ノ時ノ人ニヤ末詳

三輪文印 町家ニ在テ老アリ正三流ノ禪ハナラ信ニ塩江永ト共ニ和歌ヲ善ス隱遁ト
テ所シテ通歴スノ事都ニ至リ廣徳ノ月長好ヲ尋テ書座和歌ヲ作テ送ル
長好返シ
是ヨリニ下ル門人下ナリ長好ハ東山長嘯子ノ門人ナリ

山田良順

初老太郎後考左内隠居シテ良順ト云大丸ニ住ス一生ノ間正金十方面ノ分
限ト云其身生涯ノ間脚衣ネコトヲ舩ヲ持 絹袖ノ外不着 誦遊ニシテ金銀ノ借才高
利トラス一類ノ命茶漬焼酎外ナシ 臥具木綿ノ夜着布蒲團ナリ元川ノ旅ヤト云
者ニ仕タリ其家跡ヲ考テ其大所ノ前ニテ隣アリハ梅ツバハシヲ詠ノ著者前其屋
ヲサカヘテ主ノ妙ヲ用ユルコトヲ考テ或時 礼ニ屋ノ流人見テ其志ヲ感テ云代等親
方ハ材木商賣ナリハ檢 材屑多シ必使ニ世ニテソレコリ 檢ノ著者ニナルハ材木救十
本オクリ其後モハ船一 艘ヲオクル 考テ大丸ハ其物一ニ種ノ押ハスニ行礼謝ス
其人曰汝ノ実意見届タルハ申セ若シ此ルハマキコト也材木ヲオクルハ南イタサニヤト云
考本即日奉侍レ居テ今トモナレハ挨拶モ申謝シト云イヤ今ハイラス汝同心ナラハ材木ハイカ
キトモ送リシ其價ハ拂立、毎月ニスレトテ後程モナラセ西ハカクノ材木ヲリル考本即生、暇
ヲ合ヒ夫ヨリ材木ヲ南ニ漸ク身上ヲ立ヌ武年木常山ノ松山御持人札アリ考本即生考本

入札セシニ落札ニテ其場ニテ三ノ内ヲ得タリ是ヨリ次オニ宿林ニテ江戸山田場ニモ
在地ヲモトメテ方両ノ令限ニテリト大丸宅地ハ夫田孫大丸ト云者ノ宅地トシ夫田先祖ハ
夫田在馬丸トテ三出ヲ領シ此所ニテリト云 考本即生 良順子ニ入 羊ハ下屋敷半ハ隱居
ヤシキトス本宅ハ舩馬町ニテ嫡子考左内ニ譲リシ時三代ニ及ヘリ下屋敷ノ普請ノ役ノモヤ
ウ迄モ良順物好ヲ聊不改家法比日古格ヲ守リ一類ハニ改ルトナレトアリ 親柳
伊藤玄用 町年寄子伊藤家ノ祖信安ノ孫ナリ今大路道ニニ歐陸ヲ學ヒ本多美濃守殿ニ仕ラ
吟松軒ト云ス材道春カ為 記ヲ作シ 鹿山文集ニ入ス後本多美濃守殿ニ仕ラ
伊藤有隣齋 夫周次男 兵左内行勝ト云ス又玄節氏云 郡山ヨリ 坪住ス再匠ニ送ス 念 居 陸
筆七出 首書 上 廣益 伊 呂 波 讀 ヲ 著 ス
大田出清 中左内ト云ス 文 笠 手 ラ 好 ム 慶 長 四 年 春 迄 世 上 日 記 三 冊 著 ス 記 ト 云
大田出清 夫晴ノ孫也中左内ト云ス 江 與 齋 寸 卷 ト 考 本 即 生 考 本 即 生 考 本 即 生 考 本 即 生
以 因 解 同 續 所 錄 一 卷 編 手 叙 上 徹 下 録 一 卷 著 者 又 元 和 ヲ 元 禄 迄 ノ コ ト 記 シ 公 私
川 詠 ト 云 著 者 秘 傳 也

並書字内自道先ト云ス 勢州主名縣増田村ニ誕生父ハ一向ノ源流寺秀宣母ハ中村氏也三歳
シテ識六歳書ヲ讀九歳所經書ノ受輒記其師ヲ遊己ト云 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生
ノミ一錢一糸エヨリ 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生
十部百四十有三卷アル月星 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生 考本即生

葉名志料 卷之廿六

土産物

米 上品ナリ近國酒造必葉名米ヲ用ユト云見聞畧志云葉名米上品トス其價他國ニ勝ルリテ貴シ大概ノ斗ノ豐凶ニヨリト雖モ五斗斗米永七年ノ頃ニ至テ十金ニ至三俵内外ノ價トス此斗三升ヲ以テ一俵トス

粟 凡土記粟畑在土下郡北土民植立穀難熟但粟而已大熟馬故後之今ハ粟所々出ス而テ其粟畑ト云所詳ナラス

酒 城下ハ多岐自釀ヲ用テ初因造ル所モ又多シ公私川録正徳五年葉名酒屋造米ノ儀町奉行ヨリ公儀へ書出テ書付アリ

- 一 米 六千四百石
- 一 米 三千八百八十石
- 一 米 二千九十三石

在ハ城下ニテ造リシ高ト見エタリ其全在田里ニシテ制私スル俗ニ石火矢ト云漢ハ益ヨリ酒ノ免許ノ朱印ヲ俾フ相場村ニ古ハ榎手裡ヨリ酒元蒙シトリ製造ス綿屋葉菊ノ産ナト銘酒アリ

沖 葉名種 木綿ノ公儀ヲレル民間冬作大低葉種ヲ專トス

茶葉 見聞畧志云上味ナリ彼岸ノ後下肥ヲヨクシコレシ時ヨニ葉名ヨリスナク培養ス葉ヒロク尺余ニテ加茂ノ水葵ニ似タリ蓋ハ播テ新田ヨリ出入參ハ小向ヲ千葉ハ繩生村大根ハ安永村イワシモ勝シテ味美也城下俣馬町ノ後園ニ植ルモノ甚大ナリ正輪ヲニシテ入ルニ有今古未ヨリ名品ナリトモ今ハ知ル人ナシ

女

所々ニムツ見聞畧志云長湍瑞穂瑞穂等葉名茶ナリ

定細公宇治ヨリ種ヲ取寄セラシ西方ニ植サセラル或時亦茶ト宗茶ヲ挽マセテハ城遺州侯ヲ御食ヤラシ遠州心甚稱美シ且終ニ此ノ味ヲ不給ト但其味混雜セリ今葉名ト田食上茶トシ挽交タラシヤラナリ宇治カト存スハ遠州所アリト公甚成心セラシム所ノ畠ノ中ニ遠産アト知人ナリトモ時ハ石梅辺ヨリ多持未嘗買ス味重シ製法精ニモハ宇治ニモ比スル味々有者ハ大樹寺ヲ本トス朝日伝實中松平忠知此茶種ト銘至テ郡中所々産ス播六村ヲ以上品トス又朝明郡重坂辺ヨリ多ク出ル

木綿布 向平南中津奈辺ヨリ多ク出ス

蛤

トヨ郡ノ名品也木曾行尾川ノ落ル所ニテ塩塩梅甚ヨシ且ノ形モヨク貝余ノ貝トス見聞畧志云葉名貝トモ白貝トモ撰テハ甚之故ノ朝鮮ノ貝ト兼用フサレテ葉名貝ト上品トス冬ヨリ春ノ水質ス良シ冷好ヨク煮テ貝ハイナク冬月潮ノ満チニテ夜マテモトル高ミ尺計ト廣五尺計ト計ハ鉄ヲ櫛ノ齒ノセクナルヲ葉名竹トシツラ有ニ掛テコレヲ挽ク又ハ口ノ口ニテモマキシ甲ヲ撿取ルナリ甚見ハ目ヲカキテ若ルルロトウス焼蛤ハ松カサヲ以テ破ク十向田田茶名ニテ煎フ時ハ味甚美也城下魚町今之色ニテタリ知在ス近園葉名却送テ煎フ

宗徳命オククヤ
東光坊消息ニ今之色ヨリ蛤友他國ノ賣ルハ知逐ク被行ハ
命何トカネヲ付具ハ山縣政人ニ被賜乃十月ヨリ知ハ平政時兩蛤ト
命題イタカニ返スト見ヘタリ此消息ハ後ノ部命山ノ贈トシテ傳出致シ
百斗ノ斗ニナレサレハ遠州カラモトナルベシ

白魚

海ニテ網ニテ之シトル目刺ニテ江戸ノ御献上アリ是亦葉名郡ノ名産ナリ柳人芭蕉ノ句ニ唐薄一白魚白キニト一才 白魚ノ餌ニ水 貞隆真迹ハ大丸山田氏ニテ成者又乱テニ又ハ

葉名魚ヲモテ鮮ニテスイワレモ味美也見聞畧志云價ハ百文ニ三四升ナリト今ハ百斗ニシレハ

又其所ノ蛤ヲ美濃大垣ノ鶴岡舟三艘ヲ毎日運送ス四季共ニ絶ハズ價ハ二升ニテ又高ニ賣テリ其價
ケ草兩陣ノ時わたり献上ナリトウラテ大垣城甲ヲ蛤高ク者自由経果スアリ寒甲杜ノ御献上アリ

州内ノ住ナリニ歷ノ正字トクセシ由子キニヨリ千午觀立日ニ祈誓セシヨリニ代
三代ヨリ千子正重ト銘ス十七代ヨリ千子村正ト云世四代ヨリ又千重ト云吉地ニ移リシヨリ
世代ト云又大道ハ内ノ住人兼有次男ニテ陸奥守ト云見文書中ヨリ此ニ移ル見聞者云
正重兼高大道時ノ劍ノ名エニ子孫アリ

鉢 赤檻白程ヲ板トス細工近國ニマサリ

瓦 地瓦トテ此地ニテ燒ラ上島トス掛極ニ住ス長谷川氏ハ本多家ノ時城州公見ヨリ從ル久
保村氏ハ 柳田領ノ時深草ヨリ召ヨセラル所家臣免除地也近キ頃三崎村ニテ移ル

高畚 小向村ニテ製ス其時燒トテ止甲ヨリ往々陶器ヲ堀出スコトアリ猪飼ニテモ製セシ
コトアリ七八十斗ヨリ前不花燒ト云ラ出ス頗有島ニテテ下家杯虎製スリナリ

付木 城下町ニテ多製ス槍ノ木モテ作レハ上島ナリ

編米 村々ヨリ出ス見聞者云ニ
定細公月次ノ獻上ニ七月コレヲ獻上シ給フ野代村ノ鏡守春日社アリ其本林北ヲフサキナラ

カヤ 篠立村ノ山ニ多ク生ス其時大ナリ見聞者云ニ
定細公月次ノ獻上ニ七月コレヲ獻上シ給フ野代村ノ鏡守春日社アリ其本林北ヲフサキナラ

風 篠立村ノ山ニ多ク生ス其時大ナリ見聞者云ニ
定細公月次ノ獻上ニ七月コレヲ獻上シ給フ野代村ノ鏡守春日社アリ其本林北ヲフサキナラ

福壽草 又本村藤谷山獄鉞子谷穴穴電トニテ所ヨリセル土人正月十月中旬ヨリ十月上旬内ニ
トリ上京師ニ送リ之年ニ廿金余ニナルト云

梅 多度村ニ多ク花ノ頃満ル雪ノ如シ近頃東方多岩山ニ梅園ヲ開ク是亦千余株ニ
親記ニ市ニ多ク梅ヲ移トス

柳 柳柳寂寂草ニ柳井村ヨリ多度山ハカケテ一面ニ桃ノ花サカリニ錦繡ヲハセル如シ野ニ山モ
目ノ及フ所花サカリ世諸人見物ニ行事セトアリ今ハタエテナレ未廣新田ノ堤ニヨホト植テ

葛根 上相場鼓北中津存等ノ村々ヨリ生ス

五月鶴 篠立村正氏ニ三輪ノハモニアリ鏡公手懸掛ナリト云

消麻 瀨村辺四手ニ不抱杯ヲトリ養ス

雁皮木 市之原鼓中津存諸村ヨリ出ス

草 草ハ草部中津存播磨多度等ニ多ク生ス白草ハ播磨山ヲヨシク其外種々
草三郡山々ヨリ出ス

負辨 負辨郡ノ村々多ク生ス

牡丹 見聞者云ニ御家ノ奥平貞隆ト云此人紀州ノ紅牡丹ヲ種ラ植シニ上島ノ牡丹トナル重
五カサ子斗 輪五斗位正ニシク其紅ニテ魚類也 龍田川トヨラス後日其准右ノ御圃ニ入

牡丹 見聞者云ニ御家ノ奥平貞隆ト云此人紀州ノ紅牡丹ヲ種ラ植シニ上島ノ牡丹トナル重
五カサ子斗 輪五斗位正ニシク其紅ニテ魚類也 龍田川トヨラス後日其准右ノ御圃ニ入

牡丹 見聞者云ニ御家ノ奥平貞隆ト云此人紀州ノ紅牡丹ヲ種ラ植シニ上島ノ牡丹トナル重
五カサ子斗 輪五斗位正ニシク其紅ニテ魚類也 龍田川トヨラス後日其准右ノ御圃ニ入

大木 坂本村ニ大木アリヨリニ丈九尺程アリ山ノ村天王平ニ五月木ノ大木廻リニ丈八尺程
昔五十七八間アリ多度權現舟敷ノ木ト云佐ノ浮尾村ニ一株アリ廻リニ丈八尺程

大木 坂本村ニ大木アリヨリニ丈九尺程アリ山ノ村天王平ニ五月木ノ大木廻リニ丈八尺程
昔五十七八間アリ多度權現舟敷ノ木ト云佐ノ浮尾村ニ一株アリ廻リニ丈八尺程

大木 坂本村ニ大木アリヨリニ丈九尺程アリ山ノ村天王平ニ五月木ノ大木廻リニ丈八尺程
昔五十七八間アリ多度權現舟敷ノ木ト云佐ノ浮尾村ニ一株アリ廻リニ丈八尺程

大木 坂本村ニ大木アリヨリニ丈九尺程アリ山ノ村天王平ニ五月木ノ大木廻リニ丈八尺程
昔五十七八間アリ多度權現舟敷ノ木ト云佐ノ浮尾村ニ一株アリ廻リニ丈八尺程

大木 坂本村ニ大木アリヨリニ丈九尺程アリ山ノ村天王平ニ五月木ノ大木廻リニ丈八尺程
昔五十七八間アリ多度權現舟敷ノ木ト云佐ノ浮尾村ニ一株アリ廻リニ丈八尺程

大木 坂本村ニ大木アリヨリニ丈九尺程アリ山ノ村天王平ニ五月木ノ大木廻リニ丈八尺程
昔五十七八間アリ多度權現舟敷ノ木ト云佐ノ浮尾村ニ一株アリ廻リニ丈八尺程

石標 南村ノ昔を無ヨリ礎石ト云石ヲ在ス彩ニシテ大ニイハ覺ノ如クトブ又同所水田
テ尾ト云所ヨリ水田ヲ在ス

鯉 塩寺 富田一色ヨリ在ス 軟上トナル昔ハ天々須賀ヨリモ出セルトテ軟上持運人足所ヲ
世日ハ常田濱ニテ在スリ塩役米御田地ト云ルナアリ大河ノ傍ル所ナハ塩カケト云

銀銅山 多度八重溪ヨリ昔ハ出レトシ 續穴アリ東見野地入込ノ収字大次ト云所ヨリ
安永年同銅ヲ堀リカ利少トテ止江州堀ノ山々ヨリ所々ヨリ出ル作田丹生川辺ヨリ

銀 泉ス何レモ多ハ出テムトシ又正野尻村野尻山銀山ハ古田四山ノ一ニテ四月御
代官支配也

糶 重坂村ヨリ在ス素在雜記北勢三郡ノ内重坂村川曲御玉垣村飯野郡中村此ニ村
ヨリ出ス勢州ノ三糶ト云在物トス一石ニ斗ソノ毎年山田ノ長官ハ神納スルトリ

苜蓿 千種村ヨリ出スヲ佳トス

山灰 小原一色塩崎等ノ村ヨリ出ス小城遠州ノ我

鎮西公ノ贈リノ書ニ御領分ニテ被成候白山灰 三笠電贈被下一段ト見事

ニ御坐候折々茶湯モ在候同則用申候トアリハ昔ハ白山灰ヲモ燒キト見エタリ

業名志料 卷二十七

大 田六

慶長自記 慶長十四年八月十日大風雨ニテ赤須賀堤殊ノ外損シ町中端々溜
水入在堤皆切ナリ

公私小録 慶安三年庚寅九月二日風雨ニ刻断家堤決シ素在浸水走井山ノ前

ヨリ水ヲ押込町中舟ニ乘ル 大田吉茂ノ發句ニ
町並ト高瀬ニ舟ヲ乗ル水 御城櫓ニテ所山門石垣六七間出ル

一 田畑二千二百六十四丁八及六畝歩ワリ地

一 田畑千九百七十五町七及一畝歩 水押

一 田三百八十二町八及三畝歩 泥入

一 田合田ノ四千六百三十三町四畝止方此高六千四百七十七石七斗七升

一 一切所 二万三千五百七十町 五百六十五町 比田流

一 一家敷八百三十軒流 二百六十五町 半流

一 死人七十五人 十四人 業取浦ノ里 十七人 色田浦ノ着
十三人 高松浦ノ着 世二人 行街シラス

一 船 三十艘

一 千馬九十疋

一 綱 三帖 以上流矢
行工不知

又曰 兼應三年正月二日殺下ノ南ヨリ火横郡ノ南側船馬ノ京衣所不残川口迄

履抜ヌ刻ヨリ風狂ヨリ船馬ノ東本町東角迄棧ル西角ノ家ニ伊勢ノ御師治リ合

セシカ 榊ヲ屋根ニ上テ折折アリハ又西風儼ニ吹テ東勝角ニテトマル

天保三年四月七日大風雨大地震ニテ長島堤等所々決シ新田比日以入是ヲ

天西ノ大地震云旧記天和元年七月二十日之風雨郡城中糴多門ヲ始家中町在這潰
家被損夥ニ三ノ丸御曲輪内迄潮押入御領内川々出水堤押切田畝莫大之御損
毛御家中物成半知印米金給三令一減少ト云

天和三年飢饉

同三年五月毎夜海上并船馬ナトノ前ノ河水迄不残赤シテ三月五九ル
見聞更各志日之祿十四年二月六日朝より神伏晴昨五日雪散之風烈リ今
日ノ晴天當春初テ然リト云庶ノ老少遠近ニ出ル者多ク未刻候ニ大風起リ屋脚
等々如ク倒ノ風屋宇モ破ルカ如シ時今之色町ハ屋ニ長次郎ト云者去斗福至小
杉ヲ多ク抑ル其中大杉アリ天狗ノ宿木ト云伝ハ昔より一葉モ不取然ニ此度野村増在工内
押テ抑ラセ其枝木相交テ排物ニハ長次郎其枝ヲ置今日其木ヲ破灰ヲ灰屋ニハハ程ナリ
西風起リ其灰中より火出ト云者家ニ出火トアリ 三ノ丸ノ屋上ニコキ忠勝公建立ノ城
心色有トナル本丸ニ丸三ノ丸夫ヨリ赤須見侍屋敷但三區ノ中南ノ町西半残其外
輪存賀ケト役人ノ宅悉燒失又三ノ丸南上ノ丸一區残ル町ハ京町見付ノ内北東元ヨリ
三崎外不残燒但宮通町春日社隨身門ノ本地堂燒失本社不残又職人町油町
ノコル南魚大町残ル京町見付ノ内職人町ヨリ西ハノコル丸宮電敷三ノ令ニ及フ
心廣ノ刻大鎮ル町家敷三ノ令五百軒 町家ノ四百十六軒軒燒失ス 去又ヨリノ夜々春日
社鳴動宮通町、迎ノ早町アツリ町止家夜ニ入ルニ戸障子地震、地ッロノ火言ヲ催レ
コトハ後ニサトリリ又六日ノ朝天守上ニ白絹、ハキモノノ翻リタルヲ東方ノ人多ク見ル丈
精カトイヘリ此年二月二日江戸勤王軍ノ町田直在工内歌ヲ讀「モ不知ニ我宿ノ
庭ノ北カウ南マテ皆相存ナリ林トソナルト夢ハ羽立日吾亡父改廢ニ泣ル松八十年可祝ト
其言ハシレトモ心ニハ大災ナラント思ヒトソ

工藤家記曰元禄十四年四月十三日 旧記ニ三月十三日トアリ 内堀津田四郎兵衛殿ヨリ出火伊賀

町不残燒 旧記ニ同日三月三日夜堀ヨリ出火未スカ伊賀町侍屋敷大十軒 初五年二月六日一色町古
田宅右工内殿長屋ヨリ出火向側四五軒類火同十二日新屋敷馬場儀右工内殿
ヨリ出火新屋敷不残類燒又日宝永四年二月二日東一色町鎌田兼右工内殿
出火向側二軒類大又日宝永四年八月十八日九月十二日大風吹田白田外突岸
サ入後旧記ニ六万石余御指毛故御家作モ半知ニナル切米取象モ三令三令程
宛リテ申川取分町申難儀百姓ハ毎日五百人千人程ヲ御勘定所ハ相詰御了簡
頼申小 其内五六千人程ヲ、林穂ヲ荷ヒ一人充甚ニ持矢ニ申ハ向偏ニ神事練物
、如クニ候 大方世日計モ相詰ハ 日足年稱ヲ十一月月初十二月迄掛申ハ百姓難儀
仕リ同十月四日屋九ツ廻大地震人々所ヲ消シ申ハ所家サ々ニ崩ス死人ハ無之
御城内方々大人カ 被損ニ御座候御領分各取村法泉寺一色村龍泉寺高向松
村善養寺等リ貴レ申候方々幅一三尺長五向十向程ツ、破レ申候申ヨリ三月泥喰
ス光州迎津波ニテ人々不見尾州立田村ニテ馬一疋人一人ヨリ込馬ハ頭計ツ去
候故掘出申候人ハ深リニ丈計モ隔リ見エ不申朝明川橋ヲ以南北福壽寺迄足
ニツヨカリト申多ク夜ハユリ不申津波来レ臣御領收無事ナリ

天明三年北伊勢洪水多度山ニ碑アリ

天明三年 止成次全寅六月雨數日我伊勢草木城也西北諸山合水大流負舟川東西
十四里 朝明川遙北而東十餘里其地大十五十餘町堤防漫溢澤没民舍田下
荒壞我公憂懼甚最諸有司盡力賑救而用不足乃使臣山田直江江改滿於東
部以告以請賜恤民之命 命 命從之於是明年癸卯春有大災投修堤防

後滿洽大小教百町朝使奉命未監用夫九百不豐前十合城主山笠京左京大夫也
總日向延岡城主藤備後守政修和泉岩和岡城主關部美濃守長修兼兼人
功各使使未及事功起于五月我民老弱群集服役朝使厚體仁恤議遠通
并審審強弱均錢糧使窮餓得有數月之入以及麥禾衆皆歡呼志受從大
之苦飲載 國家岡極之恩云至八月功成我公命臣 推言 勒碑於我西北界多
度山東具其始末以贈永世朝使則俗并姓名列于碑陰

天明三年癸卯八月十五日 某城主計曹長 臣 石田堆言謹撰

謹按ニ我村城亦肆其西北ニアリ且冬春西北風多ト大突ノ上備上處ナリニバ
アルハウラス木苗存尾ノ大河ニ傍ニ下流年々 淤塞又水小流ノ上處ナリニバ
ルハカラス南ニ海ヲ受ケタル津浪ノ上處ホナルハカラス因テ天突ノ旧記ニシエ
タルヲ録ス往述ヲ見テ後末ノ遠ノ上處ヲナサルハカラス

某名志料 卷之二十八

詩 歌

遙廻山川西歸下木當川到某名急流任心水下月夢舟功成事遂豐年樂既到官城兵士稠

境以有櫻一株接攝州金龍寺之名品也故君末臨于茲亦見花賦
詩陪侍同上詩群臣共獻歌遊觀竟日君臣相和欣然

寸陰可惜執陽春石二首山寺櫻開招雅賓今日邀遊為賞詠金龍在岸遠移新

大鏡公石二首盛制不見于改餘雖玉一時唱和詠臣錄于下

山寺見櫻 正賞春瓊造對的主與賓諸君終日莫回駕馬花到夕陽色轉新
春日陪照流寺同詠櫻花律詩一首 三六五 正取上

金龍名種世間聞同前万木千條發丁令洛其未讓言誇絕色罵莫誰見吐亦可芬未
論珠城遠越類也誠本朝尚志群自畫長臨大始雪黃昏埃入皇天雲氣入
浮一露人々龍衣香帶光風院々畫 蜂奏急腔聲新續蝶舞長舞影續紛錦
心補清詩賦珠璣玉佩美酒醴 復主一甚宜真二妙也貴花前士對明君

名花元是金龍種堪參天龍淡艷奇用處幾層雲長閑 元甫下起翠時一片雪猶
遲色今里王代更停泣香為前公報早知終日勝遊心未嫌自今飽詩欲遠隨

二月仲旬詠照源寺櫻花
孟春卧病欠榮觀今日櫻花開十分幸有海濱廣虛堂地適遙豔早遂致曠

葉名

林道春

曾聞二帝此停車際在古邦未見書今問先蹤人不識誰實齋凡土補方輿
九月廿五日秋分明葉在漁艇十隻每二隻相連投網取魚十里
鮑弱與雜魚滿盆以棒之使官使見之蓋厨厨下世不敢以又
一尾是古之羊續不能逃之時自鳴雁千飛相乳有是次弱魚之情
殆與虛虛忘白路之宛規其便若無以與也余思曰人皆於自鳴魚
心曰田田熟眠已万里誰能馴然今如此見之初驚於是許知有
欲者必有所制也 癸未紀行

同 上則

款乃一聲奇似行岸欲移白鷗如鉤叟初見愧虛茲

廿四日與即龍同從源豆州自執田乘官舫渡海明日到葉右

林夾舟

官使未到 尾陽洲執田馭亭暫憩休
本州賢侯遙勞厨殷心歎今更贈彩舟便旬也際五馬後到此同種丁方丈流舫却揚
聲推播指大夫無衛造才矛 東西南北千里日 浩々落々乾坤浮南說海
上有仙子人自蓬萊官程遊春叩門真大真院渺茫向津揚通幽元是幽冥不通
信畢竟仙境何為亦咸得人生本如寄渺然一粟亦一區或鳥或魚躍上下道
所誰乘存道孔兵揮筆欲續玄虛賦 豪氣測知智塊既劉有酒有茶又有
菓 晚夜清小雲 乾猴 驟雨滴了晴偏好坐來再坐坐樂聽 聽葵紋市莫中葉
屋上望中多翠簾上釣潮滿風繞七里際 却封山遠回双眸相像也當時 則機者
溶漾水沒見白鷗 寒日夜隔朝暎影時有輕舸遙網投 舳舻駁帆葉不在岸可

可謝封茅吳陽侯 葉名既是勢州地 天武皇在常侍解 又前聖武行來路廣繼
不能遊遊望 自茲望洛三千里長途漸近名客愁 有母有弟武城下 海山雲水思
悠々 膝下相別遠遊日 記境韓公海渝歐 佳境名區所經歷 長公紀行欲寄由家
君穩我魚焦 報畢官事大刀頭 欲到熱田時潮 乾舟不進後夫駁乘總卒之恰
似陸行遊舟

葉名 舟中作

同 上則

葉名 解纜海漫之日 皓白眼界 空寬水行 千尋有龍睡 天地不見見 鵬搏雲南長島城
接登岸近執田潮沙乾守場才如曹植筆半寸 苦下筆力捲波瀾

葉名 舟中

同 春

舟行七里餘到外境 三周括葉名 暖々雁浮共頻流 白魚水字開王 鑑字云繼戔衣裾
日暮會共私遠我生似釣漁 慶長

夜無 慶葉名

同人 宣寬永甲子

偏舟乘雷即汝逢 一夜葉名七里風 天色相連波色上人 教有猶唱指聲甲象
星閃々似燭孤 月承 似挽了漸到尾陽眠 忽覺不朝日 早生東

自四日市行葉名乘舟到尾張者有焉直渡者亦有之嘉永京
日家看我云此處勿直渡 星捷給也則歷葉名奈而着尾張焉 紀行

四日市場即舍忽行人 幾過尾陽東 忠臣宣且踐濤 甚望 迄孝子 去雷登樂心 何
今古名高葉奈渡 乾坤神在執田官 艾石松于丈 藤苗維鏡 欲作微詩輪才東

七里渡 舟遊

同 上

暫語執田聊致茶 黃頭已識意 忽々短渡 駭取好乘 興行帆 萬懸 許湯 胸 深海
二也 且 望 網 底 遙 山 人 望 公 各 舩 中 西 京 漸 近 仲 秋 節 東 尾 送 來 七 里 風 平 水 淡 之 逐

春日城樓小從可蒼蒼
青末在步下婦人
進項籃腰刀呼馬僮

青末名

同上

大觀頽然爽氣以
且行地上勢陽中
靈神聞說此靈幸
四載奉齊野公宮

和定弘公于八月十韻

江州和馬

夙起南窗曙色澄
雲端現見引金繩
困吟清步緝言語
待得嶺頭旭日年

同上

水雲千頃片帆飛
羣魚浪風光屬鉤磯
今古幾多未往客
依之回首羨波滂

漁村夕照

竹籬棘蔭而三家
晒網漁翁立晚沙
載得夕陽江上上
扁舟隱約入蘆花

金城初日

庾段竹城樓朝可
鄉食奈何無術上
長竿金鳥不許閑
人借去海界時仰面看

上川魚梭

郭外長河堪顧瞻
崇朝歎逝捲珠簾
躍鱗澆刺拋梭處
水日豐紋淨似鎌

駒小嶽暮雪

眺望猶兼富士同
遙峰著暮雪起寒
月我疑駒嶽化駒
去雲外銀鞍映碧空

松村炊烟

料歲遠村趁早炊
松間客之有烟時
春眼半覺朦眼漫
認風前楊柳枝

澄江秋月

江樓秋夜可博遙
月色水光共陸維
坐對洞庭湖上景
平時童研墨寫詞新

仲秋

昔時三五水天朗
浪速江迎柳舟舟
今歲仲秋風月好
素衣城裏倚高樓

和永平和尚七里灘寺韻

帆影飄揚雨曉樓
聲鳴軋向晴天料
知法旆龍神護七
里灘頭利涉船飛嵐

到翠山陸海曲浦
長亭水拍天向遠
月光曾似画又添
多少往來船香捲風雷

振卒土眼懸日月
照長天海言一葉
涉秋水傷度群生
般若船

小歲日安素名歌

河南海西一落家
臘月峭寒飛雪花
巾巾白屋紅爐畔
與婦笑語夜烹茶

試筆三首詩韻

和衡卿

風入金城更鞠躬
海東漸曙移霞紅
君風進爵家門美
恩波及和雨露濃

旭日韶光洽海濱
洪鈞一轉物皆新
雲霞梅柳西般竟
福邑改封素春

送宝性上人歸素名

本寶聞

知節瑞興共晴新
塵尾秋清下界塵
蚌蛤珠于斜漢照
袈裟風送去帆領

千年鏡國天倪虛
八月觀濤地藏凌
才抹更難堪賦別
臨歧唯有淚沾巾

渡素名

僧獨湛

一片孤舟一葉輕
乘風解纜渡素名
浪花鼓鼗盈人耳
似吟巴山夜雨聲

東行瑞路宿于素名城下山田氏宅聊謝款待

掃到素名是勢州
家家鼓起滿街頭
何因永夜此投宿
一自折茶煙散客愁

乾

天龍賜

乙巳秋偶示 夢蘆木庵
印佩西来過海東 葉名渡口一帆風心明月皎
人无遠櫓棹未施到山行中
已酉仲春過葉名渡蒙送宝杖一偈奉贈
上 同

海天空闊碧浪靜水

龍蛇動舟行 鷗鷺同若折外容

兼葭法出坐

己酉八月庚辰十四年上元夜九十九日夢蘆山一五二葉名
九年十一月此詩入夜文已酉三月田鏡公病時九へレ

大葉村觀瀾亭亭戲贈當座中

本多之辰 下總守

觀瀾亭上倚高欄之外登臨四月月寒為足主人能參空杯樽今日自交歡

層亭百尺海天寒 勢尾晴分七里灘 魚雁濤聲堪起色 何人不作廣陵看

葉名村

釣虛子

東接滄瀛北海川 巫山積翠浪滔天 孤城依旧飛空塞 滄海通潮古岸前

葉名長嶋 隔河其向里程乘時吟行看景早 同上

鳥翊葉名曲 跳長鳥流漫 谷翁歸向酒耕 叟待乘舟縱日 乾坤大盜胸 雲水悠
隨意發孤嘯 肝衛 好步遊

行勢まうかたりに行勢尾張のあけい海つらき行て波のりと志ろくたつと見て

いと、い、くる、道、行、か、た、此、葉、一、ま、に、う、り、作、ま、い、く、も、あ、へ、る、波、か、那、
ゆすれぬや何國ハあ水といせ尾張月もよひの秋の海つら 光廣卯

朝明里 新千載

為友

打ないきり屋をこぞ 兩段めをうちこち北あさけハ 烟巻やちつら山

朝明山 扶木

此地秋ぬる 朝明の山北美風ハ 辰辰をわけて 花そちりけり

定家

此、わ、く、る、朝、明、の、や、ま、此、下、在、路、に、ぬ、れ、て、す、く、一、ち、の、夏、衣、あ、那

行雲

此水ぬるあさけの風も心あうは 花のあたりをよけてふかふか

今と攝政
左大臣

山寺の櫻を詠する 尋ニ首并序

行勢の国葉名へ行くと 山寺の櫻を詠する 尋ニ首并序

花盛ことにおもゝろし 此水なむ 津の国金龍寺の名木をいつしか多しとりの

伝へ侍る折しもあなる人くとふらいまりの花見とていまをいかに侍り

いぬます遊興ありてあゆみ侍り 侍り 侍り 侍り 侍り 侍り 侍り 侍り 侍り

今日雨ありて花のさかり 過る山といふとき、て

かくら花きのふうさかひらうらやめけけ小もあふうて 空もあふやと

東六郎源寺の櫻 世津の国金龍寺の種ありとなふかの 才常却の何某が入相の鐘を

よみたり 一 道にちかきほとりの あたりなれば さまや侍りけり 花の噴 源寺にまっ

て、みたまへわくは 昔の春の中あくれ 只今斗おまひ やりれて 三宅乙殿上

なみあつ、花に心を相のあはれにそひつみ ありぬなまこりま

葉名より舟にふる 陽徳のこけり 風靜に吹て 三里けかりも未ぬるに 遠き山の

上にはあふくナニ 出たりこよひハ十五夜 ありけり 人々 契いつい 見るとに やめてくま

やつにてまやまくる 侍るとに 又いとよく けりて 波といと見ぬ 来一かたまかき

月は見すこ水より 後とあふいと ありに人も 皆いふありと、なむいせ尾張の

あけハテリといハは 自近能行

深し草え改

小すれめやいつかは身中といせはけり月もこまひの海つり
ゆきくてもふしの雪はくらへ見出さうにたくはなみの月かり

宗長

飛けたる百ふねとまるあー大うたな
此津にて(兼ねなと)等運所望

たれひのれゆくはるなりー 中あかすみ
朝明日長とて幸なれ等運空翌日運哥

曙やしらぐは志路支こと一す

好奇亭ハロ草

せせと

伝ハキコ、湘北ハ早見女流越のゆたさてさ、波や鳩のちかめ東西にわら
南北にわかれ一をさなりぬ所もあらむさ水や北勢をよる好きうたう女流
ままけは運山遠く下けたり、雲に従く海水近く夕陽の影を結ふ洲崎の松
は光より照りて分ほりくる風には細かく生ずるこは海一月の夕の雲の朝松
の文冬もこれかたぬに今年を流し蓋せんうの書エもさう絶早早に見を
よー仲清のまにに、ふらハとの眺むをさ西帯に配り同士の風をさ後して
八星多述るにて晴は雨あつたの風まはさう句くの餘情に登せはは爰に解
中キッ

袖野廻鐘

花の雲や袖野にすい草のめ水

大島嶺之助 隠居 童俗

何戒坊

住士に夜雨

春雨や御明ーちつと消もせず

大は下野介

竹山家

長島夕照

梅雨晴や雲に紅はくく向暮

大島嶺之助

梅甫

大島晴嵐

はれてゆく路やいよく 青ありー

十萬落雁 釋て来る雁も及 野千十萬の秋

間も遠く秋月 落葉て浪も向遠に浦の月

木常帰帆

帰る帆にはつとあかれて今鳥かろ

多々暮雪

雪の日や神の御山の暮一つか

春人

春人う人詩歌 諸部に散見する、餘はかにもその一二を得て此ニ其も亦其大畧

たう今人

涙は他日 鹿愛披して

吉良左京大夫 柳上中

尾 上松一政

松平澄元 朝台守

水六次

幸右志 白え

限定
三十部
才十八号

素名郷誌 素名郷誌 素名郷誌
素名郷誌 素名郷誌 素名郷誌
昭和二十八年九月十五日刊行
素名郷誌編輯部
北勢実談會
郷誌編輯部
振替口座
本郷屋四六三六番
山内五郎



柔佛市立圖書館



0120032974

92